

秋田市子ども・子育て支援に関する ニーズ調査報告書

令和6年5月

秋田市 子ども未来部 子ども総務課

目次

I.	調査の概要.....	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の実施概要.....	1
3.	調査期間.....	1
4.	報告書の見方.....	1
II.	調査結果	3
1.	就学前児童の保護者.....	3
2.	小学校児童の保護者.....	97
III.	クロス集計	159
1.	就学前児童の保護者.....	159
2.	小学校児童の保護者.....	173
IV.	調査票	187
1.	就学前児童の保護者.....	187
2.	小学校児童の保護者.....	199

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「第3次秋田市子ども・子育て未来プラン（第2期子ども・子育て支援事業計画）」が令和6年度に計画の最終年度となることから、令和7年度から5年間を計画期間とする次期計画を策定するにあたり、市民の皆さまの教育・保育、地域の子育て支援に関する現在の利用状況や今後の利用希望等を把握することを目的として実施しました。

2. 調査の実施概要

本調査では、就学前児童の保護者を対象とした調査と、小学校児童の保護者を対象とした調査の2種類の調査を実施しました。

（1）就学前児童の保護者

- ・ 調査方法：郵送およびインターネットによる無記名式アンケート
- ・ 対象者数：2,220件
- ・ 回収数：817件
- ・ 回収率：36.8%
- ・ 有効回答数：817件

（2）小学校児童の保護者

- ・ 調査方法：郵送およびインターネットによる無記名式アンケート
- ・ 対象者数：1,780件
- ・ 回収数：738件
- ・ 回収率：41.5%
- ・ 有効回答数：738件

3. 調査期間

令和6年2月から3月まで

4. 報告書の見方

- ・ 回答割合は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出しています。
- ・ 回答割合は、世帯の状況に関する設問（お子さんの生年月、きょうだいの有無、回答者の続柄および配偶者の有無）については「調査対象者全体（回答不明者を含む）」に占める割合とし、その他の設問については「回答者合計（調査対象者から無回答者を除く）」に占める割合としています。
- ・ 複数回答の設問の場合、各設問の回答者合計（母数）を基数として回答比率を算出するため、全ての選択肢の回答割合の合計は100.0%を超えます。
- ・ 調査票における設問や選択肢の語句等を短縮・簡略化して表記している場合があります。

調 査 結 果
〔 就 学 前 児 童 〕

Ⅱ. 調査結果

1. 就学前児童の保護者

封筒宛名のお子さんご家族の状況についてお伺いします

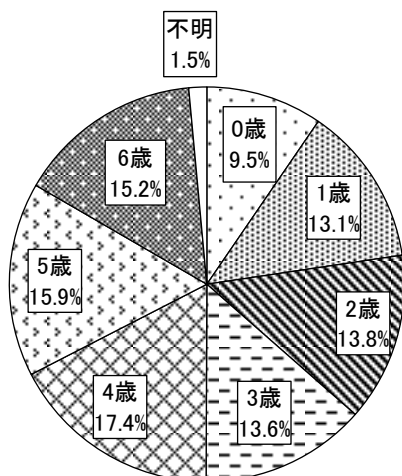
問1 お住まいの地区（小学校区）があてはまる番号1つに○をつけてください。

(人数)										
	居住地域	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	不明	計
1	金足西	1	－	－	1	1	－	1	－	4
2	港北	3	4	2	4	6	5	6	－	30
3	下新城	2	1	2	－	2	1	2	－	10
4	飯島	3	4	9	1	8	8	4	－	37
5	土崎	5	2	3	3	4	4	2	－	23
6	土崎南	1	2	4	6	4	5	1	－	23
7	高清水	2	2	2	1	1	1	5	－	14
8	寺内	2	4	5	2	6	1	6	－	26
9	飯島南	2	3	1	2	－	3	5	－	16
10	外旭川	4	6	9	6	5	4	3	－	37
11	泉	2	5	6	5	6	7	6	－	37
12	八橋	3	6	2	1	5	5	3	－	25
13	旭北	2	1	－	5	2	3	1	－	14
14	川尻	3	4	4	1	4	8	4	－	28
15	築山	3	3	2	6	7	1	8	1	31
16	中通	－	4	3	2	3	2	4	－	18
17	保戸野	2	－	2	2	1	4	3	－	14
18	明德	－	3	2	2	3	2	5	－	17
19	旭南	1	3	－	3	1	1	1	－	10
20	旭川	2	4	4	3	5	5	1	－	24
21	広面	3	7	6	8	6	3	6	－	39
22	下北手	1	1	1	1	－	－	－	－	4
23	太平	－	－	－	1	－	－	－	－	1
24	東	1	1	2	3	7	3	2	－	19
25	桜	4	3	6	4	6	5	5	1	34
26	日新	1	7	4	7	7	8	4	－	38
27	勝平	4	6	4	6	10	4	7	－	41
28	豊岩	－	－	－	－	－	1	－	－	1
29	浜田	1	－	－	2	1	1	－	－	5
30	下浜	1	1	1	－	1	－	1	－	5
31	御所野	5	5	1	4	2	4	4	－	25
32	仁井田	1	3	6	3	8	6	4	－	31
33	四ツ小屋	1	－	1	2	－	4	3	－	11
34	牛島	6	6	8	5	5	6	5	－	41
35	上北手	1	－	2	1	2	3	2	－	11
36	大住	2	3	3	4	6	8	2	－	28
37	岩見三内	1	－	－	－	－	1	－	－	2
38	河辺	1	3	1	1	3	1	5	－	15
39	戸島	－	－	1	1	－	－	1	－	3
40	雄和	1	－	1	1	3	－	2	－	8
	不明	－	－	3	1	1	2	－	10	17
	合計	78	107	113	111	142	130	124	12	817

(注意)年齢については、令和6年4月1日現在の満年齢で区分している。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

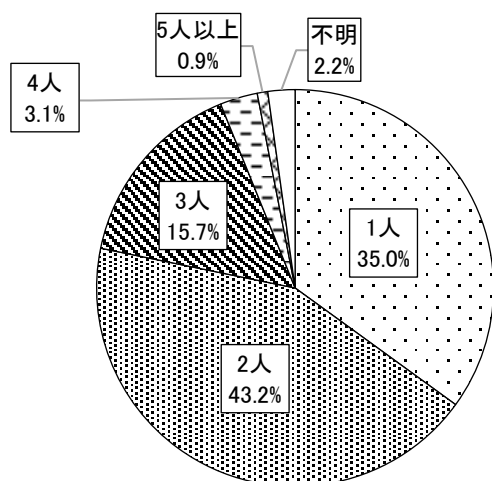
問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(元号に○をし、口内に数字でご記入ください。)



	項目名	回答数	割合
1	0歳	78	9.5%
2	1歳	107	13.1%
3	2歳	113	13.8%
4	3歳	111	13.6%
5	4歳	142	17.4%
6	5歳	130	15.9%
7	6歳	124	15.2%
	不明	12	1.5%
	合計	817	100.0%

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

■ 宛名のお子さんのきょうだいの人数

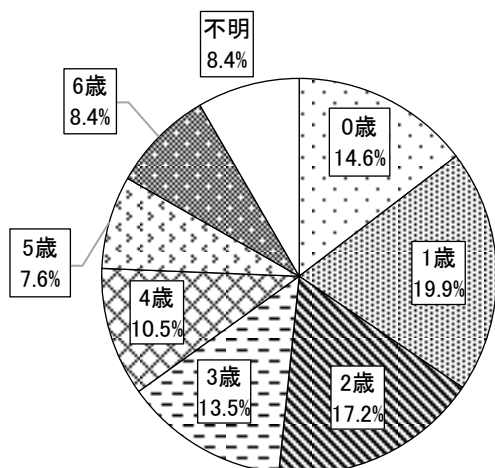


	項目名	回答数	割合
1	1人	286	35.0%
2	2人	353	43.2%
3	3人	128	15.7%
4	4人	25	3.1%
5	5人以上	7	0.9%
	不明	18	2.2%
	合計	817	100.0%

子どもの人数は「2人」が43.2%で最も多く、次いで「1人」が35.0%と続き、この2項目で全体の8割近くを占めている。

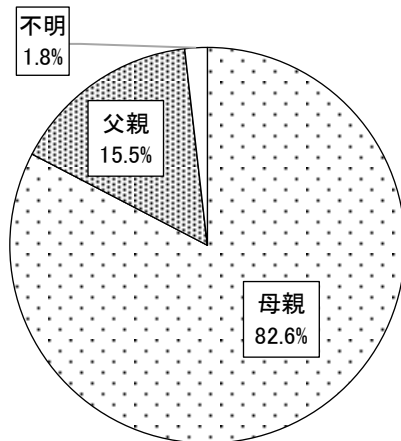
一方、「3人以上」（「3人」、「4人」、「5人以上」の合計）は19.7%となっている。

■ 末子の方の生年月



	項目名	回答数	割合
1	0歳	75	14.6%
2	1歳	102	19.9%
3	2歳	88	17.2%
4	3歳	69	13.5%
5	4歳	54	10.5%
6	5歳	39	7.6%
7	6歳	43	8.4%
	不明	43	8.4%
	合計	513	100.0%
	調査対象外	304	

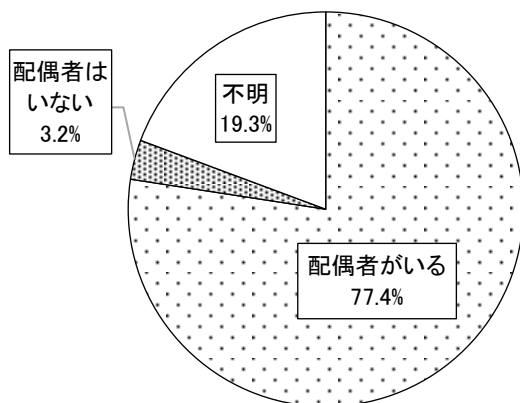
問4 (1) この調査票にご回答いただく方は、宛名のお子さんからみてどなたですか。あてはまる番号に○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	母親	675	82.6%
2	父親	127	15.5%
3	その他	-	-
	不明	15	1.8%
	合計	817	100.0%

(1) で「1 母親」または「2 父親」に○をつけた方にお伺いします。

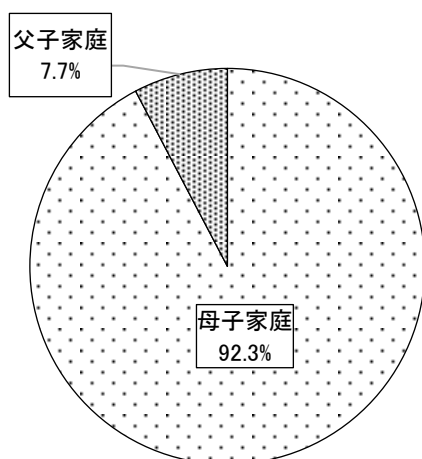
(2) 配偶者の有無についてもお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	配偶者がいる	621	77.4%
2	配偶者がいない	26	3.2%
	不明	155	19.3%
	合計	802	100.0%
	調査対象外	15	-

調査票の回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が77.4%となった一方、「配偶者がいない」は3.2%となっている。

■ 「2 配偶者がいない」と答えた方の母子/父子家庭区分

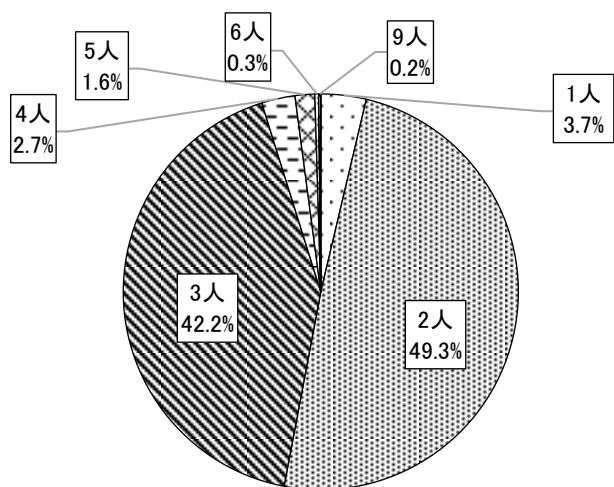


	項目名	回答数	割合
1	母子家庭	24	92.3%
2	父子家庭	2	7.7%
	合計	26	100.0%

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問4（2）で「1 配偶者がいる」に○をつけた方にお伺いします。

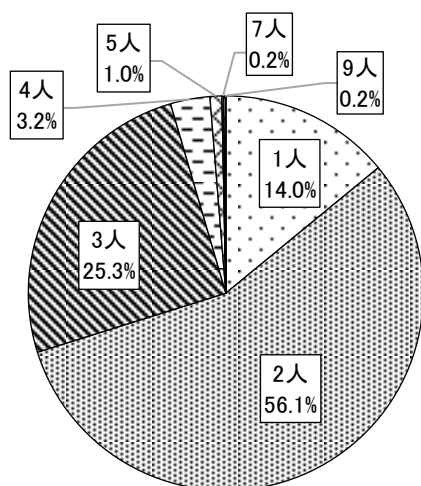
問5 あなた方（ご夫婦）の理想として全部で何人の子どもが欲しいと思いますか（思いましたか）。



	項目名	回答数	割合
1	1人	23	3.7%
2	2人	306	49.3%
3	3人	262	42.2%
4	4人	17	2.7%
5	5人	10	1.6%
6	6人	2	0.3%
7	7人	-	-
8	8人	-	-
9	9人	1	0.2%
10	10人以上	-	-
	合計	621	100.0%
	無回答	-	-
	調査対象者	621	
	調査対象外	196	

理想とする子どもの人数については、「2人」が49.3%で最も多く、次いで「3人」が42.2%で続き、この2項目がともに4割以上で特に多くなっている。また、「1人」については3.7%と1割未満の低い割合となっている。

問6 実際にもつつもりの子どもは全部で何人ですか。

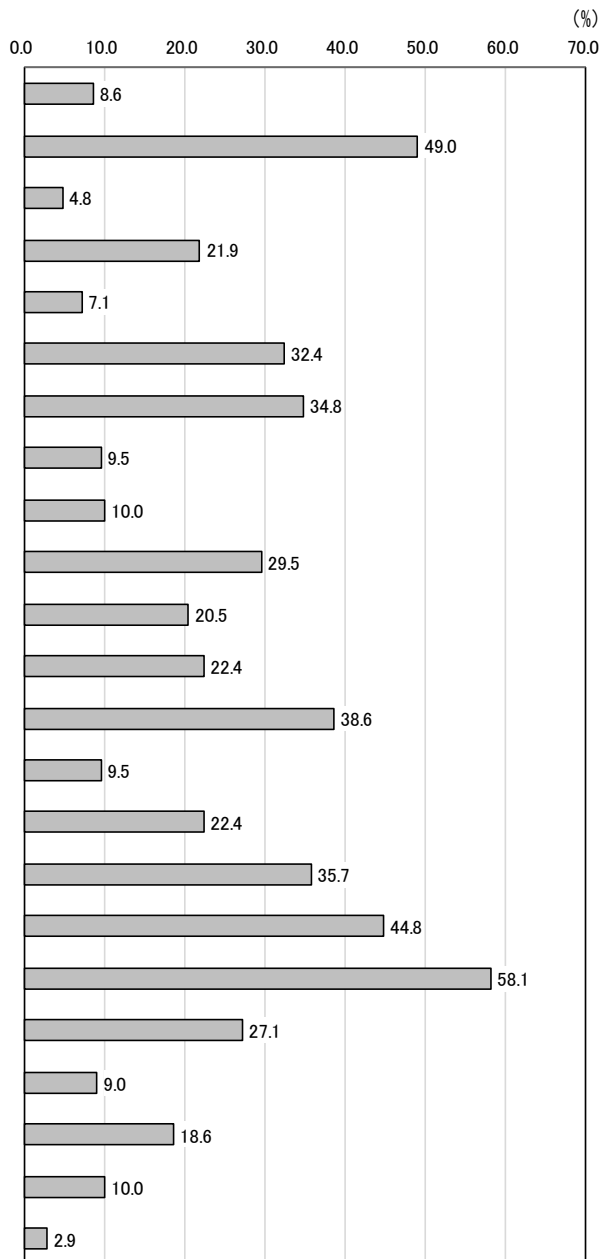


	項目名	回答数	割合
1	1人	87	14.0%
2	2人	348	56.1%
3	3人	157	25.3%
4	4人	20	3.2%
5	5人	6	1.0%
6	6人	-	-
7	7人	1	0.2%
8	8人	-	-
9	9人	1	0.2%
10	10人以上	-	-
	全体	620	100.0%
	無回答	1	-
	調査対象者	621	-
	調査対象外	196	-

実際にもつつもりの子どもの人数については、「2人」が56.1%と5割以上を占め最も多く、次いで「3人」が25.3%、「1人」が14.0%で続いている。

理想とする子どもの人数（問5）に比べて「1人」は10.3ポイント、「2人」は6.8ポイントとそれぞれ多くなっている一方、「3人」は16.9ポイント少なくなっている。

問7 問6で問5の数より少ない方にお伺いします。実際にもつつもりの子どもの人数が、理想とする子どもの人数より少ないのはどうしてですか。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

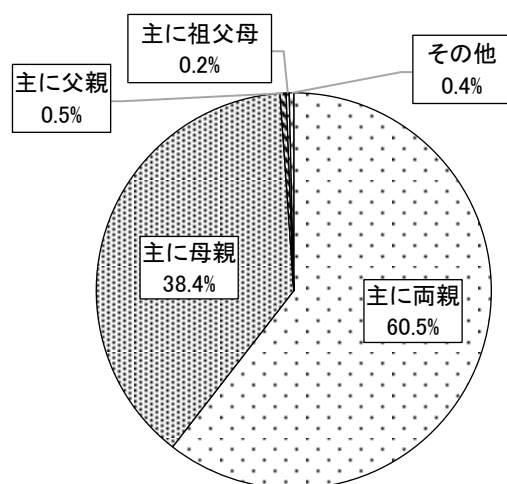


項目名	回答数	割合
1 仕事や趣味を優先したい	18	8.6%
2 仕事と子育ての両立が難しい	103	49.0%
3 職場の理解が得られない	10	4.8%
4 結婚するのが遅かった	46	21.9%
5 配偶者が子どもを欲しがらない	15	7.1%
6 妊娠・出産が精神的・肉体的に大変	68	32.4%
7 年齢的に妊娠・出産が難しい	73	34.8%
8 健康上の理由で妊娠・出産が難しい	20	9.5%
9 不妊治療にお金がかかる	21	10.0%
10 出産費用等の経済的負担が大きい	62	29.5%
11 子どもの医療費等の経済的負担が大きい	43	20.5%
12 育児休業制度等の保障が不十分	47	22.4%
13 子どもに対する手当等による経済的援助が不十分	81	38.6%
14 子どもの預け先がない	20	9.5%
15 保育所や幼稚園等にかかる経済的な負担が大きい	47	22.4%
16 義務教育にかかる経済的な負担が大きい	75	35.7%
17 高等学校教育にかかる経済的な負担が大きい	94	44.8%
18 大学教育にかかる経済的な負担が大きい	122	58.1%
19 育児が精神的・肉体的に大変	57	27.1%
20 子育てに対する配偶者の協力が少なく、負担が大きい	19	9.0%
21 育児の社会的支援体制が不十分	39	18.6%
22 居住する住宅が狭い	21	10.0%
23 その他	6	2.9%
合計(回答母数)	210	
無回答	4	
調査対象者	214	
調査対象外	603	

実際にもつつもりの子どもの人数が理想とする子どもの人数より少ない理由については、「大学教育にかかる経済的な負担が大きい」が58.1%で最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」(49.0%)と「高等学校教育に係る経済的な負担が大きい」(44.8%)がともに4割台、「子どもに対する手当等による経済的援助が不十分」(38.6%)、「義務教育にかかる経済的な負担が大きい」(35.7%)、「年齢的に妊娠・出産が難しい」(34.8%)、「妊娠・出産が精神的・肉体的に大変」(32.4%)がいずれも3割台で続いている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

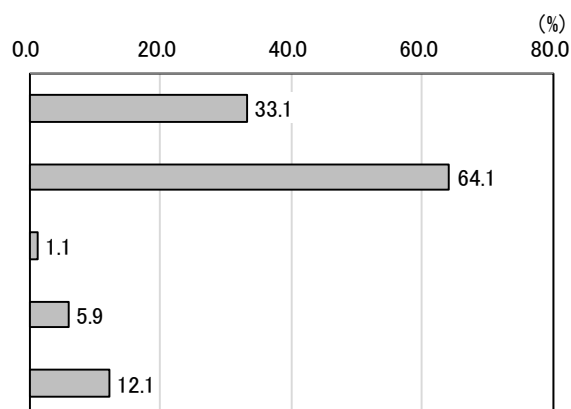


	項目名	回答数	割合
1	主に両親	489	60.5%
2	主に母親	310	38.4%
3	主に父親	4	0.5%
4	主に祖父母	2	0.2%
5	その他	3	0.4%
	合計	808	100.0%
	無回答	9	
	調査対象者	817	

子育て（教育を含む）を主に行っている方については、「主に両親」が60.5%で最も多く、次いで「主に母親」が38.4%で続き、その他の項目はいずれも1.0%未満と極めて少なくなっている。

子どもの育ちをめぐる環境についてお伺いします

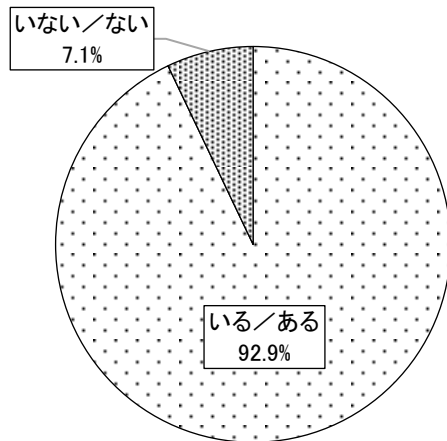
問9 宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	(日常的に) 祖父母等の親族	269	33.1%
2	(緊急時もしくは用事の際に) 祖父母等の親族	521	64.1%
3	(日常的に) 友人・知人	9	1.1%
4	(緊急時もしくは用事の際に) 友人・知人	48	5.9%
5	いない	98	12.1%
	合計(回答母数)	813	
	無回答	4	
	調査対象者	817	

子どもをみてもらえる親族・知人については、「(緊急時もしくは用事の際に) 祖父母等の親族」が64.1%で最も多く、次いで「(日常的に) 祖父母等の親族」が33.1%で続き、『友人・知人』（「(日常的に) 友人・知人」と「(緊急時もしくは用事の際に) 友人・知人」の合計）は7.0%となった。一方、「いない」は12.1%となっている。

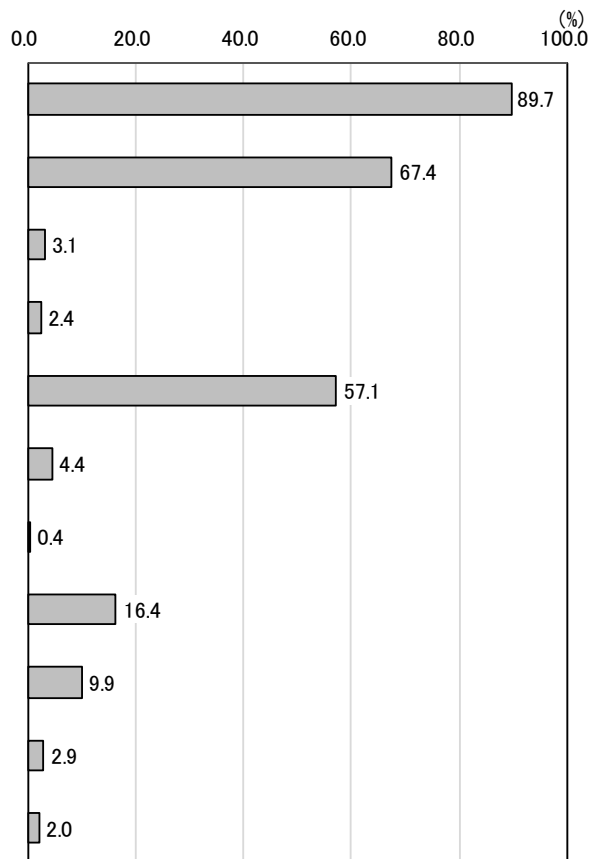
問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	いる／ある	747	92.9%
2	いない／ない	57	7.1%
	合計	804	100.0%
	無回答	13	
	調査対象者	817	

子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人や場所がある（ある）かについては、「いる／ある」が92.9%と、全体の9割以上を占めている。

問 10-1 問 10 で「1 いる／ある」に○をつけた方にお伺いします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

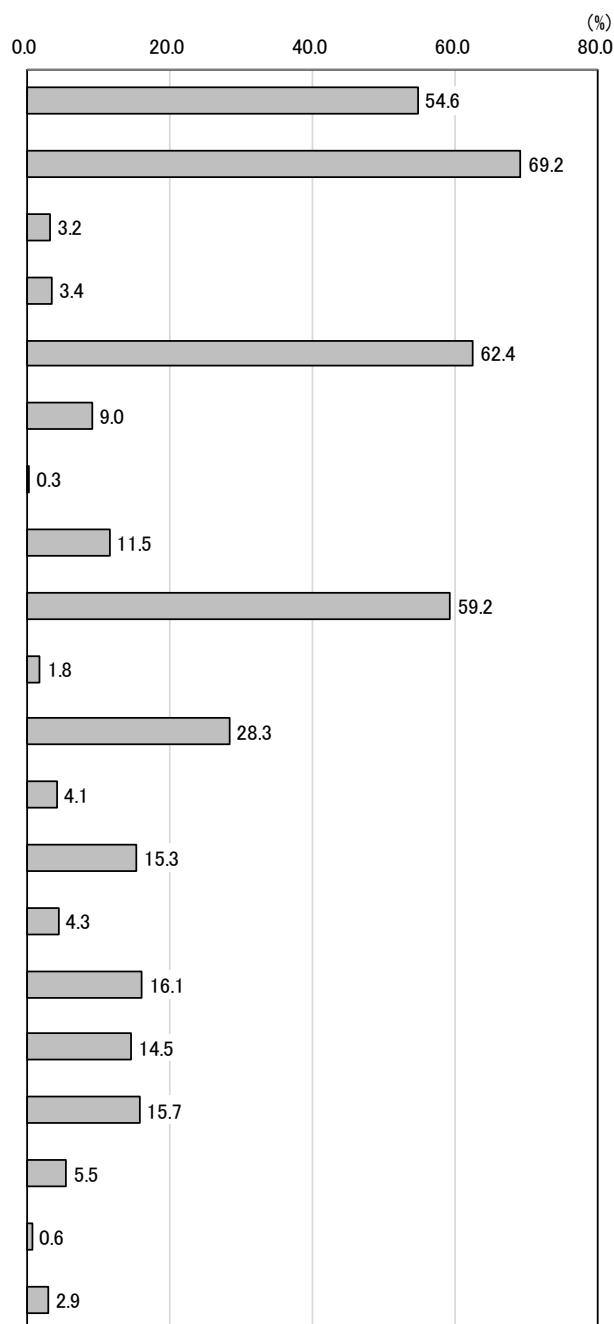


	項目名	回答数	割合
1	親族（親・きょうだいなど）	669	89.7%
2	友人や知人	503	67.4%
3	近所の人	23	3.1%
4	子育て支援団体（育児サークル、NPO等）	18	2.4%
5	幼稚園、保育所、認定こども園	426	57.1%
6	学校	33	4.4%
7	民生委員・児童委員	3	0.4%
8	かかりつけの医師	122	16.4%
9	インターネット	74	9.9%
10	市の子育て関連担当窓口	22	2.9%
11	その他	15	2.0%
	合計（回答母数）	746	
	無回答	1	
	調査対象者	747	
	調査対象外	70	

子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる先については、「親族（親・きょうだいなど）」が89.7%で最も多く、次いで「友人や知人」が67.4%、「幼稚園、保育所、認定こども園」が57.1%で続き、これら3項目が突出して多くなっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 11 子育てに関する情報をどこ（誰）から入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



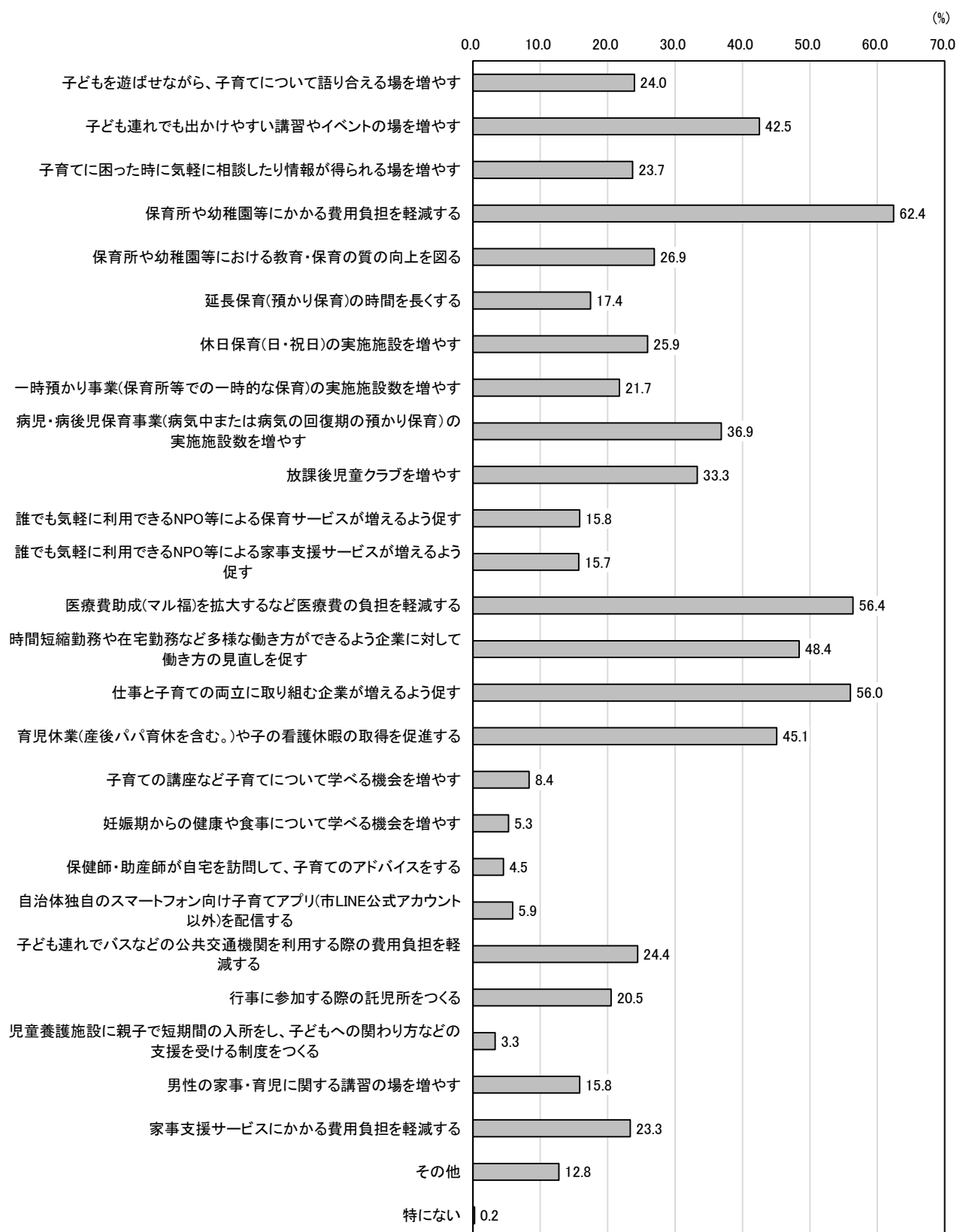
項目名	回答数	割合
1 親族(親・きょうだいなど)	429	54.6%
2 友人や知人	543	69.2%
3 近所の人	25	3.2%
4 子育て支援団体(育児サークル、NPO等)	27	3.4%
5 幼稚園、保育所、認定こども園	490	62.4%
6 学校	71	9.0%
7 民生委員・児童委員	2	0.3%
8 かかりつけの医師	90	11.5%
9 インターネット	465	59.2%
10 市の子育て関連担当窓口	14	1.8%
11 「広報あきた」など市の情報誌	222	28.3%
12 市ホームページ「子育て情報」	32	4.1%
13 市LINE公式アカウント「秋田市子育てLINE」	120	15.3%
14 市公式Instagram「秋田市子育て情報」	34	4.3%
15 テレビ、ラジオ、新聞	126	16.1%
16 子育て雑誌・育児書	114	14.5%
17 子育てアプリ	123	15.7%
18 コミュニティー誌	43	5.5%
19 情報の入手先がわからない	5	0.6%
20 その他	23	2.9%
合計(回答母数)	785	
無回答	32	
調査対象者	817	

子育てに関する情報をどこ（誰）から入手しているかについては、「友人や知人」の割合が69.2%で最も多く、次いで「幼稚園、保育所、認定こども園」が62.4%、「インターネット」が59.2%、「親族（親・きょうだいなど）」が54.6%で続き、これら4項目が突出して多くなっている。

問12 今後、どのような子育て支援策が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

	項目名	回答数	割合
1	子どもを遊ばせながら、子育てについて語り合える場を増やす	195	24.0%
2	子ども連れでも出かけやすい講習やイベントの場を増やす	346	42.5%
3	子育てに困った時に気軽に相談したり情報が得られる場を増やす	193	23.7%
4	保育所や幼稚園等にかかる費用負担を軽減する	508	62.4%
5	保育所や幼稚園等における教育・保育の質の向上を図る	219	26.9%
6	延長保育(預かり保育)の時間を長くする	142	17.4%
7	休日保育(日・祝日)の実施施設を増やす	211	25.9%
8	一時預かり事業(保育所等での一時的な保育)の実施施設数を増やす	177	21.7%
9	病児・病後児保育事業(病氣中または病氣の回復期の預かり保育)の実施施設数を増やす	300	36.9%
10	放課後児童クラブを増やす	271	33.3%
11	誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが増えるよう促す	129	15.8%
12	誰でも気軽に利用できるNPO等による家事支援サービスが増えるよう促す	128	15.7%
13	医療費助成(マル福)を拡大するなど医療費の負担を軽減する	459	56.4%
14	時間短縮勤務や在宅勤務など多様な働き方ができるよう企業に対して働き方の見直しを促す	394	48.4%
15	仕事と子育ての両立に取り組む企業が増えるよう促す	456	56.0%
16	育児休業(産後パパ育児休を含む。)や子の看護休暇の取得を促進する	367	45.1%
17	子育ての講座など子育てについて学べる機会を増やす	68	8.4%
18	妊娠期からの健康や食事について学べる機会を増やす	43	5.3%
19	保健師・助産師が自宅を訪問して、子育てのアドバイスをする	37	4.5%
20	自治体独自のスマートフォン向け子育てアプリ(市LINE公式アカウント以外)を配信する	48	5.9%
21	子ども連れでバスなどの公共交通機関を利用する際の費用負担を軽減する	199	24.4%
22	行事に参加する際の託児所をつくる	167	20.5%
23	児童養護施設に親子で短期間の入所をし、子どもへの関わり方などの支援を受ける制度をつくる	27	3.3%
24	男性の家事・育児に関する講習の場を増やす	129	15.8%
25	家事支援サービスにかかる費用負担を軽減する	190	23.3%
26	その他	104	12.8%
27	特にない	2	0.2%
	合計(回答母数)	814	
	無回答	3	
	調査対象者	817	

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

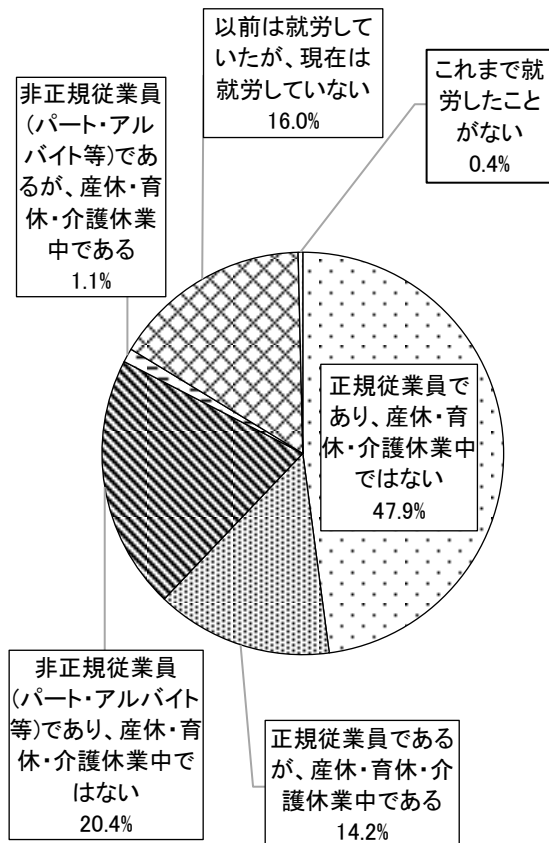


今後、どのような子育て支援策が必要だと思うかについては、「保育所や幼稚園等にかかる費用負担を軽減する」が62.4%で最も多く、次いで「医療費助成(マル福)を拡大するなど医療費の負担を軽減する」(56.4%)と「仕事と子育ての両立に取り組む企業が増えるよう促す」(56.0%)が5割台、「時間短縮勤務など多様な働き方ができるよう企業に対して働き方の見直しを促す」(48.4%)、「育児休業や子の看護休暇の取得を促進する」(45.1%)、「子ども連れでも出かけやすい講習やイベントの場を増やす」(42.5%)が4割台で続いている。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします

問 13 ～ 問 13-3 は、宛名のお子さんの母親の方の就労状況について、お伺いします。父子家庭等の場合は記入不要です。

問 13 現在の就労状況（自営業、家事従事者含む）について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。



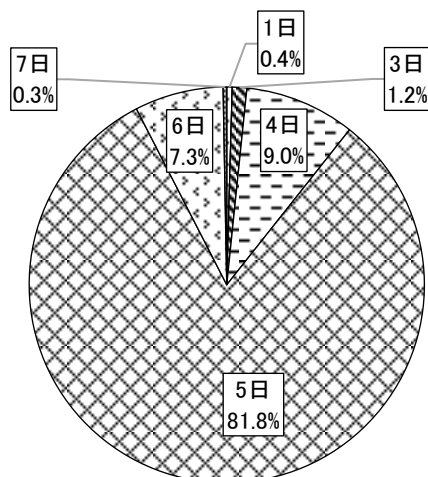
	項目名	回答数	割合
1	正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない	387	47.9%
2	正規従業員であるが、産休・育休・介護休業中である	115	14.2%
3	非正規従業員（パート・アルバイト等）であり、産休・育休・介護休業中ではない	165	20.4%
4	非正規従業員（パート・アルバイト等）であるが、産休・育休・介護休業中である	9	1.1%
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	129	16.0%
6	これまで就労したことがない	3	0.4%
	合計	808	100.0%
	無回答	7	
	調査対象者	815	
	調査対象外	2	

母親の現在の就労状況（自営業、家事従事者含む）については、「正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない」が 47.9% で最も多く、次いで「非正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない」が 20.4% で続き、これらを合わせた『現在就労している』は 68.3% と 7 割合近くとなっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 13-1 問 13 で「1～4」（就労している）に○をつけた方にお伺いします。1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」について、□内に数字でご記入ください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについて、ご回答ください。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください）

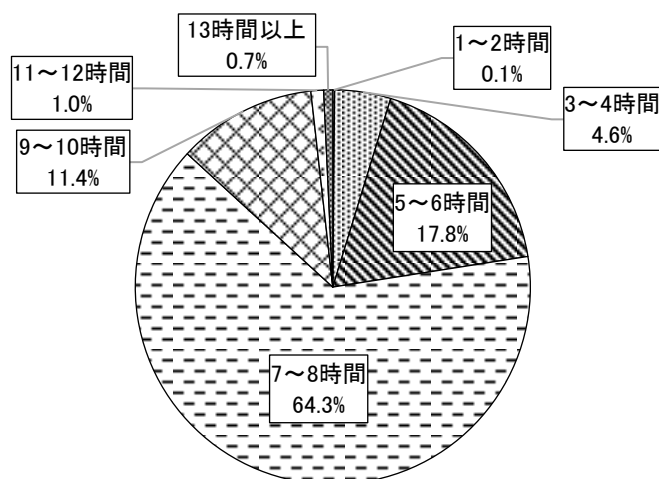
■ 1 週当たりの就労日数



	項目名	回答数	割合
1	1日	3	0.4%
2	2日	-	
3	3日	8	1.2%
4	4日	61	9.0%
5	5日	552	81.8%
6	6日	49	7.3%
7	7日	2	0.3%
	合計	675	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

就労している母親の 1 週当たりの就労日数については、「5 日」が 81.8% で最も多く、次いで「4 日」（9.0%）と「6 日」（7.3%）が 1 割未満で続いている。

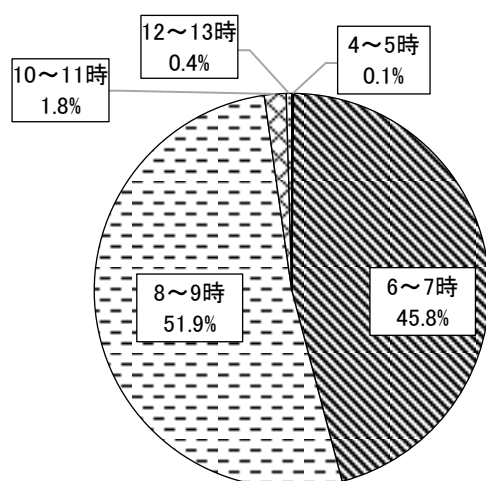
■ 1 日当たりの就労時間



	項目名	回答数	割合
1	1～2時間	1	0.1%
2	3～4時間	31	4.6%
3	5～6時間	120	17.8%
4	7～8時間	434	64.3%
5	9～10時間	77	11.4%
6	11～12時間	7	1.0%
7	13時間以上	5	0.7%
	合計	675	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

就労している母親の 1 日当たりの就労時間については、「7～8 時間」が 64.3% で最も多く、次いで「5～6 時間」（17.8%）と「9～10 時間」（11.4%）が 1 割台で続いている。

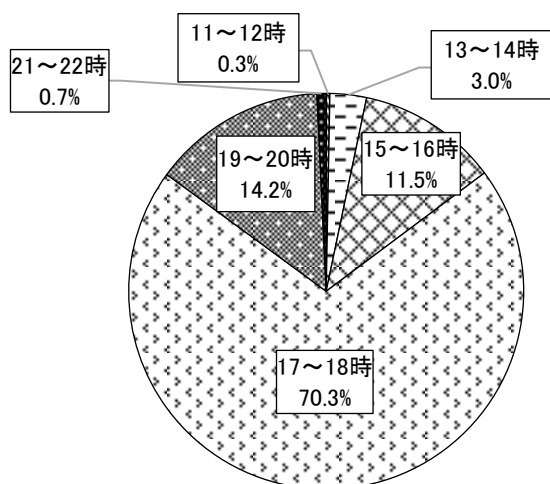
■ 家を出る時間



	項目名	回答数	割合
1	1～3時	－	
2	4～5時	1	0.1%
3	6～7時	307	45.8%
4	8～9時	348	51.9%
5	10～11時	12	1.8%
6	12～13時	3	0.4%
7	14～15時	－	
8	16～17時	－	
9	18～19時	－	
10	20～24時	－	
	合計	671	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

就労している母親の家を出る時間については、「8～9時」が51.9%で最も多く、次いで「6～7時」が45.8%で続き、その他の項目はいずれも1.0%台から1.0%未満と極めて少なくなっている。

■ 帰宅時間

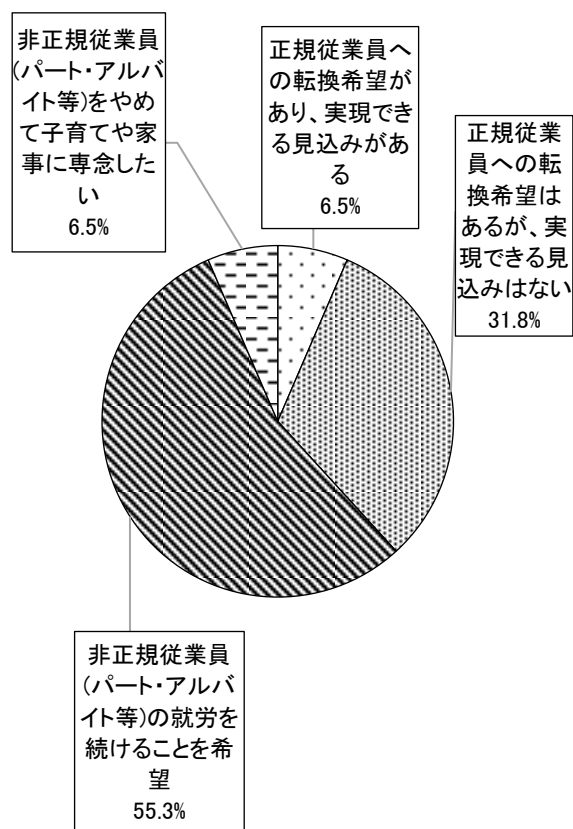


	項目名	回答数	割合
1	1～8時	－	
2	9～10時	－	
3	11～12時	2	0.3%
4	13～14時	20	3.0%
5	15～16時	77	11.5%
6	17～18時	470	70.3%
7	19～20時	95	14.2%
8	21～22時	5	0.7%
9	23～24時	－	
	合計	669	100.0%
	無回答	7	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

就労している母親の帰宅時間については、「17～18時」が70.3%で最も多く、次いで「19～20時」(14.2%)と「15～16時」(11.5%)が1割台で続いている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 13-2 問 13 で「3 または 4」非正規従業員（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にお伺いします。正規従業員への転換希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

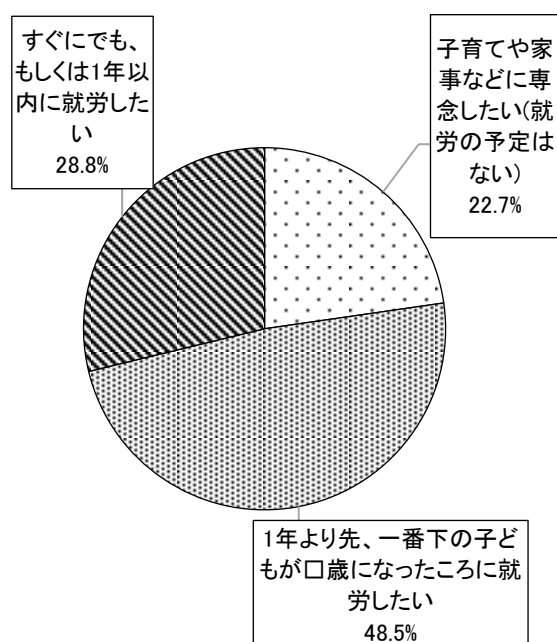


	項目名	回答数	割合
1	正規従業員への転換希望があり、実現できる見込みがある	11	6.5%
2	正規従業員への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	54	31.8%
3	非正規従業員（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望	94	55.3%
4	非正規従業員（パート・アルバイト等）をやめて子育てや家事に専念したい	11	6.5%
	合計	170	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	174	
	調査対象外	643	

非正規従業員として就労している母親の正規従業員への転換希望については、「非正規従業員の就労を続けることを希望」が 55.3% で最も多く、次いで「正規従業員への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 31.8% で続き、「正規従業員への転換希望があり、実現できる見込みがある」と「非正規従業員をやめて子育てや家事に専念したい」はともに 6.5% と 1 割未満となっている。

問 13-3 問 13 で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

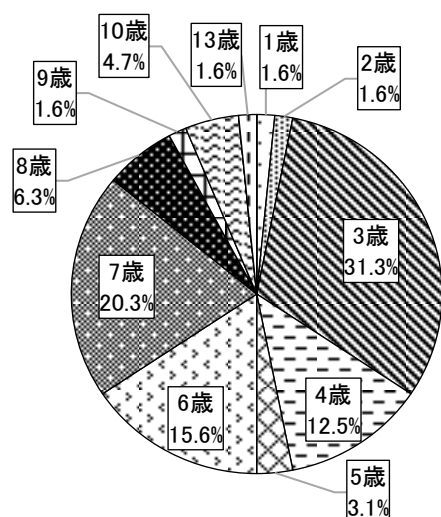
■ 就労希望の有無



	項目名	回答数	割合
1	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	30	22.7%
2	1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい	64	48.5%
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	38	28.8%
	合計	132	100.0%
	無回答	-	
	調査対象者	132	
	調査対象外	685	

現在就労していない母親の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」が48.5%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が28.8%、「子育てや家事などに専念したい」が22.7%で続いている。

■ 「2」と回答の場合、就労する時の末子の年齢

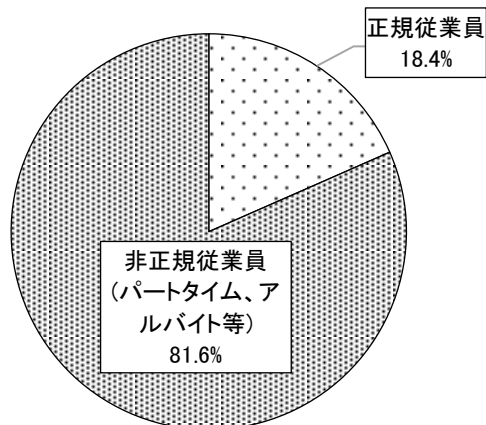


現在就労していない母親が就労を希望するときの末子の年齢については、「3歳」が31.3%で最も多く、次いで「7歳」が20.3%、「6歳」が15.6%、「4歳」が12.5%となっている。

	項目名	回答数	割合
1	1歳	1	1.6%
2	2歳	1	1.6%
3	3歳	20	31.3%
4	4歳	8	12.5%
5	5歳	2	3.1%
6	6歳	10	15.6%
7	7歳	13	20.3%
8	8歳	4	6.3%
9	9歳	1	1.6%
10	10歳	3	4.7%
11	11歳	-	-
12	12歳	-	-
13	13歳	1	1.6%
14	14歳	-	-
15	15歳以上	-	-
	合計	64	100.0%
	無回答	-	-
	調査対象者	64	-
	調査対象外	753	-

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

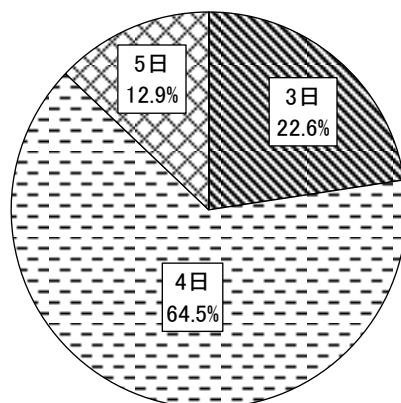
■ 「3」と回答の場合、希望する就労形態



	項目名	回答数	割合
ア	正規従業員	7	18.4%
イ	非正規従業員 (パートタイム、 アルバイト等)	31	81.6%
	合計	38	100.0%
	無回答	—	
	調査対象者	38	
	調査対象外	779	

現在就労していないが近いうちに就労することを希望している母親が希望する就労形態については、「非正規従業員」が 81.6%と 8 割以上を占め最も多く、「正規従業員」は 18.4%となっている。

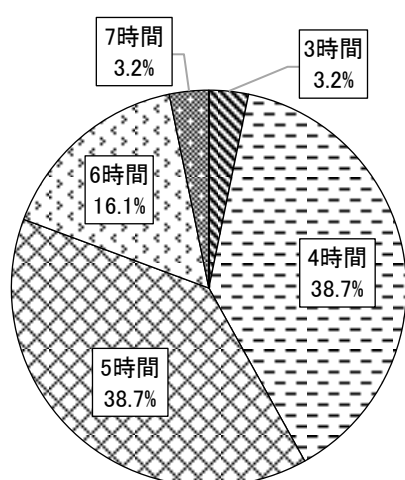
■ 「イ」と回答の場合、希望する 1 週間当たり就労日数



	項目名	回答数	割合
1	1日	—	
2	2日	—	
3	3日	7	22.6%
4	4日	20	64.5%
5	5日	4	12.9%
6	6日	—	
7	7日	—	
	合計	31	100.0%
	無回答	—	
	調査対象者	31	
	調査対象外	786	

現在就労していないが近いうちに「非正規従業員」として就労することを希望している母親が希望する 1 週間当たり就労日数については、「4日」が 64.5%で最も多く、次いで「3日」が 22.6%、「5日」が 12.9%となっている。

■ 「イ」と回答の場合、希望する1日当たり就労時間

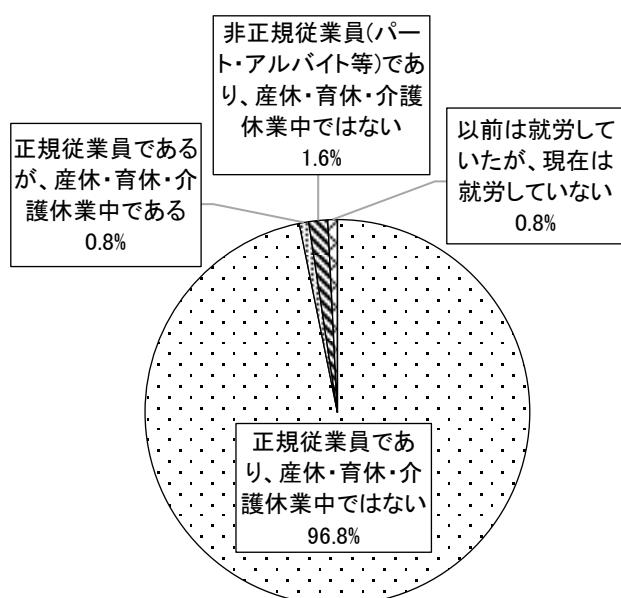


	項目名	回答数	割合
1	1時間	－	
2	2時間	－	
3	3時間	1	3.2%
4	4時間	12	38.7%
5	5時間	12	38.7%
6	6時間	5	16.1%
7	7時間	1	3.2%
8	8時間	－	
9	9時間	－	
10	10時間以上	－	
	合計	31	100.0%
	無回答	－	
	調査対象者	31	
	調査対象外	786	

現在就労していないが近いうちに「非正規従業員」として就労することを希望している母親が希望する1日当たり就労時間については、「4時間」と「5時間」がともに38.7%で最も多く、次いで「6時間」が16.1%で続き、「3時間」と「7時間」はともに1割未満と少なくなっている。

問14～問14-3は、宛名のお子さんの父親の方の就労状況について、お伺いします。母子家庭等の場合は記入不要です。

問14 現在の就労状況（自営業、家事従事者含む）について、あてはまる番号1つに○をつけてください。



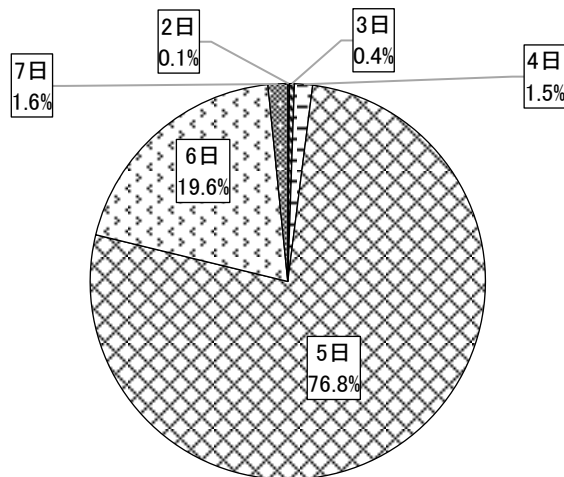
父親の現在の就労状況（自営業、家事従事者含む）については、「正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない」が96.8%と9割以上を占め最も多く、その他の項目はいずれも1.0%台から1.0%未満と極めて少なくなっている。

	項目名	回答数	割合
1	正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない	729	96.8%
2	正規従業員であるが、産休・育休・介護休業中である	6	0.8%
3	非正規従業員（パート・アルバイト等）であり、産休・育休・介護休業中ではない	12	1.6%
4	非正規従業員（パート・アルバイト等）であるが、産休・育休・介護休業中である	－	
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	6	0.8%
6	これまで就労したことがない	－	
	合計	753	100.0%
	無回答	40	
	調査対象者	793	
	調査対象外	24	

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 14-1 問 14 で「1～4」（就労している）に○をつけた方にお伺いします。1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」について、□内に数字でご記入ください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについて、ご回答ください。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください）

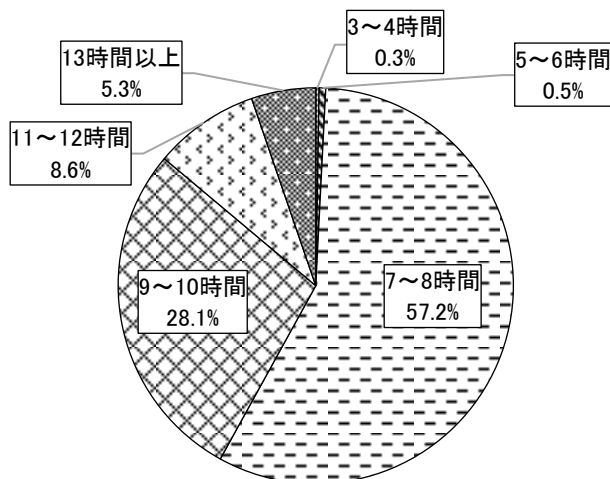
■ 1 週当たりの就労日数



	項目名	回答数	割合
1	1日	-	
2	2日	1	0.1%
3	3日	3	0.4%
4	4日	11	1.5%
5	5日	572	76.8%
6	6日	146	19.6%
7	7日	12	1.6%
	合計	745	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	747	
	調査対象外	70	

就労している父親の1 週当たりの就労日数については、「5 日」が 76.8%で最も多くなっており、次いで「6 日」が 19.6%で続き、この2 項目で全体の9 割以上を占めている。

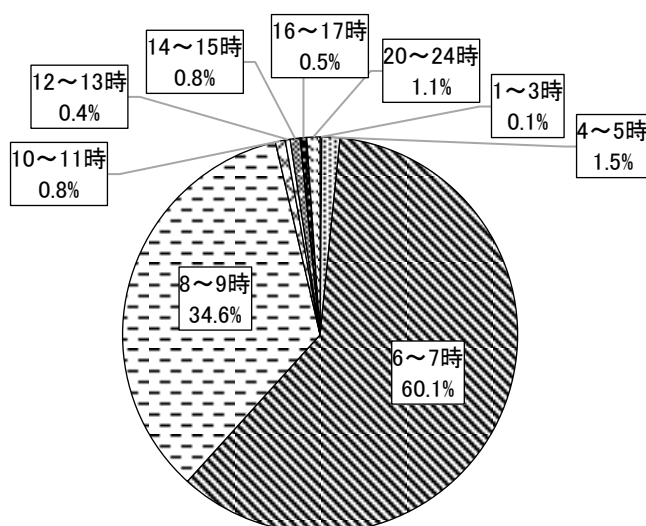
■ 1 日当たりの就労時間



	項目名	回答数	割合
1	1～2時間	-	
2	3～4時間	2	0.3%
3	5～6時間	4	0.5%
4	7～8時間	424	57.2%
5	9～10時間	208	28.1%
6	11～12時間	64	8.6%
7	13時間以上	39	5.3%
	合計	741	100.0%
	無回答	6	
	調査対象者	747	
	調査対象外	70	

就労している父親の1 日当たりの就労時間については、「7～8 時間」が 57.2%で最も多く、次いで「9～10 時間」が 28.1%、「11～12 時間」が 8.6%、「13 時間以上」が 5.3%で続いている。

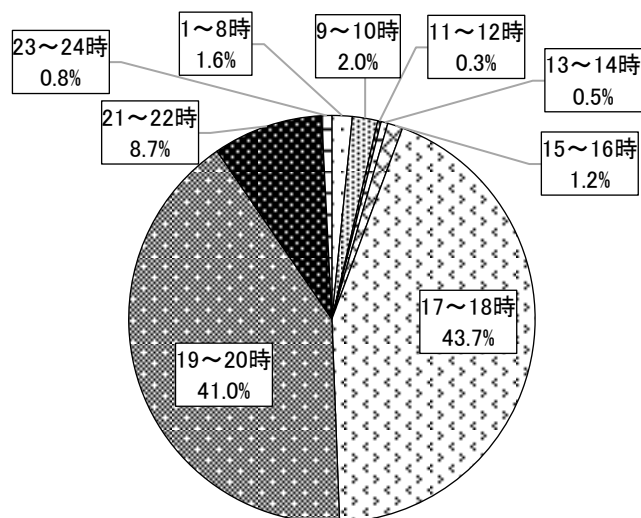
■ 家を出る時間



	項目名	回答数	割合
1	1～3時	1	0.1%
2	4～5時	11	1.5%
3	6～7時	446	60.1%
4	8～9時	257	34.6%
5	10～11時	6	0.8%
6	12～13時	3	0.4%
7	14～15時	6	0.8%
8	16～17時	4	0.5%
9	18～19時	-	
10	20～24時	8	1.1%
	合計	742	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	747	
	調査対象外	70	

就労している父親の家を出る時間については、「6～7時」が60.1%で最も多く、次いで「8～9時」が34.6%で続き、その他の項目はいずれも1.0%台から1.0%未満と極めて少なくなっている。

■ 帰宅時間

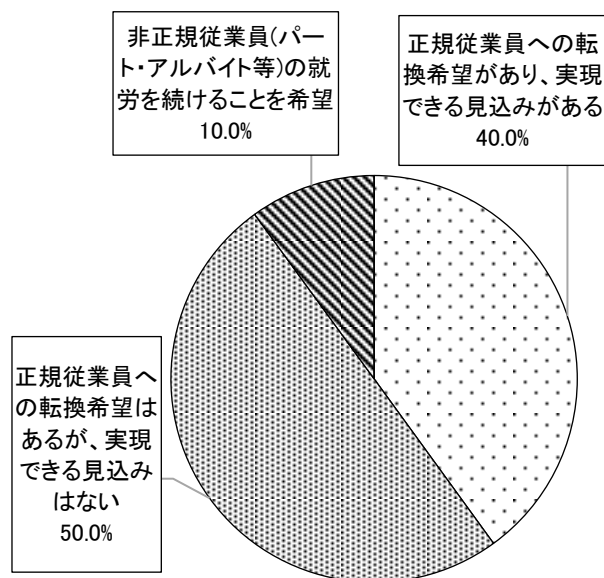


	項目名	回答数	割合
1	1～8時	12	1.6%
2	9～10時	15	2.0%
3	11～12時	2	0.3%
4	13～14時	4	0.5%
5	15～16時	9	1.2%
6	17～18時	325	43.7%
7	19～20時	305	41.0%
8	21～22時	65	8.7%
9	23～24時	6	0.8%
	合計	743	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	747	
	調査対象外	70	

就労している父親の帰宅時間については、「17～18時」が43.7%で最も多く、次いで「19～20時」が41.0%と僅差で続き、これに「21～22時」が8.7%が続いている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 14-2 問 14 で「3 または 4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にお伺いします。正規従業員への転換希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

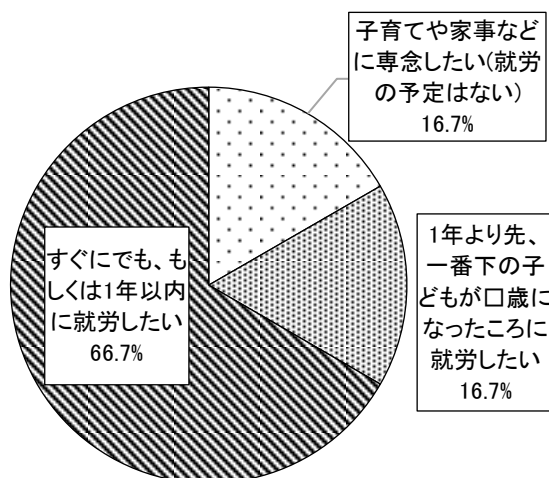


非正規従業員として就労している父親の正規従業員への転換希望については、「正規従業員への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 50.0% で最も多く、次いで「正規従業員への転換希望があり、実現できる見込みがある」が 40.0%、「非正規従業員の就労を続けることを希望」が 10.0% で続いている。

	項目名	回答数	割合
1	正規従業員への転換希望があり、実現できる見込みがある	4	40.0%
2	正規従業員への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	5	50.0%
3	非正規従業員(パート・アルバイト等)の就労を続けることを希望	1	10.0%
4	非正規従業員(パート・アルバイト等)をやめて子育てや家事に専念したい	-	-
	合計	10	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	12	
	調査対象外	805	

問 14-3 問 14 で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

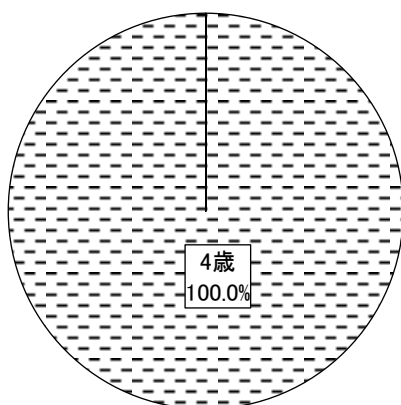
■ 就労希望の有無



	項目名	回答数	割合
1	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1	16.7%
2	1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい	1	16.7%
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	4	66.7%
	合計	6	100.0%
	無回答	-	-
	調査対象者	6	-
	調査対象外	811	-

現在就労していない父親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 66.7% で最も多くなっている。

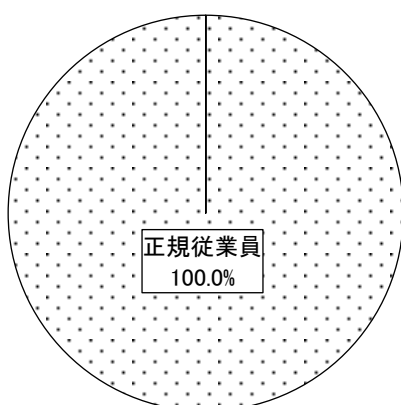
■ 「2」と回答の場合、就労する時の末子の年齢



現在就労していない父親が就労を希望するときの末子の年齢については、「4歳」が100.0%となっている。

	項目名	回答数	割合
1	1歳	－	
2	2歳	－	
3	3歳	－	
4	4歳	1	100.0%
5	5歳	－	
6	6歳	－	
7	7歳	－	
8	8歳	－	
9	9歳	－	
10	10歳	－	
11	11歳	－	
12	12歳	－	
13	13歳	－	
14	14歳	－	
15	15歳以上	－	
	合計	1	100.0%
	無回答	－	
	調査対象者	1	
	調査対象外	816	

■ 「3」と回答の場合、希望する就労形態

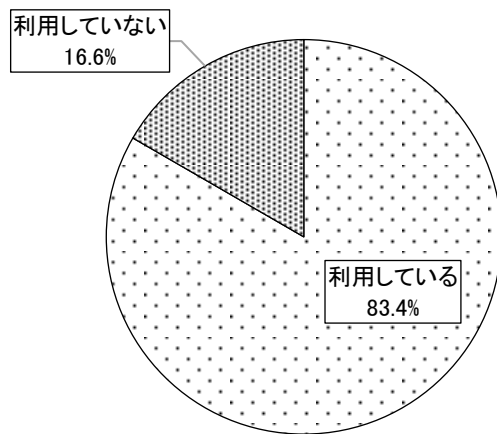


現在就労していないが近いうちに就労することを希望している父親が希望する就労形態については、「正規従業員」が100.0%となっている。

	項目名	回答数	割合
ア	正規従業員	4	100.0%
イ	非正規従業員 (パートタイム、 アルバイト等)	－	
	合計	4	100.0%
	無回答	－	
	調査対象者	4	
	調査対象外	813	

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてお伺いします

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

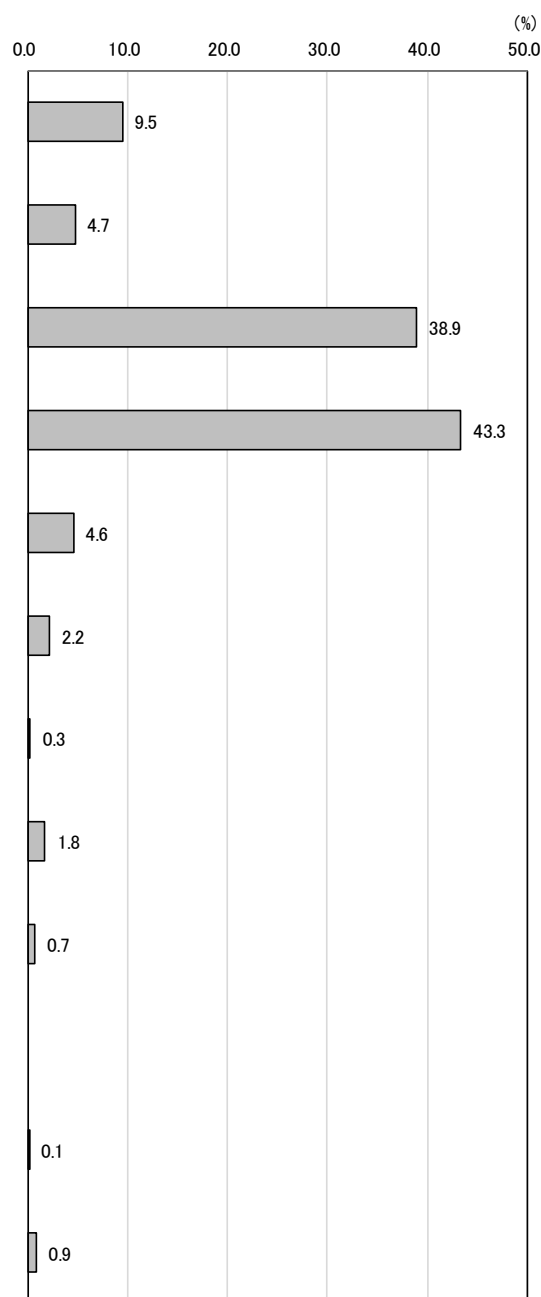


	項目名	回答数	割合
1	利用している	676	83.4%
2	利用していない	135	16.6%
	合計	811	100.0%
	無回答	6	
	調査対象者	817	

子どもが「定期的な教育・保育の事業」を利用しているかについては、「利用している」が83.4%と8割以上を占めた一方、「利用していない」は16.0%となっている。

問 15-1 ～ 問 15-6 は、問 15 で「1 利用している」に○をつけた方にお伺いします。

問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

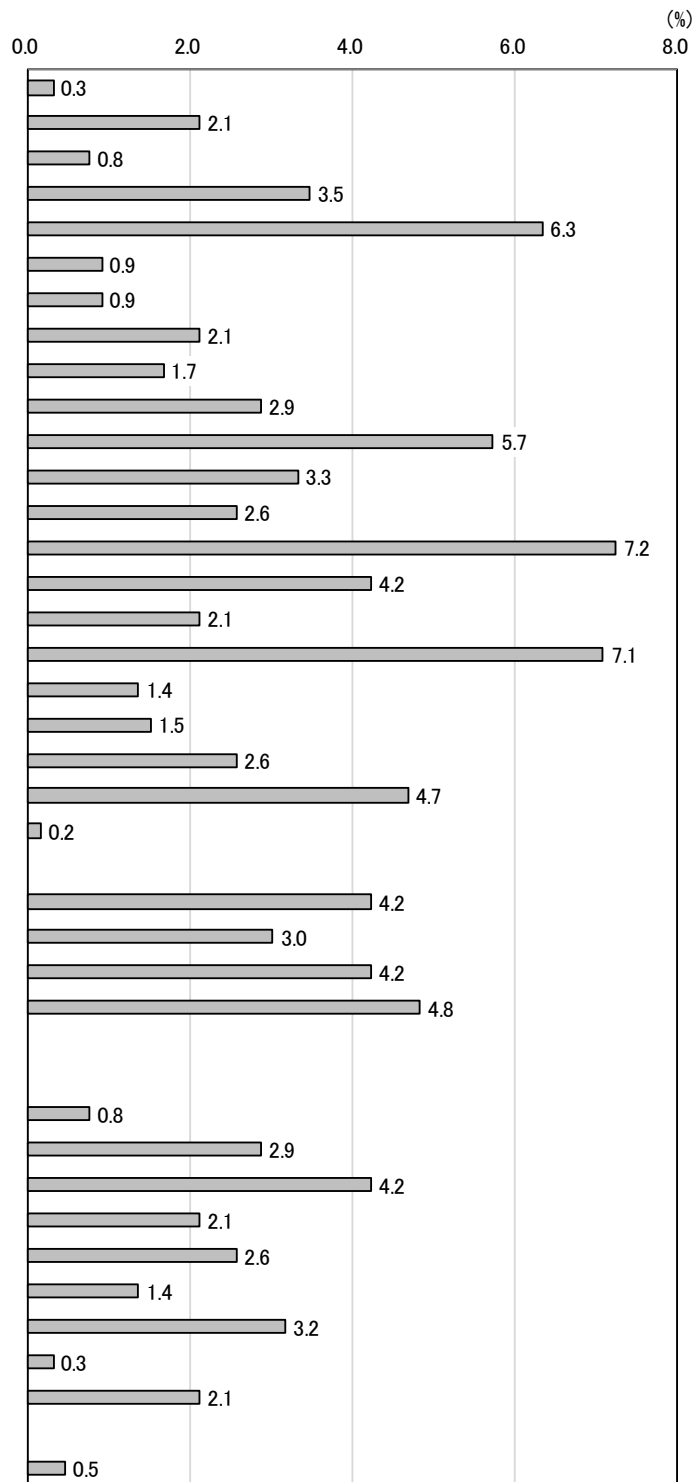


	項目名	回答数	割合
1	幼稚園 (通常) の教育時間の利用	64	9.5%
2	幼稚園の預かり保育 (通常) の教育時間の前後に預かる事業のうち定期的な利用のみ)	32	4.7%
3	認可保育所 (秋田市の認可を受けた定員20人以上の施設)	263	38.9%
4	認定こども園 (幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持つ施設)	293	43.3%
5	認定こども園 (1号) の預かり保育 (通常) の教育時間の前後に預かる事業のうち定期的な利用のみ)	31	4.6%
6	小規模保育事業 (秋田市の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの (対象児童年齢0～2歳))	15	2.2%
7	事業所内保育事業 (秋田市の認可を受けた施設で、実施する法人の従業員のお子さんと一緒に、地域の0から2歳までの保育を必要とする児童を預かる施設)	2	0.3%
8	企業主導型保育事業 (実施する法人の従業員のお子さんを預かる施設で、地域枠が設定されている場合は地域の保育を必要とする児童の利用が可能)	12	1.8%
9	認可外保育施設・幼稚園	5	0.7%
10	ベビーシッター	—	
11	ファミリー・サポート・センター (会員制の地域住民が子どもを預かる事業)	1	0.1%
12	その他	6	0.9%
	合計 (回答母数)	676	
	無回答	—	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

子どもが平日に、年間を通じて「定期的に」利用している教育・保育の事業については、「認定こども園」が43.3%で最も多く、次いで「認可保育所」が38.9%で続き、この2項目が突出して多くなっている。その他の項目については「幼稚園」が9.5%、「幼稚園の預かり保育」が4.7%、「認定こども園 (1号) の預かり保育」が4.6%などとなっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 15-2 宛名のお子さんは、平日どこの地区で教育・保育の事業を利用していますか。平日最も「定期的に」利用している地区としてあてはまる番号1つに○をつけてください。

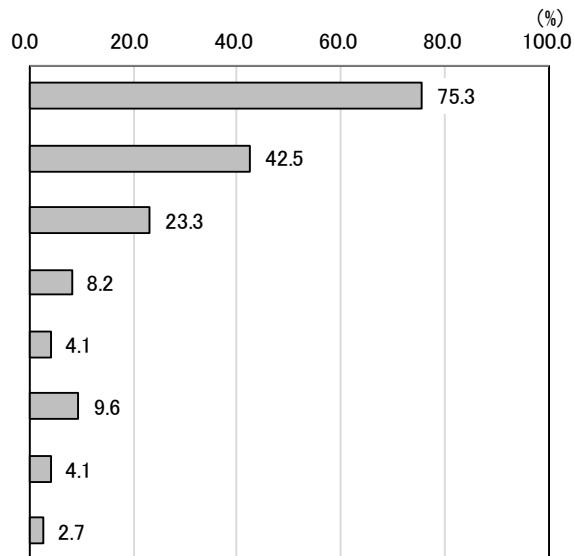


項目名	回答数	割合
1 金足西	2	0.3%
2 港北	14	2.1%
3 下新城	5	0.8%
4 飯島	23	3.5%
5 土崎	42	6.3%
6 土崎南	6	0.9%
7 高清水	6	0.9%
8 寺内	14	2.1%
9 飯島南	11	1.7%
10 外旭川	19	2.9%
11 泉	38	5.7%
12 八橋	22	3.3%
13 旭北	17	2.6%
14 川尻	48	7.2%
15 築山	28	4.2%
16 中通	14	2.1%
17 保戸野	47	7.1%
18 明德	9	1.4%
19 旭南	10	1.5%
20 旭川	17	2.6%
21 広面	31	4.7%
22 下北手	1	0.2%
23 太平	-	-
24 東	28	4.2%
25 桜	20	3.0%
26 日新	28	4.2%
27 勝平	32	4.8%
28 豊岩	-	-
29 浜田	-	-
30 下浜	5	0.8%
31 御所野	19	2.9%
32 仁井田	28	4.2%
33 四ツ小屋	14	2.1%
34 牛島	17	2.6%
35 上北手	9	1.4%
36 大住	21	3.2%
37 岩見三内	2	0.3%
38 河辺	14	2.1%
39 戸島	-	-
40 雄和	3	0.5%
合計	664	100.0%
無回答	12	
調査対象者	676	
調査対象外	141	

子どもが平日どこの地区で教育・保育の事業を利用しているかについては、「川尻」が7.2%で最も多く、次いで「保戸野」が7.1%と僅差で続き、以下は「土崎」(6.3%)、「泉」(5.7%)、「勝平」(4.8%)、「広面」(4.7%)が続いている。

問 15-3 問 15-1 で「1 幼稚園」から「8 企業主導型保育事業」までに○を付けた方にお伺いします。「定期的に」利用している理由をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

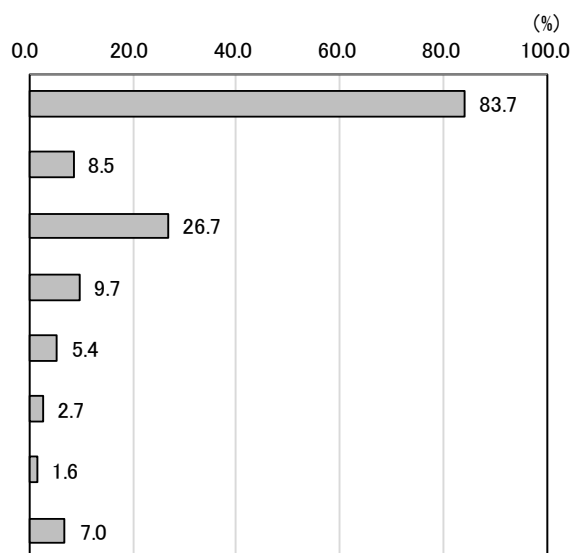
(1) 「1 幼稚園」、「2 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方



項目名	回答数	割合
1 自宅や職場の近くにある等立地が便利だから	55	75.3%
2 幼児教育が重要だと思うから	31	42.5%
3 伝統、園舎、教育方針等に特色があるから	17	23.3%
4 就労しているが、送り迎え等対応してくれる人がいるから	6	8.2%
5 第一希望の保育所や認定こども園に入れなかったから	3	4.1%
6 親が卒園生だから	7	9.6%
7 特に理由はない	3	4.1%
8 その他	2	2.7%
合計(回答母数)	73	
無回答	1	
調査対象者	74	
調査対象外	743	

「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」を定期的に利用する理由については、「自宅や職場の近くにある等立地が便利だから」が75.3%で最も多く、次いで「幼児教育が重要だと思うから」が42.5%、「伝統、園舎、教育方針等に特色があるから」が23.3%で続いている。

(2) 「3 認可保育所」に○をつけた方

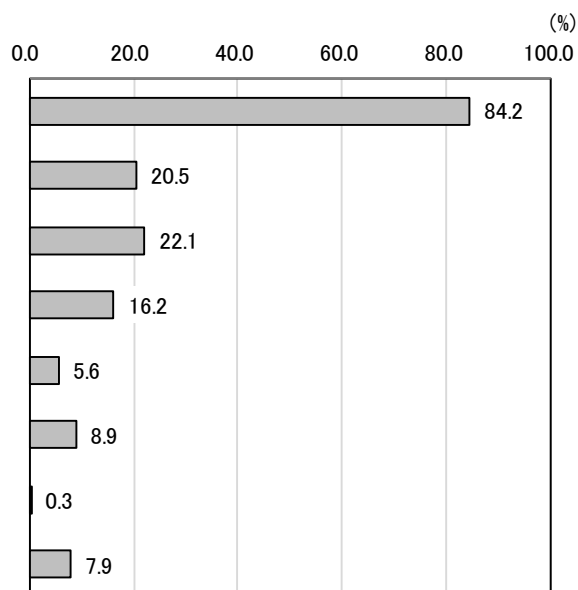


項目名	回答数	割合
1 自宅や職場の近くにある等立地が便利だから	216	83.7%
2 幼児教育が重要だと思うから	22	8.5%
3 就労していて他に選択肢がなかったから	69	26.7%
4 伝統、園舎、保育方針等に特色があるから	25	9.7%
5 第一希望の認定こども園や幼稚園に入れなかったから	14	5.4%
6 親が卒園生だから	7	2.7%
7 特に理由はない	4	1.6%
8 その他	18	7.0%
合計(回答母数)	258	
無回答	5	
調査対象者	263	
調査対象外	554	

「認可保育所」を定期的に利用する理由については、「自宅や職場の近くにある等立地が便利だから」が83.7%で突出して多くなっており、次いで「就労していて他に選択肢がなかったから」が26.7%で続いている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

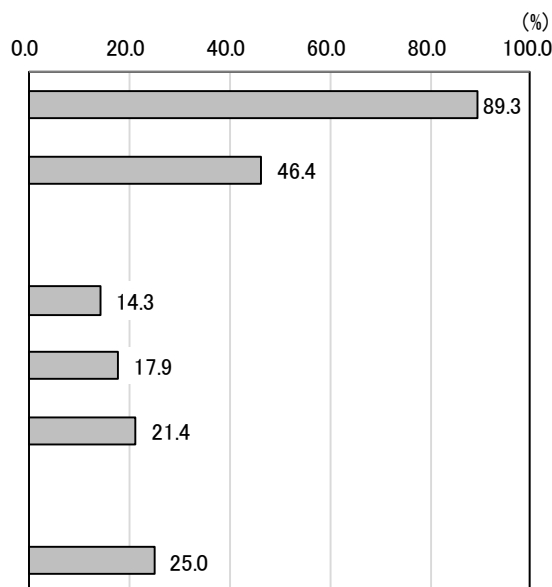
(3) 「4 認定こども園」、「5 認定こども園（1号）の預かり保育」に○をつけた方



項目名	回答数	割合
1 自宅や職場の近くにある等立地が便利だから	255	84.2%
2 幼児教育が重要だと思うから	62	20.5%
3 保育所と幼稚園を併せ持つ施設だから	67	22.1%
4 伝統、園舎、保育方針等に特色があるから	49	16.2%
5 第一希望の保育所や幼稚園に入れなかったから	17	5.6%
6 親が卒園生だから	27	8.9%
7 特に理由はない	1	0.3%
8 その他	24	7.9%
合計(回答母数)	303	
無回答	5	
調査対象者	308	
調査対象外	509	

「認定こども園」、「認定こども園（1号）の預かり保育」を定期的に利用する理由については、「自宅や職場の近くにある等立地が便利だから」が84.2%で突出して多くっており、次いで「保育所と幼稚園を併せ持つ施設だから」（22.1%）と「幼児教育が重要だと思うから」（20.5%）がともに2割台で続いている。

(4) 「6 小規模保育事業」「7 事業所内保育事業」「8 企業主導型保育事業」に○をつけた方

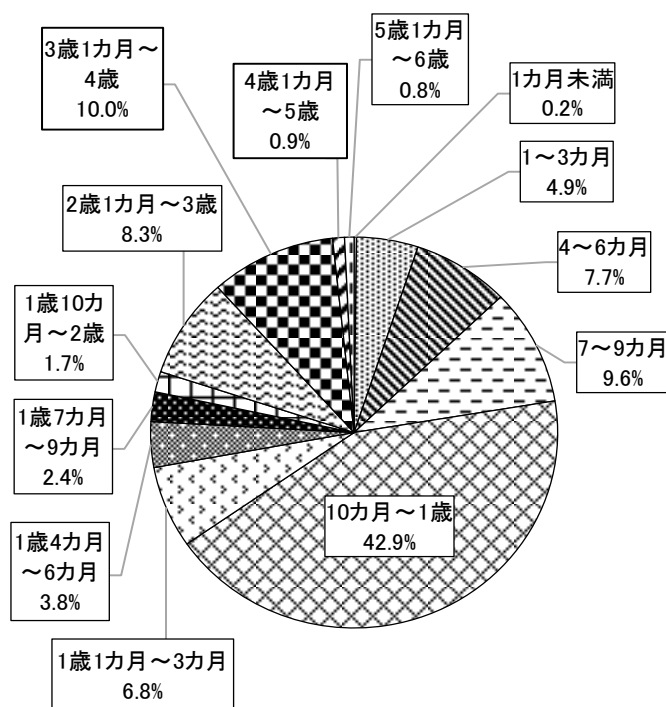


項目名	回答数	割合
1 自宅や職場の近くにある等立地が便利だから	25	89.3%
2 少人数で保育してくれるから	13	46.4%
3 未満児だけで保育してくれるから	-	
4 家庭での保育に雰囲気に近いから	4	14.3%
5 第一希望の保育所や認定こども園に入れなかったから	5	17.9%
6 企業からの福利厚生面(保育料の助成など)で厚遇が受けられるから	6	21.4%
7 特に理由はない	-	
8 その他	7	25.0%
合計(回答母数)	28	
無回答	1	
調査対象者	29	
調査対象外	788	

「小規模保育事業」「事業所内保育事業」「企業主導型保育事業」を定期的に利用する理由については、「自宅や職場の近くにある等立地が便利だから」が89.3%で突出して多く、次いで「少人数で保育してくれるから」が46.4%で続いている。

問 15-4 問 15-1 で「3 認可保育所」から「4 認定こども園」までに○をつけた方にお伺いします。「3 認可保育所」、「4 認定こども園」に入園時のお子さんの年齢は何歳何カ月ですか。また、お子さんの保護者が希望する入園時のお子さんの年齢は何歳何カ月ですか。

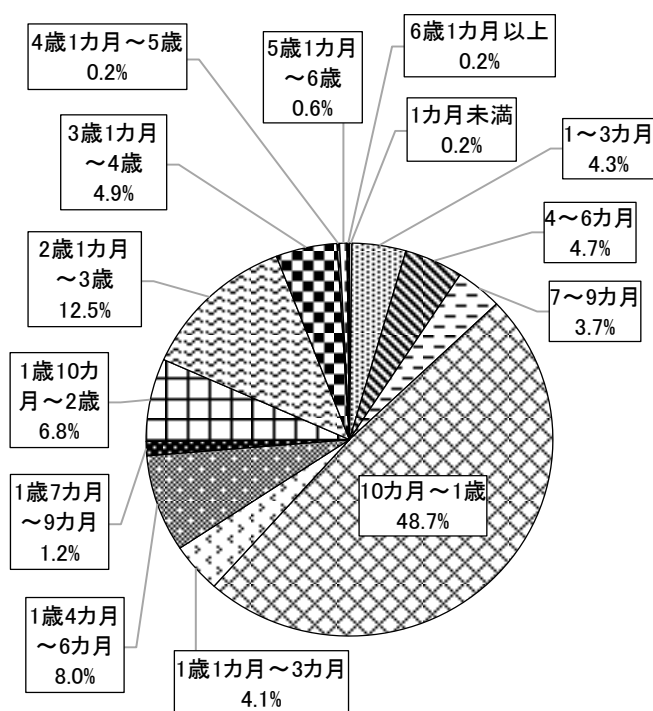
(1) 実際



	項目名	回答数	割合
1	1カ月未満	1	0.2%
2	1～3カ月	26	4.9%
3	4～6カ月	41	7.7%
4	7～9カ月	51	9.6%
5	10カ月～1歳	228	42.9%
6	1歳1カ月～3カ月	36	6.8%
7	1歳4カ月～6カ月	20	3.8%
8	1歳7カ月～9カ月	13	2.4%
9	1歳10カ月～2歳	9	1.7%
10	2歳1カ月～3歳	44	8.3%
11	3歳1カ月～4歳	53	10.0%
12	4歳1カ月～5歳	5	0.9%
13	5歳1カ月～6歳	4	0.8%
14	6歳1カ月以上	—	—
	合計	531	100.0%
	無回答	24	
	調査対象者	555	
	調査対象外	262	

「認可保育所」、「認定こども園」に入園したときの子どもの年齢については、「10 カ月～1 歳」が 42.9%で最も多くなっている。

(2) 希望



	項目名	回答数	割合
1	1カ月未満	1	0.2%
2	1～3カ月	22	4.3%
3	4～6カ月	24	4.7%
4	7～9カ月	19	3.7%
5	10カ月～1歳	250	48.7%
6	1歳1カ月～3カ月	21	4.1%
7	1歳4カ月～6カ月	41	8.0%
8	1歳7カ月～9カ月	6	1.2%
9	1歳10カ月～2歳	35	6.8%
10	2歳1カ月～3歳	64	12.5%
11	3歳1カ月～4歳	25	4.9%
12	4歳1カ月～5歳	1	0.2%
13	5歳1カ月～6歳	3	0.6%
14	6歳1カ月以上	1	0.2%
	合計	513	100.0%
	無回答	42	
	調査対象者	555	
	調査対象外	262	

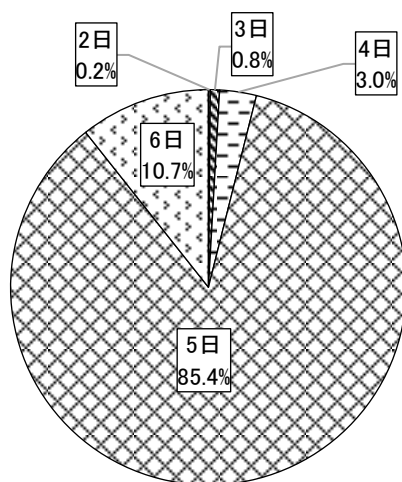
「認可保育所」、「認定こども園」への入園を希望する子どもの年齢については、「10 カ月～1 歳」が 48.7%で最も多くなっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 15-5 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください。

（1）現在

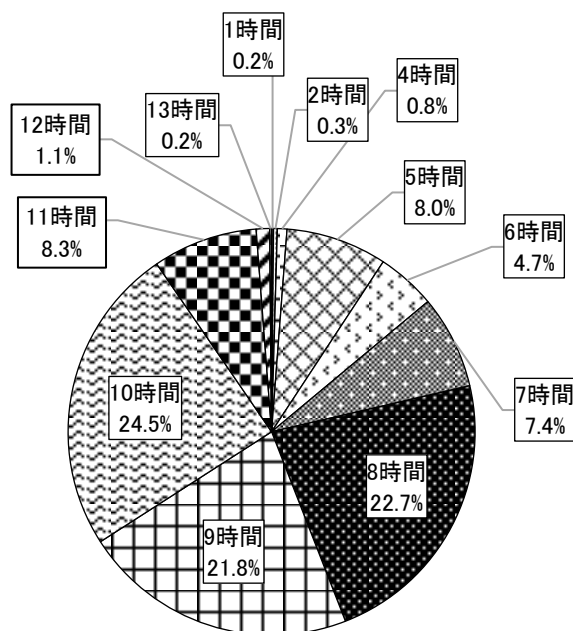
■ 1 週当たり



	項目名	回答数	割合
1	1日	—	
2	2日	1	0.2%
3	3日	5	0.8%
4	4日	20	3.0%
5	5日	569	85.4%
6	6日	71	10.7%
7	7日	—	
	合計	666	100.0%
	無回答	10	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の利用日数については、「5 日」が 85.4%と 8 割以上を占め、最も多くなっている。

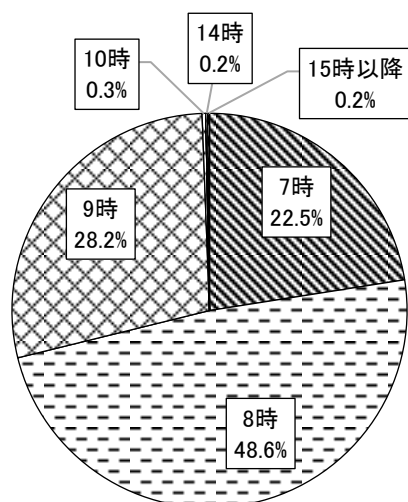
■ 1 日当たり（利用時間）



	項目名	回答数	割合
1	1時間	1	0.2%
2	2時間	2	0.3%
3	3時間	—	
4	4時間	5	0.8%
5	5時間	53	8.0%
6	6時間	31	4.7%
7	7時間	49	7.4%
8	8時間	150	22.7%
9	9時間	144	21.8%
10	10時間	162	24.5%
11	11時間	55	8.3%
12	12時間	7	1.1%
13	13時間	1	0.2%
14	14時間	—	
15	15時間	—	
16	16時間	—	
17	17時間以上	—	
	合計	660	100.0%
	無回答	16	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の 1 日当たりの利用時間については、「10 時間」が 24.5%で最も多く、「8 時間」（22.7%）、「9 時間」（21.8%）とともに 2 割台となっている。

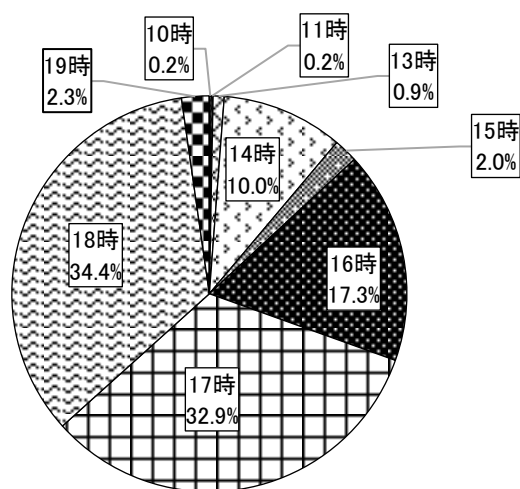
■ 利用開始時間



	項目名	回答数	割合
1	6時前	—	
2	6時	—	
3	7時	149	22.5%
4	8時	322	48.6%
5	9時	187	28.2%
6	10時	2	0.3%
7	11時	—	
8	12時	—	
9	13時	—	
10	14時	1	0.2%
11	15時以降	1	0.2%
	合計	662	100.0%
	無回答	14	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の利用開始時間については、「8時」が48.6%で最も多く、次いで「9時」が28.2%、「7時」が22.5%で続いている。

■ 利用終了時間



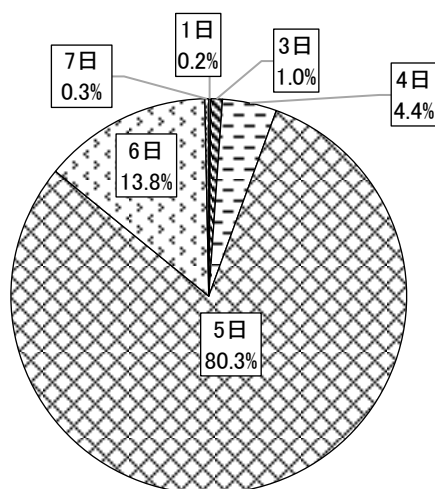
	項目名	回答数	割合
1	10時前	—	
2	10時	1	0.2%
3	11時	1	0.2%
4	12時	—	
5	13時	6	0.9%
6	14時	66	10.0%
7	15時	13	2.0%
8	16時	115	17.3%
9	17時	218	32.9%
10	18時	228	34.4%
11	19時	15	2.3%
12	20時	—	
13	21時以降	—	
	合計	663	100.0%
	無回答	13	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の利用終了時間については、「18時」が34.4%で最も多く、次いで「17時」が32.9%で続き、この2項目が3割台となっている。以下は「16時」（17.3%）、「14時」（10.0%）などの順となっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

(2) 希望

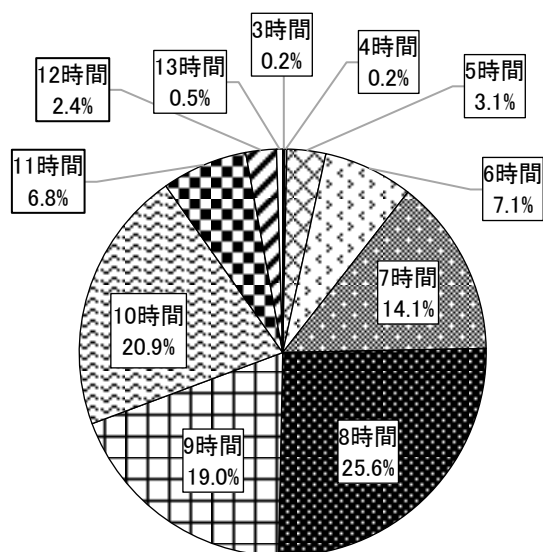
■ 1週当たり



	項目名	回答数	割合
1	1日	1	0.2%
2	2日	—	—
3	3日	6	1.0%
4	4日	28	4.4%
5	5日	507	80.3%
6	6日	87	13.8%
7	7日	2	0.3%
	合計	631	100.0%
	無回答	45	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の希望利用日数については、「5日」が80.3%と8割以上を占め、最も多くなっている。

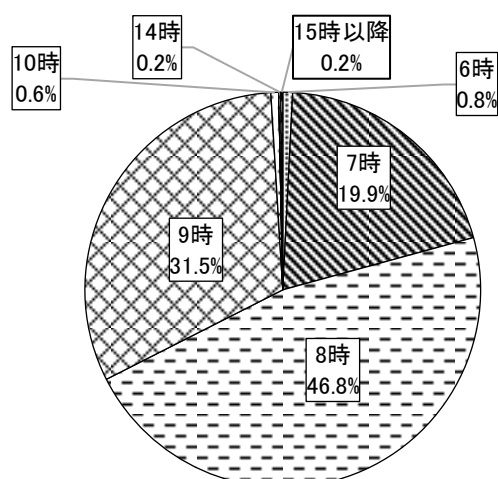
■ 1日当たり（利用時間）



	項目名	回答数	割合
1	1時間	—	—
2	2時間	—	—
3	3時間	1	0.2%
4	4時間	1	0.2%
5	5時間	19	3.1%
6	6時間	44	7.1%
7	7時間	87	14.1%
8	8時間	158	25.6%
9	9時間	117	19.0%
10	10時間	129	20.9%
11	11時間	42	6.8%
12	12時間	15	2.4%
13	13時間	3	0.5%
14	14時間	—	—
15	15時間	—	—
16	16時間	—	—
17	17時間以上	—	—
	合計	616	100.0%
	無回答	60	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の1日当たりの希望利用時間については、「8時間」が25.6%で最も多く、「10時間」(20.9%)とともに2割台となっている。以下は「9時間」(19.0%)、「7時間」(14.1%)などの順となっている。

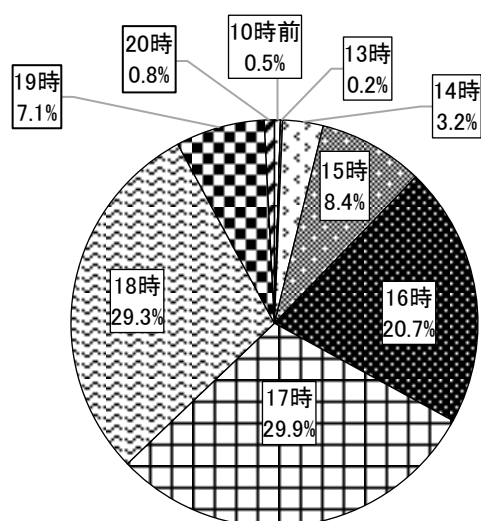
■ 利用開始時間



	項目名	回答数	割合
1	6時前	—	
2	6時	5	0.8%
3	7時	124	19.9%
4	8時	291	46.8%
5	9時	196	31.5%
6	10時	4	0.6%
7	11時	—	
8	12時	—	
9	13時	—	
10	14時	1	0.2%
11	15時以降	1	0.2%
	合計	622	100.0%
	無回答	54	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の希望利用開始時間については、「8時」が46.8%で最も多く、次いで「9時」が31.5%、「7時」が19.9%が続いている。

■ 利用終了時間

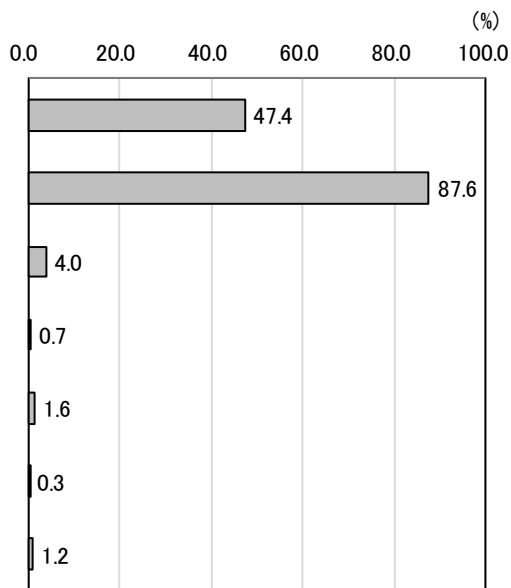


	項目名	回答数	割合
1	10時前	3	0.5%
2	10時	—	
3	11時	—	
4	12時	—	
5	13時	1	0.2%
6	14時	20	3.2%
7	15時	52	8.4%
8	16時	129	20.7%
9	17時	186	29.9%
10	18時	182	29.3%
11	19時	44	7.1%
12	20時	5	0.8%
13	21時以降	—	
	合計	622	100.0%
	無回答	54	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の希望利用終了時間については、「17時」が29.9%で最も多く、次いで「18時」が29.3%と僅差で続き、この2項目が3割近くとなっている。以下は「16時」(20.7%)、「15時」(8.4%)などの順となっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 15-6 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてお伺いします。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

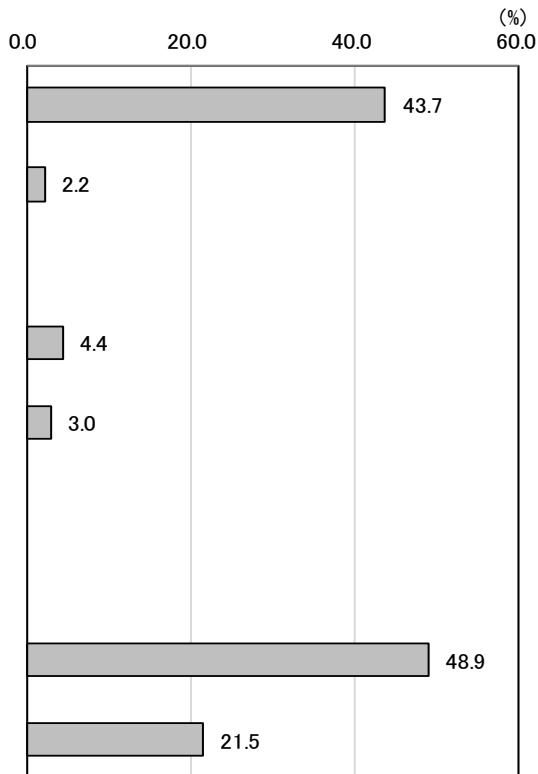


	項目名	回答数	割合
1	子どもの教育や発達のため	316	47.4%
2	子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している	584	87.6%
3	子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある／求職中である	27	4.0%
4	子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している	5	0.7%
5	子育て(教育を含む)をしている方が病気や障がいがある	11	1.6%
6	子育て(教育を含む)をしている方が学生である	2	0.3%
7	その他	8	1.2%
	合計(回答母数)	667	
	無回答	9	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由については、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が 87.6%と 8 割台で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 47.4%で続き、以下はいずれも 1 割未満と少なくなっている。

問 15-7 問 15 で「2 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

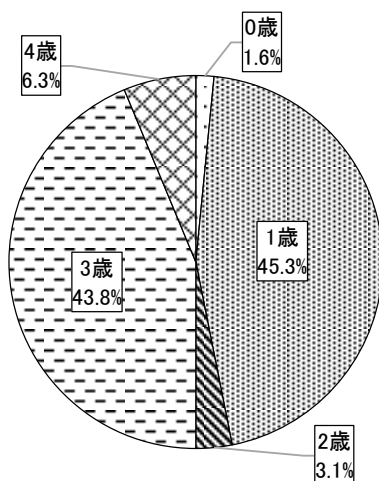
■ 利用していない理由



項目名	回答数	割合
1 (子どもの教育や発達のため、母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がある	59	43.7%
2 子どもの祖父母や親戚の人がみている	3	2.2%
3 近所の人や父母の友人・知人がみている	—	—
4 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	6	4.4%
5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	4	3.0%
6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	—	—
7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	—	—
8 子どもがまだ小さいため(0歳くらいになったら利用しようと考えている)	66	48.9%
9 その他	29	21.5%
合計(回答母数)	135	
無回答	—	
調査対象者	135	
調査対象外	682	

子どもが「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」が48.9%で最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、母親か父親が就労していない等の理由で) 利用する必要がある」が43.7%で続き、この2項目が4割台と突出して多くなっている。

■ 「8」と回答の場合、利用する時の子どもの年齢

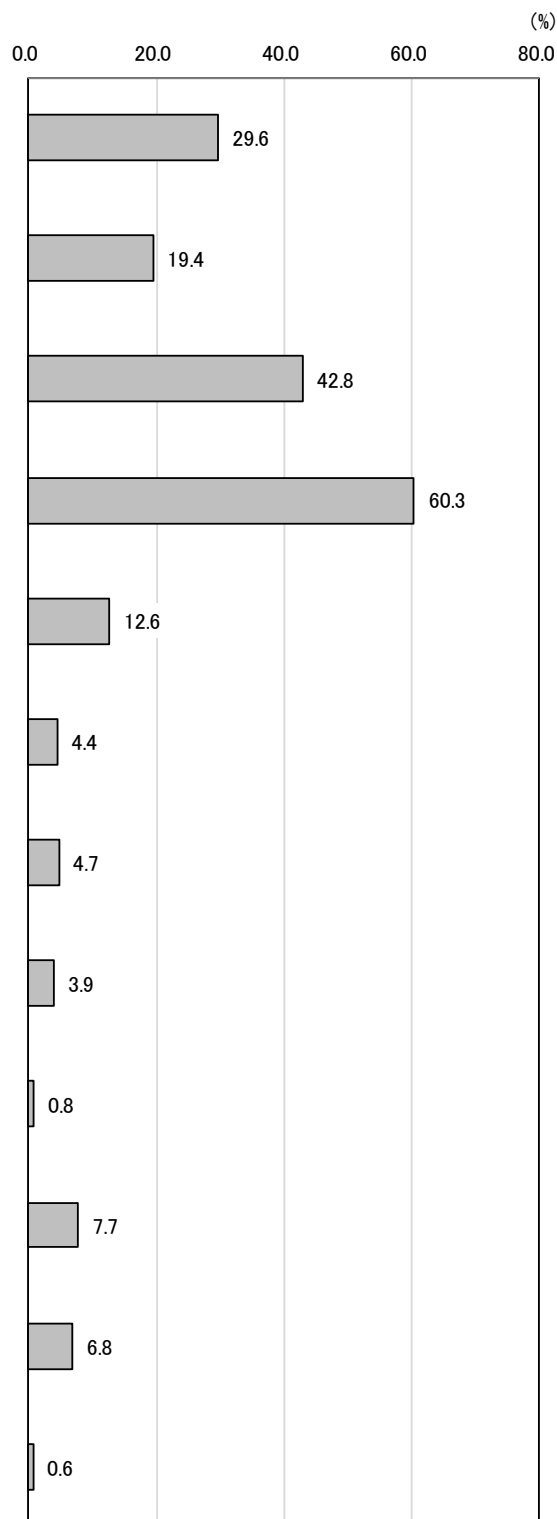


項目名	回答数	割合
1 0歳	1	1.6%
2 1歳	29	45.3%
3 2歳	2	3.1%
4 3歳	28	43.8%
5 4歳	4	6.3%
6 5歳	—	—
7 6歳	—	—
8 7歳以上	—	—
合計	64	100.0%
無回答	2	
調査対象者	66	
調査対象外	751	

子どもがまだ小さいため「定期的な教育・保育の事業」を利用していないとする方が利用しようとする子どもの年齢については、「1歳」が45.3%で最も多く、次いで「3歳」が43.8%で続き、この2項目が4割台となっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



項目名	回答数	割合
1 幼稚園(通常の教育時間の利用)	235	29.6%
2 幼稚園の預かり保育(通常の教育時間の前後に預かる事業のうち定期的な利用のみ)	154	19.4%
3 認可保育所(秋田市の認可を受けた定員20人以上の施設)	340	42.8%
4 認定こども園(幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持つ施設)	479	60.3%
5 認定こども園(1号)の預かり保育(通常の教育時間の前後に預かる事業のうち定期的な利用のみ)	100	12.6%
6 小規模保育事業(秋田市の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの(対象児童年齢0～2歳))	35	4.4%
7 事業所内保育事業(秋田市の認可を受けた施設で、実施する法人の従業員のお子さんと一緒に、地域の0から2歳までの保育を必要とする児童を預かる施設)	37	4.7%
8 企業主導型保育事業(実施する法人の従業員のお子さんを預かる施設で、地域枠が設定されている場合は地域の保育を必要とする児童の利用が可能)	31	3.9%
9 認可外保育施設・幼稚園	6	0.8%
10 ベビーシッター	61	7.7%
11 ファミリー・サポート・センター(会員制の地域住民が子どもを預かる事業)	54	6.8%
12 その他	5	0.6%
合計(回答母数)	794	
無回答	23	
調査対象者	817	

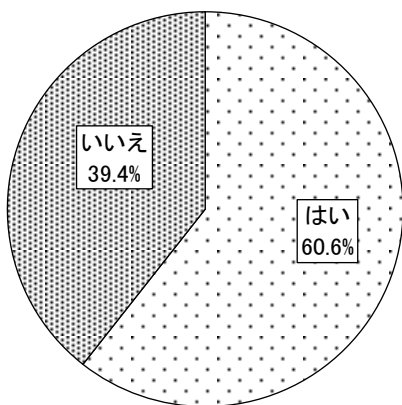
平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業については「認定こども園」が60.3%で最も多く、次いで「認可保育所」が42.8%、「幼稚園」が29.6%、「幼稚園の預かり保育」が19.4%、「認定こども園(1号)の預かり保育」が12.6%で続き、この他の項目はいずれも1割未満と少なくなっている。

問 16-1 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい（利用できる）地区をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

	項目名	回答数	割合		項目名	回答数	割合
1	金足西	7	0.9%	21	広面	77	9.6%
2	港北	39	4.9%	22	下北手	8	1.0%
3	下新城	14	1.7%	23	太平	2	0.2%
4	飯島	61	7.6%	24	東	46	5.7%
5	土崎	81	10.1%	25	桜	41	5.1%
6	土崎南	41	5.1%	26	日新	52	6.5%
7	高清水	29	3.6%	27	勝平	42	5.2%
8	寺内	43	5.3%	28	豊岩	2	0.2%
9	飯島南	27	3.4%	29	浜田	5	0.6%
10	外旭川	65	8.1%	30	下浜	7	0.9%
11	泉	89	11.1%	31	御所野	50	6.2%
12	八橋	67	8.3%	32	仁井田	68	8.5%
13	旭北	37	4.6%	33	四ツ小屋	21	2.6%
14	川尻	64	8.0%	34	牛島	60	7.5%
15	築山	48	6.0%	35	上北手	18	2.2%
16	中通	50	6.2%	36	大住	37	4.6%
17	保戸野	81	10.1%	37	岩見三内	4	0.5%
18	明德	23	2.9%	38	河辺	24	3.0%
19	旭南	25	3.1%	39	戸島	5	0.6%
20	旭川	27	3.4%	40	雄和	10	1.2%
		合計（回答母数）	804				
		無回答	13				
		調査対象者	817				

平日の教育・保育の事業を「定期的に」利用したい（利用できる）地区については、「泉」が11.1%で最も多く、次いで「土崎」と「保戸野」がともに10.1%で続き、以下は「広面」（9.6%）、「仁井田」（8.5%）、「八橋」（8.3%）、「外旭川」（8.1%）、「川尻」（8.0%）等の順となっている。

問 16-2 問 16 で「1 幼稚園」または「2 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3 ～ 12」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号に○をつけてください。



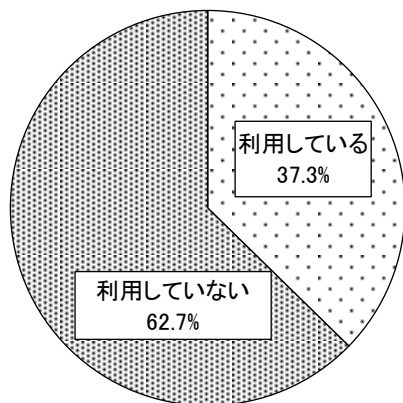
	項目名	回答数	割合
1	はい	100	60.6%
2	いいえ	65	39.4%
	合計	165	100.0%
	無回答	10	
	調査対象者	175	
	調査対象外	642	

平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したい事業として「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」と、その他の事業を選択した方が、特に幼稚園の利用を強く希望するかについては、「はい」が60.6%と6割以上を占めた一方、「いいえ」は39.4%となっている。

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてお伺いします

問 17 宛名のお子さんは、現在、「子ども未来センター」や「子育て交流ひろば（各市民サービスセンター）」や「子ども広場（フォンテ秋田 6 階）」を利用していますか。また、利用している場合、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

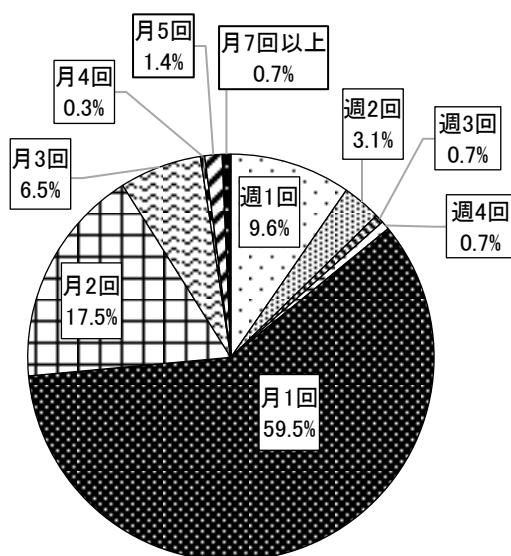
■ 利用の有無



項目名	回答数	割合
1 利用している	303	37.3%
2 利用していない	509	62.7%
合計	812	100.0%
無回答	5	
調査対象者	817	

現在「子ども未来センター」等を利用しているかについては、「利用していない」が 62.7%と 6 割以上を占めた一方、「利用している」は 37.3%となっている。

■ 「1」と回答の場合、1 週または 1 カ月当たりの利用回数

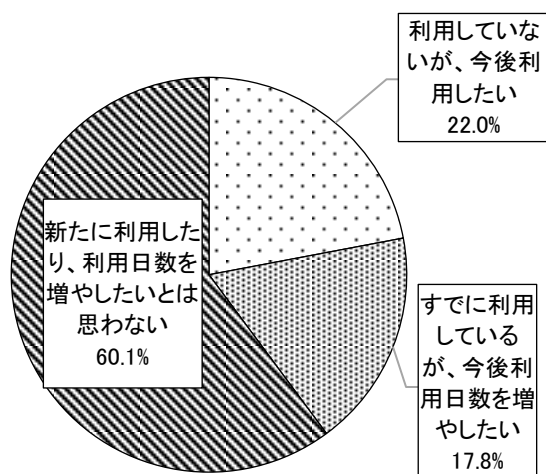


項目名	回答数	割合
1 週1回	28	9.6%
2 週2回	9	3.1%
3 週3回	2	0.7%
4 週4回	2	0.7%
5 週5回	—	
6 週6回	—	
7 週7回以上	—	
8 月1回	173	59.5%
9 月2回	51	17.5%
10 月3回	19	6.5%
11 月4回	1	0.3%
12 月5回	4	1.4%
13 月6回	—	
14 月7回以上	2	0.7%
全体	291	100.0%
無回答	12	
調査対象者	303	
調査対象外	514	

現在「子ども未来センター」等を利用している方の利用回数については、「月1回」が 59.5%と 6 割近くを占め最も多く、次いで「月2回」が 17.5%、「週1回」が 9.6%で続いている。

問 18 「子ども未来センター」や「子育て交流ひろば（各市民サービスセンター）」や「子ども広場（フォンテ秋田 6 階）」について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

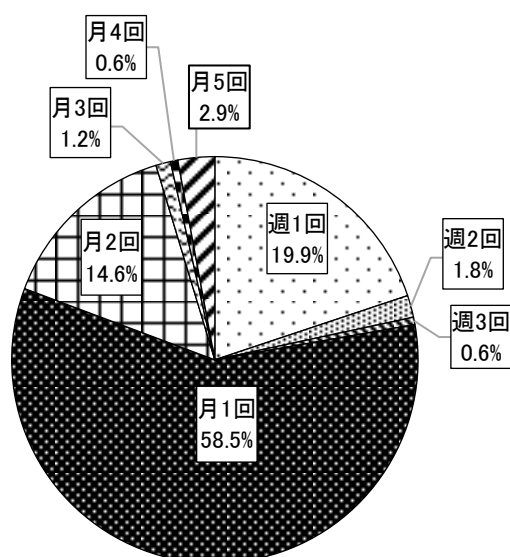
■ 今後の利用意向



	項目名	回答数	割合
1	利用していないが、今後利用したい	174	22.0%
2	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	141	17.8%
3	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	475	60.1%
	合計	790	100.0%
	無回答	27	
	調査対象者	817	

「子ども未来センター」等の今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 60.1%と 6 割以上を占め最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 22.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 17.8%で続いている。

■ 「1」と回答の場合、1 週または 1 カ月当たりの利用回数

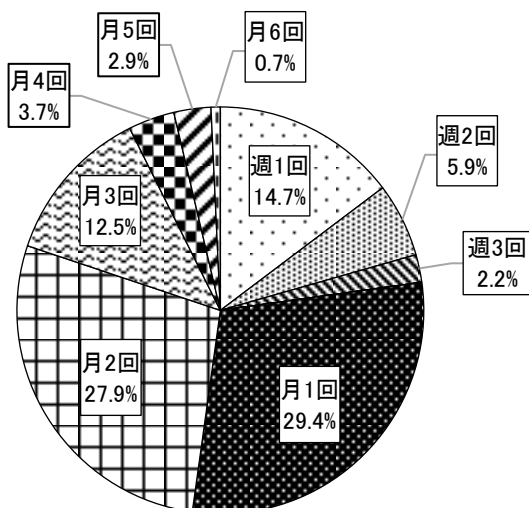


	項目名	回答数	割合
1	週1回	34	19.9%
2	週2回	3	1.8%
3	週3回	1	0.6%
4	週4回	—	
5	週5回	—	
6	週6回	—	
7	週7回以上	—	
8	月1回	100	58.5%
9	月2回	25	14.6%
10	月3回	2	1.2%
11	月4回	1	0.6%
12	月5回	5	2.9%
13	月6回	—	
14	月7回以上	—	
	合計	171	100.0%
	無回答	3	
	調査対象者	174	
	調査対象外	643	

「子ども未来センター」等を「利用していないが、今後利用したい」とする方の、利用回数については、「月1回」が 58.5%と 5 割以上を占め最も多く、次いで「週1回」が 19.9%、「月2回」が 14.6%で続いている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

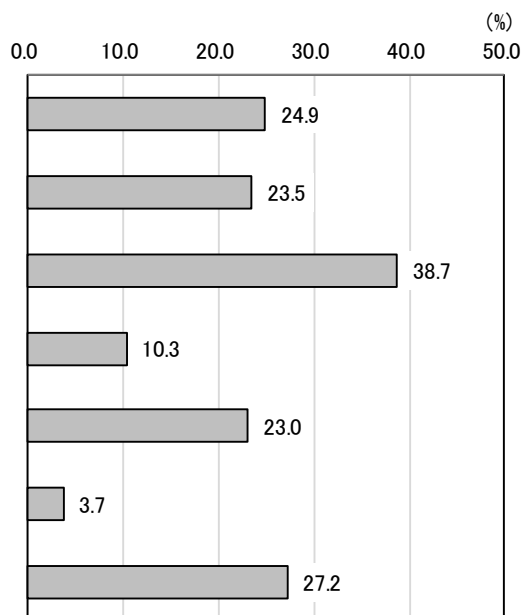
■ 「2」と回答の場合、1週または1カ月当たりの利用回数



「子ども未来センター」等を「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」とする方の、利用回数については、「月1回」が29.4%で最も多く、次いで「月2回」が27.9%で続き、この2項目が3割近くとなっている。

	項目名	回答数	割合
1	週1回	20	14.7%
2	週2回	8	5.9%
3	週3回	3	2.2%
4	週4回	—	
5	週5回	—	
6	週6回	—	
7	週7回以上	—	
8	月1回	40	29.4%
9	月2回	38	27.9%
10	月3回	17	12.5%
11	月4回	5	3.7%
12	月5回	4	2.9%
13	月6回	1	0.7%
14	月7回以上	—	
	合計	136	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	141	
	調査対象外	676	

問19 問17で「2 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。その理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	施設・機能に魅力がない	121	24.9%
2	自宅から遠い	114	23.5%
3	自家用車で行きづらい(有料駐車場、駐車スペース不足等)	188	38.7%
4	アクセス(交通、館内)が悪い	50	10.3%
5	利用可能日・時間が希望と合わない	112	23.0%
6	施設があることを知らなかった	18	3.7%
7	その他	132	27.2%
	合計(回答母数)	486	
	無回答	23	
	調査対象者	509	
	調査対象外	308	

現在「子ども未来センター」等を利用していない方の利用していない理由については、「自家用車で行きづらい」が38.7%で最も多く、次いで「その他」(27.2%)、「施設・機能に魅力がない」(24.9%)、「自宅から遠い」(23.5%)、「利用可能日・時間が希望と合わない」(23.0%)がいずれも2割台で続いている。

問 20 **すべての方にお伺いします。秋田市で実施している下記の事業についてお答えください。①～⑫の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。**

事業	A 知っていますか		B 利用したことがありますか		C 今後利用したいですか	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①秋田市版ネウボラ	82.7%	17.3%	46.1%	53.9%	34.6%	65.4%
②子ども健康課の健康教育事業	76.7%	23.3%	41.2%	58.8%	36.8%	63.2%
③ファミリー・サポート・センター	62.1%	37.9%	7.5%	92.5%	29.3%	70.7%
④子ども未来センター発行の子育て情報誌	58.0%	42.0%	34.5%	65.5%	51.3%	48.7%
⑤市ホームページ「子育て情報」	53.6%	46.4%	31.3%	68.7%	51.0%	49.0%
⑥市LINE公式アカウント「秋田市子育てLINE」	47.4%	52.6%	31.2%	68.8%	50.7%	49.3%
⑦市公式Instagram「秋田市子育て情報」	24.9%	75.1%	13.3%	86.7%	41.7%	58.3%
⑧市立秋田総合病院の小児救急	87.0%	13.0%	55.1%	44.9%	80.3%	19.7%
⑨かぞくぶっくぱっく事業	34.4%	65.6%	15.7%	84.3%	54.0%	46.0%
⑩読書の記録帳事業	34.8%	65.2%	20.4%	79.6%	51.3%	48.7%
⑪在宅子育てサポート事業	53.0%	47.0%	40.1%	59.9%	48.2%	51.8%
⑫図書館でのおはなし会・読み聞かせ	68.5%	31.5%	20.1%	79.9%	60.0%	40.0%

認知度については、「⑧市立秋田総合病院の小児救急」が87.0%で最も高く、次いで「①秋田市版ネウボラ」が82.7%で続き、これら2事業が8割以上で特に高くなっている。以下は、「②子ども健康課の健康教育事業」(76.7%)が7割台、「⑫図書館でのおはなし会・読み聞かせ」(68.5%)と「③ファミリー・サポート・センター」(62.1%)が6割台で続いている。

これまでの利用経験については、「⑧市立秋田総合病院の小児救急」が55.1%と5割を上回り最も高く、次いで「①秋田市版ネウボラ」(46.1%)、「②子ども健康課の健康教育事業」(41.2%)、「⑪在宅子育てサポート事業」(40.1%)がいずれも4割台で続いている。

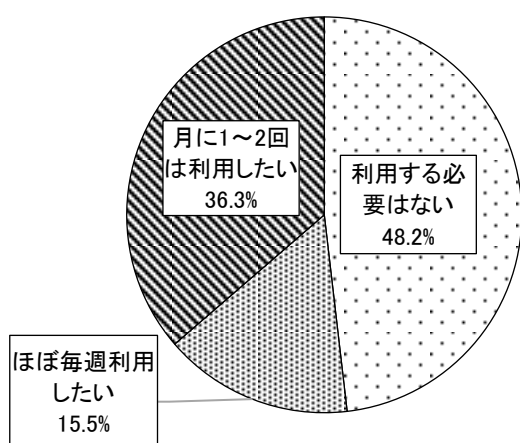
今後の利用意向については、「⑧市立秋田総合病院の小児救急」が80.3%で最も高く、次いで「⑫図書館でのおはなし会・読み聞かせ」が60.0%で続いている。以下は、「⑨かぞくぶっくぱっく事業」、「④子ども未来センター発行の子育て情報誌」、「⑩読書の記録帳事業」、「⑤市ホームページ「子育て情報」」、「⑥市LINE公式アカウント「秋田市子育てLINE」」がいずれも5割台で続いている。

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてお伺いします

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

（１）土曜日

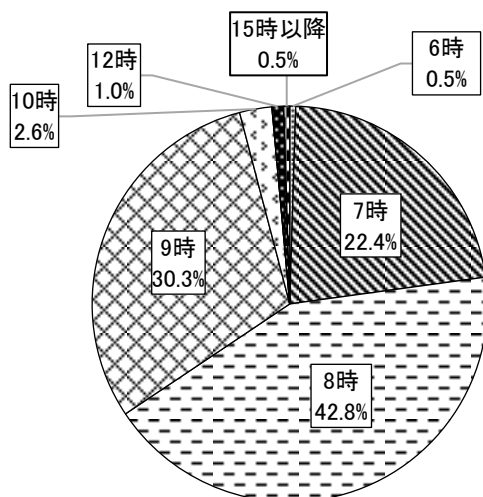
■ 利用意向



	項目名	回答数	割合
1	利用する必要はない	391	48.2%
2	ほぼ毎週利用したい	126	15.5%
3	月に1～2回は利用したい	295	36.3%
	合計	812	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	817	

土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望については、「利用する必要はない」が48.2%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が36.3%、「ほぼ毎週利用したい」が15.5%で続いている。

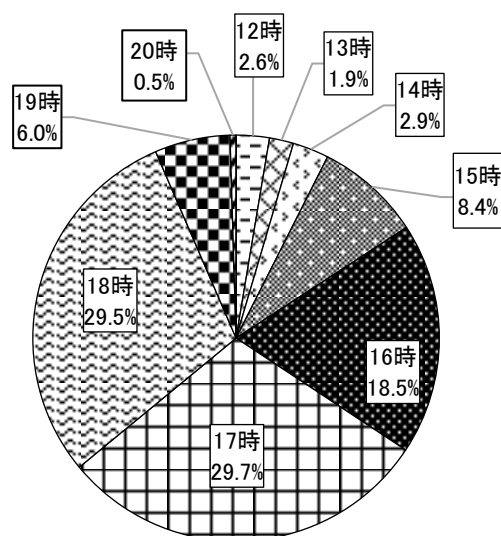
■ 「2」または「3」と回答の場合、利用したい時間帯（開始）



	項目名	回答数	割合
1	6時前	—	
2	6時	2	0.5%
3	7時	93	22.4%
4	8時	178	42.8%
5	9時	126	30.3%
6	10時	11	2.6%
7	11時	—	
8	12時	4	1.0%
9	13時	—	
10	14時	—	
11	15時以降	2	0.5%
	合計	416	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	421	
	調査対象外	396	

土曜日に定期的な教育・保育の事業の利用を希望する方の利用したい時間帯（開始）については、「8時」が42.8%で最も多く、次いで「9時」が30.3%、「7時」が22.4%で続いております、これら3項目で全体の9割以上を占めている。

■ 「2」または「3」と回答の場合、利用したい時間帯（終了）

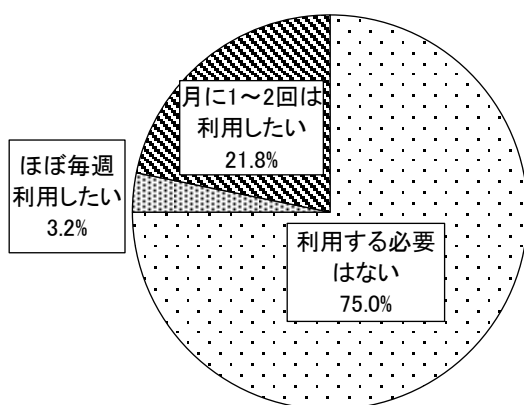


項目名	回答数	割合
1 10時前	-	
2 10時	-	
3 11時	-	
4 12時	11	2.6%
5 13時	8	1.9%
6 14時	12	2.9%
7 15時	35	8.4%
8 16時	77	18.5%
9 17時	124	29.7%
10 18時	123	29.5%
11 19時	25	6.0%
12 20時	2	0.5%
13 21時以降	-	
合計	417	100.0%
無回答	4	
調査対象者	421	
調査対象外	396	

土曜日に定期的な教育・保育の事業の利用を希望する方の利用したい時間帯（終了）については、「17時」が29.7%で最も多く、次いで「18時」が29.5%と僅差で続き、これに「16時」が18.5%で続いている。これら3項目の合計は77.7%と7割以上となっている。

(2) 日曜日・祝日

■ 利用意向

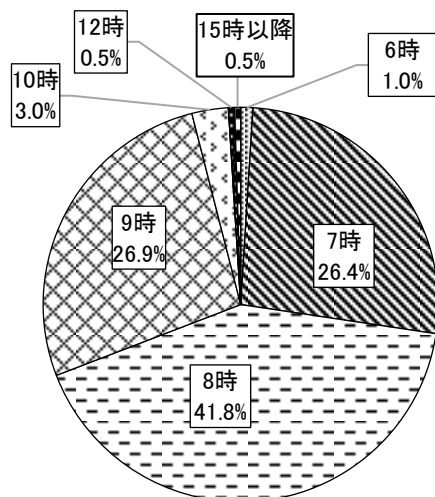


項目名	回答数	割合
1 利用する必要はない	609	75.0%
2 ほぼ毎週利用したい	26	3.2%
3 月に1～2回は利用したい	177	21.8%
合計	812	100.0%
無回答	5	
調査対象者	817	

日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望については、「利用する必要はない」が75.0%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が21.8%で続き、「ほぼ毎週利用したい」は3.2%と、1割未満と少なくなっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

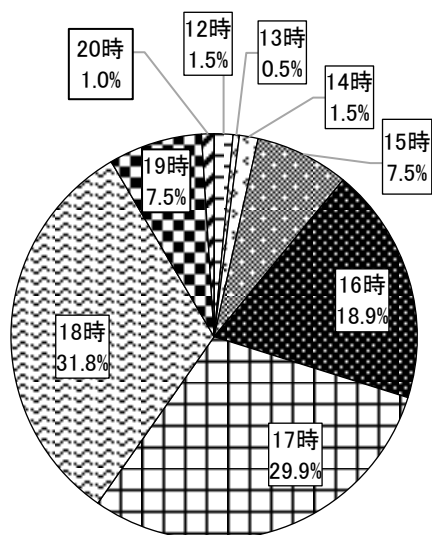
■ 「2」または「3」と回答の場合、利用したい時間帯（開始）



	項目名	回答数	割合
1	6時前	—	
2	6時	2	1.0%
3	7時	53	26.4%
4	8時	84	41.8%
5	9時	54	26.9%
6	10時	6	3.0%
7	11時	—	
8	12時	1	0.5%
9	13時	—	
10	14時	—	
11	15時以降	1	0.5%
	合計	201	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	203	
	調査対象外	614	

日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用を希望する方の利用したい時間帯（開始）については、「8時」が41.8%で最も多く、次いで「9時」が26.9%、「7時」が26.4%とほぼ同割合で続き、これら3項目で全体の9割以上を占めている。

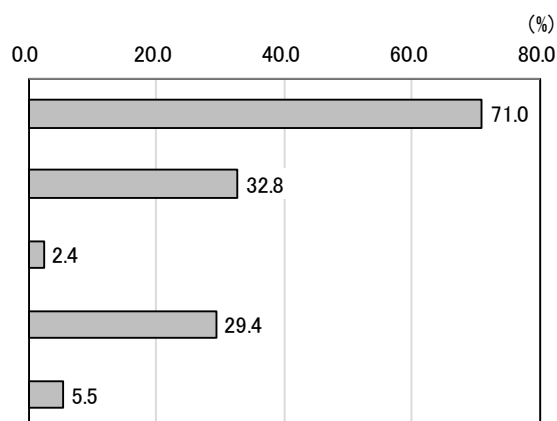
■ 「2」または「3」と回答の場合、利用したい時間帯（終了）



	項目名	回答数	割合
1	10時前	—	
2	10時	—	
3	11時	—	
4	12時	3	1.5%
5	13時	1	0.5%
6	14時	3	1.5%
7	15時	15	7.5%
8	16時	38	18.9%
9	17時	60	29.9%
10	18時	64	31.8%
11	19時	15	7.5%
12	20時	2	1.0%
13	21時以降	—	
	合計	201	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	203	
	調査対象外	614	

日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用を希望する方の利用したい時間帯（終了）については、「18時」が31.8%で最も多く、次いで「17時」が29.9%、「16時」が18.9%で続いており、これら3項目で全体の8割以上を占めている。

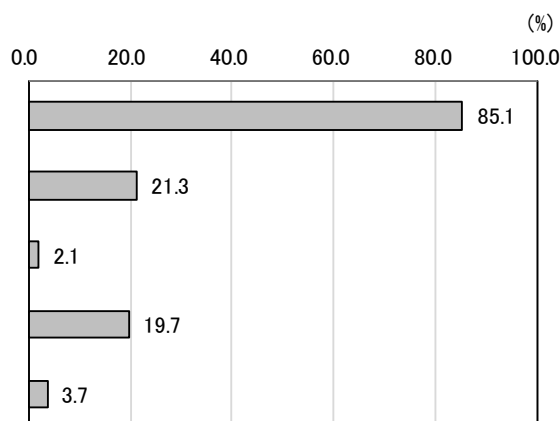
問 21-1 問 21 の（１）で、「３ 月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



項目名	回答数	割合
1 月に数回仕事が入るため	208	71.0%
2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	96	32.8%
3 親族の介護や手伝いが必要なため	7	2.4%
4 息抜きのため	86	29.4%
5 その他	16	5.5%
合計(回答母数)	293	
無回答	2	
調査対象者	295	
調査対象外	522	

土曜日に定期的な教育・保育の事業を「月に１～２回は利用したい」理由については、「月に数回仕事が入るため」が71.0%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が32.8%、「息抜きのため」が29.4%が続いている。

問 21-2 問 21 の（２）で、「２ ほぼ毎週利用したい」「３ 月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

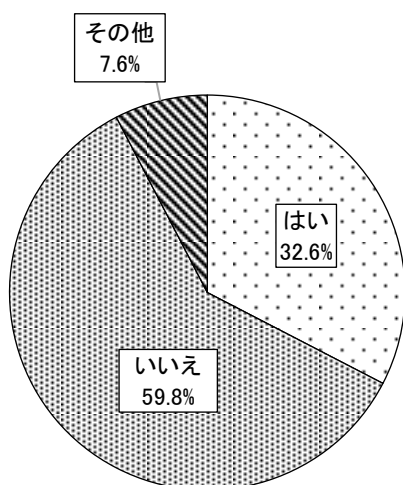


項目名	回答数	割合
1 仕事のため	160	85.1%
2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	40	21.3%
3 親族の介護や手伝いが必要なため	4	2.1%
4 息抜きのため	37	19.7%
5 その他	7	3.7%
合計(回答母数)	188	
無回答	15	
調査対象者	203	
調査対象外	614	

日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業を利用したい理由については、「仕事のため」が85.1%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が21.3%、「息抜きのため」が19.7%が続いている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

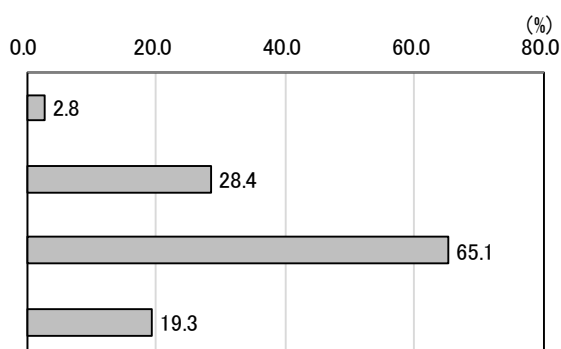
問 21-2-1 問 21 の（２）で、「２ ほぼ毎週利用したい」「３ 月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。利用希望日に利用できていますか。いずれかに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	はい	60	32.6%
2	いいえ	110	59.8%
3	その他	14	7.6%
	合計	184	100.0%
	無回答	19	
	調査対象者	203	
	調査対象外	614	

日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用を希望する方が利用希望日に利用できているかについては、「いいえ」が 59.8%で最も多くなった一方、「はい」は 32.6%となっている。

問 21-2-2 問 21-2-1 で、「２ いいえ」に○をつけた方にお伺いします。利用希望日に利用できない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



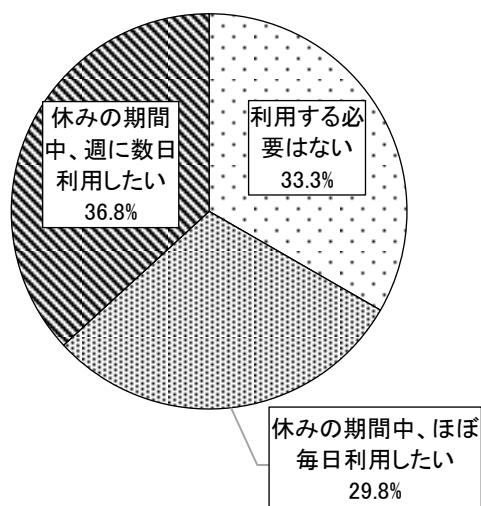
	項目名	回答数	割合
1	申し込みだ施設の定員が満員なため	3	2.8%
2	近くに実施施設がないため	31	28.4%
3	お子さんが通う保育所等で未実施なため	71	65.1%
4	その他	21	19.3%
	合計(回答母数)	109	
	無回答	1	
	調査対象者	110	
	調査対象外	707	

日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用を希望する方が利用希望日に利用できていない理由については、「お子さんが通う保育所等で未実施なため」が 65.1%で最も多く、次いで「近くに実施施設がないため」が 28.4%で続いている。

問 22 「幼稚園」を利用されている方（問 15-1 で「1 幼稚園」に○をつけた方）にお伺いします。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

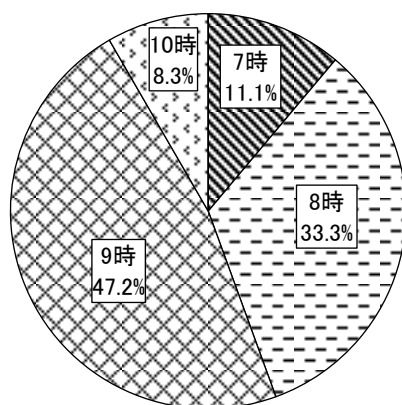
■ 利用意向



	項目名	回答数	割合
1	利用する必要はない	19	33.3%
2	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	17	29.8%
3	休みの期間中、週に数日利用したい	21	36.8%
	合計	57	100.0%
	無回答	7	
	調査対象者	64	
	調査対象外	753	

「幼稚園」を利用している方の長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が36.8%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が33.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が29.8%で続いている。

■ 「2」または「3」と回答の場合、利用したい時間帯（開始）

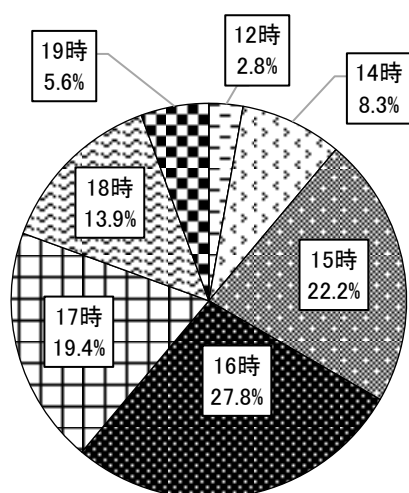


	項目名	回答数	割合
1	6時前	—	
2	6時	—	
3	7時	4	11.1%
4	8時	12	33.3%
5	9時	17	47.2%
6	10時	3	8.3%
7	11時	—	
8	12時以降	—	
	合計	36	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	38	
	調査対象外	779	

「幼稚園」を利用している方のうち長期の休暇期間中に教育・保育の事業の利用を希望する方の利用したい時間帯（開始）については、「9時」が47.2%で最も多く、次いで「8時」が33.3%で続き、この2項目で全体の8割以上を占めている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

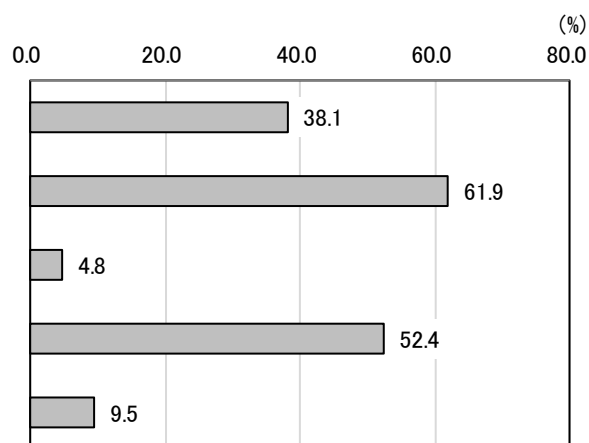
■ 「2」または「3」と回答の場合、利用したい時間帯（終了）



	項目名	回答数	割合
1	10時前	—	
2	10時	—	
3	11時	—	
4	12時	1	2.8%
5	13時	—	
6	14時	3	8.3%
7	15時	8	22.2%
8	16時	10	27.8%
9	17時	7	19.4%
10	18時	5	13.9%
11	19時	2	5.6%
12	20時以降	—	
	合計	36	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	38	
	調査対象外	779	

「幼稚園」を利用している方のうち長期の休暇期間中に教育・保育の事業の利用を希望する方の利用したい時間帯（終了）については、「16時」が27.8%で最も多く、次いで「15時」が22.2%、「17時」が19.4%、「18時」が13.9%が続いている。

問 22-1 問 22 で、「3 週に数日利用したい」に○をつけた方にお伺いします。毎日ではなく、たまに利用したい理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。



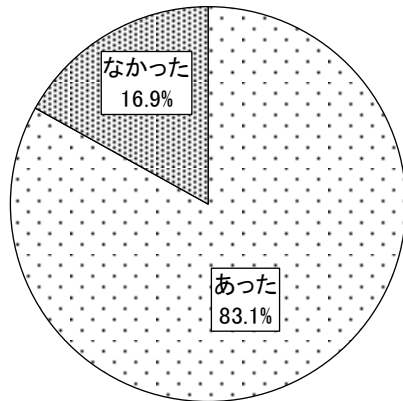
	項目名	回答数	割合
1	週に数回仕事が入るため	8	38.1%
2	買い物等の用事をまとめて済ませるため	13	61.9%
3	親等親族の介護や手伝いが必要なため	1	4.8%
4	息抜きのため	11	52.4%
5	その他	2	9.5%
	合計(回答母数)	21	
	無回答	—	
	調査対象者	21	
	調査対象外	796	

「幼稚園」を利用している方のうち長期の休暇期間中に教育・保育の事業の利用を「週に数日利用したい」方の利用する理由については、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が61.9%で最も多く、次いで「息抜きのため」が52.4%、「週に数回仕事が入るため」が38.1%が続いている。

宛名のお子さんの病気の際の対応についてお伺いします（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 23～問 23-4 は、平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で「1」に○をつけた方）にお伺いします。

問 23 この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の利用できなかったことはありますか。

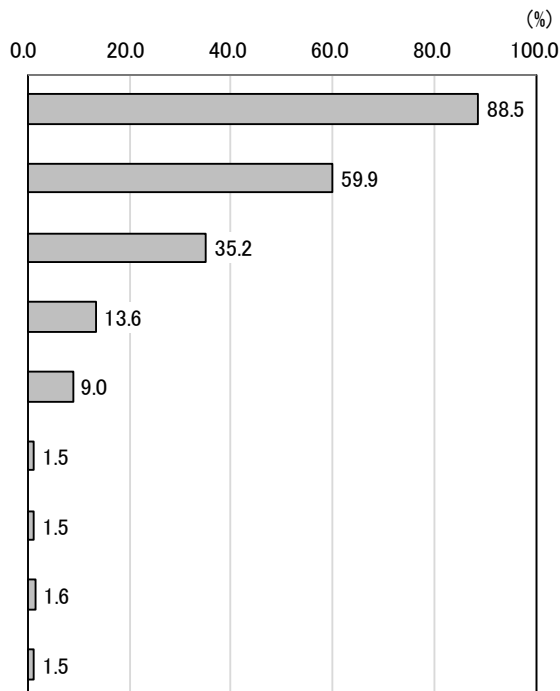


	項目名	回答数	割合
1	あった	550	83.1%
2	なかった	112	16.9%
	合計	662	100.0%
	無回答	14	
	調査対象者	676	
	調査対象外	141	

この１年間に定期的な教育・保育の事業を通常利用できなかったことの有無については、「あった」が83.1%と8割以上を占めた一方、「なかった」は16.9%となっている。

問 23-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。）。

■ 対処方法



	項目名	回答数	割合
ア	母親が休んだ	483	88.5%
イ	父親が休んだ	327	59.9%
ウ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	192	35.2%
エ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	74	13.6%
オ	病児・病後児の保育を利用した	49	9.0%
カ	ベビーシッターを利用した	8	1.5%
キ	ファミリー・サポート・センターを利用した	8	1.5%
ク	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	9	1.6%
ケ	その他	8	1.5%
	合計(回答母数)	546	
	無回答	4	
	調査対象者	550	
	調査対象外	267	

定期的な教育・保育の事業を通常利用できなかった場合に行った対処方法については、「母親が休んだ」が88.5%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が59.9%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が35.2%で続き、その他の項目については1割台から1割未満となっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

■ 対処方法ごとの日数

ア 母親が休んだ

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	154	33.0%
2	6～10日	156	33.5%
3	11～15日	51	10.9%
4	16～20日	59	12.7%
5	21日以上	46	9.9%
	合計	466	100.0%
	無回答	17	
	調査対象者	483	
	調査対象外	334	

イ 父親が休んだ

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	205	67.7%
2	6～10日	67	22.1%
3	11～15日	14	4.6%
4	16～20日	13	4.3%
5	21日以上	4	1.3%
	合計	303	100.0%
	無回答	24	
	調査対象者	327	
	調査対象外	490	

ウ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	117	66.9%
2	6～10日	36	20.6%
3	11～15日	2	1.1%
4	16～20日	10	5.7%
5	21日以上	10	5.7%
	合計	175	100.0%
	無回答	17	
	調査対象者	192	
	調査対象外	625	

エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	22	37.3%
2	6～10日	17	28.8%
3	11～15日	6	10.2%
4	16～20日	5	8.5%
5	21日以上	9	15.3%
	合計	59	100.0%
	無回答	15	
	調査対象者	74	
	調査対象外	743	

オ 病児・病後児の保育を利用した(保育所(園)で実施しているサービスを含む)

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	21	56.8%
2	6～10日	11	29.7%
3	11～15日	1	2.7%
4	16～20日	1	2.7%
5	21日以上	3	8.1%
	合計	37	100.0%
	無回答	12	
	調査対象者	49	
	調査対象外	768	

ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	—	
2	6～10日	1	100.0%
3	11～15日	—	
4	16～20日	—	
5	21日以上	—	
	合計	1	100.0%
	無回答	8	
	調査対象者	9	
	調査対象外	808	

ケ その他

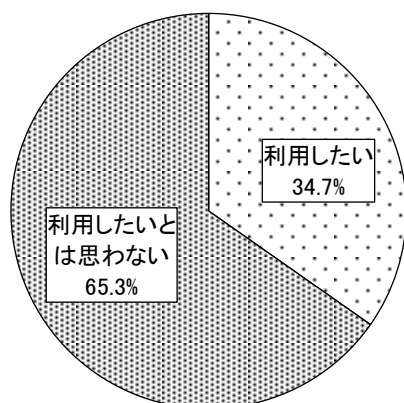
	項目名	回答数	割合
1	1～5日	2	66.7%
2	6～10日	1	33.3%
3	11～15日	—	
4	16～20日	—	
5	21日以上	—	
	合計	3	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	8	
	調査対象外	809	

(注意)

「カ ベビーシッターを利用した」「キ ファミリー・サポート・センターを利用した」を選んだ方から、日数についての回答はなかった。

問 23-2 問 23-1 で「ア」「イ」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

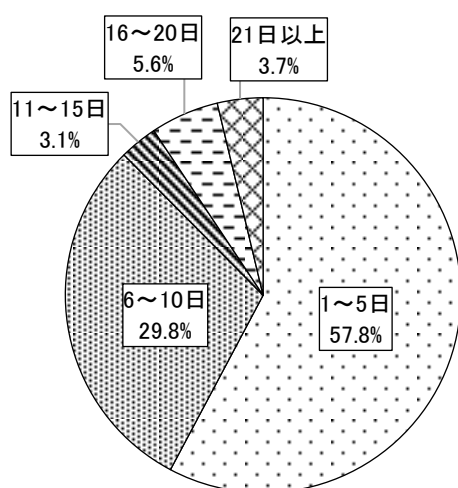
■ サービス利用意向



	項目名	回答数	割合
1	利用したい	172	34.7%
2	利用したいとは思わない	323	65.3%
	合計	495	100.0%
	無回答	3	
	調査対象者	498	
	調査対象外	319	

定期的な教育・保育の事業を通常利用できなかった場合に母親または父親が休んで対応した方の、当時の病児・病後児のための保育施設等の利用希望については、「利用したいとは思わない」が65.3%と6割台を占めた一方、「利用したい」は34.7%となっている。

■ 「1」と回答の場合、利用希望日数

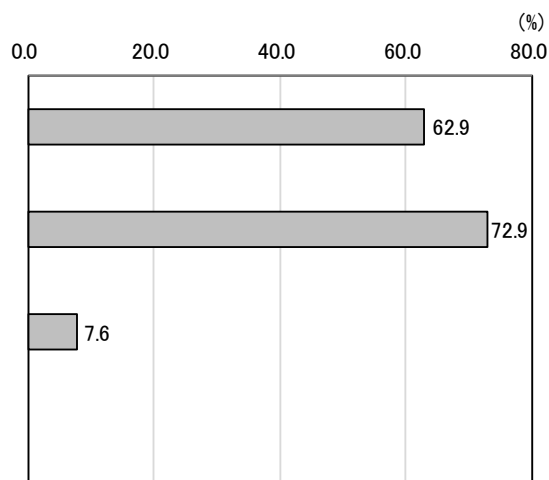


	項目名	回答数	割合
1	1～5日	93	57.8%
2	6～10日	48	29.8%
3	11～15日	5	3.1%
4	16～20日	9	5.6%
5	21日以上	6	3.7%
	合計	161	100.0%
	無回答	11	
	調査対象者	172	
	調査対象外	645	

病児・病後児のための保育施設等を「利用したい」と答えた方の利用希望日数については、「1～5日」が57.8%で最も多く、次いで「6～10日」が29.8%で続き、その他の項目はいずれも1割未満と少なくなっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

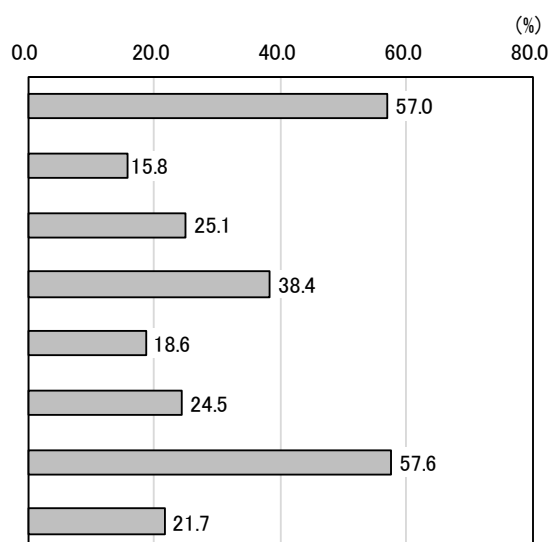
問 23-3 問 23-2 で「1 利用したい」に○をつけた方にお伺いします。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業	107	62.9%
2	小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	124	72.9%
3	地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)	13	7.6%
4	その他	－	
	合計(回答母数)	170	
	無回答	2	
	調査対象者	172	
	調査対象外	645	

病児・病後児のための保育施設等を「利用したい」と答えた方が望ましいと考える事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 72.9%で最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 62.9%で続いている。

問 23-4 問 23-2 で「2 利用したいとは思わない」に○をつけた方にお伺いします。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。



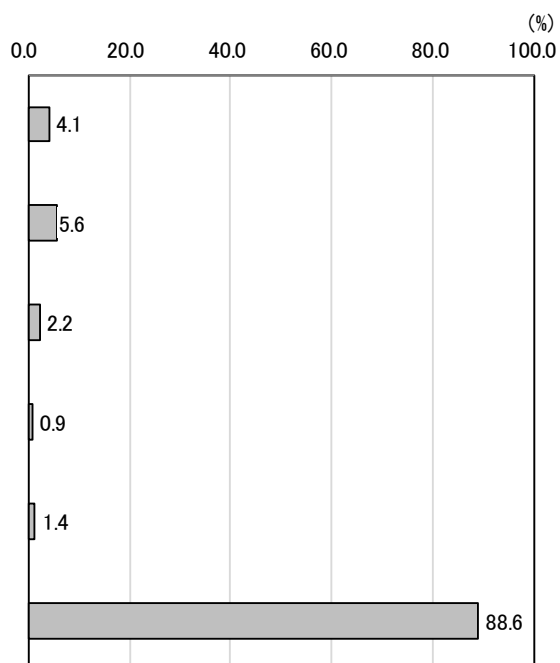
	項目名	回答数	割合
1	病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	184	57.0%
2	質に不安がある	51	15.8%
3	利便性(立地や利用可能時間日数など)がよいくない	81	25.1%
4	利用料がかかる・高い	124	38.4%
5	利用料がわからない	60	18.6%
6	利用方法(手続き等)がわからない	79	24.5%
7	親が仕事を休んで対応する	186	57.6%
8	その他	70	21.7%
	合計(回答母数)	323	
	無回答	-	
	調査対象者	323	
	調査対象外	494	

病児・病後児のための保育施設等を「利用したいとは思わない」と答えた方の理由については、「親が仕事を休んで対応する」が 57.6%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に見てもらうのは不安」が 57.0%と僅差で続き、この2項目が5割以上で特に多くなっている。

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてお伺いします

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号す
べてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

■ 利用している事業



項目名	回答数	割合
1 一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	33	4.1%
2 幼稚園の預かり保育(通常の教育時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	45	5.6%
3 ファミリー・サポート・センター(会員制の地域住民が子どもを預かる事業)	18	2.2%
4 ベビーシッター	7	0.9%
5 その他	11	1.4%
6 利用していない	716	88.6%
合計(回答母数)	808	
無回答	9	
調査対象者	817	

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業については、「利用していない」が88.6%と9割近くを占め最も多くなっており、その他の項目はいずれも1割未満と少なくなっている。

■ 利用事業ごとの利用日数

1 一時預かり

項目名	回答数	割合
1 1～5日	21	67.7%
2 6～10日	7	22.6%
3 11～15日	3	9.7%
4 16～20日	-	
5 21日以上	-	
合計	31	100.0%
無回答	2	
調査対象者	33	
調査対象外	784	

2 幼稚園の預かり保育

項目名	回答数	割合
1 1～5日	23	60.5%
2 6～10日	5	13.2%
3 11～15日	1	2.6%
4 16～20日	4	10.5%
5 21日以上	5	13.2%
合計	38	100.0%
無回答	7	
調査対象者	45	
調査対象外	772	

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

3 ファミリー・サポート・センター

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	13	92.9%
2	6～10日	－	
3	11～15日	－	
4	16～20日	1	7.1%
5	21日以上	－	
	合計	14	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	18	
	調査対象外	799	

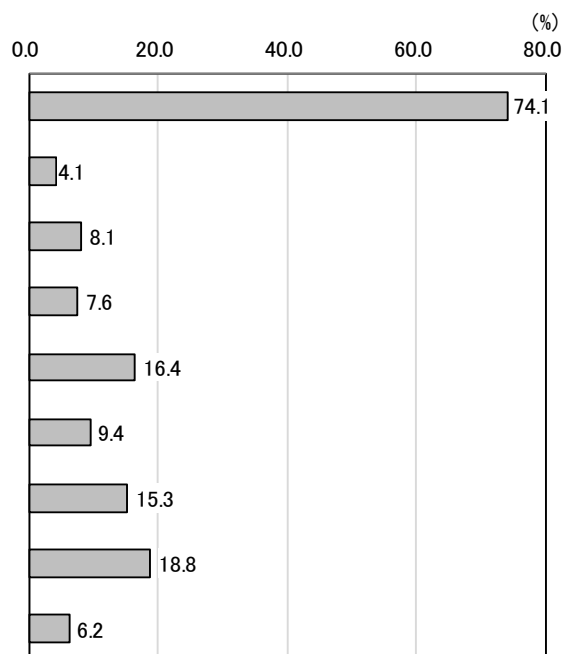
4 ベビーシッター

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	－	
2	6～10日	－	
3	11～15日	2	100.0%
4	16～20日	－	
5	21日以上	－	
	合計	2	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	7	
	調査対象外	810	

5 その他

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	1	50.0%
2	6～10日	－	
3	11～15日	－	
4	16～20日	－	
5	21日以上	1	50.0%
	合計	2	100.0%
	無回答	9	
	調査対象者	11	
	調査対象外	806	

問 24-1 問 24 で「6 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

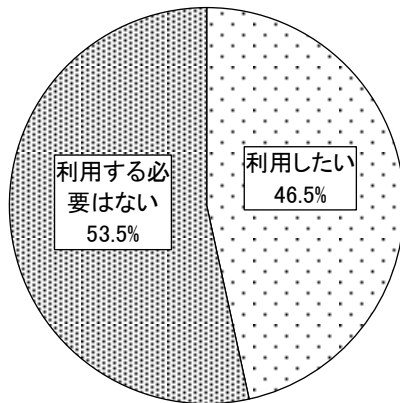


	項目名	回答数	割合
1	特に利用する必要がない	528	74.1%
2	利用したい事業が地域にない	29	4.1%
3	質に不安がある	58	8.1%
4	利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	54	7.6%
5	利用料がかかる・高い	117	16.4%
6	利用料がわからない	67	9.4%
7	自分が利用できるのかどうかかわからない	109	15.3%
8	利用方法(手続き等)がわからない	134	18.8%
9	その他	44	6.2%
	合計(回答母数)	713	
	無回答	3	
	調査対象者	716	
	調査対象外	101	

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に事業を「利用していない」と答えた方の理由については、「特に利用する必要がない」が74.1%と7割以上となり、突出して多くなっている。

問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。）。

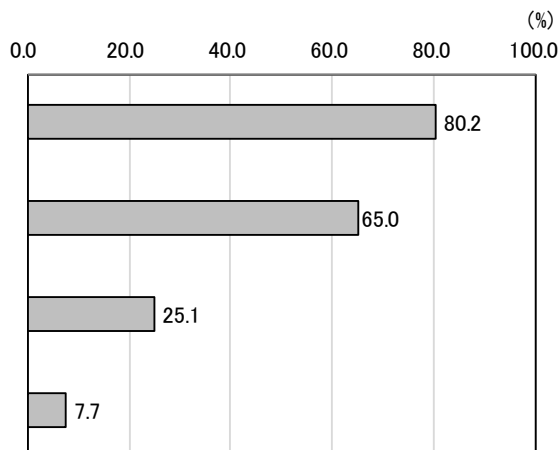
■ 利用希望



項目名	回答数	割合
1 利用したい	371	46.5%
2 利用する必要はない	426	53.5%
合計	797	100.0%
無回答	20	
調査対象者	817	

私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望については、「利用する必要はない」が53.5%となり、「利用したい」(46.5%)を上回っている。

■ 「1」と回答の場合、利用目的

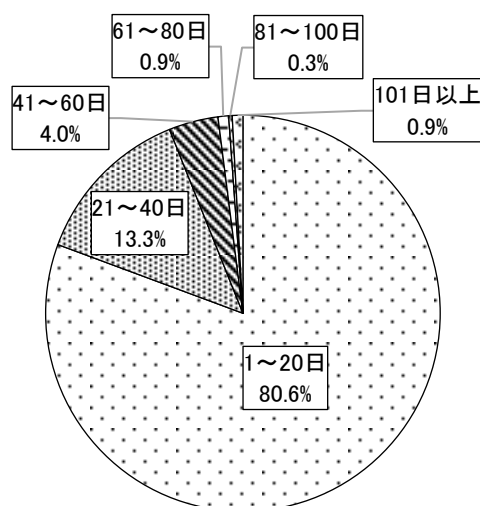


項目名	回答数	割合
ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	291	80.2%
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	236	65.0%
ウ 不定期の就労	91	25.1%
エ その他	28	7.7%
合計(回答母数)	363	
無回答	8	
調査対象者	371	
調査対象外	446	

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用したいと答えた方の利用目的については、「私用、リフレッシュ目的」が80.2%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が65.0%で続いている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

■ 「1」と回答の場合、利用日数（合計）



	項目名	回答数	割合
1	1～20日	279	80.6%
2	21～40日	46	13.3%
3	41～60日	14	4.0%
4	61～80日	3	0.9%
5	81～100日	1	0.3%
6	101日以上	3	0.9%
	合計	346	100.0%
	無回答	17	
	調査対象者	363	
	調査対象外	454	

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用したいと答えた方の利用日数（合計）については、「1～20日」が80.6%と8割台を占め、最も多くなっている。

■ 「1」と回答の場合、利用目的ごとの利用日数

ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	100	36.4%
2	6～10日	72	26.2%
3	11～15日	67	24.4%
4	16～20日	7	2.5%
5	21日以上	29	10.5%
	合計	275	100.0%
	無回答	16	
	調査対象者	291	
	調査対象外	526	

イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	127	57.7%
2	6～10日	56	25.5%
3	11～15日	25	11.4%
4	16～20日	6	2.7%
5	21日以上	6	2.7%
	合計	220	100.0%
	無回答	16	
	調査対象者	236	
	調査対象外	581	

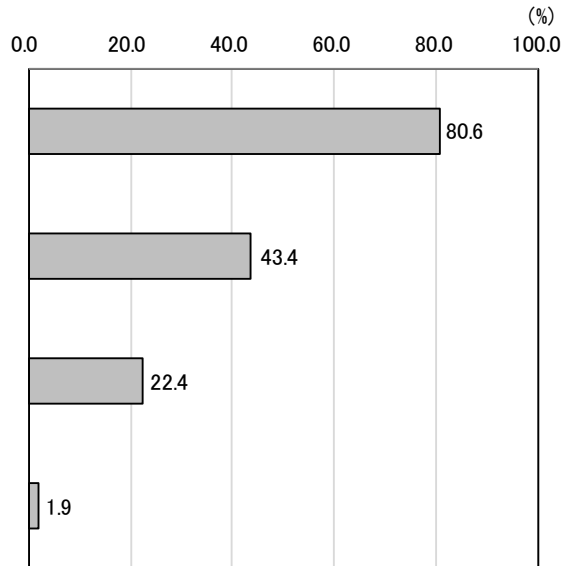
ウ 不定期の就労

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	43	57.3%
2	6～10日	12	16.0%
3	11～15日	8	10.7%
4	16～20日	5	6.7%
5	21日以上	7	9.3%
	合計	75	100.0%
	無回答	16	
	調査対象者	91	
	調査対象外	726	

エ その他

	項目名	回答数	割合
1	1～5日	6	66.7%
2	6～10日	—	
3	11～15日	—	
4	16～20日	—	
5	21日以上	3	33.3%
	合計	9	100.0%
	無回答	19	
	調査対象者	28	
	調査対象外	789	

問 25-1 問 25 で「1 利用したい」に○をつけた方にお伺いします。問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

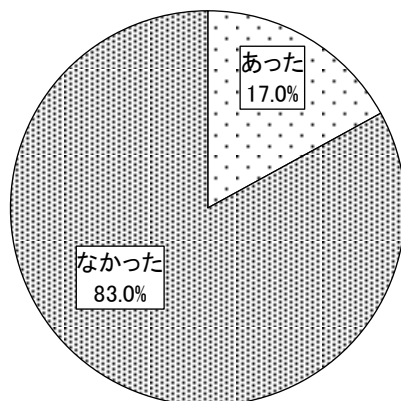


項目名	回答数	割合
1 大規模施設で子どもを保育する事業(例：幼稚園・保育所等)	299	80.6%
2 小規模施設で子どもを保育する事業(例：秋田市子ども広場(フォンテ秋田6階)等)	161	43.4%
3 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)	83	22.4%
4 その他	7	1.9%
合計(回答母数)	371	
無回答	-	
調査対象者	371	
調査対象外	446	

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用したいと答えた方が望ましいと考える事業形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 80.6%で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 43.4%で続いている。

問 26 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

■ 泊りがけで家族以外に見てもらわなければならない機会の有無

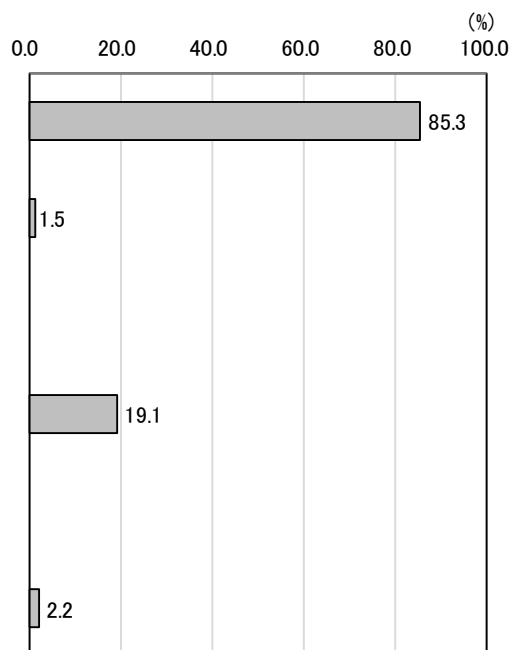


項目名	回答数	割合
1 あった	136	17.0%
2 なかった	663	83.0%
合計	799	100.0%
無回答	18	
調査対象者	817	

この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについては、「なかった」が 83.0%と8割以上を占めた一方、「あった」は 17.0%となっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

■ 「1」と回答の場合、対処方法



項目名	回答数	割合
ア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	116	85.3%
イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	2	1.5%
ウ イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	-	
エ 仕方なく子どもを同行させた	26	19.1%
オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	-	
カ その他	3	2.2%
合計(回答母数)	136	
無回答	-	
調査対象者	136	
調査対象外	681	

この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった方の対処方法については、「親族・知人にみてもらった」が85.3%で突出して多くなっている。

■ 「1」と回答の場合、対処方法ごとの日数 (※回答のあった項目のみ掲載)

ア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

項目名	回答数	割合
1 1～5日	85	77.3%
2 6～10日	17	15.5%
3 11～15日	5	4.5%
4 16～20日	2	1.8%
5 21日以上	1	0.9%
合計	110	100.0%
無回答	6	
調査対象者	116	
調査対象外	701	

イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した

項目名	回答数	割合
1 1～5日	1	50.0%
2 6～10日	1	50.0%
3 11～15日	-	
4 16～20日	-	
5 21日以上	-	
合計	2	100.0%
無回答	-	
調査対象者	2	
調査対象外	815	

エ 仕方なく子どもを同行させた

項目名	回答数	割合
1 1～5日	21	87.5%
2 6～10日	3	12.5%
3 11日以上	-	
合計	24	100.0%
無回答	2	
調査対象者	26	
調査対象外	791	

カ その他

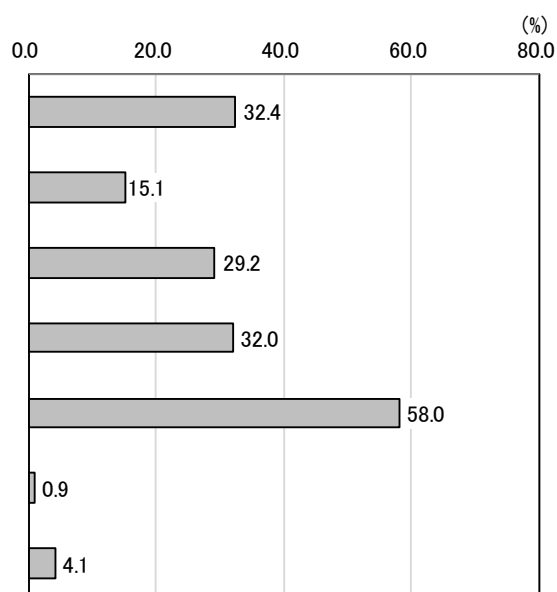
項目名	回答数	割合
1 1～5日	2	66.7%
2 6～10日	1	33.3%
3 11日以上	-	
合計	3	100.0%
無回答	-	
調査対象者	3	
調査対象外	814	

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてお伺いします

問 27～問 30 は、宛名のお子さんが5歳以上の方にお伺いします。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

■ 子どもを過ごさせたい場所



項目名	回答数	割合
1 自宅	71	32.4%
2 祖父母宅や友人・知人宅	33	15.1%
3 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	64	29.2%
4 放課後こども教室(児童館、児童センター、児童室)	70	32.0%
5 放課後児童クラブ〔学童保育〕	127	58.0%
6 ファミリー・サポート・センター	2	0.9%
7 その他(図書館、公園など)	9	4.1%
合計(回答母数)	219	
無回答	35	
調査対象者	254	
調査対象外	563	

子どもが小学校低学年（1～3年生）の間、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所については、「放課後児童クラブ」が58.0%で最も多く、次いで「自宅」(32.4%)、「放課後こども教室」(32.0%)、「習い事」(29.2%)がいずれも3割前後で続いている。

■ 場所ごとの、希望利用日数

1 自宅

項目名	回答数	割合
1 1日	13	18.6%
2 2日	10	14.3%
3 3日	15	21.4%
4 4日	5	7.1%
5 5日	22	31.4%
6 6日	1	1.4%
7 7日	4	5.7%
合計	70	100.0%
無回答	1	
調査対象者	71	
調査対象外	746	

2 祖父母宅や友人・知人宅

項目名	回答数	割合
1 1日	8	25.8%
2 2日	6	19.4%
3 3日	8	25.8%
4 4日	1	3.2%
5 5日	8	25.8%
6 6日	—	
7 7日	—	
合計	31	100.0%
無回答	2	
調査対象者	33	
調査対象外	784	

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

3 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

	項目名	回答数	割合
1	1日	31	48.4%
2	2日	25	39.1%
3	3日	8	12.5%
4	4日	-	
5	5日	-	
6	6日	-	
7	7日	-	
	合計	64	100.0%
	無回答	-	
	調査対象者	64	
	調査対象外	753	

4 放課後こども教室(児童館、児童センター、児童室)

	項目名	回答数	割合
1	1日	11	16.2%
2	2日	12	17.6%
3	3日	10	14.7%
4	4日	7	10.3%
5	5日	26	38.2%
6	6日	1	1.5%
7	7日	1	1.5%
	合計	68	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	70	
	調査対象外	747	

5 放課後児童クラブ〔学童保育〕

	項目名	回答数	割合
1	1日	4	3.3%
2	2日	6	4.9%
3	3日	9	7.3%
4	4日	14	11.4%
5	5日	83	67.5%
6	6日	6	4.9%
7	7日	1	0.8%
	合計	123	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	127	
	調査対象外	690	

5 関連 利用を希望する時間

	項目名	回答数	割合
1	15時前	-	
2	15時	-	
3	16時	6	4.8%
4	17時	31	25.0%
5	18時	75	60.5%
6	19時	12	9.7%
7	20時以降	-	
	合計	124	100.0%
	無回答	3	
	調査対象者	127	
	調査対象外	690	

7 その他(図書館、公園など)

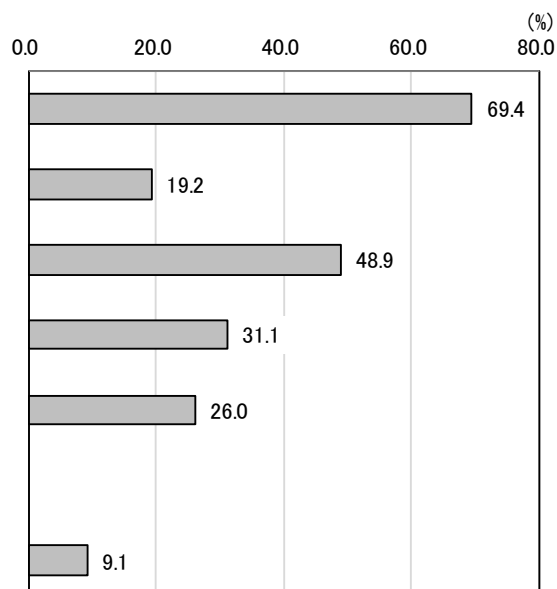
	項目名	回答数	割合
1	1日	1	16.7%
2	2日	3	50.0%
3	3日	2	33.3%
4	4日	-	
5	5日	-	
6	6日	-	
7	7日	-	
	合計	6	100.0%
	無回答	3	
	調査対象者	9	
	調査対象外	808	

(注意)

「6 ファミリー・サポート・センター」を選んだ方から、日数についての回答はなかった。

問 28 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

■ 子どもを過ごさせたい場所



	項目名	回答数	割合
1	自宅	152	69.4%
2	祖父母宅や友人・知人宅	42	19.2%
3	習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	107	48.9%
4	放課後こども教室 (児童館、児童センター、児童室)	68	31.1%
5	放課後児童クラブ〔学童保育〕	57	26.0%
6	ファミリー・サポート・センター	—	
7	その他 (図書館、公園など)	20	9.1%
	合計 (回答母数)	219	
	無回答	35	
	調査対象者	254	
	調査対象外	563	

子どもが小学校高学年（４～６年生）の間、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が 69.4%で最も多く、次いで「習い事」が 48.9%、「放課後こども教室」が 31.1%、「放課後児童クラブ」が 26.0%で続いている。

■ 場所ごとの、希望利用日数 （※回答のあった項目のみ掲載）

1 自宅

	項目名	回答数	割合
1	1日	15	10.3%
2	2日	25	17.1%
3	3日	35	24.0%
4	4日	14	9.6%
5	5日	49	33.6%
6	6日	1	0.7%
7	7日	7	4.8%
	合計	146	100.0%
	無回答	6	
	調査対象者	152	
	調査対象外	665	

2 祖父母宅や友人・知人宅

	項目名	回答数	割合
1	1日	12	28.6%
2	2日	11	26.2%
3	3日	10	23.8%
4	4日	2	4.8%
5	5日	7	16.7%
6	6日	—	
7	7日	—	
	合計	42	100.0%
	無回答	—	
	調査対象者	42	
	調査対象外	775	

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

3 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

	項目名	回答数	割合
1	1日	36	34.3%
2	2日	43	41.0%
3	3日	17	16.2%
4	4日	3	2.9%
5	5日	6	5.7%
6	6日	-	
7	7日	-	
	合計	105	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	107	
	調査対象外	710	

4 放課後こども教室(児童館、児童センター、児童室)

	項目名	回答数	割合
1	1日	10	14.9%
2	2日	16	23.9%
3	3日	18	26.9%
4	4日	6	9.0%
5	5日	16	23.9%
6	6日	-	
7	7日	1	1.5%
	合計	67	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	68	
	調査対象外	749	

5 放課後児童クラブ〔学童保育〕

	項目名	回答数	割合
1	1日	5	8.9%
2	2日	9	16.1%
3	3日	6	10.7%
4	4日	6	10.7%
5	5日	25	44.6%
6	6日	3	5.4%
7	7日	2	3.6%
	合計	56	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	57	
	調査対象外	760	

5 関連 利用を希望する時間

	項目名	回答数	割合
1	15時前	-	
2	15時	-	
3	16時	-	
4	17時	13	23.6%
5	18時	38	69.1%
6	19時	3	5.5%
7	20時	1	1.8%
8	21時以降	-	
	合計	55	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	57	
	調査対象外	760	

7 その他(図書館、公園など)

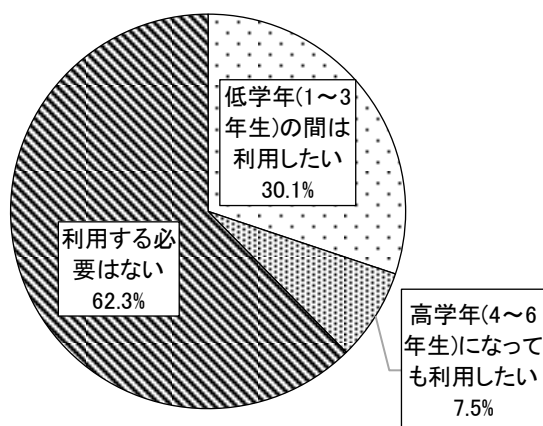
	項目名	回答数	割合
1	1日	8	42.1%
2	2日	7	36.8%
3	3日	3	15.8%
4	4日	-	
5	5日	-	
6	6日	-	
7	7日	1	5.3%
	合計	19	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	20	
	調査対象外	797	

問 29 問 27 または問 28 で「5 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にお伺いします。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、□内にご記入ください。

(1) 土曜日

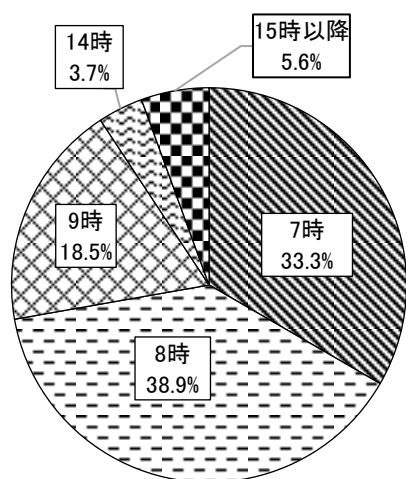
■ 利用希望の有無



	項目名	回答数	割合
1	低学年(1～3年生)の間は利用したい	44	30.1%
2	高学年(4～6年生)になっても利用したい	11	7.5%
3	利用する必要はない	91	62.3%
	合計	146	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	150	
	調査対象外	667	

放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所として「放課後児童クラブ」と答えた方の土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が62.3%で6割以上を占めた一方、「低学年の間は利用したい」は30.1%、「高学年になっても利用したい」は7.5%となっている。

■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（開始）

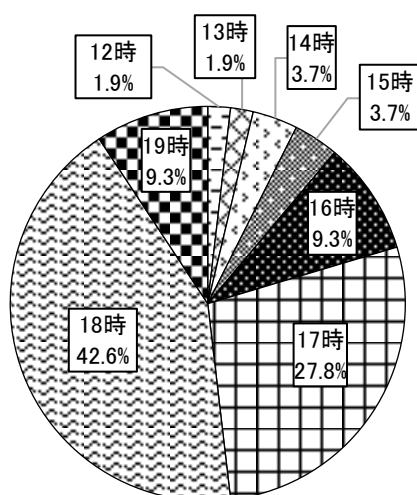


	項目名	回答数	割合
1	6時前	—	
2	6時	—	
3	7時	18	33.3%
4	8時	21	38.9%
5	9時	10	18.5%
6	10時	—	
7	11時	—	
8	12時	—	
9	13時	—	
10	14時	2	3.7%
11	15時以降	3	5.6%
	合計	54	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	55	
	調査対象外	762	

「放課後児童クラブ」を土曜日に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（開始）については、「8時」が38.9%で最も多く、次いで「7時」が33.3%で続き、この2項目で全体の7割以上を占めている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（終了）

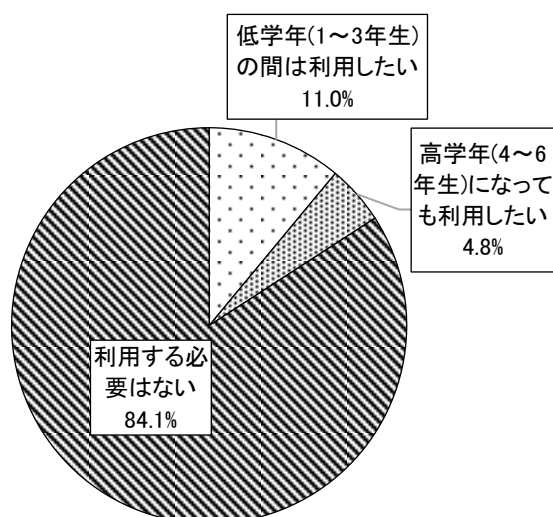


	項目名	回答数	割合
1	10時前	—	
2	10時	—	
3	11時	—	
4	12時	1	1.9%
5	13時	1	1.9%
6	14時	2	3.7%
7	15時	2	3.7%
8	16時	5	9.3%
9	17時	15	27.8%
10	18時	23	42.6%
11	19時	5	9.3%
12	20時	—	
13	21時以降	—	
	合計	54	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	55	
	調査対象外	762	

「放課後児童クラブ」を土曜日に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（終了）については、「18時」が42.6%で最も多く、次いで「17時」が27.8%で続き、この2項目で全体の7割以上を占めている。

（2）日曜日・祝日

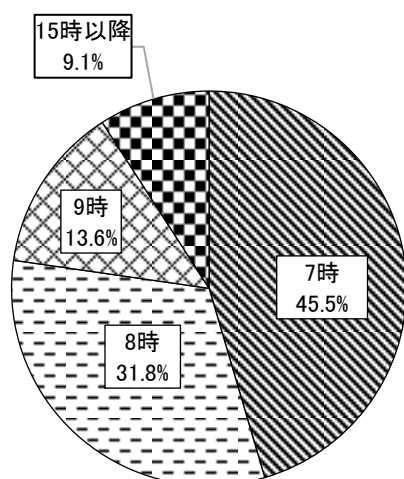
■ 利用希望の有無



	項目名	回答数	割合
1	低学年(1～3年生)の間は利用したい	16	11.0%
2	高学年(4～6年生)になっても利用したい	7	4.8%
3	利用する必要はない	122	84.1%
	合計	145	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	150	
	調査対象外	667	

放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所として「放課後児童クラブ」と答えた方の日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が84.1%で8割以上を占めた一方、「低学年の間は利用したい」は11.0%、「高学年になっても利用したい」は4.8%となっている。

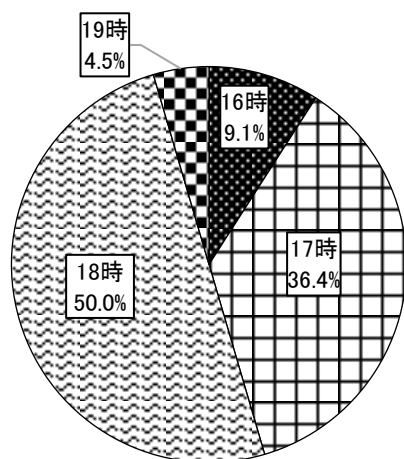
■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（開始）



	項目名	回答数	割合
1	6時前	—	
2	6時	—	
3	7時	10	45.5%
4	8時	7	31.8%
5	9時	3	13.6%
6	10時	—	
7	11時	—	
8	12時	—	
9	13時	—	
10	14時	—	
11	15時以降	2	9.1%
	合計	22	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	23	
	調査対象外	794	

「放課後児童クラブ」を日曜日・祝日に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（開始）については、「7時」が45.5%で最も多く、次いで「8時」が31.8%で続き、この2項目で全体の7割以上を占めている。

■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（終了）



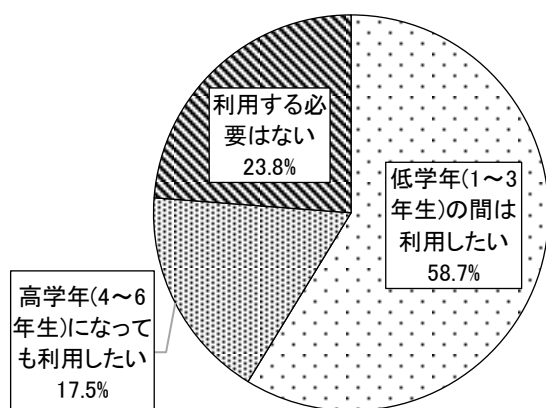
	項目名	回答数	割合
1	10時前	—	
2	10時	—	
3	11時	—	
4	12時	—	
5	13時	—	
6	14時	—	
7	15時	—	
8	16時	2	9.1%
9	17時	8	36.4%
10	18時	11	50.0%
11	19時	1	4.5%
12	20時	—	
13	21時以降	—	
	全体	22	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	23	
	調査対象外	794	

「放課後児童クラブ」を日曜日・祝日に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（終了）については、「18時」が50.0%で最も多く、次いで「17時」が36.4%で続き、この2項目で全体の8割以上を占めている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 30 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、ご記入ください。

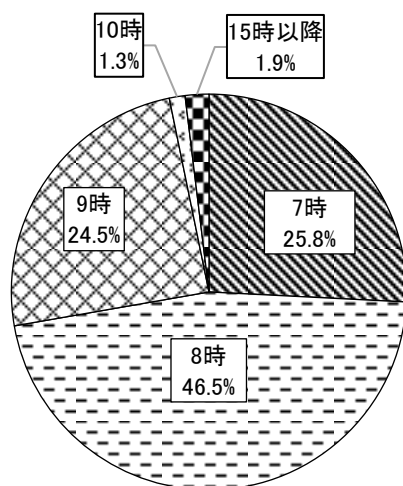
■ 利用希望の有無



	項目名	回答数	割合
1	低学年(1～3年生)の間は利用したい	121	58.7%
2	高学年(4～6年生)になっても利用したい	36	17.5%
3	利用する必要はない	49	23.8%
	合計	206	100.0%
	無回答	48	
	調査対象者	254	
	調査対象外	563	

子どもの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年の間は利用したい」が58.7%で最も多く、「高学年になっても利用したい」は17.5%となった一方、「利用する必要はない」は23.8%となっている。

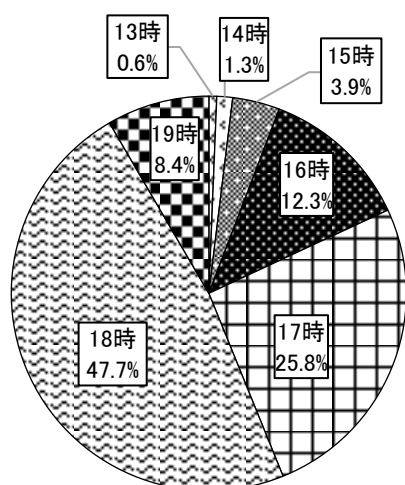
■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（開始）



	項目名	回答数	割合
1	6時前	—	—
2	6時	—	—
3	7時	40	25.8%
4	8時	72	46.5%
5	9時	38	24.5%
6	10時	2	1.3%
7	11時	—	—
8	12時	—	—
9	13時	—	—
10	14時	—	—
11	15時以降	3	1.9%
	合計	155	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	157	
	調査対象外	660	

子どもの長期の休暇期間中に放課後児童クラブを利用したいと答えた方の利用希望時間帯（開始）については、「8時」が46.5%で最も多く、次いで「7時」（25.8%）と「9時」（24.5%）が僅差で続き、これら3項目で全体の9割以上を占めている。

■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（終了）



	項目名	回答数	割合
1	10時前	—	
2	10時	—	
3	11時	—	
4	12時	—	
5	13時	1	0.6%
6	14時	2	1.3%
7	15時	6	3.9%
8	16時	19	12.3%
9	17時	40	25.8%
10	18時	74	47.7%
11	19時	13	8.4%
12	20時	—	
13	21時以降	—	
	合計	155	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	157	
	調査対象外	660	

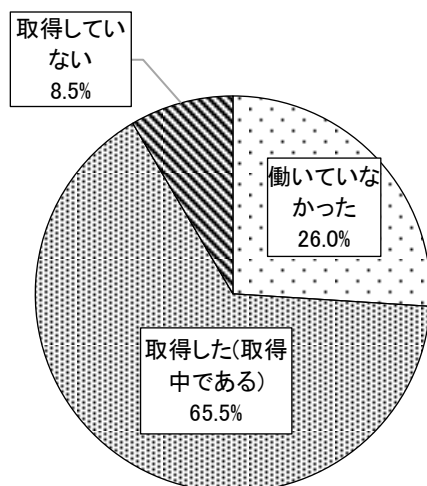
子どもの長期の休暇期間中に放課後児童クラブを利用したいと答えた方の利用希望時間帯（終了）については、「18時」が47.7%で最も多く、次いで「17時」が25.8%で続き、この2項目で全体の7割以上を占めている。

仕事と子育ての両立支援についてお伺いします

問 31 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親

■ 育児休業の取得の有無

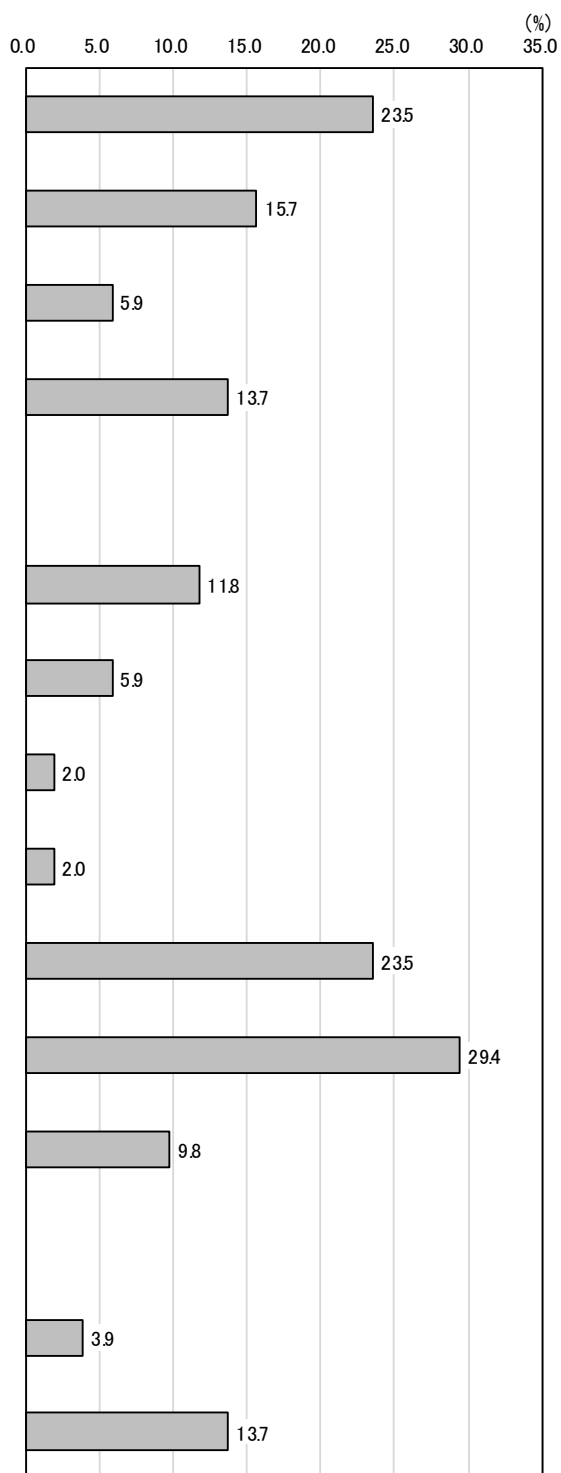


	項目名	回答数	割合
1	働いていなかった	206	26.0%
2	取得した(取得中である)	519	65.5%
3	取得していない	67	8.5%
	合計	792	100.0%
	無回答	25	
	調査対象者	817	

子どもが生まれたときに母親が育児休業を取得したかについては、「取得した(取得中である)」が65.5%で最も多くなった一方、「取得していない」は8.5%となっている。また、「働いていなかった」は26.0%となっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

■ 「3」と回答の場合、取得していない理由

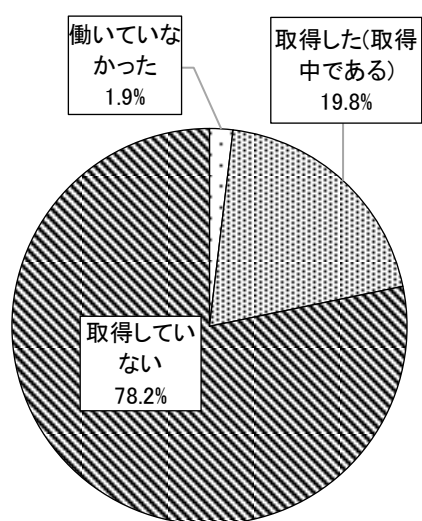


項目名	回答数	割合
1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	12	23.5%
2 仕事が忙しかった	8	15.7%
3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3	5.9%
4 仕事に戻るのが難しそうだった	7	13.7%
5 昇給・昇格などが遅れそうだった	-	-
6 収入減となり、経済的に苦しくなる	6	11.8%
7 保育所(園)などに預けることができた	3	5.9%
8 配偶者が育児休業制度を利用した	1	2.0%
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	1	2.0%
10 子育てや家事に専念するため退職した	12	23.5%
11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	15	29.4%
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	5	9.8%
13 育児休業を取得できることを知らなかった	-	-
14 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	2	3.9%
15 その他	7	13.7%
合計(回答母数)	51	
無回答	16	
調査対象者	67	
調査対象外	750	

母親が育児休業を取得しなかった理由については、「職場に育児休業の制度がなかった」が29.4%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と「子育てや家事に専念するため退職した」がともに23.5%で続き、これら3項目が2割台で比較的多くなっている。

(2) 父親

■ 育児休業の取得の有無

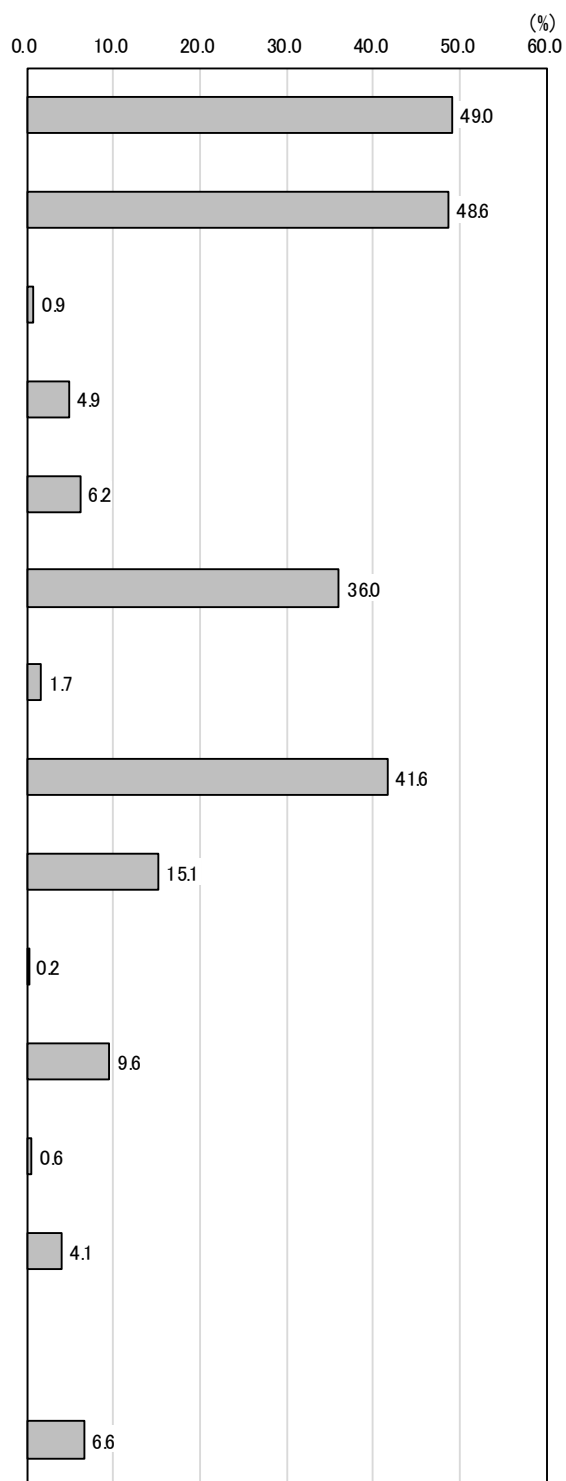


	項目名	回答数	割合
1	働いていなかった	15	1.9%
2	取得した(取得中である)	156	19.8%
3	取得していない	615	78.2%
	合計	786	100.0%
	無回答	31	
	調査対象者	817	

子どもが生まれたときに父親が育児休業を取得したかについては、「取得していない」が78.2%で最も多くなった一方、「取得した（取得中である）」は19.8%となっている。また、「働いていなかった」は1.9%となっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

■ 「3」と回答の場合、取得していない理由



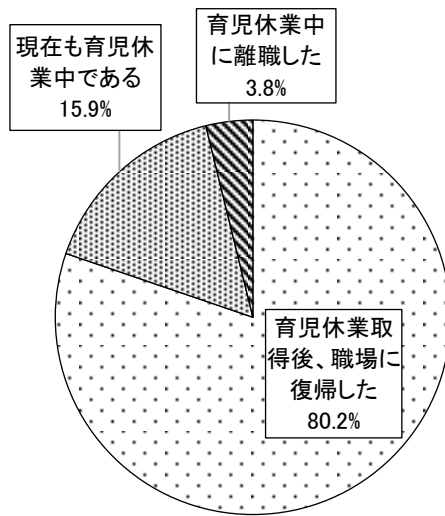
項目名	回答数	割合
1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	230	49.0%
2 仕事が忙しかった	228	48.6%
3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	4	0.9%
4 仕事に戻るのが難しそうだった	23	4.9%
5 昇給・昇格などが遅れそうだった	29	6.2%
6 収入減となり、経済的に苦しくなる	169	36.0%
7 保育所(園)などに預けることができた	8	1.7%
8 配偶者が育児休業制度を利用した	195	41.6%
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	71	15.1%
10 子育てや家事に専念するため退職した	1	0.2%
11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	45	9.6%
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	3	0.6%
13 育児休業を取得できることを知らなかった	19	4.1%
14 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	-	-
15 その他	31	6.6%
合計(回答母数)	469	
無回答	146	
調査対象者	615	
調査対象外	202	

父親が育児休業を取得しなかった理由については、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が49.0%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が48.6%と僅差で続き、これに「配偶者が育児休業制度を利用した」が41.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が36.0%で続いている。

問 31 で「2 取得した（取得中である）」と回答した方にお伺いします。

問 31-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

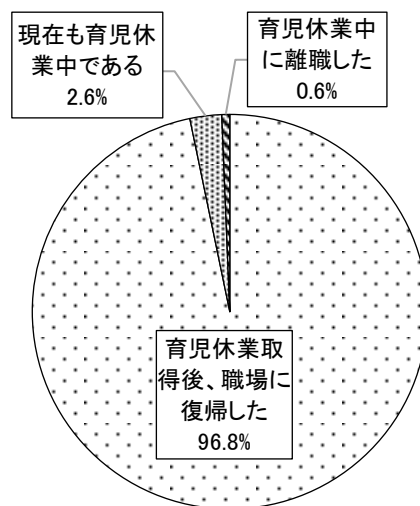
（１）母親



	項目名	回答数	割合
1	育児休業取得後、職場に復帰した	398	80.2%
2	現在も育児休業中である	79	15.9%
3	育児休業中に離職した	19	3.8%
	合計	496	100.0%
	無回答	23	
	調査対象者	519	
	調査対象外	298	

育児休業を取得した母親がその後職場に復帰したかについては、「育児休業取得後、職場に復帰した」が80.2%で最も多くなった一方、「育児休業中に離職した」は3.8%となっている。

（２）父親



	項目名	回答数	割合
1	育児休業取得後、職場に復帰した	149	96.8%
2	現在も育児休業中である	4	2.6%
3	育児休業中に離職した	1	0.6%
	合計	154	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	156	
	調査対象外	661	

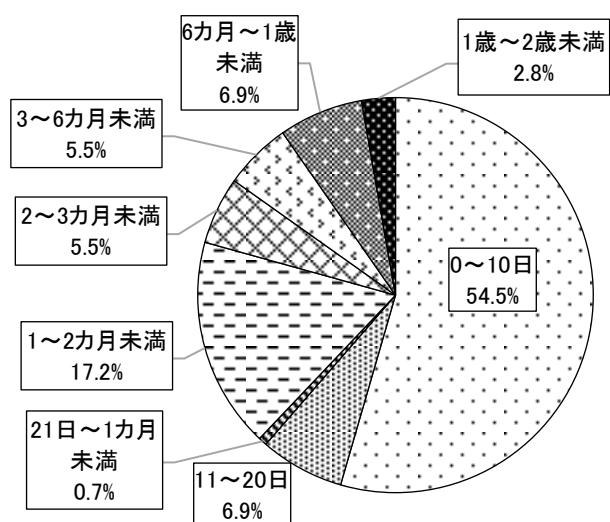
育児休業を取得した父親がその後職場に復帰したかについては、「育児休業取得後、職場に復帰した」が96.8%で最も多くなった一方、「育児休業中に離職した」は0.6%となっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 31 で、「2 取得した（取得中である）」と回答し、問 31-1 で「1」または「2」を選択したお父さんにお伺いします。

問 31-2 育児休業取得開始時期は、お子さんが何歳何カ月のときですか。また、どれくらいの期間取得しました（します）か。□内に数字でご記入ください。

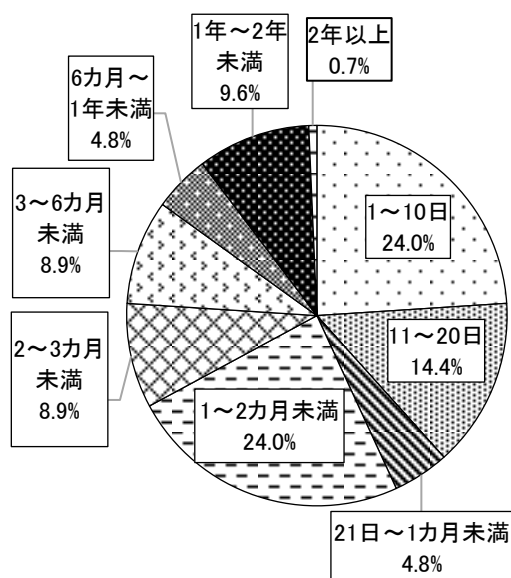
■ 取得開始時期（子どもの年(月)齢）



	項目名	回答数	割合
1	0～10日	79	54.5%
2	11～20日	10	6.9%
3	21日～1カ月未満	1	0.7%
4	1～2カ月未満	25	17.2%
5	2～3カ月未満	8	5.5%
6	3～6カ月未満	8	5.5%
7	6カ月～1歳未満	10	6.9%
8	1歳～2歳未満	4	2.8%
9	2歳以上	-	
	合計	145	100.0%
	無回答	10	
	調査対象者	155	
	調査対象外	662	

育児休業を取得した父親の取得時期については、「0～10日」が54.5%と5割以上を占め最も多く、次いで「1～2カ月未満」が17.2%で続いている。

■ 取得期間



	項目名	回答数	割合
1	1～10日	35	24.0%
2	11～20日	21	14.4%
3	21日～1カ月未満	7	4.8%
4	1～2カ月未満	35	24.0%
5	2～3カ月未満	13	8.9%
6	3～6カ月未満	13	8.9%
7	6カ月～1年未満	7	4.8%
8	1年～2年未満	14	9.6%
9	2年以上	1	0.7%
	合計	146	100.0%
	無回答	9	
	調査対象者	155	
	調査対象外	662	

育児休業を取得した父親の取得期間については、「1～10日」と「1～2カ月未満」がともに24.0%で最も多く、次いで「11～20日」が14.4%で続いている。

問 31-3 から問 31-6 は、問 31-1 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

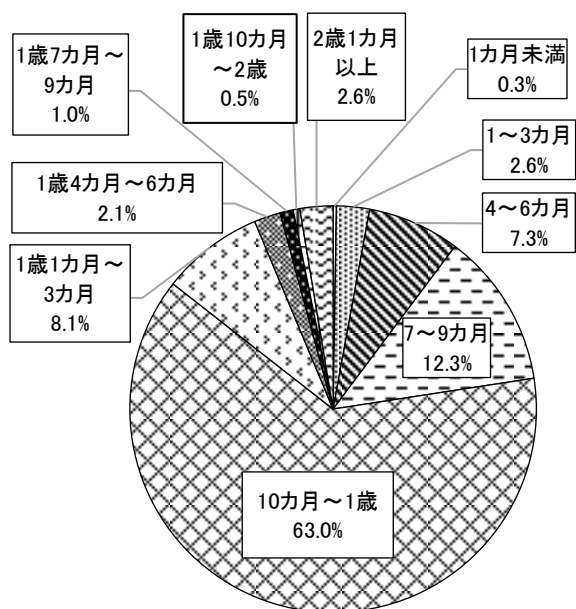
問 31-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何カ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何カ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

母親の育児休業からの復帰時期については、【実際】には「10 カ月～1 歳」が 63.0%と 6 割以上を占め最も多く、次いで「7～9 カ月」が 12.3%で続いている。また、「1 歳 1 カ月～3 カ月」以上の各期間については、総じて 1 割未満と少なくなっている。

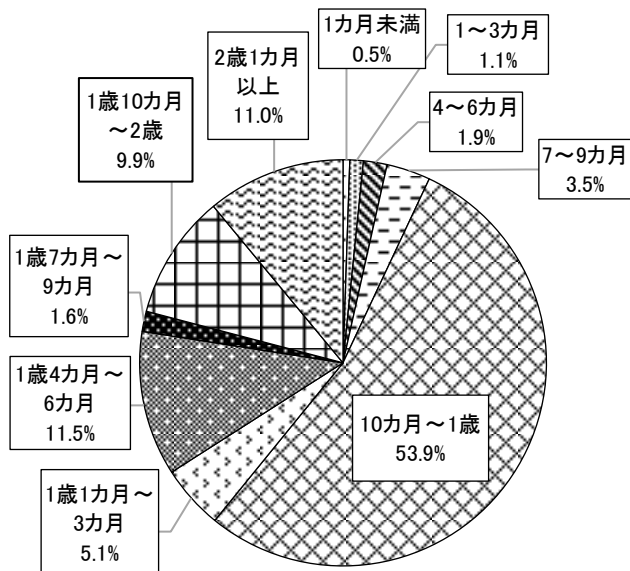
一方【希望】では、「10 カ月～1 歳」が 53.9%で最も多いものの、この割合は【実際】に比べて 9.1 ポイント少なくなっている。また、「1 歳 4 カ月～6 カ月」と「2 歳 1 カ月以上」はともに 1 割を超えており、【実際】よりも多くなっている。

■ 実際の復帰時期（子どもの年(月)齢）



項目名	回答数	割合
1 1カ月未満	1	0.3%
2 1～3カ月	10	2.6%
3 4～6カ月	28	7.3%
4 7～9カ月	47	12.3%
5 10カ月～1歳	240	63.0%
6 1歳1カ月～3カ月	31	8.1%
7 1歳4カ月～6カ月	8	2.1%
8 1歳7カ月～9カ月	4	1.0%
9 1歳10カ月～2歳	2	0.5%
10 2歳1カ月以上	10	2.6%
合計	381	100.0%
無回答	17	
調査対象者	398	
調査対象外	419	

■ 希望の復帰時期（子どもの年(月)齢）



項目名	回答数	割合
1 1カ月未満	2	0.5%
2 1～3カ月	4	1.1%
3 4～6カ月	7	1.9%
4 7～9カ月	13	3.5%
5 10カ月～1歳	201	53.9%
6 1歳1カ月～3カ月	19	5.1%
7 1歳4カ月～6カ月	43	11.5%
8 1歳7カ月～9カ月	6	1.6%
9 1歳10カ月～2歳	37	9.9%
10 2歳1カ月以上	41	11.0%
合計	373	100.0%
無回答	25	
調査対象者	398	
調査対象外	419	

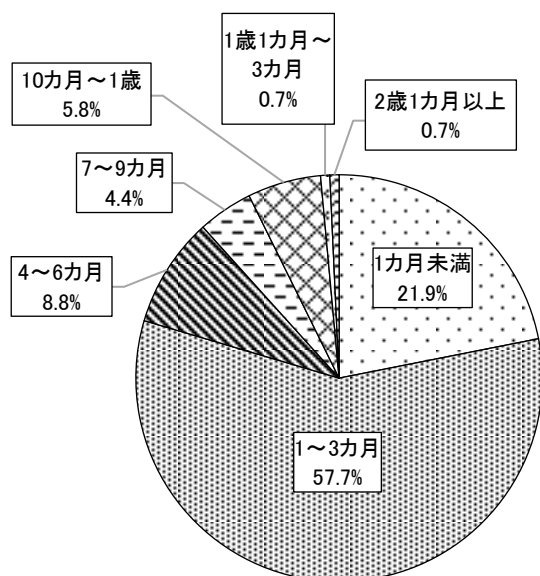
Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

(2) 父親

父親の育児休業からの復帰時期については、【実際】には「1～3カ月」が57.7%と6割近くを占め最も多く、次いで「1カ月未満」が21.9%で続いており、この2項目で全体の8割近くを占めている。

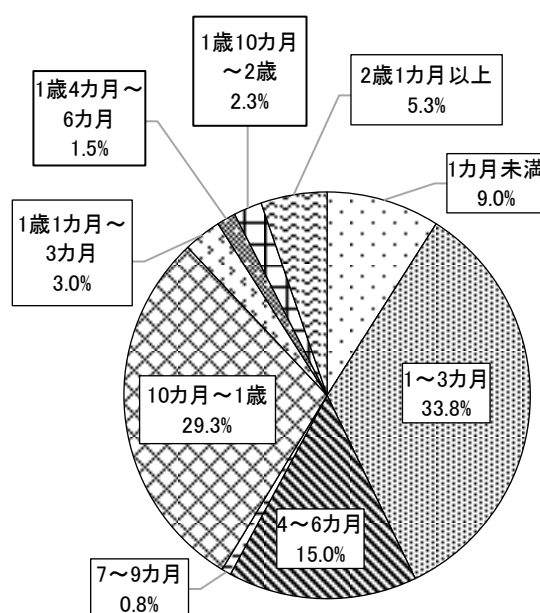
一方【希望】では、「1～3カ月」は33.8%、「1カ月未満」は9.0%となっており、この2項目の合計は4割台にとどまっている。また、「10カ月～1歳」は29.3%、「4～6カ月」は15.0%とそれぞれ1割以上となっており、【実際】を上回っている。

■ 実際の復帰時期（子どもの年(月)齢）



	項目名	回答数	割合
1	1カ月未満	30	21.9%
2	1～3カ月	79	57.7%
3	4～6カ月	12	8.8%
4	7～9カ月	6	4.4%
5	10カ月～1歳	8	5.8%
6	1歳1カ月～3カ月	1	0.7%
7	1歳4カ月～6カ月	－	
8	1歳7カ月～9カ月	－	
9	1歳10カ月～2歳	－	
10	2歳1カ月以上	1	0.7%
	合計	137	100.0%
	無回答	12	
	調査対象者	149	
	調査対象外	668	

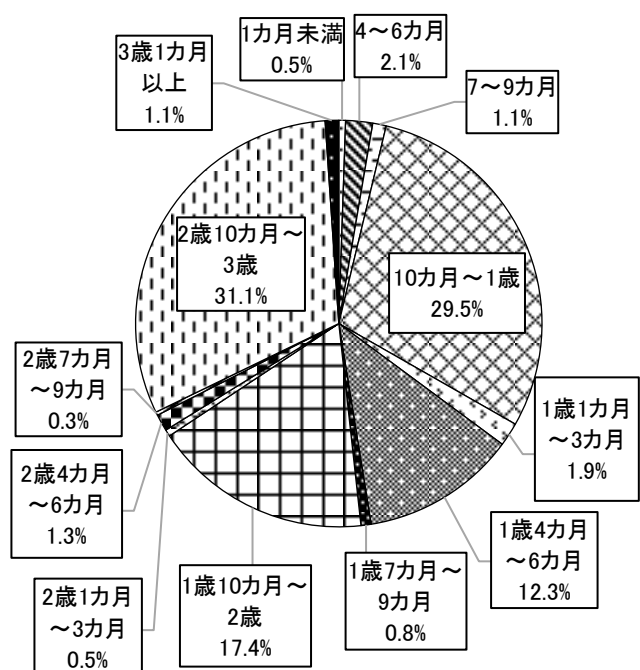
■ 希望の復帰時期（子どもの年(月)齢）



	項目名	回答数	割合
1	1カ月未満	12	9.0%
2	1～3カ月	45	33.8%
3	4～6カ月	20	15.0%
4	7～9カ月	1	0.8%
5	10カ月～1歳	39	29.3%
6	1歳1カ月～3カ月	4	3.0%
7	1歳4カ月～6カ月	2	1.5%
8	1歳7カ月～9カ月	－	
9	1歳10カ月～2歳	3	2.3%
10	2歳1カ月以上	7	5.3%
	合計	133	100.0%
	無回答	16	
	調査対象者	149	
	調査対象外	668	

問 31-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何カ月ものときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

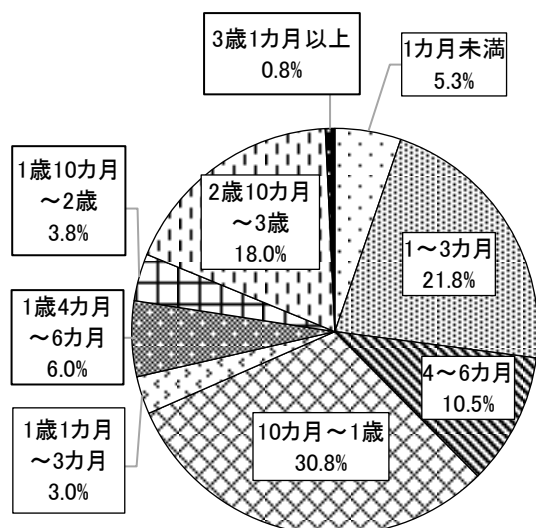
(1) 母親



職場に3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に母親が取りたかった育児休業期間（復帰時期）は、「2歳10カ月～3歳」が31.1%で最も多く、次いで「10カ月～1歳」が29.5%で続いている。

	項目名	回答数	割合
1	1カ月未満	2	0.5%
2	1～3カ月	—	—
3	4～6カ月	8	2.1%
4	7～9カ月	4	1.1%
5	10カ月～1歳	110	29.5%
6	1歳1カ月～3カ月	7	1.9%
7	1歳4カ月～6カ月	46	12.3%
8	1歳7カ月～9カ月	3	0.8%
9	1歳10カ月～2歳	65	17.4%
10	2歳1カ月～3カ月	2	0.5%
11	2歳4カ月～6カ月	5	1.3%
12	2歳7カ月～9カ月	1	0.3%
13	2歳10カ月～3歳	116	31.1%
14	3歳1カ月以上	4	1.1%
	合計	373	100.0%
	無回答	25	
	調査対象者	398	
	調査対象外	419	

(2) 父親



職場に3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に父親が取りたかった育児休業期間（復帰時期）は、「10カ月～1歳」が30.8%で最も多く、次いで「1～3カ月」が21.8%で続いている。

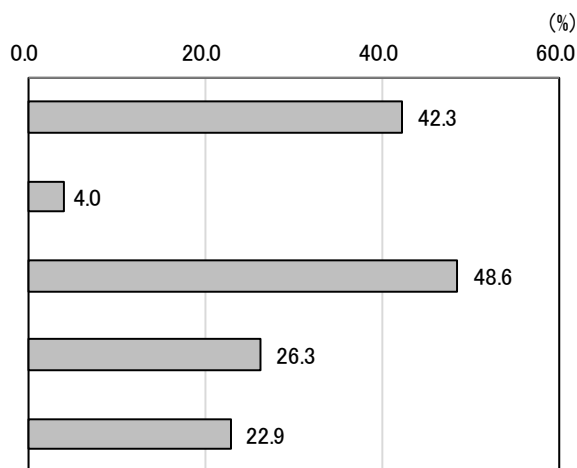
	項目名	回答数	割合
1	1カ月未満	7	5.3%
2	1～3カ月	29	21.8%
3	4～6カ月	14	10.5%
4	7～9カ月	—	—
5	10カ月～1歳	41	30.8%
6	1歳1カ月～3カ月	4	3.0%
7	1歳4カ月～6カ月	8	6.0%
8	1歳7カ月～9カ月	—	—
9	1歳10カ月～2歳	5	3.8%
10	2歳1カ月～3カ月	—	—
11	2歳4カ月～6カ月	—	—
12	2歳7カ月～9カ月	—	—
13	2歳10カ月～3歳	24	18.0%
14	3歳1カ月以上	1	0.8%
	合計	133	100.0%
	無回答	16	
	調査対象者	149	
	調査対象外	668	

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 31-5 問 31-3 で実際の取得期間と希望が異なる方にお伺いします。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

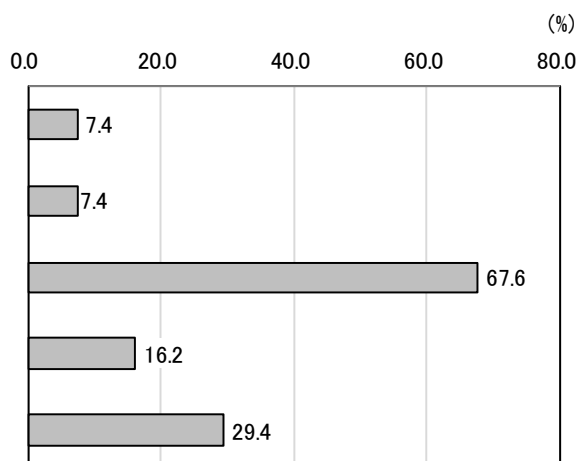
① 母親



項目名	回答数	割合
1 希望する保育所等に入るため	74	42.3%
2 配偶者や家族の希望があったため	7	4.0%
3 経済的な理由で早く復帰する必要があった	85	48.6%
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	46	26.3%
5 その他	40	22.9%
合計(回答母数)	175	
無回答	15	
調査対象者	190	
調査対象外	627	

母親が、育児休業休暇を希望より早く終え職場復帰した理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が48.6%で最も多く、次いで「希望する保育所等に入るため」が42.3%で続き、この2項目が4割台となっている。以下は、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が26.3%、「その他」が22.9%で続いている。

② 父親



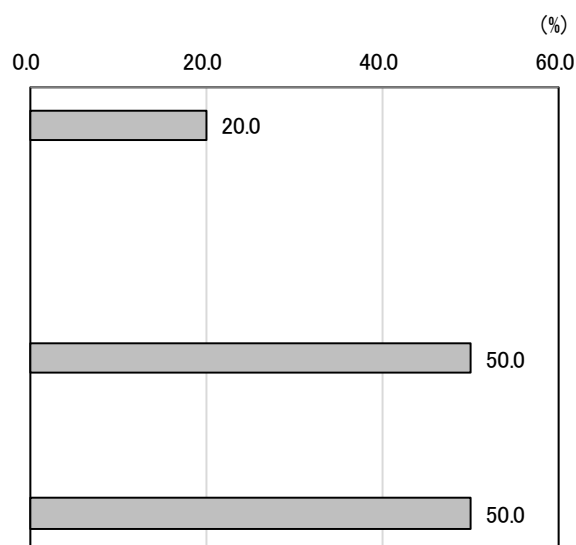
項目名	回答数	割合
1 希望する保育所等に入るため	5	7.4%
2 配偶者や家族の希望があったため	5	7.4%
3 経済的な理由で早く復帰する必要があった	46	67.6%
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	11	16.2%
5 その他	20	29.4%
合計(回答母数)	68	
無回答	8	
調査対象者	76	
調査対象外	741	

父親が、育児休業休暇を希望より早く終え職場復帰した理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が67.6%で6割以上となり最も多く、次いで「その他」が29.4%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が16.2%で続いている。

(2) 「希望」より遅く復帰した方

※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

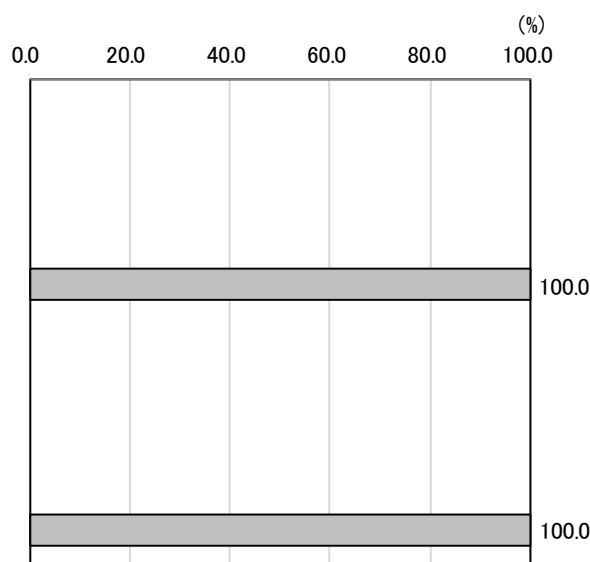
① 母親



	項目名	回答数	割合
1	希望する保育所等に入れなかったため	2	20.0%
2	自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	-	
3	配偶者や家族の希望があったため	-	
4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	5	50.0%
5	子どもをみてくれる人がいなかったため	-	
6	その他	5	50.0%
	合計(回答母数)	10	
	無回答	4	
	調査対象者	14	
	調査対象外	803	

母親が、育児休業休暇を希望より長く取得した理由については、「職場の受け入れ態勢が整っていたため」と「その他」がともに 50.0%で最も多くなっている。

② 父親



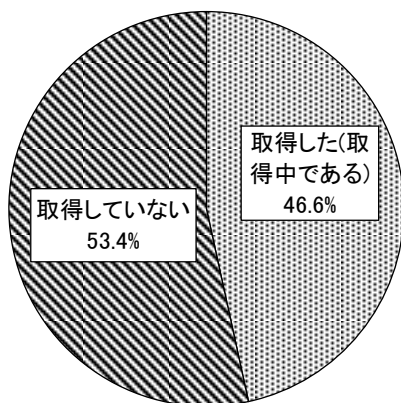
	項目名	回答数	割合
1	希望する保育所等に入れなかったため	-	
2	自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	-	
3	配偶者や家族の希望があったため	1	100.0%
4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	-	
5	子どもをみてくれる人がいなかったため	-	
6	その他	1	100.0%
	合計(回答母数)	1	
	無回答	2	
	調査対象者	3	
	調査対象外	814	

父親が、育児休業休暇を希望より長く取得した理由については、「配偶者家族の希望があったため」と「その他」がともに 100.0%となっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 31-6 宛名のお子さんのために、育児短時間勤務を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

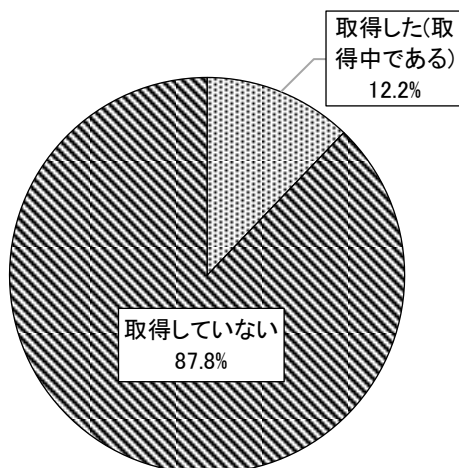
(1) 母親



	項目名	回答数	割合
1	働いていなかった	-	
2	取得した(取得中である)	150	46.6%
3	取得していない	172	53.4%
	合計	322	100.0%
	無回答	76	
	調査対象者	398	
	調査対象外	419	

母親が育児短時間勤務を取得したかについては、「取得していない」が53.4%となり、「取得した(取得中である)」(46.6%)を上回っている。

(2) 父親

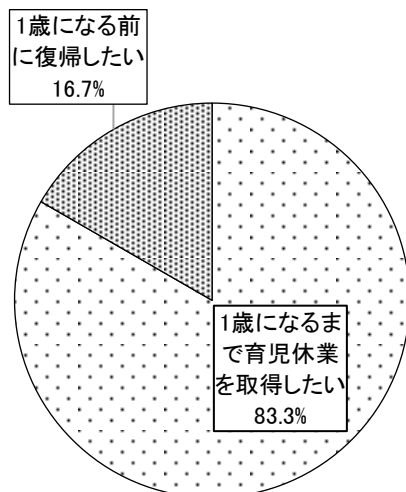


	項目名	回答数	割合
1	働いていなかった	-	
2	取得した(取得中である)	14	12.2%
3	取得していない	101	87.8%
	合計	115	100.0%
	無回答	34	
	調査対象者	149	
	調査対象外	668	

父親が育児短時間勤務を取得したかについては、「取得していない」が87.8%と8割以上を占め、「取得した(取得中である)」は12.2%と1割台にとどまっている。

問 32 問 31-1 で「2 現在も育児休業中である」と回答し、お子さんが1歳未満の方にお伺いします。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業（保育所等への入所など）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

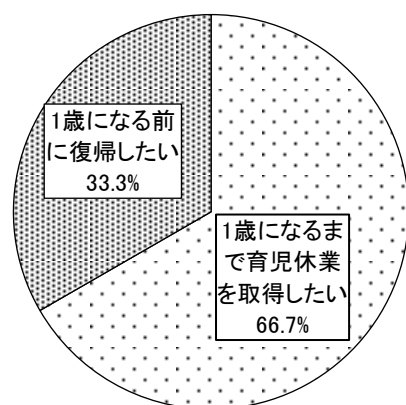
（１）母親



	項目名	回答数	割合
1	1歳になるまで育児休業を取得したい	40	83.3%
2	1歳になる前に復帰したい	8	16.7%
	合計	48	100.0%
	無回答	3	
	調査対象者	51	
	調査対象外	766	

子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、母親は子どもが1歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が83.3%と8割以上を占めた。

（２）父親



	項目名	回答数	割合
1	1歳になるまで育児休業を取得したい	2	66.7%
2	1歳になる前に復帰したい	1	33.3%
	合計	3	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	4	
	調査対象外	813	

子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、父親は子どもが1歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が66.7%と6割以上を占めた。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 33 一週間平均の1日の生活時間の配分について教えてください。それぞれの項目について、□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

母親の1日の生活時間の配分については、仕事は「7～9時間未満」(58.0%)、家事は「3～5時間未満」(40.9%)、育児は「3～5時間未満」(34.0%)、睡眠は「7～9時間未満」(54.7%)、その他は「1～3時間未満」(66.7%)がそれぞれ最も多くなっている。

■ 仕事

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	—	
2	1～3時間未満	—	
3	3～5時間未満	29	4.8%
4	5～7時間未満	104	17.1%
5	7～9時間未満	352	58.0%
6	9～11時間未満	104	17.1%
7	11～13時間未満	15	2.5%
8	13時間以上	3	0.5%
	合計	607	100.0%
	無回答	210	
	調査対象者	817	

■ 家事

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	—	
2	1～3時間未満	219	28.6%
3	3～5時間未満	314	40.9%
4	5～7時間未満	152	19.8%
5	7～9時間未満	39	5.1%
6	9～11時間未満	17	2.2%
7	11～13時間未満	7	0.9%
8	13時間以上	19	2.5%
	合計	767	100.0%
	無回答	50	
	調査対象者	817	

■ 育児

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	3	0.4%
2	1～3時間未満	136	17.6%
3	3～5時間未満	263	34.0%
4	5～7時間未満	162	21.0%
5	7～9時間未満	71	9.2%
6	9～11時間未満	49	6.3%
7	11～13時間未満	28	3.6%
8	13時間以上	61	7.9%
	合計	773	100.0%
	無回答	44	
	調査対象者	817	

■ 睡眠

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	—	
2	1～3時間未満	—	
3	3～5時間未満	22	2.8%
4	5～7時間未満	295	37.2%
5	7～9時間未満	433	54.7%
6	9～11時間未満	38	4.8%
7	11～13時間未満	3	0.4%
8	13時間以上	1	0.1%
	合計	792	100.0%
	無回答	25	
	調査対象者	817	

■ その他

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	34	5.8%
2	1～3時間未満	388	66.7%
3	3～5時間未満	120	20.6%
4	5～7時間未満	24	4.1%
5	7～9時間未満	7	1.2%
6	9～11時間未満	6	1.0%
7	11～13時間未満	2	0.3%
8	13時間以上	1	0.2%
	合計	582	100.0%
	無回答	235	
	調査対象者	817	

(2) 父親

父親の1日の生活時間の配分については、仕事は「7～9時間未満」(39.0%)、家事は「1～3時間未満」(62.9%)、育児は「1～3時間未満」(55.4%)、睡眠は「7～9時間」(55.2%)、その他は「1～3時間」(53.6%)がそれぞれ最も多くなっている。

■仕事

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	—	
2	1～3時間未満	—	
3	3～5時間未満	6	0.8%
4	5～7時間未満	1	0.1%
5	7～9時間未満	285	39.0%
6	9～11時間未満	270	37.0%
7	11～13時間未満	129	17.7%
8	13時間以上	39	5.3%
	合計	730	100.0%
	無回答	87	
	調査対象者	817	

■家事

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	113	19.3%
2	1～3時間未満	369	62.9%
3	3～5時間未満	81	13.8%
4	5～7時間未満	13	2.2%
5	7～9時間未満	3	0.5%
6	9～11時間未満	4	0.7%
7	11～13時間未満	—	
8	13時間以上	4	0.7%
	合計	587	100.0%
	無回答	230	
	調査対象者	817	

■育児

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	43	6.5%
2	1～3時間未満	369	55.4%
3	3～5時間未満	179	26.9%
4	5～7時間未満	50	7.5%
5	7～9時間未満	9	1.4%
6	9～11時間未満	5	0.8%
7	11～13時間未満	5	0.8%
8	13時間以上	6	0.9%
	合計	666	100.0%
	無回答	151	
	調査対象者	817	

■睡眠

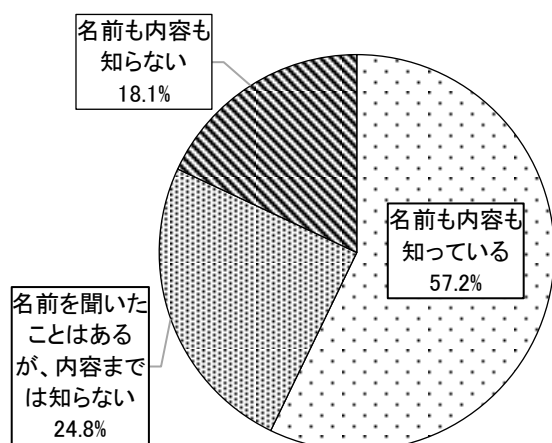
	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	—	
2	1～3時間未満	—	
3	3～5時間未満	4	0.6%
4	5～7時間未満	275	37.9%
5	7～9時間未満	401	55.2%
6	9～11時間未満	41	5.6%
7	11～13時間未満	4	0.6%
8	13時間以上	1	0.1%
	合計	726	100.0%
	無回答	91	
	調査対象者	817	

■その他

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	16	2.6%
2	1～3時間未満	327	53.6%
3	3～5時間未満	169	27.7%
4	5～7時間未満	68	11.1%
5	7～9時間未満	19	3.1%
6	9～11時間未満	8	1.3%
7	11～13時間未満	1	0.2%
8	13時間以上	2	0.3%
	合計	610	100.0%
	無回答	207	
	調査対象者	817	

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

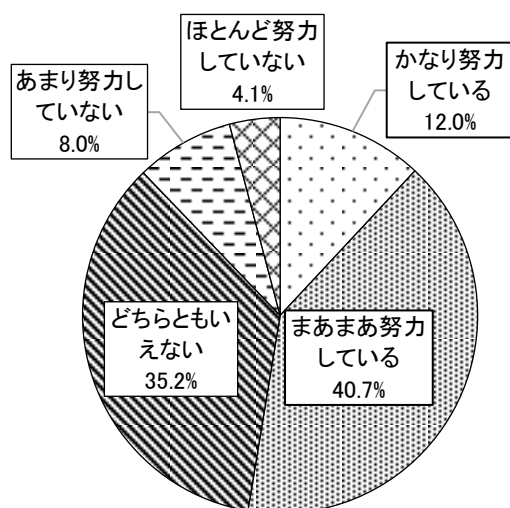
問 34 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をご存じですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	名前も内容も知っている	462	57.2%
2	名前を聞いたことはあるが、内容までは知らない	200	24.8%
3	名前も内容も知らない	146	18.1%
	合計	808	100.0%
	無回答	9	
	調査対象者	817	

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っているかについては、「名前も内容も知っている」が57.2%で最も多くなった一方、「名前を聞いたことはあるが、内容までは知らない」は24.8%、「名前も内容も知らない」は18.1%となり、これらを合わせた割合は42.9%と4割に上っている。

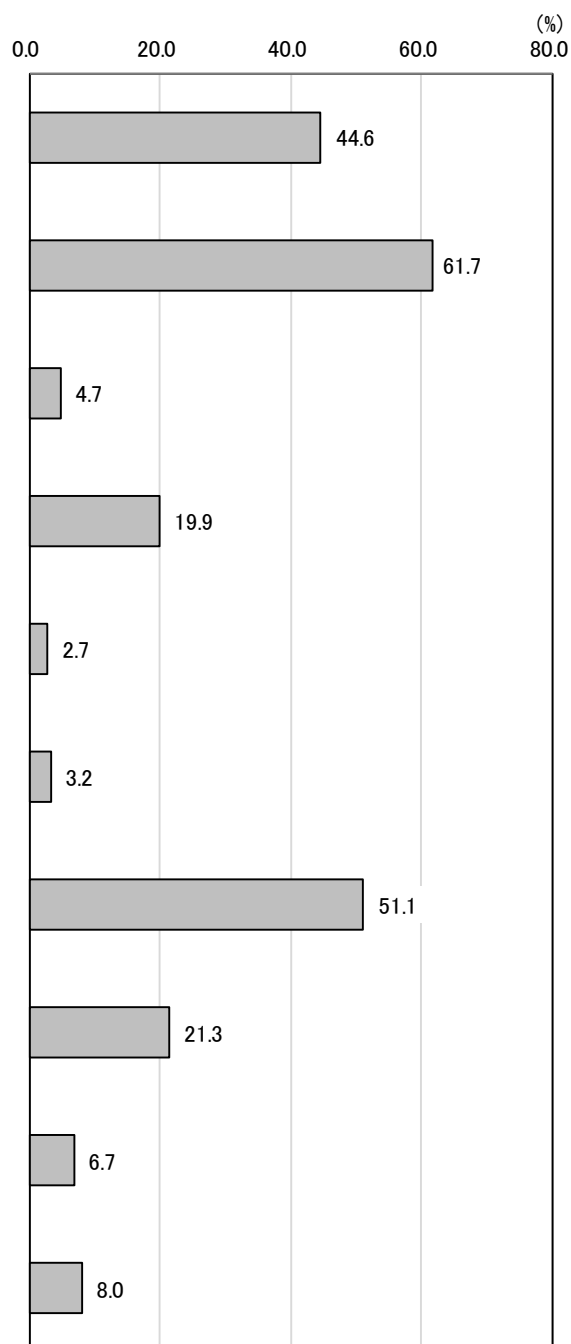
問 34-1 問 34 で「1 名前も内容も知っている」に○をつけた方にお伺いします。日頃、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、努力されていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	かなり努力している	55	12.0%
2	まあまあ努力している	187	40.7%
3	どちらともいえない	162	35.2%
4	あまり努力していない	37	8.0%
5	ほとんど努力していない	19	4.1%
	合計	460	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	462	
	調査対象外	355	

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の名前も内容も知っている人が、その実現に向け努力しているかについては、「まあまあ努力している」が40.7%で最も多く、これに「かなり努力している」を加えた『努力している』は52.7%と5割を上回っている。一方、『努力していない』（「あまり努力していない」と「ほとんど努力していない」の合計）は12.1%となっている。

問 35 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

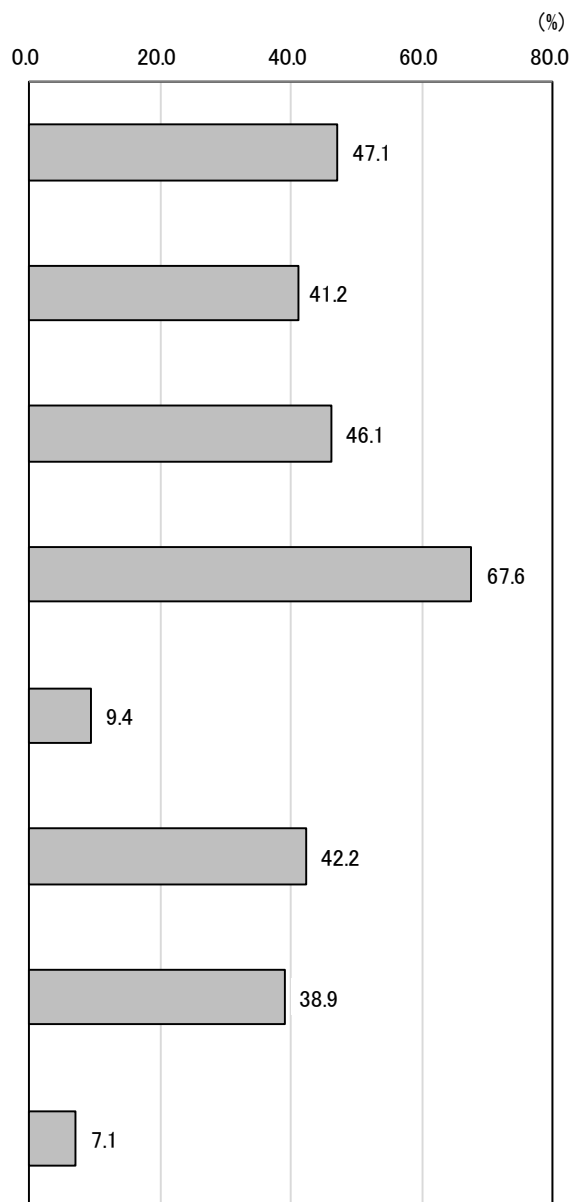


	項目名	回答数	割合
1	急な残業が入ってしまう	357	44.6%
2	自分が病気・けがをしたときや、子どもが急に病気になったとき代わりに面倒をみる人がいない	494	61.7%
3	家族の理解が得られない	38	4.7%
4	職場の理解が得られない	159	19.9%
5	子どものほかに面倒をみなければならない人がいる	22	2.7%
6	子どもの面倒をみってくれる保育所などが見つからない	26	3.2%
7	子どもと接する時間が少ない	409	51.1%
8	配偶者の家事・育児のサポートが少ない	171	21.3%
9	特にない	54	6.7%
10	その他	64	8.0%
合計(回答母数)		801	
無回答		16	
調査対象者		817	

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることについては、「自分が病気・けがをしたときや、子どもが急に病気になったとき代わりに面倒をみる人がいない」が61.7%で最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が51.1%、「急な残業が入ってしまう」が44.6%で続いている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 36 仕事と子育てを両立させ、ワーク・ライフ・バランスを推進するために必要な施策は何だと思いませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

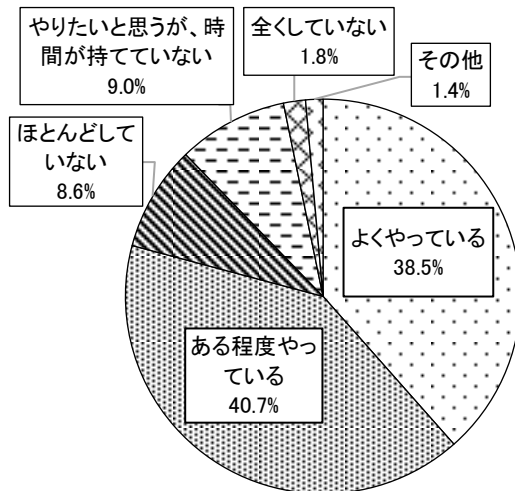


項目名	回答数	割合
1 両立支援に取り組む企業の評価を高めること	370	47.1%
2 イクボス宣言など経営者や上司の意識改革を図ること	324	41.2%
3 育児休業等を取りやすくするよう企業に働きかけること	362	46.1%
4 時間短縮勤務や在宅勤務など多様な働き方ができる企業を増やすこと	531	67.6%
5 両立支援に関する制度の周知、セミナー等の開催をすること	74	9.4%
6 代替要員の確保など、企業等に対する支援や助成をすること	332	42.2%
7 事業所内保育や延長保育・休日保育など、両立を支援する保育サービスや環境を整備すること	306	38.9%
8 その他	56	7.1%
合計(回答母数)	786	
無回答	31	
調査対象者	817	

ワーク・ライフ・バランスを推進するために必要な施策は何だと思うかについては、「時間短縮勤務や在宅勤務など多様な働き方ができる企業を増やすこと」が67.6%と6割台で最も多く、次いで「両立支援に取り組む企業の評価を高めること」(47.1%)、「育児休業等を取りやすくするよう企業に働きかけること」(46.1%)、「代替要員の確保など、企業等に対する支援や助成をすること」(42.2%)、「イクボス宣言など経営者や上司の意識改革を図ること」(41.2%)がいずれも4割台で続いている。

問 37 から問 38 は、父親の家事や育児等に関してお伺いします。母子家庭等の場合は回答不要です。

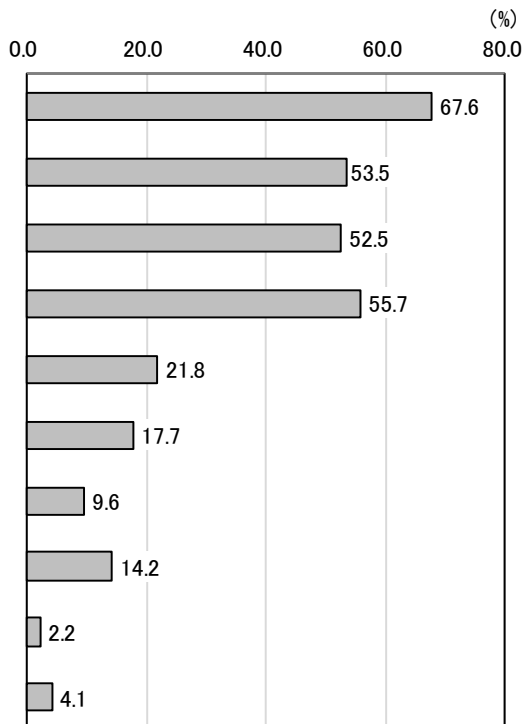
問 37 宛名のお子さんの父親の方について、普段、どのくらい家事や育児をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	よくやっている	299	38.5%
2	ある程度やっている	316	40.7%
3	ほとんどしていない	67	8.6%
4	やりたいと思うが、時間が持てていない	70	9.0%
5	全くしていない	14	1.8%
6	その他	11	1.4%
	合計	777	100.0%
	無回答	16	
	調査対象者	793	
	調査対象外	24	

父親が普段どのくらい家事や育児をしているかについては、「ある程度やっている」が40.7%で最も多く、これに「よくやっている」を合わせた『やっている』は79.2%と8割近くとなっている。

問 38 父親の家事や育児等を促進するためには何が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

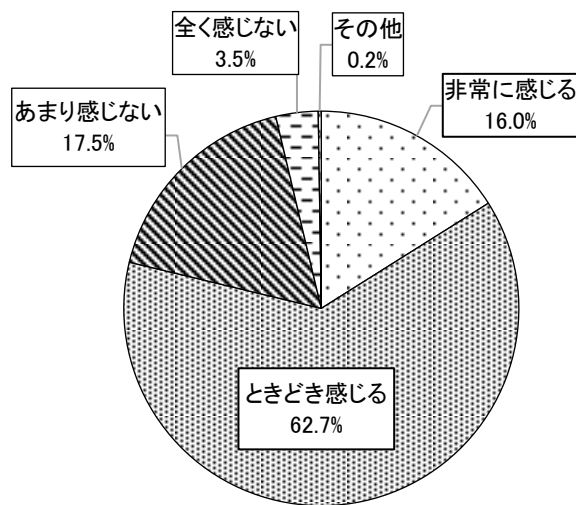


	項目名	回答数	割合
1	家事や育児等に対する男性自身の意識改革	523	67.6%
2	家族間の活発なコミュニケーションを図る	414	53.5%
3	企業における労働条件や働き方の改善	406	52.5%
4	職場における上司や周囲の理解を進める	431	55.7%
5	男性の家事・育児等の啓発や情報提供などを行う	169	21.8%
6	男性が興味を持つ子育てイベント等の普及	137	17.7%
7	仲間やネットワーク作りを進める	74	9.6%
8	男性の家事・育児時間を増やす取組や実践講座等を開催すること	110	14.2%
9	特に必要はない	17	2.2%
10	その他	32	4.1%
	合計(回答母数)	774	
	無回答	19	
	調査対象者	793	
	調査対象外	24	

父親の家事や育児等を促進するために何が必要だと思うかについては、「家事や育児等に対する男性自身の意識改革」が67.6%と6割台で最も多く、これに「職場における上司や周囲の理解を進める」(55.7%)、「家族間の活発なコミュニケーションを図る」(53.5%)、「企業における労働条件や働き方の改善」(52.5%)がいずれも5割台で続いている。

子育てに関する不安感や負担感についてお伺いします

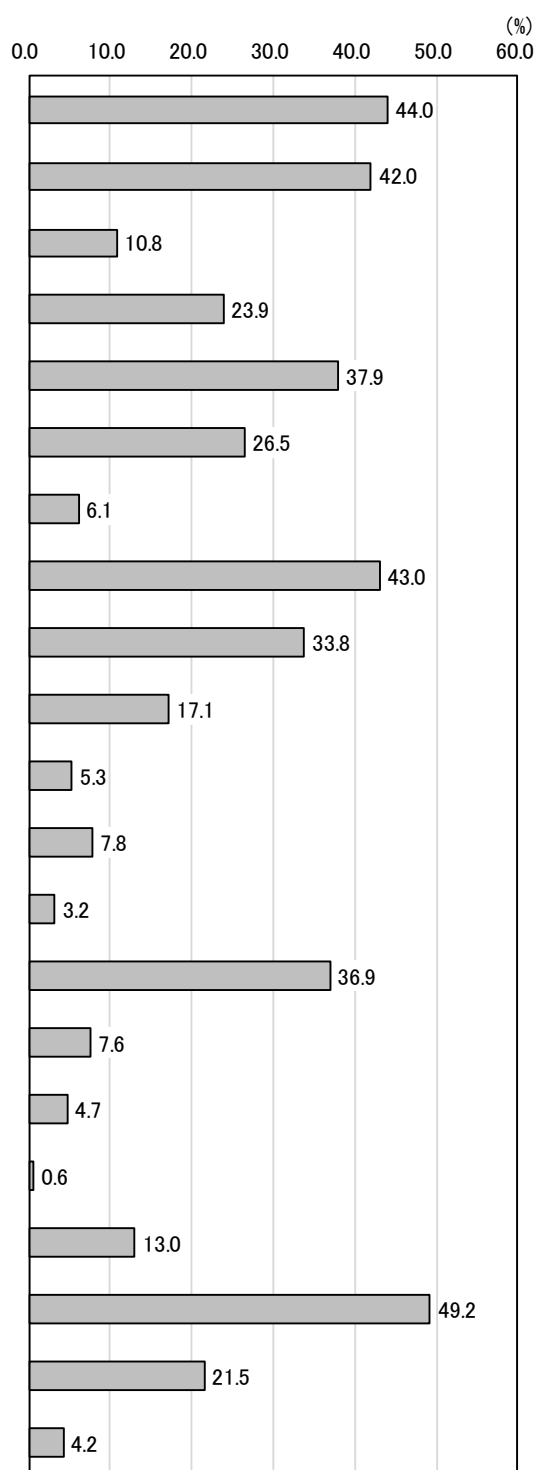
問 39 子育てに関しての不安感や負担感などについてどのように感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	非常に感じる	130	16.0%
2	ときどき感じる	508	62.7%
3	あまり感じない	142	17.5%
4	全く感じない	28	3.5%
5	その他	2	0.2%
	合計	810	100.0%
	無回答	7	
	調査対象者	817	

子育てに関しての不安感や負担感をどのように感じているかについては、「ときどき感じる」が62.7%と6割以上を占め、これに「非常に感じる」を加えた『感じる』は78.7%と8割近くとなっている。

問 40 子育てに関して、日常悩んでいることや、特に不安に思っていることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

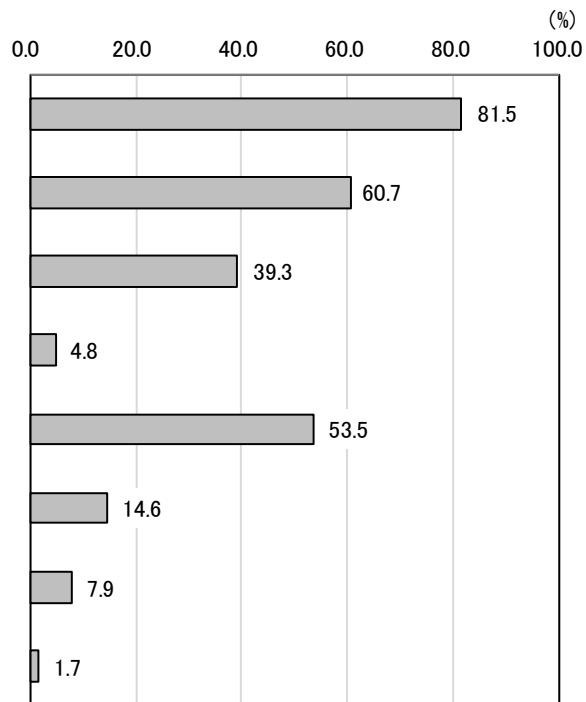


項目名	回答数	割合
1 病気や発育・発達に関すること	354	44.0%
2 食事や栄養に関すること	338	42.0%
3 育児の方法がよくわからないこと	87	10.8%
4 子どもとの接し方に自信が持てないこと	192	23.9%
5 子どもと接する時間を十分にとれないこと	305	37.9%
6 子どもが言うことを聞かないこと	213	26.5%
7 話し相手や相談相手がいらないこと	49	6.1%
8 自分の自由な時間が持てないこと	346	43.0%
9 子どもの教育に関すること	272	33.8%
10 子どもの友達づきあいに関すること	138	17.1%
11 子どもが幼稚園や保育所等に行きたがらないこと	43	5.3%
12 家族の協力が少ないこと	63	7.8%
13 幼稚園や保育所等に、希望した時期に入れないこと	26	3.2%
14 子どもを叱りすぎている気がする	297	36.9%
15 子育てに関して家族と意見が合わないこと	61	7.6%
16 自分が子どもを虐待しているのではないかということ	38	4.7%
17 家族が子どもを虐待しているのではないかということ	5	0.6%
18 住居が狭いこと	105	13.0%
19 子育てで出費がかさむこと	396	49.2%
20 子育てにかかりきりになり、家事が滞ること	173	21.5%
21 その他	34	4.2%
合計(回答母数)	805	
無回答	12	
調査対象者	817	

子育てに関して日常悩んでいることや特に不安に思っていることについては、「子育てで出費がかさむこと」(49.2%)、「病気や発育・発達に関すること」(44.0%)、「自分の自由な時間が持てないこと」(43.0%)、「食事や栄養に関すること」(42.0%)がいずれも4割台と、比較的高くなっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 41 子育てに関する悩みや不安はどのように解決していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



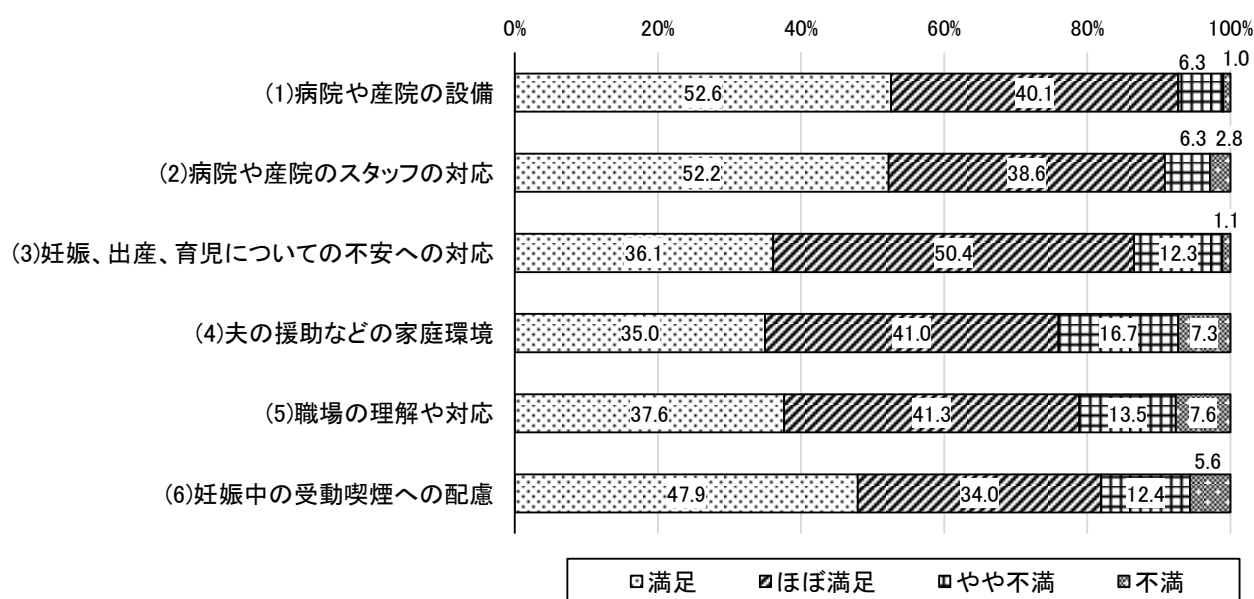
	項目名	回答数	割合
1	家族・親族に相談する	660	81.5%
2	友人・知人に相談する	492	60.7%
3	保育所・幼稚園、学校等に相談する	318	39.3%
4	専門の相談機関を調べて相談する	39	4.8%
5	ネットで調べて解決方法を探す	433	53.5%
6	本や雑誌を参考にする	118	14.6%
7	相談したりせず一人で解決する	64	7.9%
8	その他	14	1.7%
	合計(回答母数)	810	
	無回答	7	
	調査対象者	817	

子育てに関する悩みや不安の解決方法については、「家族・親族に相談する」が81.5%で最も多く、次いで「友人・知人に相談する」が60.7%、「ネットで調べて解決方法を探す」が53.5%で続き、これら3項目が5割以上となっている。

子育ての環境や子育て支援に対する満足度についてお伺いします

問 42 宛名のお子さんを妊娠、出産したときの以下の項目についての満足度について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	調査対象者	満足		ほぼ満足		やや不満		不満		無回答
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
(1) 病院や産院の設備	817	425	52.6%	324	40.1%	51	6.3%	8	1.0%	9
(2) 病院や産院のスタッフの対応	817	422	52.2%	312	38.6%	51	6.3%	23	2.8%	9
(3) 妊娠、出産、育児についての不安への対応	817	290	36.1%	405	50.4%	99	12.3%	9	1.1%	14
(4) 夫の援助などの家庭環境	817	278	35.0%	326	41.0%	133	16.7%	58	7.3%	22
(5) 職場の理解や対応	817	291	37.6%	319	41.3%	104	13.5%	59	7.6%	44
(6) 妊娠中の受動喫煙への配慮	817	382	47.9%	271	34.0%	99	12.4%	45	5.6%	20



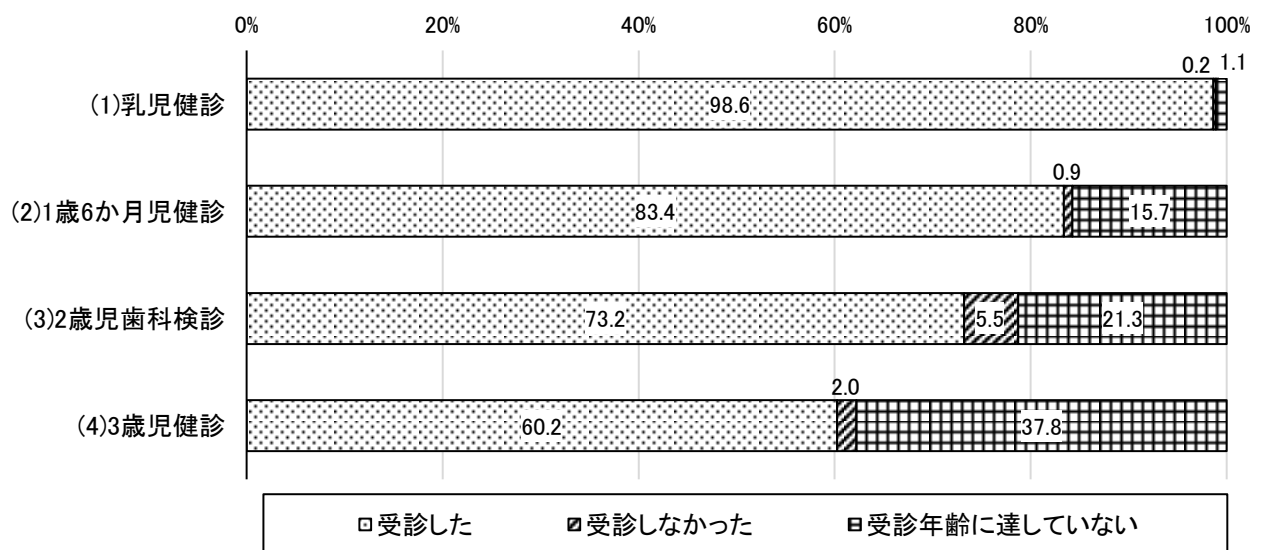
妊娠、出産したときの各項目の満足度について、『満足』（「満足」と「ほぼ満足」の合計）の割合をみると、「(1)病院や産院の設備」（92.7%）と「(2)病院や産院のスタッフの対応」（90.8%）はともに9割台と特に高く、次いで「(3)妊娠、出産、育児についての不安への対応」（86.5%）と「(6)妊娠中の受動喫煙への配慮」（81.9%）が8割台で続き、「(4)夫の援助などの家庭環境」は76.0%と7割台で最も低くなっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 43 宛名のお子さんは、乳幼児健康診査を受診しましたか。また、受診した場合は、各健診についてどの程度満足しましたか、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 受診の有無

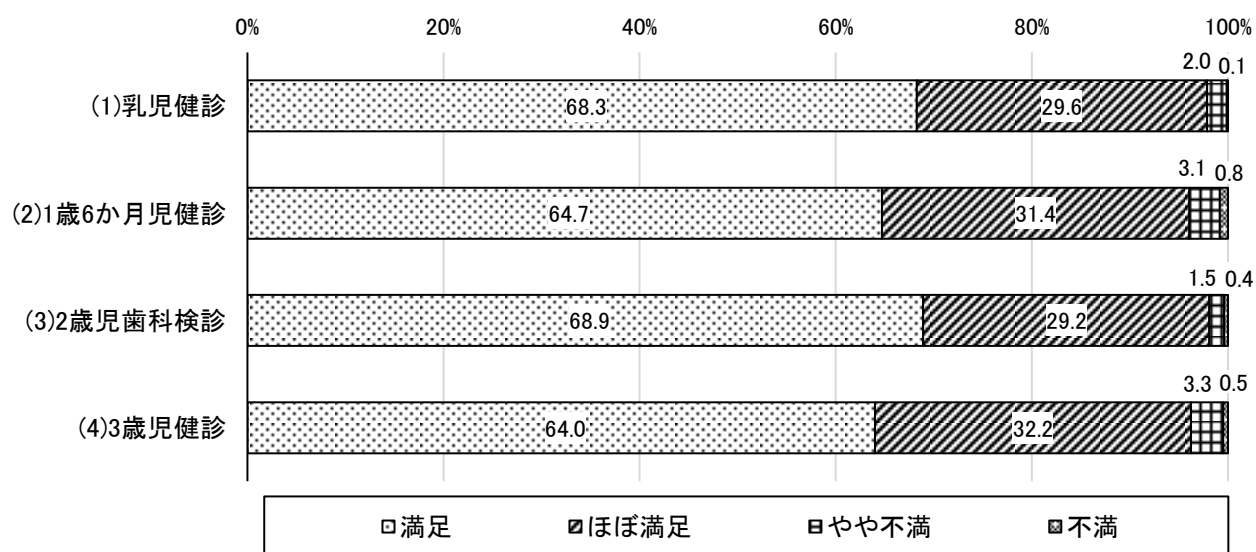
	調査対象者	受診した		受診しなかった		受診年齢に達していない		無回答
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
(1) 乳児健診	817	798	98.6%	2	0.2%	9	1.1%	8
(2) 1歳6か月児健診	817	652	83.4%	7	0.9%	123	15.7%	35
(3) 2歳児歯科検診	817	571	73.2%	43	5.5%	166	21.3%	37
(4) 3歳児健診	817	459	60.2%	15	2.0%	288	37.8%	55



乳幼児健康診査の受診状況については、いずれの検診についても受診年齢に達した方の多くは「受診した」と答えているものの、極めて少ないながら「受診しなかった」と回答した方もいる。

■ 「1」と回答した場合、満足度

	調査対象者	満足		ほぼ満足		やや不満		不満		無回答
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
(1) 乳児健診	798	514	68.3%	223	29.6%	15	2.0%	1	0.1%	45
(2) 1歳6か月児健診	652	394	64.7%	191	31.4%	19	3.1%	5	0.8%	43
(3) 2歳児歯科検診	571	366	68.9%	155	29.2%	8	1.5%	2	0.4%	40
(4) 3歳児健診	459	272	64.0%	137	32.2%	14	3.3%	2	0.5%	34



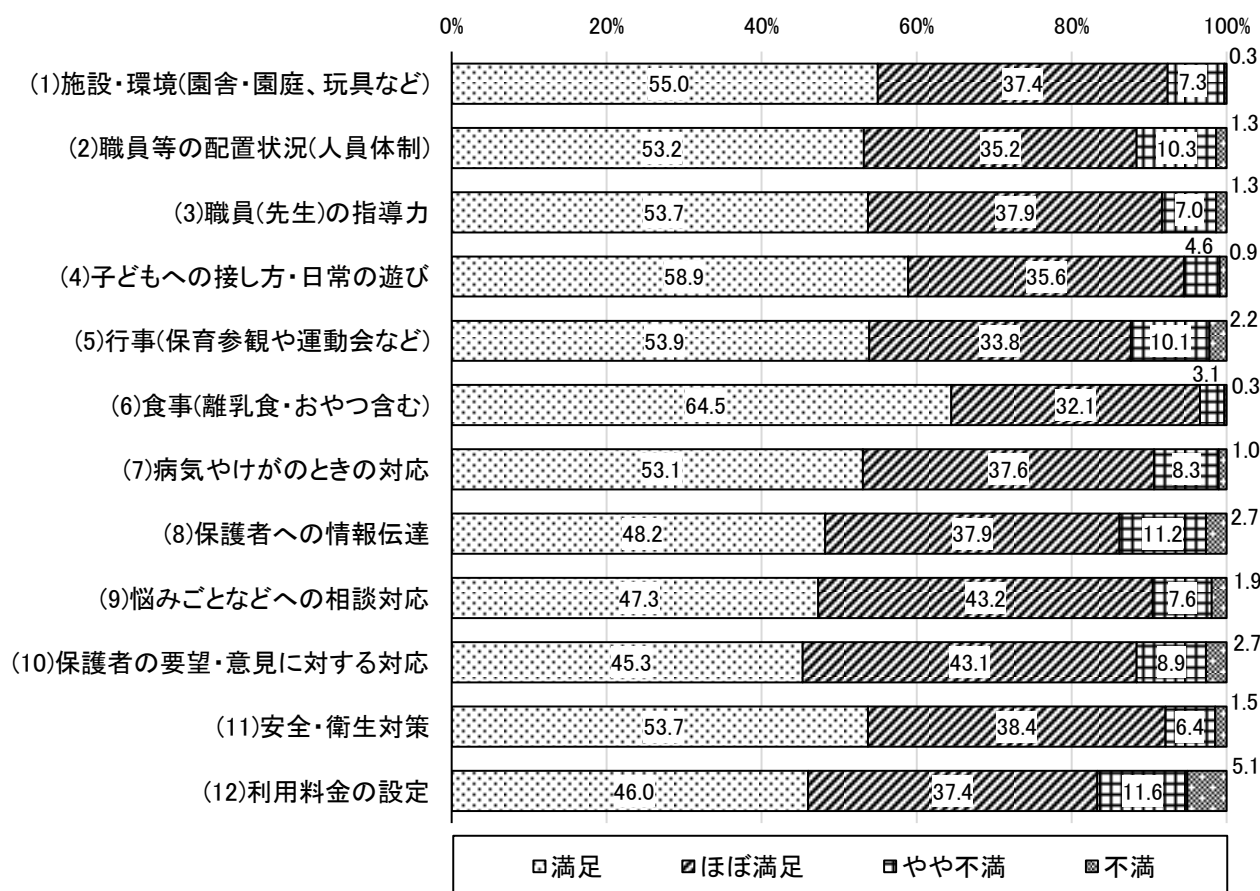
乳幼児健康診査を受診した方の満足度について、『満足』（「満足」と「ほぼ満足」の合計）の割合をみると、すべての健康診査で95.0%以上と高くなっている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 15 で、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を「1 利用している」に○をつけた方にお伺いします。

問 44 現在利用している教育・保育事業に対する満足度について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

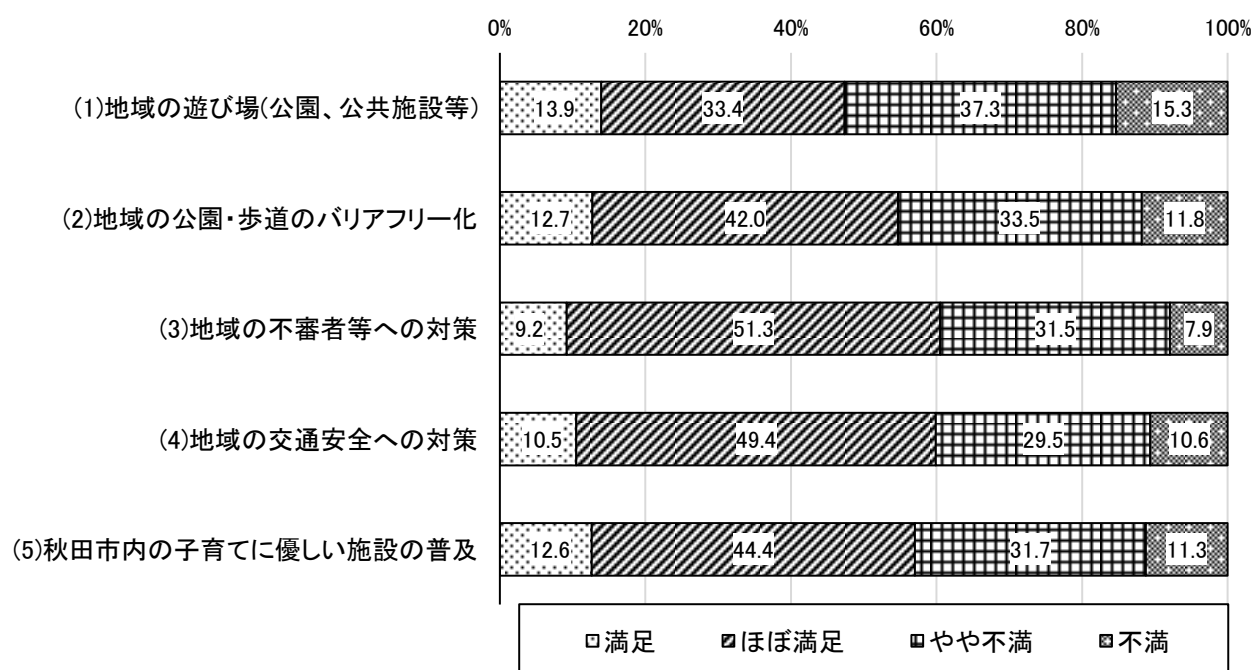
	調査 対象者	満足		ほぼ満足		やや不満		不満		無回答
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
(1)施設・環境(園舎・園庭、玩具など)	676	369	55.0%	251	37.4%	49	7.3%	2	0.3%	5
(2)職員等の配置状況(人員体制)	676	357	53.2%	236	35.2%	69	10.3%	9	1.3%	5
(3)職員(先生)の指導力	676	361	53.7%	255	37.9%	47	7.0%	9	1.3%	4
(4)子どもへの接し方・日常の遊び	676	396	58.9%	239	35.6%	31	4.6%	6	0.9%	4
(5)行事(保育参観や運動会など)	676	362	53.9%	227	33.8%	68	10.1%	15	2.2%	4
(6)食事(離乳食・おやつ含む)	676	432	64.5%	215	32.1%	21	3.1%	2	0.3%	6
(7)病気やけがのときの対応	676	356	53.1%	252	37.6%	56	8.3%	7	1.0%	5
(8)保護者への情報伝達	676	324	48.2%	255	37.9%	75	11.2%	18	2.7%	4
(9)悩みごとなどへの相談対応	676	318	47.3%	290	43.2%	51	7.6%	13	1.9%	4
(10)保護者の要望・意見に対する対応	676	304	45.3%	289	43.1%	60	8.9%	18	2.7%	5
(11)安全・衛生対策	676	361	53.7%	258	38.4%	43	6.4%	10	1.5%	4
(12)利用料金の設定	676	309	46.0%	251	37.4%	78	11.6%	34	5.1%	4



現在利用している教育・保育事業に対する満足度について、『満足』（「満足」と「ほぼ満足」の合計）の割合をみると、「(6)食事(離乳食・おやつ含む)」が96.6%で最も高く、その他の項目についてもいずれも8割台から9割台と高くなっている。

問 45 子どもが育つ環境への満足度について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

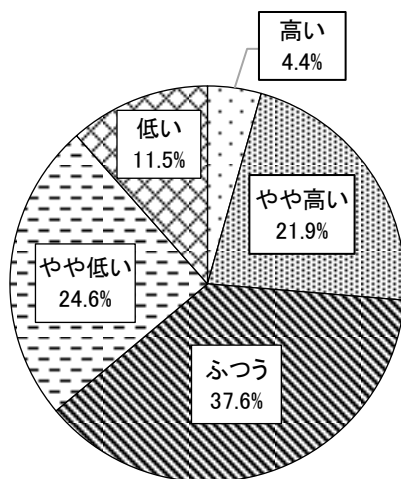
	調査対象者	満足		ほぼ満足		やや不満		不満		無回答
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
(1)地域の遊び場(公園、公共施設等)	817	111	13.9%	266	33.4%	297	37.3%	122	15.3%	21
(2)地域の公園・歩道のバリアフリー化	817	101	12.7%	334	42.0%	266	33.5%	94	11.8%	22
(3)地域の不審者等への対策	817	73	9.2%	407	51.3%	250	31.5%	63	7.9%	24
(4)地域の交通安全への対策	817	83	10.5%	391	49.4%	233	29.5%	84	10.6%	26
(5)秋田市内の子育てに優しい施設の普及	817	100	12.6%	351	44.4%	251	31.7%	89	11.3%	26



子どもが育つ環境への満足度について、『満足』（「満足」と「ほぼ満足」の合計）の割合をみると、「(3)地域の不審者等への対策」が60.5%と6割台で最も高く、次いで「(4)地域の交通安全への対策」、「(5)秋田市内の子育てに優しい施設の普及」、「(2)地域の公園・歩道のバリアフリー化」がいずれも5割台で続いている。「(1)地域の遊び場(公園、公共施設等)」については47.3%と5割を下回っている。

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

問 46 秋田市の子育ての環境や子育て支援への満足度について、あてはまる番号に1つに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	高い	35	4.4%
2	やや高い	175	21.9%
3	ふつう	300	37.6%
4	やや低い	196	24.6%
5	低い	92	11.5%
	合計	798	100.0%
	無回答	19	
	調査対象者	817	

秋田市の子育ての環境や子育て支援への満足度については、「ふつう」が37.6%で最も多く、『満足』（「高い」と「やや高い」の合計）は26.3%、『不満』（「やや低い」と「低い」の合計）36.1%となり、『不満』が『満足』を上回っている。

問 47 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関して意見をたずねたところ、460 人の回答者から、合計 768 件の回答があった。

意見内容区分		意見数(件)
支援について	経済的支援	66
	医療費助成、無償化	59
	保育料が高い	22
	クーポン・給付金・手当等の充実	19
	保育料無償化	17
	給食費助成、無償化	13
	多子世帯への経済的支援	13
	インフルエンザ等の予防接種費用の助成	10
	おむつ・ミルク等のクーポン支給、助成	9
	学費・教育費助成、無償化	8
	学童等の利用料の助成、無償化	6
	ひとり親家庭への支援	3
	制服・学用品等の助成、無償化	2
	障がい児への手当	2
	その他支援について	4
公園・外出等に関すること	公園・遊び場等の充実	123
	イベント・体験教室等の充実	6
	子ども連れで外食ができる店の充実	5
	きょうだいが一緒に遊べる場所の充実	4
	乳幼児を連れていける施設・遊び場等の充実	3
	その他公園・外出等に関すること	2
施設・地域に関すること	公園・通学路等の整備	23
	駐車場不足、料金が低い	12
	安全な街づくり	11
	授乳室・おむつ替えスペース等の充実	11
	子どもトイレ等の設備の充実	9
	おむつ・離乳食等が購入できる場所の充実	3
	ベビーカー・カート等のレンタルの充実	1
教育・保育に関すること	教育・保育の質の向上	16
	学童・保育施設の増加、充実	14
	病児保育の充実	11
	保育士等の待遇改善	10
	保育施設等の設備の充実	3
	給食の内容	2
	教育・保育施設での過ごし方への要望	2
	その他教育・保育に関すること	2
仕事・親の負担に関すること	仕事と子育ての両立支援	22
	男性の家事・育児参加	14
	職場の理解	12
	PTA・子供会等の負担	5
	家事代行サービス等の充実	5
	労働環境や賃金の改善	1
預け先等のサービスについて	土日祝日等の預け先の確保	16
	気軽に利用できる預かりサービス	12
	学童・児童館等の利用時間の延長	5
	ファミリーサポートセンターの利便性向上	2
	その他預け先等のサービスについて	2
情報提供等について	情報提供	14
	各種手続・資料等のオンライン化、簡略化	4
	気軽に相談できる場所の提供	4
	イベントの予約方法	3
	医療機関のネット予約の充実	2
	その他情報提供等について	3
その他	アンケートに関する意見	24
	児童相談所・市職員等の質の向上	7
	産後ケア施設の充実	6
	不審者への対策	4
	感謝、満足	4
	クマ対策	3
	事故・災害時等の安全対策	2
	その他(上記以外の意見)	66
総数		768

Ⅱ. 調査結果〔就学前児童〕

いただいた意見は「支援について」に関するものが最も多く、次いで「公園・外出等に関すること」、「施設・地域に関すること」の順となっている。

「支援について」の内容をみると、「経済的支援」を求める意見が最も多く、次いで「医療費助成、無償化」を求める意見が多かった。また、「その他支援について」の内容では、「ガソリン代・暖房代の助成」や「病児家庭への支援の拡充」、「福祉サービスの無償化」等の意見が見られた。

「公園・外出等に関すること」の内容をみると、「公園・遊び場等の充実」を求める意見が最も多く、次いで「イベント・体験教室等の充実」を求める意見が多かった。また、「その他公園・外出等に関すること」の内容では、「子育て広場等の設備の充実」や「子どもを連れて行ける商業施設の増加」等の意見が見られた。

「施設・地域に関すること」の内容をみると、「公園・通学路等の整備」を求める意見が最も多かった。また、「授乳室・おむつ替えスペース等の充実」を求める意見の中には、「男性向けのおむつ替えスペース等の充実」を求める意見が見られた。

このほか、「教育・保育に関すること」、「仕事・親の負担に関すること」、「預け先等のサービスについて」、「情報提供について」に関する意見があった。

調 査 結 果
[小 学 校 児 童]

2. 小学校児童の保護者

封筒宛名のお子さんご家族の状況についてお伺いします

問1 お住まいの地区（小学校区）があてはまる番号1つに○をつけてください。

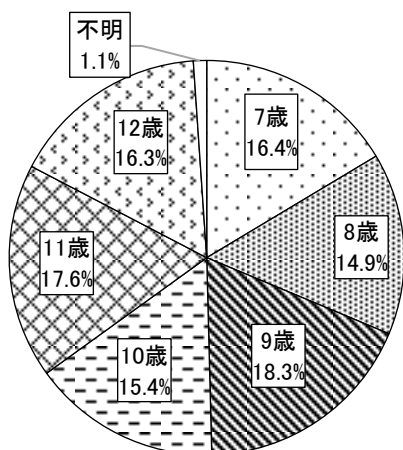
(人数)

	居住地域	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	不明	計
1	金足西	1	—	2	2	—	2	—	7
2	港北	7	6	3	4	8	3	—	31
3	下新城	2	—	1	—	—	—	—	3
4	飯島	4	3	10	6	5	4	—	32
5	土崎	3	1	6	3	4	1	—	18
6	土崎南	3	2	1	3	2	3	2	16
7	高清水	2	2	3	1	2	4	—	14
8	寺内	3	1	5	2	4	2	1	18
9	飯島南	3	3	2	1	5	1	—	15
10	外旭川	9	3	7	3	6	3	—	31
11	泉	5	7	6	3	8	10	—	39
12	八橋	4	6	5	5	6	3	—	29
13	旭北	1	1	4	2	2	6	1	17
14	川尻	3	5	6	3	4	4	—	25
15	築山	4	2	3	2	5	2	—	18
16	中通	1	5	1	4	1	4	—	16
17	保戸野	2	2	2	3	3	3	—	15
18	明德	—	4	2	1	2	2	—	11
19	旭南	1	2	2	4	1	—	—	10
20	旭川	4	4	4	3	6	5	—	26
21	広面	4	6	8	7	7	5	—	37
22	下北手	—	1	—	1	1	—	—	3
23	太平	—	1	—	2	—	—	—	3
24	東	4	2	1	6	1	1	—	15
25	桜	10	10	13	9	10	10	1	63
26	日新	3	8	4	8	5	9	—	37
27	勝平	9	4	6	6	2	6	1	34
28	豊岩	1	—	1	—	1	—	—	3
29	浜田	—	—	1	—	1	—	—	2
30	下浜	1	1	—	1	1	2	—	6
31	御所野	8	3	3	3	7	3	—	27
32	仁井田	4	5	3	6	5	6	—	29
33	四ツ小屋	—	1	1	1	4	2	—	9
34	牛島	6	2	4	2	4	3	—	21
35	上北手	1	—	7	—	1	2	—	11
36	大住	5	3	3	4	3	3	1	22
37	岩見三内	—	—	—	—	—	—	—	—
38	河辺	1	—	2	2	—	3	—	8
39	戸島	1	—	—	—	1	—	—	2
40	雄和	—	2	—	—	1	1	—	4
	不明	1	2	3	1	1	2	1	11
	合計	121	110	135	114	130	120	8	738

(注意)年齢については、令和6年4月1日現在の満年齢で区分している。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

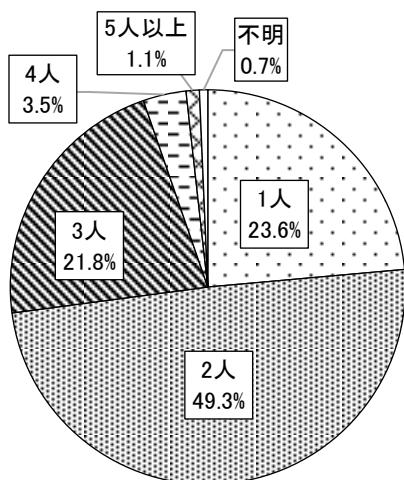
問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。）



	項目名	回答数	割合
1	7歳	121	16.4%
2	8歳	110	14.9%
3	9歳	135	18.3%
4	10歳	114	15.4%
5	11歳	130	17.6%
6	12歳	120	16.3%
7	不明	8	1.1%
	合計	738	100.0%

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

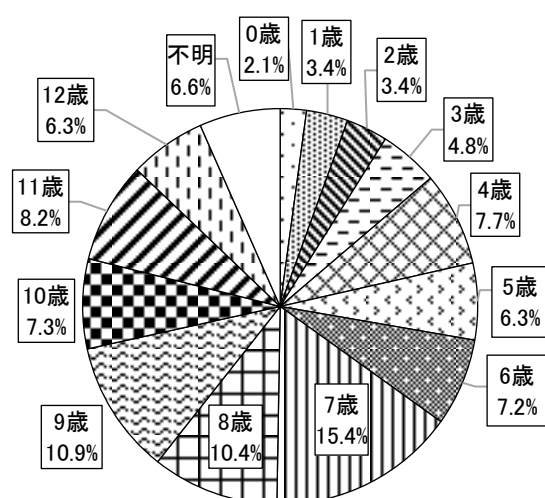
■ 宛名のお子さんのきょうだいの人数



	項目名	回答数	割合
1	1人	174	23.6%
2	2人	364	49.3%
3	3人	161	21.8%
4	4人	26	3.5%
5	5人以上	8	1.1%
	不明	5	0.7%
	合計	738	100.0%

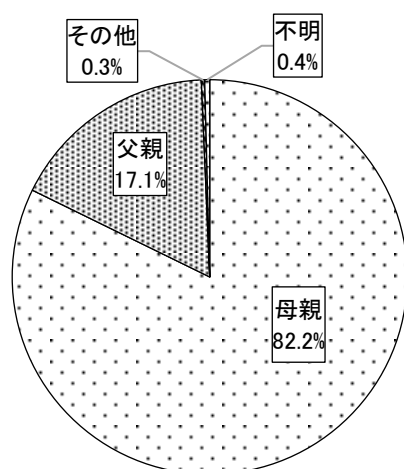
子どもの人数は「2人」が49.3%と5割近くで最も多く、次いで「1人」が23.6%、「3人」が21.8%とともに2割台が続いている。

■ 末子の方の生年月



	項目名	回答数	割合
1	0歳	12	2.1%
2	1歳	19	3.4%
3	2歳	19	3.4%
4	3歳	27	4.8%
5	4歳	43	7.7%
6	5歳	35	6.3%
7	6歳	40	7.2%
8	7歳	86	15.4%
9	8歳	58	10.4%
10	9歳	61	10.9%
11	10歳	41	7.3%
12	11歳	46	8.2%
13	12歳	35	6.3%
	不明	37	6.6%
	合計	559	100.0%
	調査対象外	179	

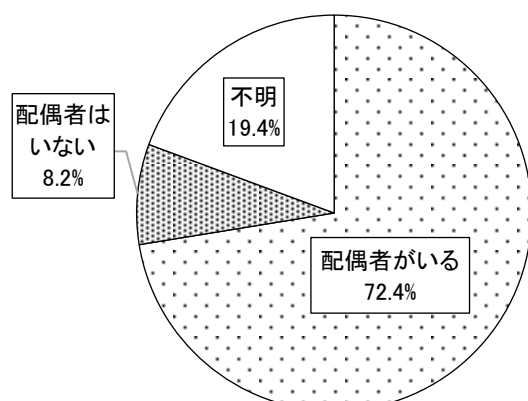
問4 (1) この調査票にご回答いただく方は、宛名のお子さんからみてどなたですか。あてはまる番号に○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	母親	607	82.2%
2	父親	126	17.1%
3	その他	2	0.3%
	不明	3	0.4%
	合計	738	100.0%

(1) で「1 母親」または「2 父親」に○をつけた方にお伺いします。

(2) 配偶者の有無についてもお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。

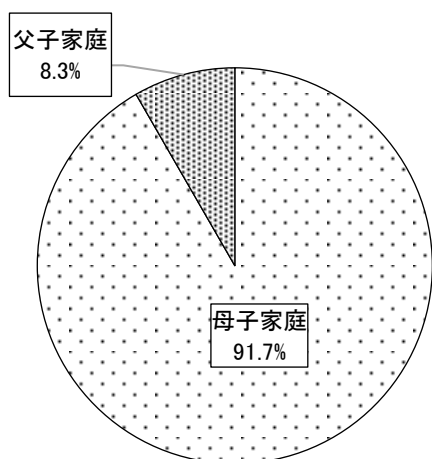


	項目名	回答数	割合
1	配偶者がいる	531	72.4%
2	配偶者がいない	60	8.2%
	不明	142	19.4%
	合計	733	100.0%
	調査対象外	5	

調査票の回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が72.4%となった一方、「配偶者がいない」は8.2%となっている。

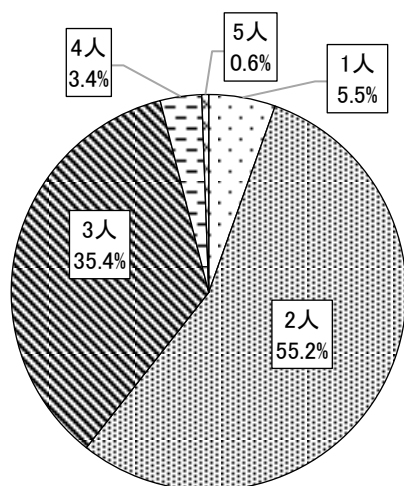
Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

■ 「2 配偶者はいない」と答えた方の母子/父子家庭区分



	項目名	回答数	割合
1	母子家庭	55	91.7%
2	父子家庭	5	8.3%
	全体	60	100.0%

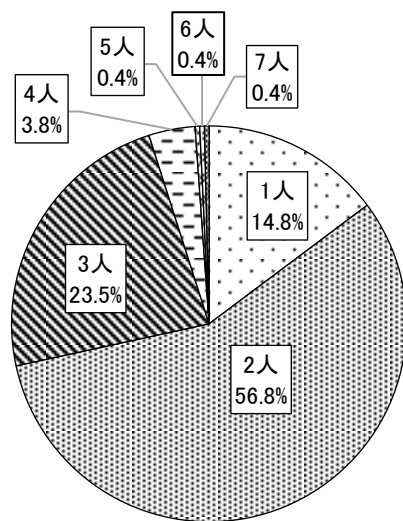
問5 あなた方(ご夫婦)の理想として全部で何人の子どもが欲しいと思いますか(思いましたか)。



	項目名	回答数	割合
1	1人	29	5.5%
2	2人	293	55.2%
3	3人	188	35.4%
4	4人	18	3.4%
5	5人	3	0.6%
6	6人	-	-
7	7人	-	-
8	8人	-	-
9	9人	-	-
10	10人以上	-	-
	合計	531	100.0%
	無回答	-	-
	調査対象者	531	-
	調査対象外	207	-

理想とする子どもの人数については、「2人」が55.2%と5割以上を占め最も多く、次いで「3人」が35.4%で続き、この2項目が特に多くなっている。また、「1人」については5.5%と1割未満の低い割合となっている。

問6 実際にもつつもりの子どもは全部で何人ですか。



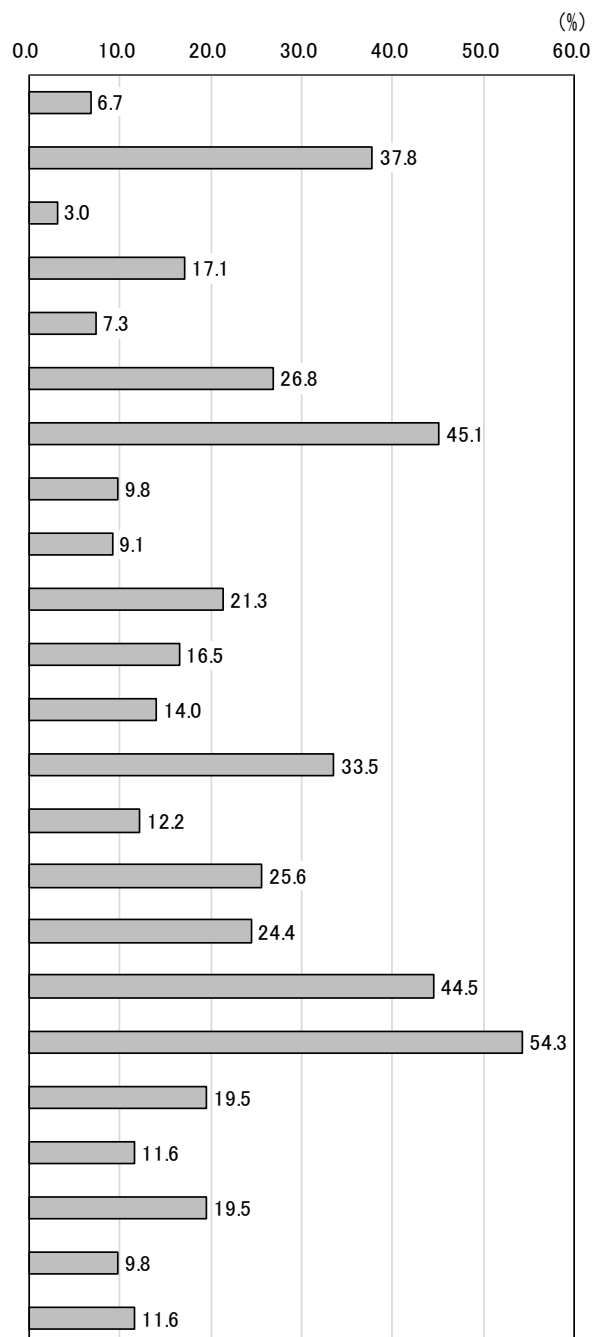
	項目名	回答数	割合
1	1人	78	14.8%
2	2人	300	56.8%
3	3人	124	23.5%
4	4人	20	3.8%
5	5人	2	0.4%
6	6人	2	0.4%
7	7人	2	0.4%
8	8人	-	-
9	9人	-	-
10	10人以上	-	-
	合計	528	100.0%
	無回答	3	
	調査対象者	531	
	調査対象外	207	

実際にもつつもりの子どもの人数については、「2人」が56.8%と5割以上を占め最も多く、次いで「3人」が23.5%、「1人」が14.8%が続いている。

理想とする子どもの人数（問5）に比べて「1人」は9.3ポイント、「2人」は1.6ポイントとそれぞれ多くなっている一方、「3人」は11.9ポイント少なくなっている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

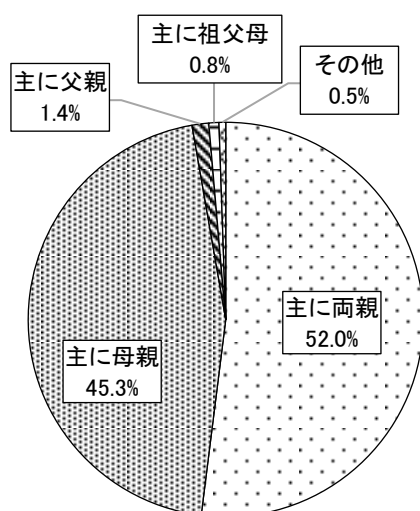
問7 問6で問5の数より少ない方にお伺いします。実際にもつつもりの子どもの人数が、理想とする子どもの人数より少ないのはどうしてですか。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。



項目名	回答数	割合
1 仕事や趣味を優先したい	11	6.7%
2 仕事と子育ての両立が難しい	62	37.8%
3 職場の理解が得られない	5	3.0%
4 結婚するのが遅かった	28	17.1%
5 配偶者が子どもを欲しがらない	12	7.3%
6 妊娠・出産が精神的・肉体的に大変	44	26.8%
7 年齢的に妊娠・出産が難しい	74	45.1%
8 健康上の理由で妊娠・出産が難しい	16	9.8%
9 不妊治療にお金がかかる	15	9.1%
10 出産費用等の経済的負担が大きい	35	21.3%
11 子どもの医療費等の経済的負担が大きい	27	16.5%
12 育児休業制度等の保障が不十分	23	14.0%
13 子どもに対する手当等による経済的援助が不十分	55	33.5%
14 子どもの預け先がない	20	12.2%
15 保育所や幼稚園等にかかる経済的な負担が大きい	42	25.6%
16 義務教育にかかる経済的な負担が大きい	40	24.4%
17 高等学校教育にかかる経済的な負担が大きい	73	44.5%
18 大学教育にかかる経済的な負担が大きい	89	54.3%
19 育児が精神的・肉体的に大変	32	19.5%
20 子育てに対する配偶者の協力が少なく、負担が大きい	19	11.6%
21 育児の社会的支援体制が不十分	32	19.5%
22 居住する住宅が狭い	16	9.8%
23 その他	19	11.6%
合計(回答母数)	164	
無回答	2	
調査対象者	166	
調査対象外	572	

実際にもつつもりの子どもの人数が理想とする子どもの人数より少ない理由については、「大学教育にかかる経済的な負担が大きい」が54.3%で最も多く、次いで「年齢的に妊娠・出産が難しい」(45.1%)と「高等学校教育にかかる経済的な負担が大きい」(44.5%)がともに4割台、「仕事と子育ての両立が難しい」(37.8%)と「子どもに対する手当等による経済的援助が不十分」(33.5%)がともに3割台で続いている。

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。



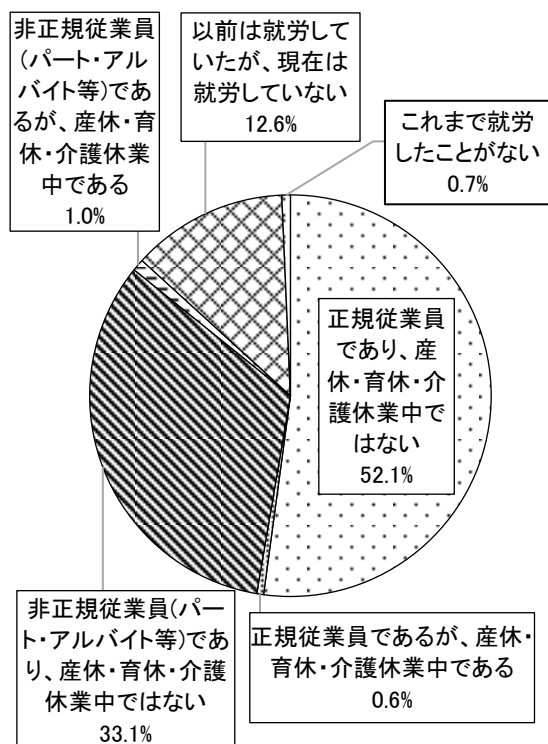
項目名	回答数	割合
1 主に両親	380	52.0%
2 主に母親	331	45.3%
3 主に父親	10	1.4%
4 主に祖父母	6	0.8%
5 その他	4	0.5%
合計	731	100.0%
無回答	7	
調査対象者	738	

子育て（教育を含む）を主に行っている方については、「主に両親」が52.0%で最も多く、次いで「主に母親」が45.3%で続き、その他の項目はいずれも1.0%台から1.0%未満と極めて少なくなっている。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします

問9 ～ 問9-3は、宛名のお子さんの母親の方の就労状況について、お伺いします。父子家庭等の場合は記入不要です。

問9 現在の就労状況（自営業、家事従事者含む）について、あてはまる番号1つに○をつけてください。



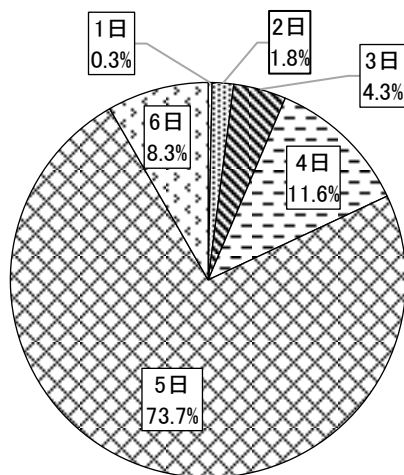
項目名	回答数	割合
1 正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない	378	52.1%
2 正規従業員であるが、産休・育休・介護休業中である	4	0.6%
3 非正規従業員（パート・アルバイト等）であり、産休・育休・介護休業中ではない	240	33.1%
4 非正規従業員（パート・アルバイト等）であるが、産休・育休・介護休業中である	7	1.0%
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	91	12.6%
6 これまで就労したことがない	5	0.7%
合計	725	100.0%
無回答	8	
調査対象者	733	
調査対象外	5	

母親の現在の就労状況（自営業、家事従事者含む）については、「正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない」が52.1%で最も多く、次いで「非正規従業員であり、産休・育休・介護休業中でない」が33.1%で続き、これらを合わせた『現在就労している』は85.2%と8割以上となっている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

問9-1 問9で「1～4」（就労している）に○をつけた方にお伺いします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」について、□内に数字でご記入ください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについて、ご回答ください。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください）

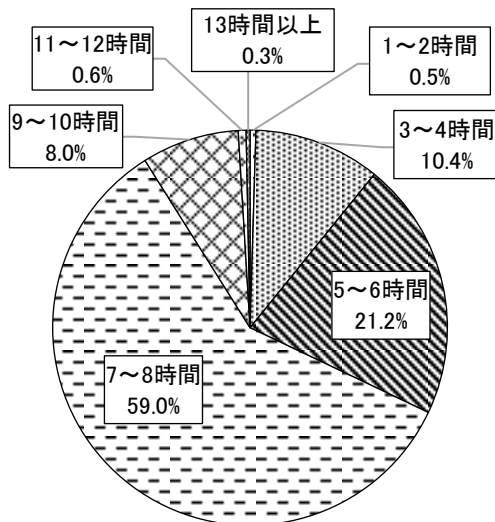
■ 1週当たりの就労日数



	項目名	回答数	割合
1	1日	2	0.3%
2	2日	11	1.8%
3	3日	27	4.3%
4	4日	73	11.6%
5	5日	462	73.7%
6	6日	52	8.3%
7	7日	-	
	合計	627	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	629	
	調査対象外	109	

就労している母親の1週当たりの就労日数については、「5日」が73.7%で最も多く、次いで「4日」が11.6%、「6日」が8.3%が続いている。

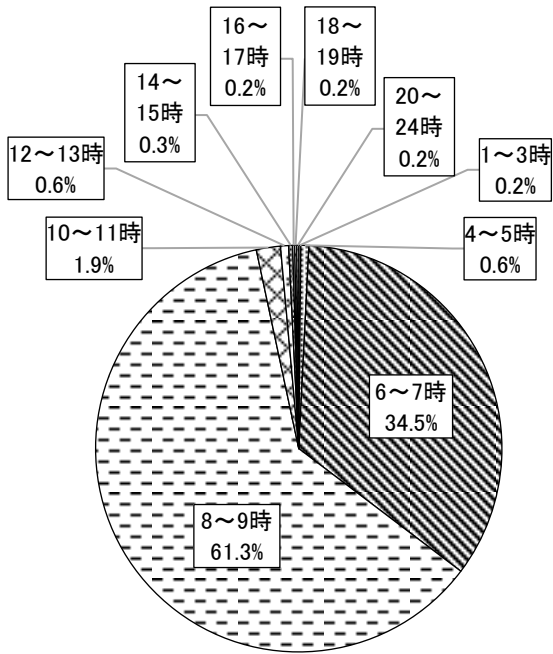
■ 1日当たりの就労時間



	項目名	回答数	割合
1	1～2時間	3	0.5%
2	3～4時間	65	10.4%
3	5～6時間	133	21.2%
4	7～8時間	370	59.0%
5	9～10時間	50	8.0%
6	11～12時間	4	0.6%
7	13時間以上	2	0.3%
	合計	627	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	629	
	調査対象外	109	

就労している母親の1日当たりの就労時間については、「7～8時間」が59.0%で最も多く、次いで「5～6時間」が21.2%、「3～4時間」が10.4%が続いている。

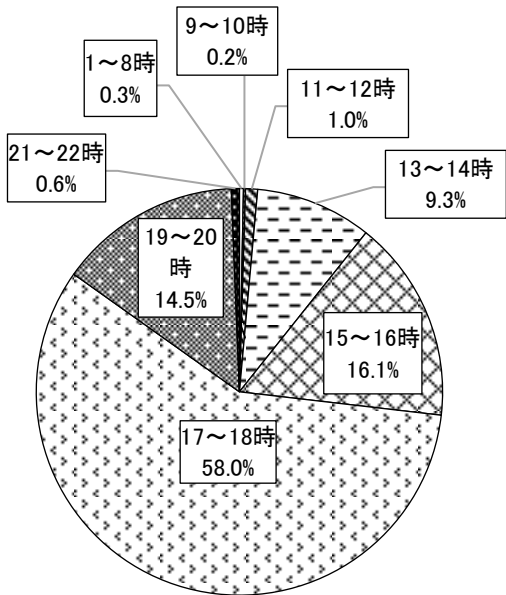
■ 家を出る時間



	項目名	回答数	割合
1	1～3時	1	0.2%
2	4～5時	4	0.6%
3	6～7時	216	34.5%
4	8～9時	384	61.3%
5	10～11時	12	1.9%
6	12～13時	4	0.6%
7	14～15時	2	0.3%
8	16～17時	1	0.2%
9	18～19時	1	0.2%
10	20～24時	1	0.2%
	合計	626	100.0%
	無回答	3	
	調査対象者	629	
	調査対象外	109	

就労している母親の家を出る時間については、「8～9時」が61.3%で最も多く、次いで「6～7時」が34.5%で続き、その他の項目はいずれも1.0%台から1.0%未満と極めて少なくなっている。

■ 帰宅時間

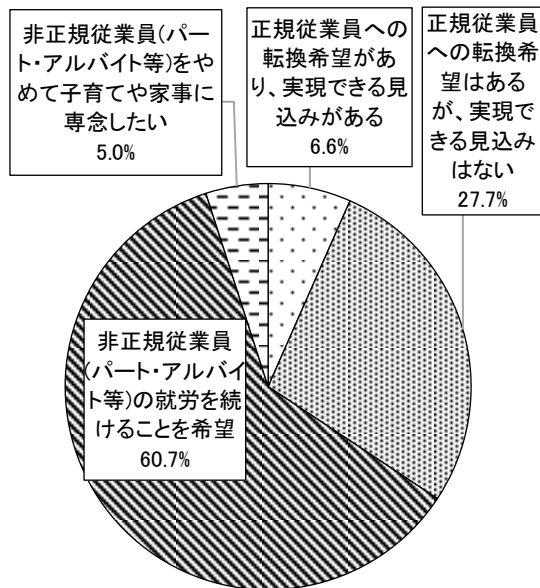


	項目名	回答数	割合
1	1～8時	2	0.3%
2	9～10時	1	0.2%
3	11～12時	6	1.0%
4	13～14時	58	9.3%
5	15～16時	101	16.1%
6	17～18時	363	58.0%
7	19～20時	91	14.5%
8	21～22時	4	0.6%
9	23～24時	-	
	合計	626	100.0%
	無回答	3	
	調査対象者	629	
	調査対象外	109	

就労している母親の帰宅時間については、「17～18時」が58.0%で最も多く、次いで「15～16時」（16.1%）と「19～20時」（14.5%）が1割台が続いている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

問9-2 問9で「3または4」非正規従業員（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にお伺いします。正規従業員への転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

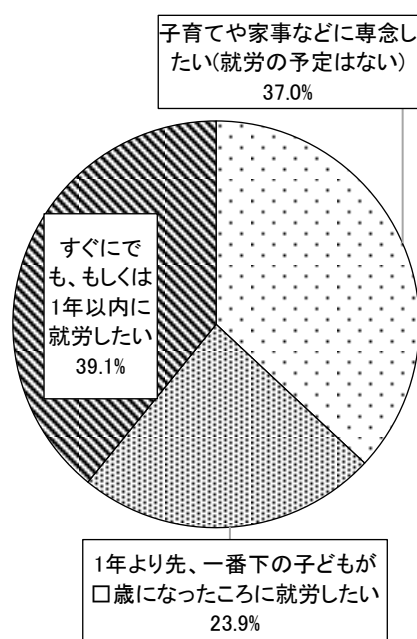


	項目名	回答数	割合
1	正規従業員への転換希望があり、実現できる見込みがある	16	6.6%
2	正規従業員への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	67	27.7%
3	非正規従業員（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望	147	60.7%
4	非正規従業員（パート・アルバイト等）をやめて子育てや家事に専念したい	12	5.0%
	合計	242	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	247	
	調査対象外	491	

非正規従業員として就労している母親の正規従業員への転換希望については、「非正規従業員の就労を続けることを希望」が60.7%で最も多く、次いで「正規従業員への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が27.7%で続き、「正規従業員への転換希望があり、実現できる見込みがある」と「非正規従業員をやめて子育てや家事に専念したい」はともに1割未満となっている。

問9-3 問9で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

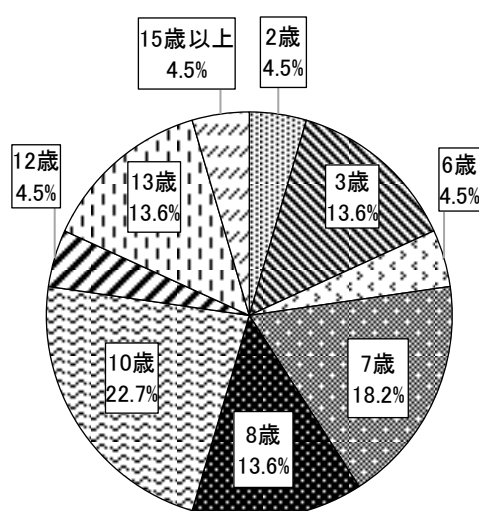
■ 就労希望の有無



	項目名	回答数	割合
1	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	34	37.0%
2	1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい	22	23.9%
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	36	39.1%
	合計	92	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	96	
	調査対象外	642	

現在就労していない母親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が39.1%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい」が37.0%と僅差で続き、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」は23.9%となっている。

■ 「2」と回答の場合、就労する時の末子の年齢

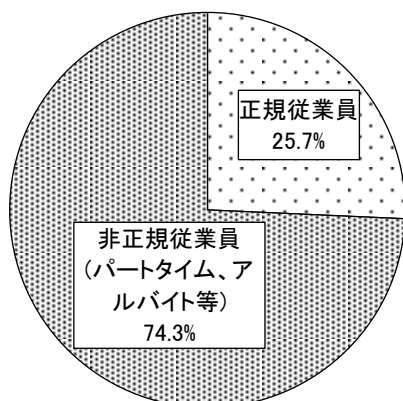


現在就労していない母親が就労を希望するときの末子の年齢については、「10歳」が22.7%で最も多く、次いで「7歳」が18.2%、「3歳」「8歳」「13歳」がいずれも13.6%で続いている。

	項目名	回答数	割合
1	1歳	—	
2	2歳	1	4.5%
3	3歳	3	13.6%
4	4歳	—	
5	5歳	—	
6	6歳	1	4.5%
7	7歳	4	18.2%
8	8歳	3	13.6%
9	9歳	—	
10	10歳	5	22.7%
11	11歳	—	
12	12歳	1	4.5%
13	13歳	3	13.6%
14	14歳	—	
15	15歳以上	1	4.5%
	合計	22	100.0%
	無回答	—	
	調査対象者	22	
	調査対象外	716	

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

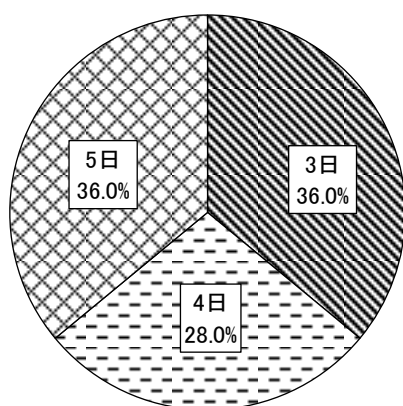
■ 「3」と回答の場合、希望する就労形態



	項目名	回答数	割合
ア	正規従業員	9	25.7%
イ	非正規従業員 (パートタイム、 アルバイト等)	26	74.3%
	合計	35	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	36	
	調査対象外	702	

現在就労していないが近いうちに就労することを希望している母親が希望する就労形態については、「非正規従業員」が 74.3%と7割以上を占め最も多く、「正規従業員」は 25.7%となっている。

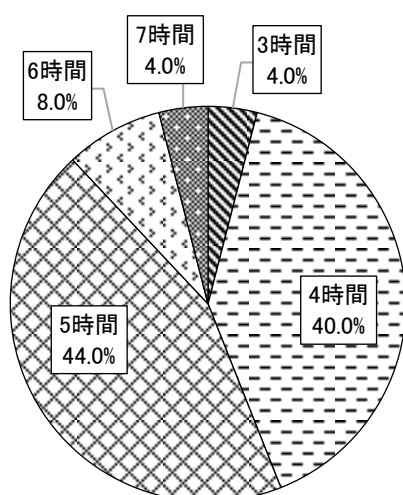
■ 「イ」と回答の場合、希望する1週間当たり就労日数



	項目名	回答数	割合
1	1日	—	
2	2日	—	
3	3日	9	36.0%
4	4日	7	28.0%
5	5日	9	36.0%
6	6日	—	
7	7日	—	
	合計	25	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	26	
	調査対象外	712	

現在就労していないが近いうちに「非正規従業員」として就労することを希望している母親が希望する1週間当たり就労日数については、「3日」と「5日」がともに 36.0%で最も多く、次いで「4日」が 28.0%となっている。

■ 「イ」と回答の場合、希望する1日当たり就労時間

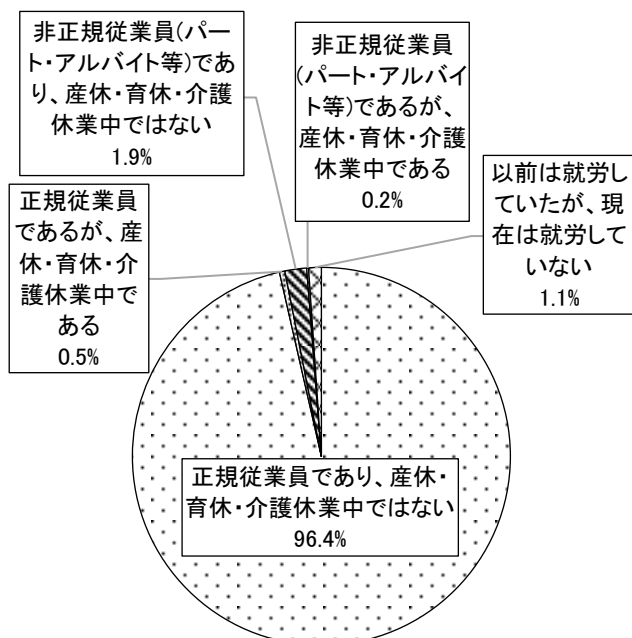


	項目名	回答数	割合
1	1時間	—	
2	2時間	—	
3	3時間	1	4.0%
4	4時間	10	40.0%
5	5時間	11	44.0%
6	6時間	2	8.0%
7	7時間	1	4.0%
8	8時間	—	
9	9時間	—	
10	10時間以上	—	
	合計	25	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	26	
	調査対象外	712	

現在就労していないが近いうちに「非正規従業員」として就労することを希望している母親が希望する1日当たり就労時間については、「5時間」が44.0%で最も多く、次いで「4時間」が40.0%で続いており、この2項目で全体の8割以上を占めている。

問10 ～ 問10-3は、宛名のお子さんの父親の方の就労状況について、お伺いします。母子家庭等の場合は記入不要です。

問10 現在の就労状況（自営業、家事従事者含む）について、あてはまる番号1つに○をつけてください。



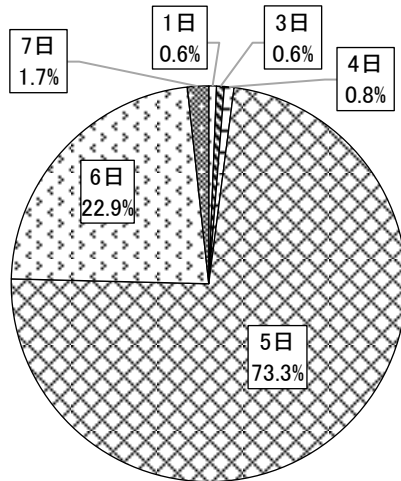
父親の現在の就労状況（自営業、家事従事者含む）については、「正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない」が96.4%と9割以上を占め最も多く、その他の項目はいずれも1.0%台から1.0%未満と極めて少なくなっている。

	項目名	回答数	割合
1	正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない	622	96.4%
2	正規従業員であるが、産休・育休・介護休業中である	3	0.5%
3	非正規従業員（パート・アルバイト等）であり、産休・育休・介護休業中ではない	12	1.9%
4	非正規従業員（パート・アルバイト等）であるが、産休・育休・介護休業中である	1	0.2%
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	7	1.1%
6	これまで就労したことがない	—	
	合計	645	100.0%
	無回答	38	
	調査対象者	683	
	調査対象外	55	

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

問 10-1 問 10 で「1～4」（就労している）に○をつけた方にお伺いします。1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」について、□内に数字でご記入ください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについて、ご回答ください。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください）

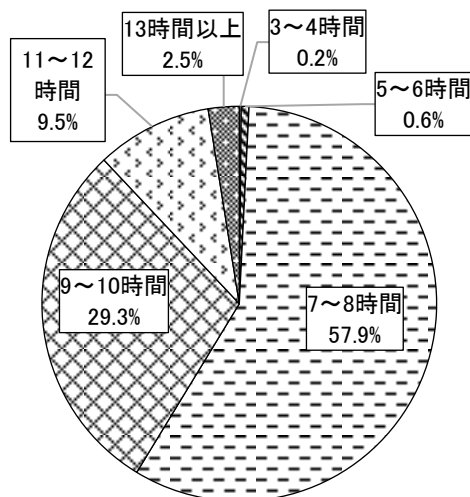
■ 1 週当たりの就労日数



	項目名	回答数	割合
1	1日	4	0.6%
2	2日	—	
3	3日	4	0.6%
4	4日	5	0.8%
5	5日	465	73.3%
6	6日	145	22.9%
7	7日	11	1.7%
	合計	634	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	638	
	調査対象外	100	

就労している父親の 1 週当たりの就労日数については、「5 日」が 73.3% で最も多く、次いで「6 日」が 22.9% で続き、この 2 項目で全体の 9 割以上を占めている。

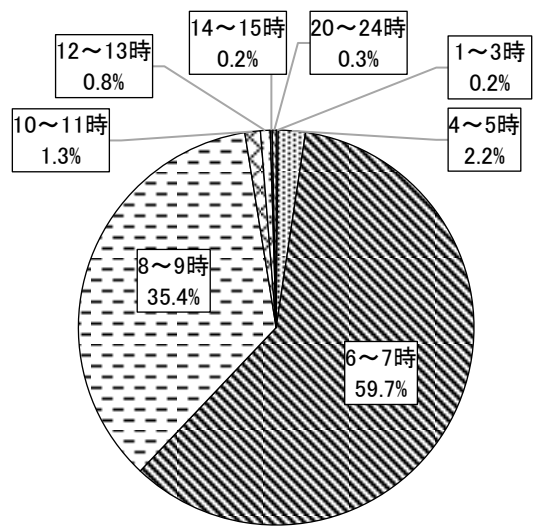
■ 1 日当たりの就労時間



	項目名	回答数	割合
1	1～2時間	—	
2	3～4時間	1	0.2%
3	5～6時間	4	0.6%
4	7～8時間	366	57.9%
5	9～10時間	185	29.3%
6	11～12時間	60	9.5%
7	13時間以上	16	2.5%
	合計	632	100.0%
	無回答	6	
	調査対象者	638	
	調査対象外	100	

就労している父親の 1 日当たりの就労時間については、「7～8 時間」が 57.9% で最も多く、次いで「9～10 時間」が 29.3%、「11～12 時間」が 9.5%、「13 時間以上」が 2.5% で続いている。

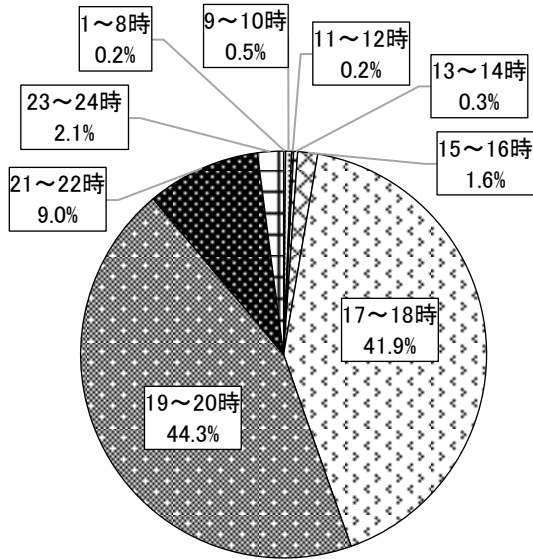
■ 家を出る時間



	項目名	回答数	割合
1	1～3時	1	0.2%
2	4～5時	14	2.2%
3	6～7時	376	59.7%
4	8～9時	223	35.4%
5	10～11時	8	1.3%
6	12～13時	5	0.8%
7	14～15時	1	0.2%
8	16～17時	—	
9	18～19時	—	
10	20～24時	2	0.3%
	合計	630	100.0%
	無回答	8	
	調査対象者	638	
	調査対象外	100	

就労している父親の家を出る時間については、「6～7時」が59.7%で最も多く、次いで「8～9時」が35.4%で続き、その他の項目はいずれも1.0%台から1.0%未満と極めて少なくなっている。

■ 帰宅時間

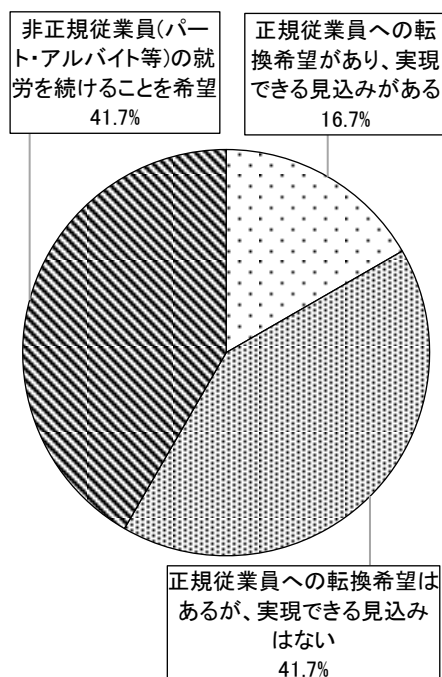


	項目名	回答数	割合
1	1～8時	1	0.2%
2	9～10時	3	0.5%
3	11～12時	1	0.2%
4	13～14時	2	0.3%
5	15～16時	10	1.6%
6	17～18時	264	41.9%
7	19～20時	279	44.3%
8	21～22時	57	9.0%
9	23～24時	13	2.1%
	合計	630	100.0%
	無回答	8	
	調査対象者	638	
	調査対象外	100	

就労している父親の帰宅時間については、「19～20時」が44.3%で最も多く、次いで「17～18時」が41.9%と僅差で続き、これに「21～22時」が9.0%が続いている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

問 10-2 問 10 で「3 または 4」非正規従業員（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にお伺いします。正規従業員への転換希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

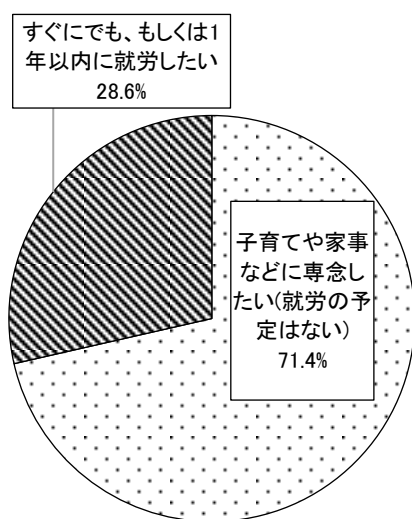


	項目名	回答数	割合
1	正規従業員への転換希望があり、実現できる見込みがある	2	16.7%
2	正規従業員への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	5	41.7%
3	非正規従業員(パート・アルバイト等)の就労を続けることを希望	5	41.7%
4	非正規従業員(パート・アルバイト等)をやめて子育てや家事に専念したい	-	
	合計	12	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	13	
	調査対象外	725	

非正規従業員として就労している父親の正規従業員への転換希望については、「正規従業員への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と「非正規従業員の就労を続けることを希望」がともに 41.7%で最も多く、次いで「正規従業員への転換希望があり、実現できる見込みがある」が 16.7%で続いている。

問 10-3 問 10 で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

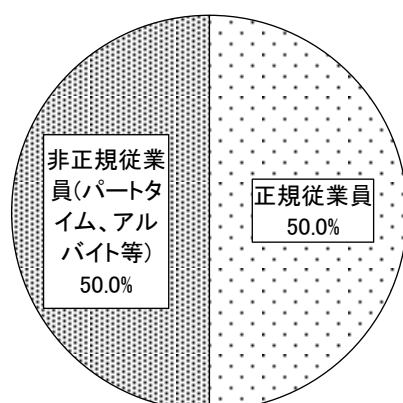
■ 就労希望の有無



	項目名	回答数	割合
1	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	5	71.4%
2	1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい	-	
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	2	28.6%
	合計	7	100.0%
	無回答	-	
	調査対象者	7	
	調査対象外	731	

現在就労していない父親の就労希望については、「子育てや家事などに専念したい」が 71.4%で最も多くなっている。

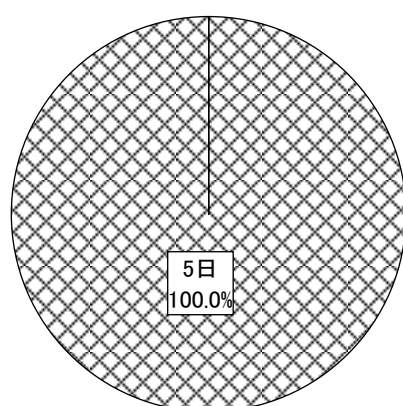
■ 「3」と回答の場合、希望する就労形態



	項目名	回答数	割合
ア	正規従業員	1	50.0%
イ	非正規従業員 (パートタイム、 アルバイト等)	1	50.0%
	合計	2	100.0%
	無回答	－	
	調査対象者	2	
	調査対象外	736	

現在就労していないが近いうちに就労することを希望している父親が希望する就労形態については、「正規従業員」と「非正規従業員」がともに 50.0%となっている。

■ 「イ」と回答の場合、希望する1週間当たり就労日数

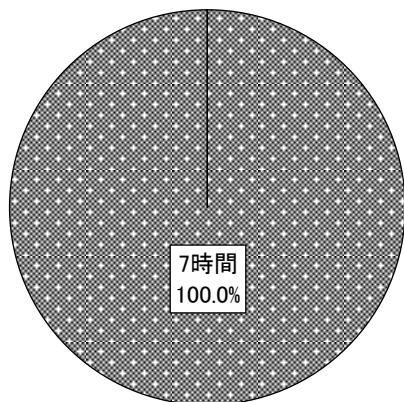


	項目名	回答数	割合
1	1日	－	
2	2日	－	
3	3日	－	
4	4日	－	
5	5日	1	100.0%
6	6日	－	
7	7日	－	
	合計	1	100.0%
	無回答	－	
	調査対象者	1	
	調査対象外	737	

現在就労していないが近いうちに「非正規従業員」として就労することを希望している父親が希望する1週間当たりの就労日数については、「5日」が 100.0%となっている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

■ 「イ」と回答の場合、希望する1日当たり就労時間



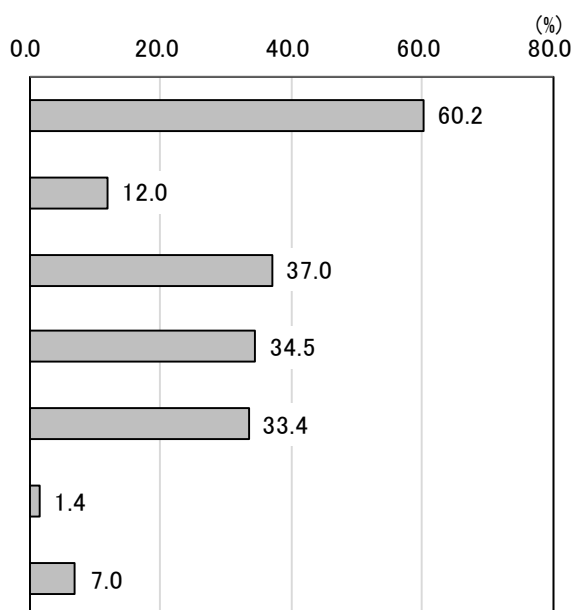
	項目名	回答数	割合
1	1時間	－	
2	2時間	－	
3	3時間	－	
4	4時間	－	
5	5時間	－	
6	6時間	－	
7	7時間	1	100.0%
8	8時間	－	
9	9時間	－	
10	10時間以上	－	
	合計	1	100.0%
	無回答	－	
	調査対象者	1	
	調査対象外	737	

現在就労していないが近いうちに「非正規従業員」として就労することを希望している父親が希望する1日当たりの就労時間については、「7時間」が100.0%となっている。

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてお伺いします

問 11 宛名のお子さんが、小学校低学年（１～３年生）である方にお伺いします。宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

■ 子どもを過ごさせたい場所



	項目名	回答数	割合
1	自宅	216	60.2%
2	祖父母宅や友人・知人宅	43	12.0%
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	133	37.0%
4	放課後こども教室(児童館、児童センター、児童室)	124	34.5%
5	放課後児童クラブ〔学童保育〕	120	33.4%
6	ファミリー・サポート・センター	5	1.4%
7	その他(図書館、公園など)	25	7.0%
	合計(回答母数)	359	
	無回答	7	
	調査対象者	366	
	調査対象外	372	

子どもが小学校低学年（１～３年生）の間、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が60.2%で最も多く、次いで「習い事」(37.0%)、「放課後こども教室」(34.5%)、「放課後児童クラブ」(33.4%)がいずれも3割台が続いている。

■ 場所ごとの、希望利用日数

1 自宅

	項目名	回答数	割合
1	1日	19	9.1%
2	2日	49	23.4%
3	3日	45	21.5%
4	4日	21	10.0%
5	5日	66	31.6%
6	6日	-	-
7	7日	9	4.3%
	合計	209	100.0%
	無回答	7	
	調査対象者	216	
	調査対象外	522	

2 祖父母宅や友人・知人宅

	項目名	回答数	割合
1	1日	14	36.8%
2	2日	7	18.4%
3	3日	6	15.8%
4	4日	1	2.6%
5	5日	10	26.3%
6	6日	-	-
7	7日	-	-
	合計	38	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	43	
	調査対象外	695	

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

3 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

	項目名	回答数	割合
1	1日	49	37.7%
2	2日	61	46.9%
3	3日	17	13.1%
4	4日	2	1.5%
5	5日	1	0.8%
6	6日	-	
7	7日	-	
	合計	130	100.0%
	無回答	3	
	調査対象者	133	
	調査対象外	605	

4 放課後こども教室(児童館、児童センター、児童室)

	項目名	回答数	割合
1	1日	20	16.9%
2	2日	26	22.0%
3	3日	25	21.2%
4	4日	14	11.9%
5	5日	31	26.3%
6	6日	2	1.7%
7	7日	-	
	合計	118	100.0%
	無回答	6	
	調査対象者	124	
	調査対象外	614	

5 放課後児童クラブ〔学童保育〕

	項目名	回答数	割合
1	1日	2	1.7%
2	2日	12	10.3%
3	3日	15	12.9%
4	4日	11	9.5%
5	5日	73	62.9%
6	6日	3	2.6%
7	7日	-	
	合計	116	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	120	
	調査対象外	618	

5 関連 利用を希望する時間

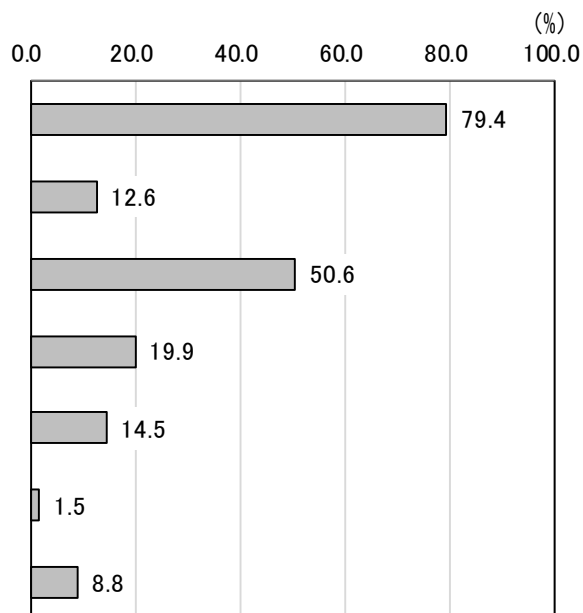
	項目名	回答数	割合
1	15時前	-	
2	15時	-	
3	16時	5	4.2%
4	17時	23	19.5%
5	18時	61	51.7%
6	19時	25	21.2%
7	20時	4	3.4%
8	21時	-	
9	22時以降	-	
	合計	118	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	120	
	調査対象外	618	

7 その他(図書館、公園など)

	項目名	回答数	割合
1	1日	8	38.1%
2	2日	7	33.3%
3	3日	2	9.5%
4	4日	3	14.3%
5	5日	1	4.8%
6	6日	-	
7	7日	-	
	合計	21	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	25	
	調査対象外	713	

問 12 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）では（現在低学年の方は高学年になった時）、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

■ 子どもを過ごさせたい場所



項目名	回答数	割合
1 自宅	543	79.4%
2 祖父母宅や友人・知人宅	86	12.6%
3 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	346	50.6%
4 放課後こども教室(児童館、児童センター、児童室)	136	19.9%
5 放課後児童クラブ〔学童保育〕	99	14.5%
6 ファミリー・サポート・センター	10	1.5%
7 その他(図書館、公園など)	60	8.8%
合計(回答母数)	684	
無回答	54	
調査対象者	738	

子どもが小学校高学年（４～６年生）の間、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が 79.4%で最も多く、次いで「習い事」が 50.6%、「放課後こども教室」が 19.9%、「放課後児童クラブ」が 14.5%で続いている。

■ 場所ごとの、希望利用日数

1 自宅

項目名	回答数	割合
1 1日	41	7.7%
2 2日	100	18.7%
3 3日	109	20.4%
4 4日	49	9.2%
5 5日	200	37.4%
6 6日	4	0.7%
7 7日	32	6.0%
合計	535	100.0%
無回答	8	
調査対象者	543	
調査対象外	195	

2 祖父母宅や友人・知人宅

項目名	回答数	割合
1 1日	27	34.2%
2 2日	15	19.0%
3 3日	16	20.3%
4 4日	5	6.3%
5 5日	14	17.7%
6 6日	-	
7 7日	2	2.5%
合計	79	100.0%
無回答	7	
調査対象者	86	
調査対象外	652	

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

3 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

	項目名	回答数	割合
1	1日	86	25.3%
2	2日	142	41.8%
3	3日	74	21.8%
4	4日	22	6.5%
5	5日	13	3.8%
6	6日	3	0.9%
7	7日	-	
	合計	340	100.0%
	無回答	6	
	調査対象者	346	
	調査対象外	392	

4 放課後こども教室(児童館、児童センター、児童室)

	項目名	回答数	割合
1	1日	38	30.2%
2	2日	25	19.8%
3	3日	26	20.6%
4	4日	8	6.3%
5	5日	25	19.8%
6	6日	4	3.2%
7	7日	-	
	合計	126	100.0%
	無回答	10	
	調査対象者	136	
	調査対象外	602	

5 放課後児童クラブ〔学童保育〕

	項目名	回答数	割合
1	1日	4	4.4%
2	2日	13	14.3%
3	3日	19	20.9%
4	4日	6	6.6%
5	5日	48	52.7%
6	6日	1	1.1%
7	7日	-	
	合計	91	100.0%
	無回答	8	
	調査対象者	99	
	調査対象外	639	

5 関連 利用を希望する時間

	項目名	回答数	割合
1	15時前	-	
2	15時	1	1.1%
3	16時	4	4.3%
4	17時	7	7.6%
5	18時	52	56.5%
6	19時	26	28.3%
7	20時	2	2.2%
8	21時	-	
9	22時以降	-	
	合計	92	100.0%
	無回答	7	
	調査対象者	99	
	調査対象外	639	

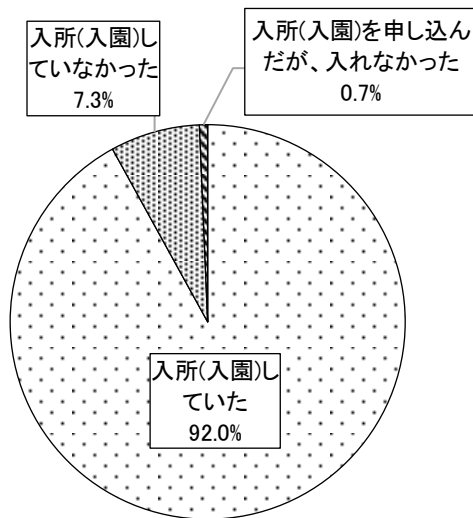
6 ファミリー・サポート・センター

	項目名	回答数	割合
1	1日	-	
2	2日	1	100.0%
3	3日	-	
4	4日	-	
5	5日	-	
6	6日	-	
7	7日	-	
	合計	1	100.0%
	無回答	9	
	調査対象者	10	
	調査対象外	728	

7 その他(図書館、公園など)

	項目名	回答数	割合
1	1日	21	38.2%
2	2日	22	40.0%
3	3日	7	12.7%
4	4日	1	1.8%
5	5日	3	5.5%
6	6日	-	
7	7日	1	1.8%
	合計	55	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	60	
	調査対象外	678	

問 13 問 11 もしくは問 12 で「5 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にお伺いします。宛名のお子さんについて、小学校入学の前年（5歳～6歳のとき）まで保育所・認定こども園（2号）に入所（入園）していましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

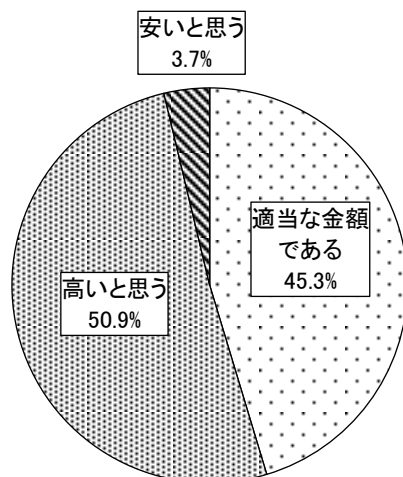


	項目名	回答数	割合
1	入所(入園)していた	138	92.0%
2	入所(入園)していなかった	11	7.3%
3	入所(入園)を申し込んだが、入れなかった	1	0.7%
	合計	150	100.0%
	無回答	11	
	調査対象者	161	
	調査対象外	577	

小学校低学年又は小学校高学年の放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所として「放課後児童クラブ」と答えた方のお子さんが小学校入学の前年まで保育所・認定こども園（2号）に入所（入園）していたかについては、「入所（入園）していた」が92.0%と9割以上を占め、最も多くなっている。

問 14 ～ 問 15 は、現在、放課後児童クラブを利用している方にお伺いします。

問 14 現在利用している放課後児童クラブの利用料金についてどう思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	適当な金額である	73	45.3%
2	高いと思う	82	50.9%
3	安いと思う	6	3.7%
	合計	161	100.0%
	無回答	577	
	調査対象者	738	

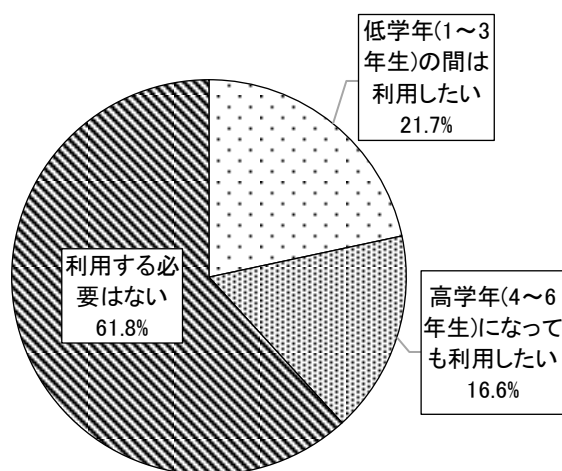
現在利用している放課後児童クラブの利用料金については、「高いと思う」が50.9%と5割以上を占めた一方、「適当な金額である」は45.3%と4割台となっている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

問 15 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号 1 つに ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、□内にご記入ください。

(1) 土曜日

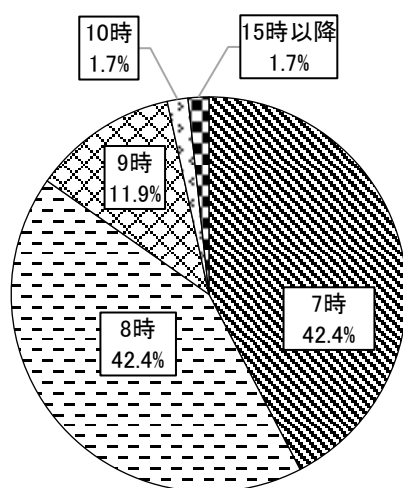
■ 利用希望の有無



	項目名	回答数	割合
1	低学年(1～3年生)の間は利用したい	34	21.7%
2	高学年(4～6年生)になっても利用したい	26	16.6%
3	利用する必要はない	97	61.8%
	合計	157	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	161	
	調査対象外	577	

現在放課後児童クラブを利用している方の土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が 61.8%で 6 割以上を占めた一方、「低学年の間は利用したい」は 21.7%、「高学年になっても利用したい」は 16.6%となっている。

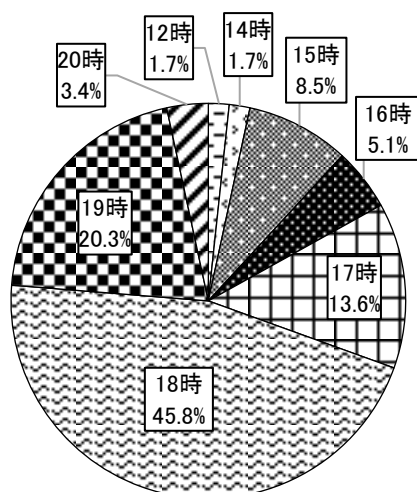
■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（開始）



	項目名	回答数	割合
1	6時前	—	—
2	6時	—	—
3	7時	25	42.4%
4	8時	25	42.4%
5	9時	7	11.9%
6	10時	1	1.7%
7	11時	—	—
8	12時	—	—
9	13時	—	—
10	14時	—	—
11	15時以降	1	1.7%
	合計	59	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	60	
	調査対象外	678	

「放課後児童クラブ」を土曜日に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（開始）については、「7時」と「8時」がともに 42.4%で最も多く、この 2 項目で全体の 8 割以上を占めている。

■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（終了）

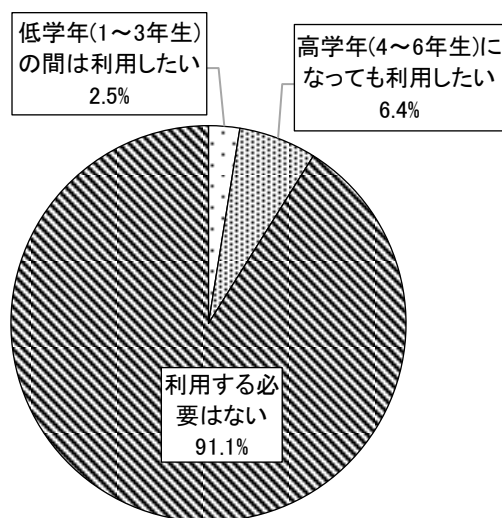


	項目名	回答数	割合
1	10時前	-	
2	10時	-	
3	11時	-	
4	12時	1	1.7%
5	13時	-	
6	14時	1	1.7%
7	15時	5	8.5%
8	16時	3	5.1%
9	17時	8	13.6%
10	18時	27	45.8%
11	19時	12	20.3%
12	20時	2	3.4%
13	21時以降	-	
	合計	59	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	60	
	調査対象外	678	

「放課後児童クラブ」を土曜日に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（終了）については、「18時」が45.8%で最も多く、次いで「19時」が20.3%、「17時」が13.6%が続いている。

(2) 日曜日・祝日

■ 利用希望の有無

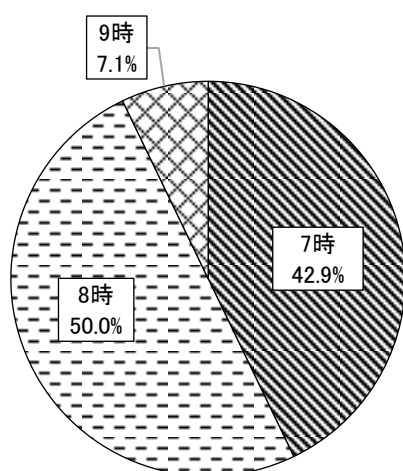


	項目名	回答数	割合
1	低学年(1～3年生)の間は利用したい	4	2.5%
2	高学年(4～6年生)になっても利用したい	10	6.4%
3	利用する必要はない	143	91.1%
	合計	157	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	161	
	調査対象外	577	

現在放課後児童クラブを利用している方の日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が91.1%で9割以上を占めた一方、「高学年になっても利用したい」は6.4%、「低学年の間は利用したい」は2.5%となっている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

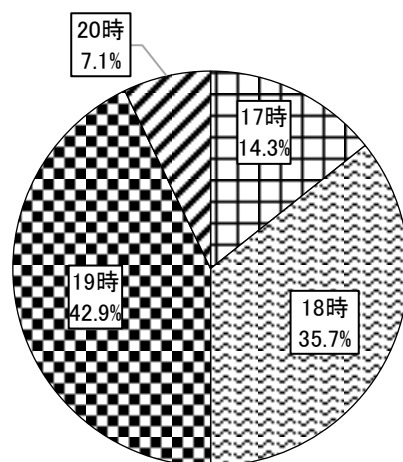
■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（開始）



	項目名	回答数	割合
1	6時前	－	
2	6時	－	
3	7時	6	42.9%
4	8時	7	50.0%
5	9時	1	7.1%
6	10時	－	
7	11時	－	
8	12時	－	
9	13時	－	
10	14時	－	
11	15時以降	－	
	合計	14	100.0%
	無回答	－	
	調査対象者	14	
	調査対象外	724	

「放課後児童クラブ」を日曜日・祝日に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（開始）については、「8時」が50.0%で最も多く、次いで「7時」が42.9%で続き、この2項目で全体の9割以上を占めている。

■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（終了）



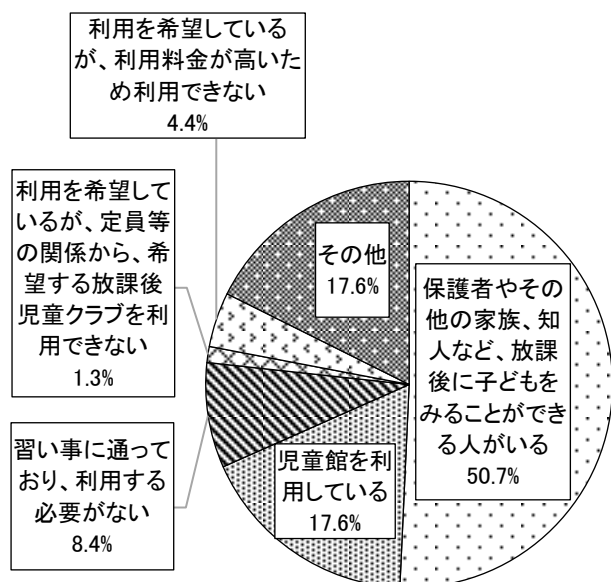
	項目名	回答数	割合
1	10時前	－	
2	10時	－	
3	11時	－	
4	12時	－	
5	13時	－	
6	14時	－	
7	15時	－	
8	16時	－	
9	17時	2	14.3%
10	18時	5	35.7%
11	19時	6	42.9%
12	20時	1	7.1%
13	21時以降	－	
	全体	14	100.0%
	無回答	－	
	調査対象者	14	
	調査対象外	724	

「放課後児童クラブ」を日曜日・祝日に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（終了）については、「19時」が42.9%で最も多く、次いで「18時」が35.7%で続き、この2項目で全体の8割近くを占めている。

問 16～問 18 は、現在、放課後児童クラブを利用していない方（問 14 に回答していない方）にお伺いします。

問 16 放課後児童クラブを利用していない理由について、あてはまると思われる番号 1 つに○をつけてください。

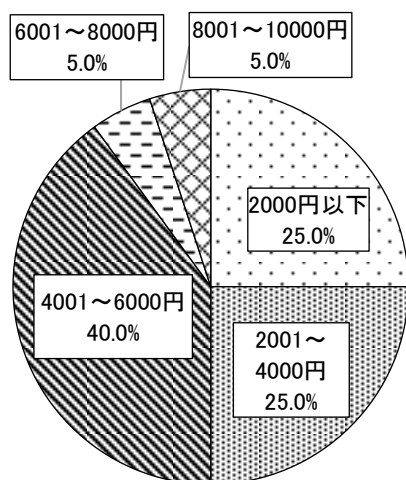
■ 利用していない理由



現在放課後児童クラブを利用していない方の、利用していない理由については、「保護者やその他の家族、知人など、放課後に子どもをみる人がいる」が 50.7%で最も多く、次いで「児童館を利用している」と「その他」がともに 17.6%で続いている。

項目名	回答数	割合
1 保護者やその他の家族、知人など、放課後に子どもをみる人がいる	279	50.7%
2 児童館を利用している	97	17.6%
3 習い事に通っており、利用する必要がある	46	8.4%
4 ファミリー・サポート・センターを利用している	-	
5 利用を希望しているが、定員等の関係から、希望する放課後児童クラブを利用できない	7	1.3%
6 利用を希望しているが、利用料金が高いため利用できない	24	4.4%
7 その他	97	17.6%
合計	550	
無回答	27	
調査対象者	577	
調査対象外	161	

■ 「6」と回答の場合、適当だと思う利用料金（月額）



項目名	回答数	割合
1 2000円以下	5	25.0%
2 2001～4000円	5	25.0%
3 4001～6000円	8	40.0%
4 6001～8000円	1	5.0%
5 8001～10000円	1	5.0%
6 10001円以上	-	
合計	20	100.0%
無回答	4	
調査対象者	24	
調査対象外	714	

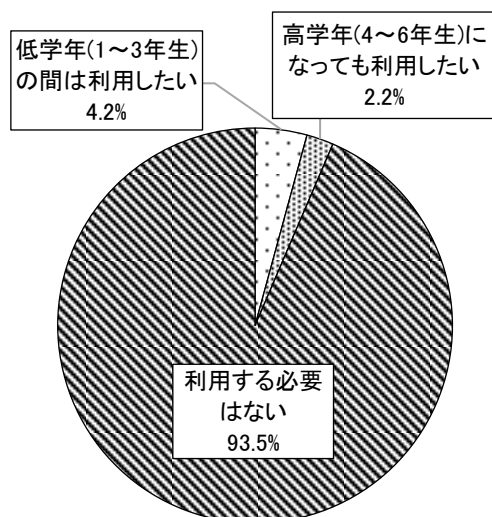
現在放課後児童クラブを利用していない理由を「利用を希望しているが、利用料金が高いため利用できない」と答えた方の、適当だと思う利用料金（月額）については、「4001円～6000円」が 40.0%で最も多く、次いで「2000円以下」と「2001～4000円」がともに 25.0%で続いている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

問 17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、□内にご記入ください。

(1) 土曜日

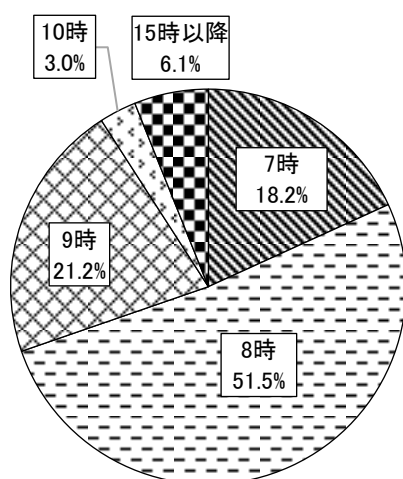
■ 利用希望の有無



	項目名	回答数	割合
1	低学年(1～3年生)の間は利用したい	23	4.2%
2	高学年(4～6年生)になっても利用したい	12	2.2%
3	利用する必要はない	507	93.5%
	合計	542	100.0%
	無回答	35	
	調査対象者	577	
	調査対象外	161	

現在放課後児童クラブを利用していない方の、土曜日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が 93.5%と 9 割以上を占め最も多くなった一方、「低学年の間は利用したい」は 4.2%、「高学年になっても利用したい」は 2.2%となっている。

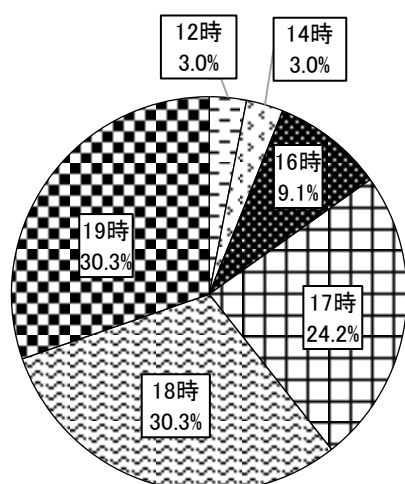
■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（開始）



	項目名	回答数	割合
1	6時前	0	0.0%
2	6時	0	0.0%
3	7時	6	18.2%
4	8時	17	51.5%
5	9時	7	21.2%
6	10時	1	3.0%
7	11時	0	0.0%
8	12時	0	0.0%
9	13時	0	0.0%
10	14時	0	0.0%
11	15時以降	2	6.1%
	合計	33	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	35	
	調査対象外	703	

「放課後児童クラブ」を土曜日に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（開始）については、「8時」が 51.5%で最も多く、次いで「9時」が 21.2%、「7時」が 18.2%となっている。

■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（終了）

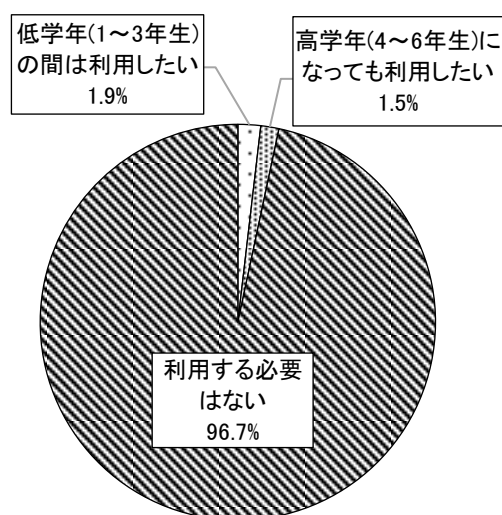


	項目名	回答数	割合
1	10時前	-	
2	10時	-	
3	11時	-	
4	12時	1	3.0%
5	13時	-	
6	14時	1	3.0%
7	15時	-	
8	16時	3	9.1%
9	17時	8	24.2%
10	18時	10	30.3%
11	19時	10	30.3%
12	20時	-	
13	21時以降	-	
	合計	33	100.0%
	無回答	2	
	調査対象者	35	
	調査対象外	703	

「放課後児童クラブ」を土曜日に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（終了）については、「18時」と「19時」がともに30.3%で最も多く、次いで「17時」が24.2%となっている。

(2) 日曜日・祝日

■ 利用希望の有無

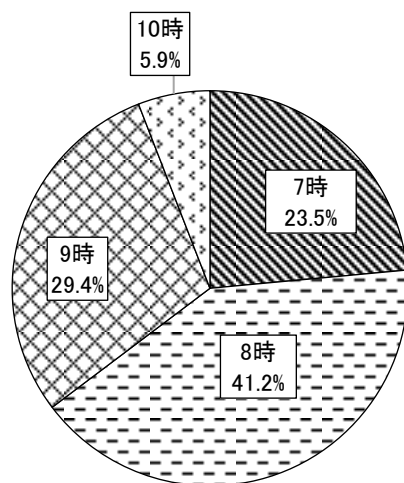


	項目名	回答数	割合
1	低学年(1～3年生)の間は利用したい	10	1.9%
2	高学年(4～6年生)になっても利用したい	8	1.5%
3	利用する必要はない	520	96.7%
	合計	538	100.0%
	無回答	39	
	調査対象者	577	
	調査対象外	161	

現在放課後児童クラブを利用していない方の、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が96.7%と9割以上を占め最も多くなった一方、「低学年の間は利用したい」は1.9%、「高学年になっても利用したい」は1.5%とともに1.0%台と少なくなっている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

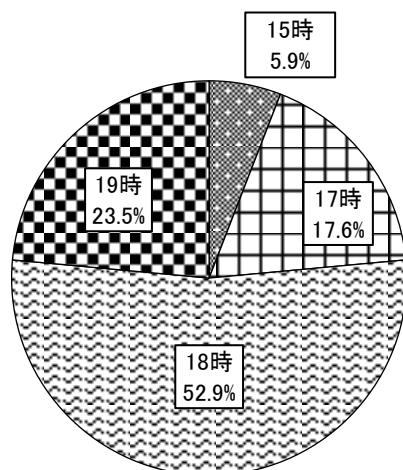
■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（開始）



	項目名	回答数	割合
1	6時前	—	
2	6時	—	
3	7時	4	23.5%
4	8時	7	41.2%
5	9時	5	29.4%
6	10時	1	5.9%
7	11時	—	
8	12時	—	
9	13時	—	
10	14時	—	
11	15時以降	—	
	合計	17	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	18	
	調査対象外	720	

「放課後児童クラブ」を日曜日・祝日に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（開始）については、「8時」が41.2%で最も多く、次いで「9時」が29.4%、「7時」が23.5%となっている。

■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（終了）

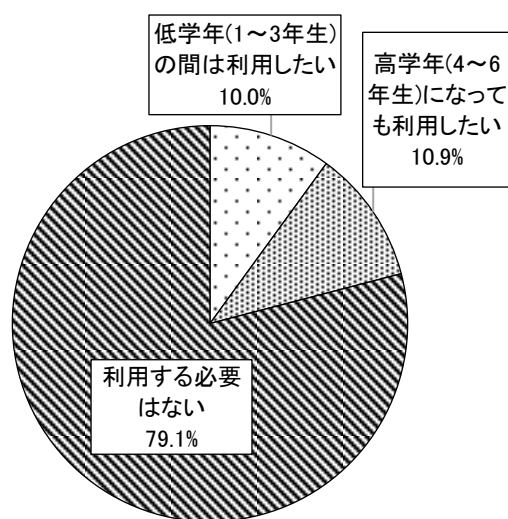


	項目名	回答数	割合
1	10時前	—	
2	10時	—	
3	11時	—	
4	12時	—	
5	13時	—	
6	14時	—	
7	15時	1	5.9%
8	16時	—	
9	17時	3	17.6%
10	18時	9	52.9%
11	19時	4	23.5%
12	20時	—	
13	21時以降	—	
	合計	17	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	18	
	調査対象外	720	

「放課後児童クラブ」を日曜日・祝日に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（終了）については、「18時」が52.9%で最も多く、次いで「19時」が23.5%、「17時」が17.6%となっている。

問 18 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、□内にご記入ください。

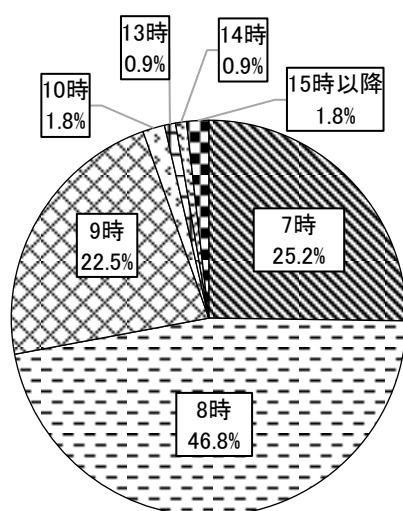
■ 利用希望の有無



	項目名	回答数	割合
1	低学年(1～3年生)の間は利用したい	55	10.0%
2	高学年(4～6年生)になっても利用したい	60	10.9%
3	利用する必要はない	434	79.1%
	合計	549	100.0%
	無回答	28	
	調査対象者	577	
	調査対象外	161	

現在放課後児童クラブを利用していない方の長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が79.1%と8割近くを占め最も多くなった一方、「高学年になっても利用したい」は10.9%、「低学年の間は利用したい」は10.0%と、ともに1割台となっている。

■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（開始）

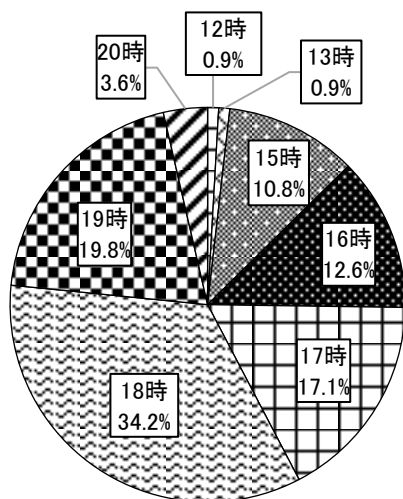


	項目名	回答数	割合
1	6時前	—	
2	6時	—	
3	7時	28	25.2%
4	8時	52	46.8%
5	9時	25	22.5%
6	10時	2	1.8%
7	11時	—	
8	12時	—	
9	13時	1	0.9%
10	14時	1	0.9%
11	15時以降	2	1.8%
	合計	111	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	115	
	調査対象外	623	

「放課後児童クラブ」を長期休暇期間中に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（開始）については、「8時」が46.8%で最も多く、次いで「7時」が25.2%、「9時」が22.5%となっている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

■ 「1」または「2」と回答の場合、利用希望時間帯（終了）



	項目名	回答数	割合
1	10時前	—	
2	10時	—	
3	11時	—	
4	12時	1	0.9%
5	13時	1	0.9%
6	14時	—	
7	15時	12	10.8%
8	16時	14	12.6%
9	17時	19	17.1%
10	18時	38	34.2%
11	19時	22	19.8%
12	20時	4	3.6%
13	21時以降	—	
	合計	111	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	115	
	調査対象外	623	

「放課後児童クラブ」を長期休暇期間中に利用したいと答えた方の利用希望時間帯（終了）については、「18 時」が 34.2%で最も多く、次いで「19 時」が 19.8%、「17 時」が 17.1%となっている。

問 19 放課後児童クラブの利用料金や運営など事業全般に関して、意見や改善して欲しい点などありましたら、自由にご記入ください。

放課後児童クラブの利用料金や運営など事業全般に関して、意見や改善してほしい点についてたずねたところ、246 人の回答者から、合計 333 件の回答があった。

意見内容区分		意見数(件)	
利用料金について	利用料金が高い	82	110
	利用日数に応じた利用料金の設定	9	
	利用料金の無償化	6	
	長期休暇時の利用料金が高い	4	
	利用料金の一律化	3	
	兄弟割引の設定	3	
	延長料金の廃止	2	
	利用料金が分かりづらい	1	
運営・職員に関すること	定員を増やしてほしい	26	81
	職員の増員・質の向上	28	
	施設数の増加	8	
	情報提供	6	
	職員の待遇改善	5	
	サービス内容の充実、均一化	3	
	年度途中での申し込み	2	
	運営の公営化	2	
運営方針に疑問を感じる	1		
過ごし方について	過ごし方に関する要望	15	52
	食事に関すること	10	
	施設が狭い	9	
	習い事ができると良い	7	
	施設の老朽化	4	
	習い事への送迎	3	
	設備、遊具等の充実	2	
	その他過ごし方について	2	
利用時間、利用日数について	利用時間の延長	16	48
	利用対象の拡大	11	
	長期休暇中の利用希望	9	
	学級閉鎖時の利用希望	3	
	土日祝日の利用希望	3	
	1日単位での利用希望	2	
	急用時等の柔軟な対応	2	
	その他利用時間、利用日数について	2	
その他	感謝、満足等	11	42
	アンケートに関する意見	2	
	その他(上記以外の意見)	29	
総数			333

いただいた意見は「利用料金について」に関するものが最も多く、次いで「運営・職員に関すること」、「過ごし方について」、「利用時間、利用日数について」の順となっている。

「利用料金について」の内容をみると、「利用料金が高い」といった意見が最も多く、次いで「利用日数に応じた利用料金の設定」を求める意見が多かった。

「運営・職員に関すること」の内容をみると、「定員の増加」を求める意見が最も多く、次いで「職員の増員・質の向上」を求める意見が多かった。また、入所を希望していても入れないとの理由から、「施設数の増加」を求める意見も見られた。

「過ごし方について」の内容をみると、「外での遊びを増やしてほしい」や「宿題をする時間を設定してほしい」等、「過ごし方に関する要望」が最も多く、次いで「食事を提供してほしい」等、「食事に関すること」の意見が多かった。

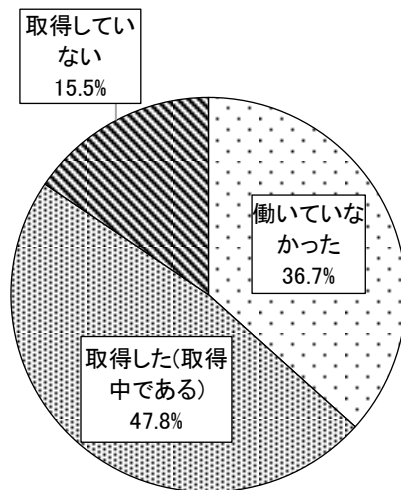
「利用時間、利用日数について」の内容をみると、「利用時間の延長」を求める意見が最も多く、次いで「利用対象の拡大」を求める意見が多かった。

仕事と子育ての両立支援についてお伺いします

問 20 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親

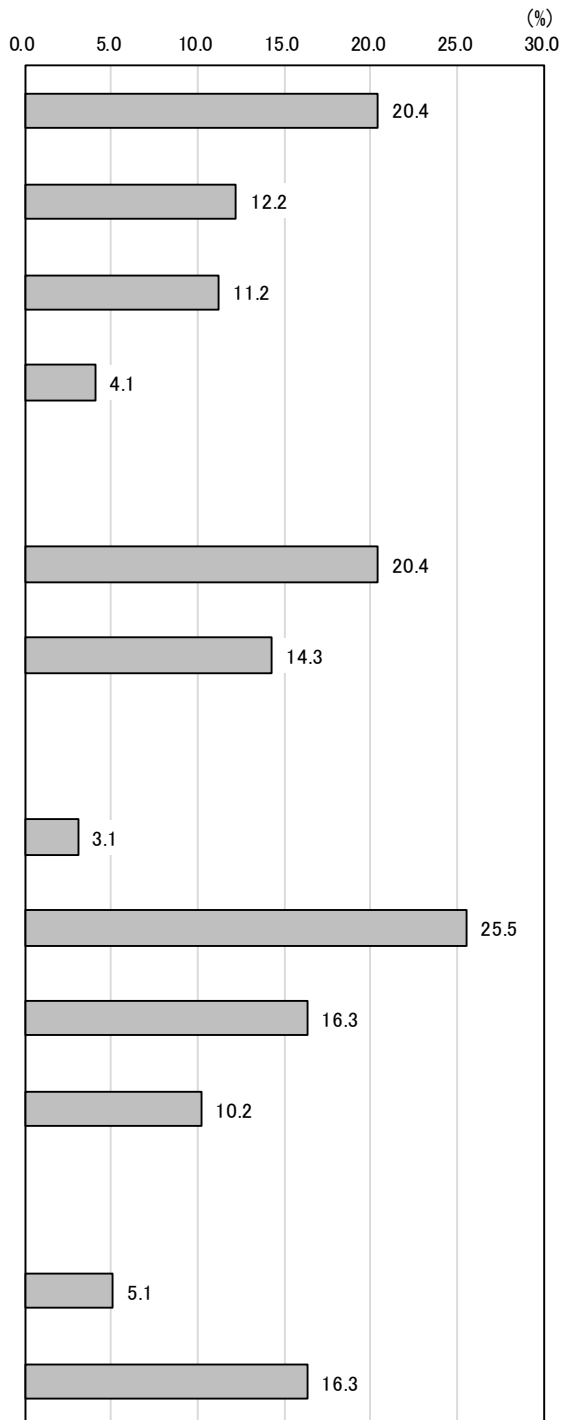
■ 育児休業の取得の有無



項目名	回答数	割合
1 働いていなかった	267	36.7%
2 取得した(取得中である)	348	47.8%
3 取得していない	113	15.5%
合計	728	100.0%
無回答	10	
調査対象者	738	

子どもが生まれたときに母親が育児休業を取得したかについては、「取得した(取得中である)」が47.8%で最も多くなった一方、「取得していない」は15.5%となっている。また、「働いていなかった」は36.7%となっている。

■ 「3」と回答の場合、取得していない理由

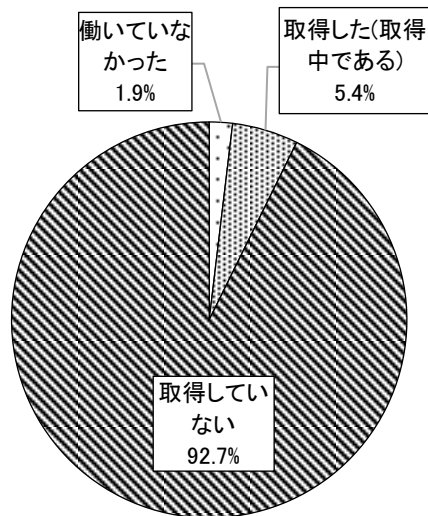


項目名	回答数	割合
1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	20	20.4%
2 仕事が忙しかった	12	12.2%
3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	11	11.2%
4 仕事に戻るのが難しそうだった	4	4.1%
5 昇給・昇格などが遅れそうだった	—	—
6 収入減となり、経済的に苦しくなる	20	20.4%
7 保育所(園)などに預けることができた	14	14.3%
8 配偶者が育児休業制度を利用した	—	—
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	3	3.1%
10 子育てや家事に専念するため退職した	25	25.5%
11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	16	16.3%
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	10	10.2%
13 育児休業を取得できることを知らなかった	—	—
14 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	5	5.1%
15 その他	16	16.3%
合計(回答母数)	98	
無回答	15	
調査対象者	113	
調査対象外	625	

母親が育児休業を取得しなかった理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が25.5%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と「収入源となり、経済的に苦しくなる」がともに20.4%で続き、これら3項目が2割台で比較的多くなっている。

(2) 父親

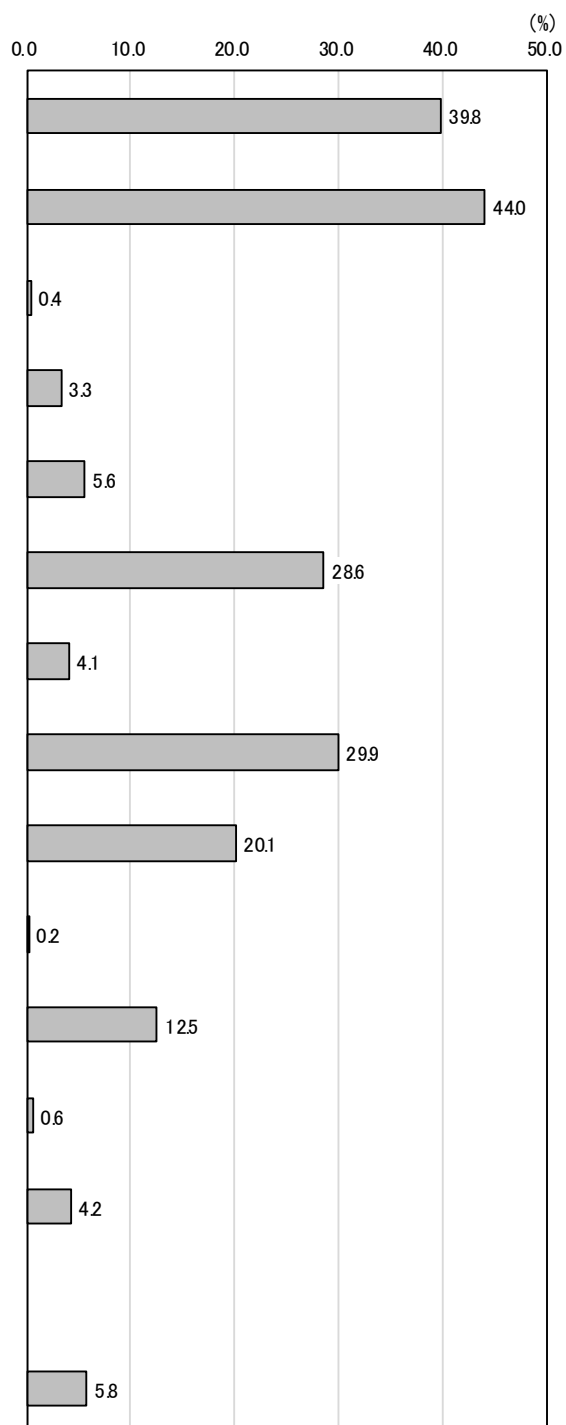
■ 育児休業の取得の有無



	項目名	回答数	割合
1	働いていなかった	13	1.9%
2	取得した(取得中である)	37	5.4%
3	取得していない	635	92.7%
	合計	685	100.0%
	無回答	53	
	調査対象者	738	

子どもが生まれたときに父親が育児休業を取得したかについては、「取得していない」が92.7%で最も多くなった一方、「取得した(取得中である)」は5.4%となっている。また、「働いていなかった」は1.9%となっている。

■ 「3」と回答の場合、取得していない理由



項目名	回答数	割合
1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	206	39.8%
2 仕事が忙しかった	228	44.0%
3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	2	0.4%
4 仕事に戻るのが難しそうだった	17	3.3%
5 昇給・昇格などが遅れそうだった	29	5.6%
6 収入減となり、経済的に苦しくなる	148	28.6%
7 保育所(園)などに預けることができた	21	4.1%
8 配偶者が育児休業制度を利用した	155	29.9%
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	104	20.1%
10 子育てや家事に専念するため退職した	1	0.2%
11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	65	12.5%
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	3	0.6%
13 育児休業を取得できることを知らなかった	22	4.2%
14 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	—	
15 その他	30	5.8%
合計(回答母数)	518	
無回答	117	
調査対象者	635	
調査対象外	103	

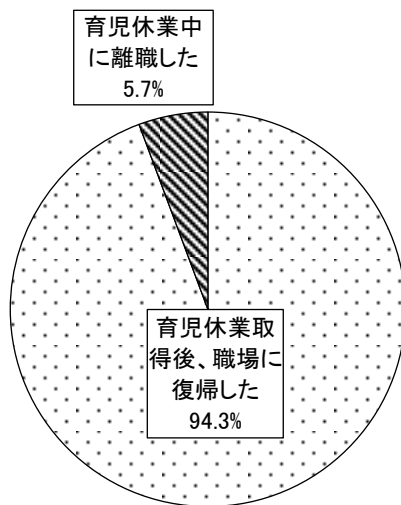
父親が育児休業を取得しなかった理由については、「仕事が忙しかった」が44.0%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が39.8%で続き、これに「配偶者が育児休業制度を利用した」が29.9%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が28.6%で続いている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

問 20 で「2 取得した（取得中である）」と回答した方にお伺いします。

問 20-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

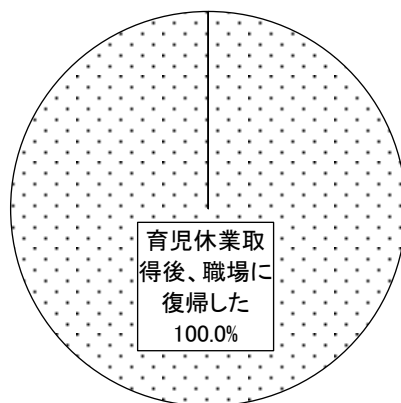
（１）母親



	項目名	回答数	割合
1	育児休業取得後、職場に復帰した	300	94.3%
2	現在も育児休業中である	-	
3	育児休業中に離職した	18	5.7%
	合計	318	100.0%
	無回答	30	
	調査対象者	348	
	調査対象外	390	

育児休業を取得した母親がその後職場に復帰したかについては、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 94.3%で最も多くなった一方、「育児休業中に離職した」は 5.7%となっている。

（２）父親



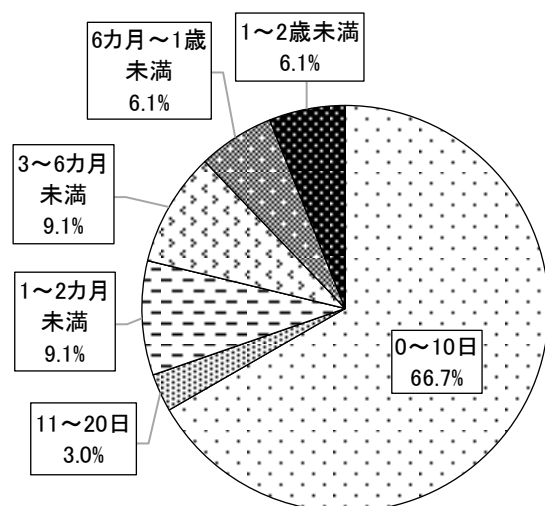
	項目名	回答数	割合
1	育児休業取得後、職場に復帰した	34	100.0%
2	現在も育児休業中である	-	
3	育児休業中に離職した	-	
	合計	34	100.0%
	無回答	3	
	調査対象者	37	
	調査対象外	701	

育児休業を取得した父親がその後職場に復帰したかについては、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 100.0%となっている。

問 20 で、「2 取得した（取得中である）」と回答し、問 20-1 で「1」または「2」を選択したお父さんにお伺いします。

問 20-2 育児休業取得開始時期は、お子さんが何歳何カ月するときですか。また、どれくらいの期間取得しました（します）か。□内に数字でご記入ください。

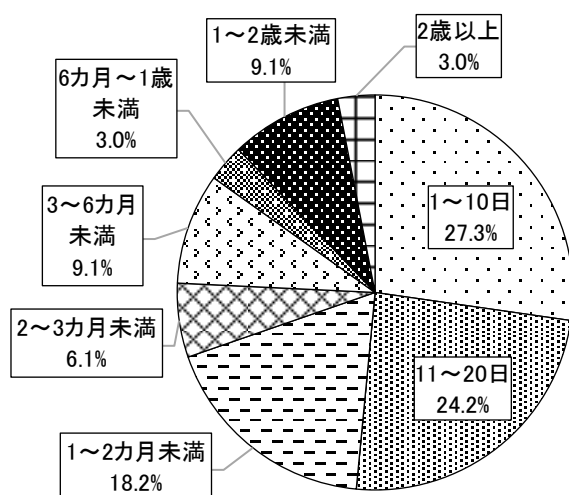
■ 取得開始時期（子どもの年(月)齢）



	項目名	回答数	割合
1	0～10日	22	66.7%
2	11～20日	1	3.0%
3	21日～1カ月未満	－	
4	1～2カ月未満	3	9.1%
5	2～3カ月未満	－	
6	3～6カ月未満	3	9.1%
7	6カ月～1歳未満	2	6.1%
8	1～2歳未満	2	6.1%
9	2歳以上	－	
	合計	33	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	37	
	調査対象外	701	

育児休業を取得した父親の取得時期については、「0～10日」が66.7%と6割以上を占め最も多く、次いで「1～2カ月未満」と「3～6カ月未満」がともに9.1%で続いている。

■ 取得期間



	項目名	回答数	割合
1	1～10日	9	27.3%
2	11～20日	8	24.2%
3	21日～1カ月未満	－	
4	1～2カ月未満	6	18.2%
5	2～3カ月未満	2	6.1%
6	3～6カ月未満	3	9.1%
7	6カ月～1歳未満	1	3.0%
8	1～2歳未満	3	9.1%
9	2歳以上	1	3.0%
	合計	33	100.0%
	無回答	4	
	調査対象者	37	
	調査対象外	701	

育児休業を取得した父親の取得期間については、「1～10日」が27.3%で最も多く、次いで「11～20日」が24.2%、「1～2カ月未満」が18.2%で続いている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

問 20-3 から問 20-5 は、問 20-1 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

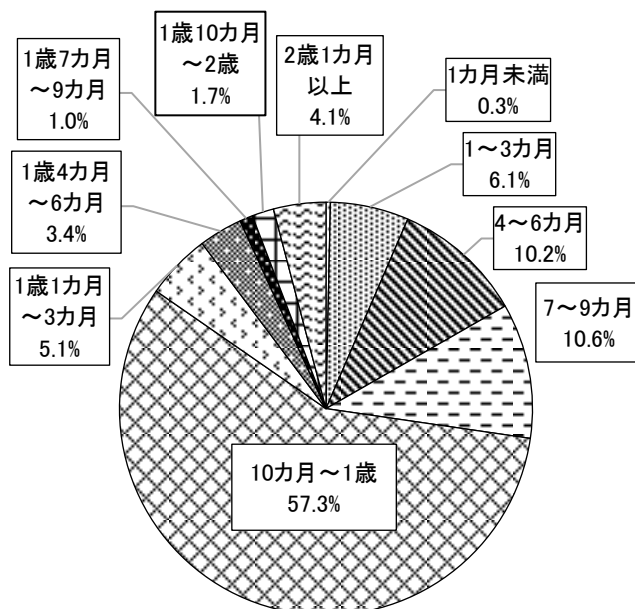
問 20-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何カ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何カ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

（１）母親

母親の育児休業からの復帰時期については、【実際】には「10 カ月～1 歳」が 57.3%と 6 割近くを占め最も多く、次いで「7～9 カ月」（10.6%）と「4～6 カ月」（10.2%）がともに 1 割台で続いている。また、「1 歳 1 カ月～3 カ月」以上の各期間については、総じて 1 割未満と少なくなっている。

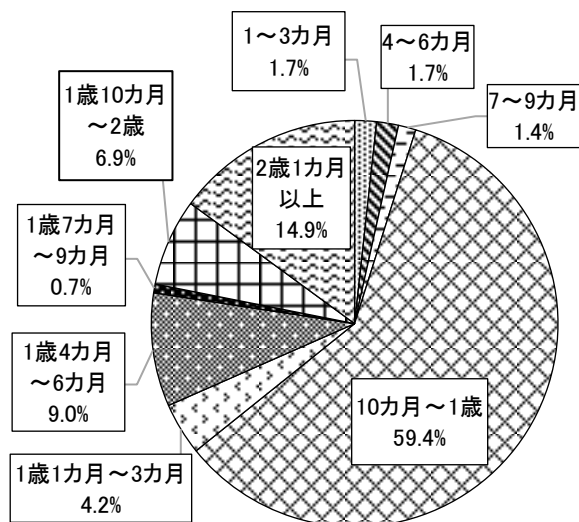
一方【希望】では、「10 カ月～1 歳」が 59.4%で最も多くなっている。また、「2 歳 1 カ月以上」は 14.9%と 1 割を超えており、【実際】よりも 10.8 ポイント多くなっている。

■ 実際の復帰時期（子どもの年(月)齢）



	項目名	回答数	割合
1	1カ月未満	1	0.3%
2	1～3カ月	18	6.1%
3	4～6カ月	30	10.2%
4	7～9カ月	31	10.6%
5	10カ月～1歳	168	57.3%
6	1歳1カ月～3カ月	15	5.1%
7	1歳4カ月～6カ月	10	3.4%
8	1歳7カ月～9カ月	3	1.0%
9	1歳10カ月～2歳	5	1.7%
10	2歳1カ月以上	12	4.1%
	合計	293	100.0%
	無回答	7	
	調査対象者	300	
	調査対象外	438	

■ 希望の復帰時期（子どもの年(月)齢）



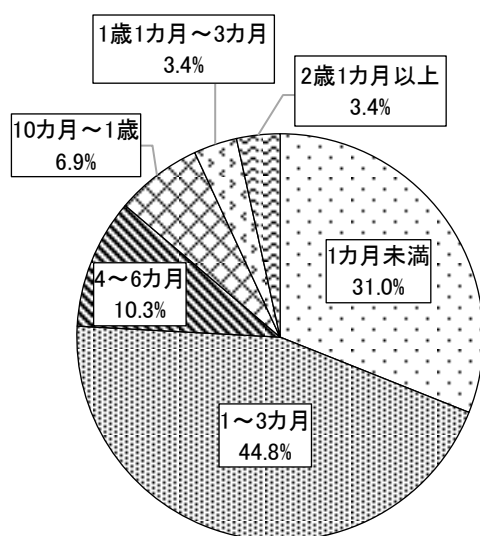
	項目名	回答数	割合
1	1カ月未満	-	
2	1～3カ月	5	1.7%
3	4～6カ月	5	1.7%
4	7～9カ月	4	1.4%
5	10カ月～1歳	171	59.4%
6	1歳1カ月～3カ月	12	4.2%
7	1歳4カ月～6カ月	26	9.0%
8	1歳7カ月～9カ月	2	0.7%
9	1歳10カ月～2歳	20	6.9%
10	2歳1カ月以上	43	14.9%
	合計	288	100.0%
	無回答	12	
	調査対象者	300	
	調査対象外	438	

(2) 父親

父親の育児休業からの復帰時期については、【実際】には「1～3カ月」が44.8%と4割以上を占め最も多く、次いで「1カ月未満」が31.0%で続いており、この2項目で全体の7割以上を占めている。

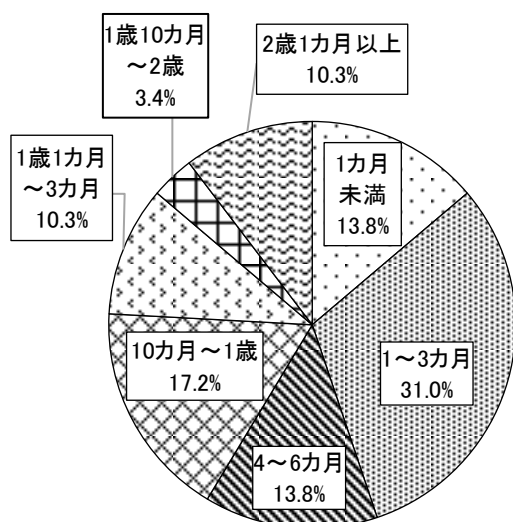
一方【希望】では、「1～3カ月」は31.0%、「1カ月未満」は13.8%となっており、この2項目の合計は4割台にとどまっている。また、「10カ月～1歳」は17.2%、「1歳1カ月～3カ月」と「2歳1カ月以上」はともに10.3%と、比較的長期の期間についても1割以上となっている。

■ 実際の復帰時期（子どもの年(月)齢）



	項目名	回答数	割合
1	1カ月未満	9	31.0%
2	1～3カ月	13	44.8%
3	4～6カ月	3	10.3%
4	7～9カ月	—	
5	10カ月～1歳	2	6.9%
6	1歳1カ月～3カ月	1	3.4%
7	1歳4カ月～6カ月	—	
8	1歳7カ月～9カ月	—	
9	1歳10カ月～2歳	—	
10	2歳1カ月以上	1	3.4%
	合計	29	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	34	
	調査対象外	704	

■ 希望の復帰時期（子どもの年(月)齢）



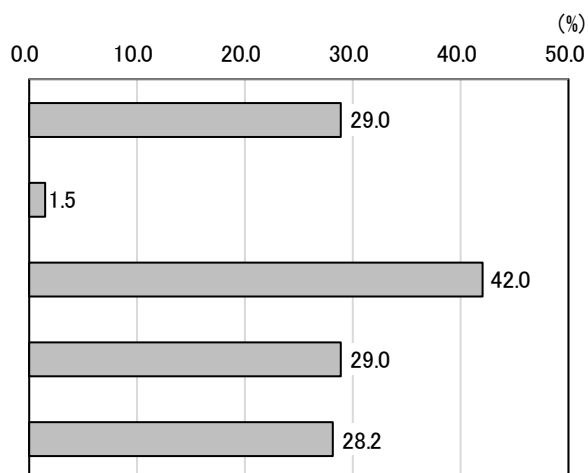
	項目名	回答数	割合
1	1カ月未満	4	13.8%
2	1～3カ月	9	31.0%
3	4～6カ月	4	13.8%
4	7～9カ月	—	
5	10カ月～1歳	5	17.2%
6	1歳1カ月～3カ月	3	10.3%
7	1歳4カ月～6カ月	—	
8	1歳7カ月～9カ月	—	
9	1歳10カ月～2歳	1	3.4%
10	2歳1カ月以上	3	10.3%
	合計	29	100.0%
	無回答	5	
	調査対象者	34	
	調査対象外	704	

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

問 20-4 問 20-3 で実際の取得期間と希望が異なる方にお伺いします。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

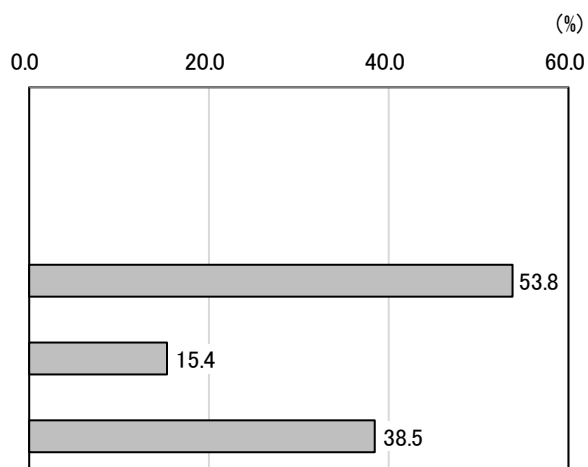
① 母親



	項目名	回答数	割合
1	希望する保育所等に入るため	38	29.0%
2	配偶者や家族の希望があったため	2	1.5%
3	経済的な理由で早く復帰する必要があった	55	42.0%
4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	38	29.0%
5	その他	37	28.2%
	合計(回答母数)	131	
	無回答	19	
	調査対象者	150	
	調査対象外	588	

母親が、育児休業休暇を希望より早く終え職場復帰した理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が42.0%と4割台で最も多く、次いで「希望する保育所等に入るため」と「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がともに29.0%、「その他」が28.2%と、いずれも3割近くで続いている。

② 父親



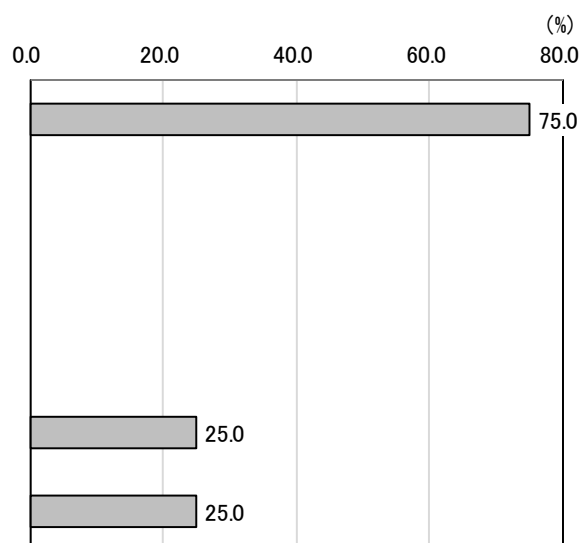
	項目名	回答数	割合
1	希望する保育所等に入るため	-	-
2	配偶者や家族の希望があったため	-	-
3	経済的な理由で早く復帰する必要があった	7	53.8%
4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	2	15.4%
5	その他	5	38.5%
	合計(回答母数)	13	
	無回答	2	
	調査対象者	15	
	調査対象外	723	

父親が、育児休業休暇を希望より早く終え職場復帰した理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が53.8%で5割以上となり最も多く、次いで「その他」が38.5%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が15.4%で続いている。

(2) 「希望」より遅く復帰した方

※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親



	項目名	回答数	割合
1	希望する保育所等に入れなかったため	3	75.0%
2	自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	-	-
3	配偶者や家族の希望があったため	-	-
4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	-	-
5	子どもをみてくれる人がいなかったため	1	25.0%
6	その他	1	25.0%
	合計(回答母数)	4	
	無回答	5	
	調査対象者	9	
	調査対象外	729	

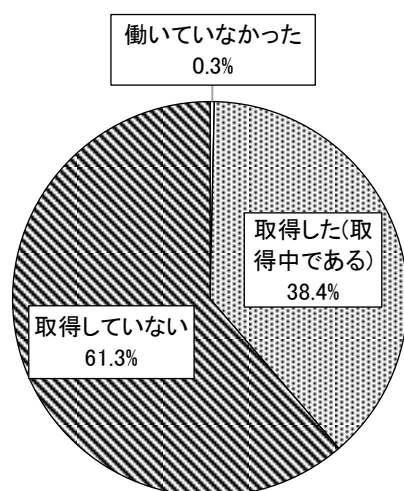
母親が、育児休業休暇を希望より長く取得した理由については、「希望する保育所等に入れなかったため」が75.0%で最も多くなっている。

② 父親

調査対象者なし

問 20-5 宛名のお子さんのために、育児短時間勤務を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

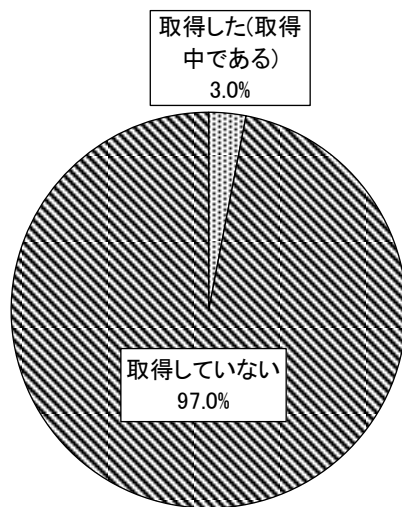
(1) 母親



	項目名	回答数	割合
1	働いていなかった	1	0.3%
2	取得した(取得中である)	112	38.4%
3	取得していない	179	61.3%
	合計	292	100.0%
	無回答	8	
	調査対象者	300	
	調査対象外	438	

母親が育児短時間勤務を取得したかについては、「取得していない」が61.3%となり、「取得した(取得中である)」(38.4%)を上回っている。

(2) 父親



	項目名	回答数	割合
1	働いていなかった	-	
2	取得した(取得中である)	1	3.0%
3	取得していない	32	97.0%
	合計	33	100.0%
	無回答	1	
	調査対象者	34	
	調査対象外	704	

父親が育児短時間勤務を取得したかについては、「取得していない」が97.0%と非常に多く、「取得した(取得中である)」は3.0%と1割未満となっている。

問 21 一週間平均の1日の生活時間の配分について教えてください。それぞれの項目について、□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

母親の1日の生活時間の配分については、仕事は「7～9時間未満」(46.5%)、家事は「3～5時間未満」(41.0%)、育児は「1～3時間未満」(39.6%)、睡眠は「7～9時間未満」(49.9%)、その他は「1～3時間未満」(58.3%)がそれぞれ最も多くなっている。

■仕事

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	1	0.2%
2	1～3時間未満	4	0.6%
3	3～5時間未満	62	9.9%
4	5～7時間未満	127	20.4%
5	7～9時間未満	290	46.5%
6	9～11時間未満	109	17.5%
7	11～13時間未満	27	4.3%
8	13時間以上	4	0.6%
	合計	624	100.0%
	無回答	114	
	調査対象者	738	

■家事

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	4	0.6%
2	1～3時間未満	154	22.2%
3	3～5時間未満	285	41.0%
4	5～7時間未満	150	21.6%
5	7～9時間未満	56	8.1%
6	9～11時間未満	25	3.6%
7	11～13時間未満	7	1.0%
8	13時間以上	14	2.0%
	合計	695	100.0%
	無回答	43	
	調査対象者	738	

■育児

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	16	2.4%
2	1～3時間未満	261	39.6%
3	3～5時間未満	197	29.9%
4	5～7時間未満	102	15.5%
5	7～9時間未満	45	6.8%
6	9～11時間未満	15	2.3%
7	11～13時間未満	6	0.9%
8	13時間以上	17	2.6%
	合計	659	100.0%
	無回答	79	
	調査対象者	738	

■睡眠

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	-	
2	1～3時間未満	1	0.1%
3	3～5時間未満	18	2.6%
4	5～7時間未満	310	44.1%
5	7～9時間未満	351	49.9%
6	9～11時間未満	19	2.7%
7	11～13時間未満	2	0.3%
8	13時間以上	2	0.3%
	合計	703	100.0%
	無回答	35	
	調査対象者	738	

■その他

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	44	7.6%
2	1～3時間未満	336	58.3%
3	3～5時間未満	122	21.2%
4	5～7時間未満	46	8.0%
5	7～9時間未満	12	2.1%
6	9～11時間未満	8	1.4%
7	11～13時間未満	3	0.5%
8	13時間以上	5	0.9%
	合計	576	100.0%
	無回答	162	
	調査対象者	738	

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

(2) 父親

父親の1日の生活時間の配分については、仕事は「7～9時間未満」(40.1%)、家事は「1～3時間未満」(62.1%)、育児は「1～3時間未満」(67.2%)、睡眠は「7～9時間」(55.1%)、その他は「1～3時間」(44.0%)がそれぞれ最も多くなっている。

■仕事

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	—	
2	1～3時間未満	—	
3	3～5時間未満	1	0.2%
4	5～7時間未満	4	0.7%
5	7～9時間未満	245	40.1%
6	9～11時間未満	224	36.7%
7	11～13時間未満	100	16.4%
8	13時間以上	37	6.1%
	合計	611	100.0%
	無回答	127	
	調査対象者	738	

■家事

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	98	21.6%
2	1～3時間未満	282	62.1%
3	3～5時間未満	53	11.7%
4	5～7時間未満	8	1.8%
5	7～9時間未満	2	0.4%
6	9～11時間未満	5	1.1%
7	11～13時間未満	2	0.4%
8	13時間以上	4	0.9%
	合計	454	100.0%
	無回答	284	
	調査対象者	738	

■育児

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	64	13.3%
2	1～3時間未満	323	67.2%
3	3～5時間未満	68	14.1%
4	5～7時間未満	16	3.3%
5	7～9時間未満	5	1.0%
6	9～11時間未満	3	0.6%
7	11～13時間未満	1	0.2%
8	13時間以上	1	0.2%
	合計	481	100.0%
	無回答	257	
	調査対象者	738	

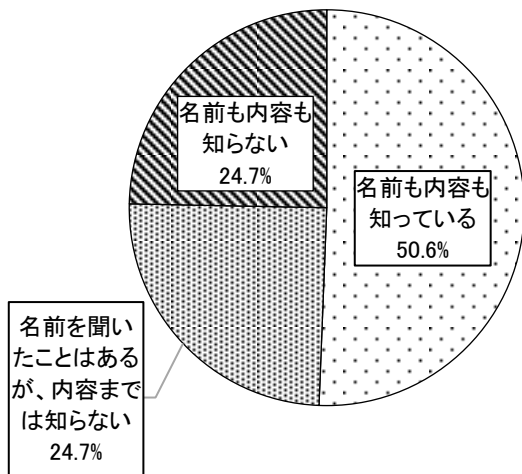
■睡眠

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	—	
2	1～3時間未満	—	
3	3～5時間未満	8	1.3%
4	5～7時間未満	223	36.8%
5	7～9時間未満	334	55.1%
6	9～11時間未満	30	5.0%
7	11～13時間未満	8	1.3%
8	13時間以上	3	0.5%
	合計	606	100.0%
	無回答	132	
	調査対象者	738	

■その他

	項目名	回答数	割合
1	30分～1時間未満	9	1.7%
2	1～3時間未満	229	44.0%
3	3～5時間未満	142	27.3%
4	5～7時間未満	96	18.5%
5	7～9時間未満	27	5.2%
6	9～11時間未満	8	1.5%
7	11～13時間未満	2	0.4%
8	13時間以上	7	1.3%
	合計	520	100.0%
	無回答	218	
	調査対象者	738	

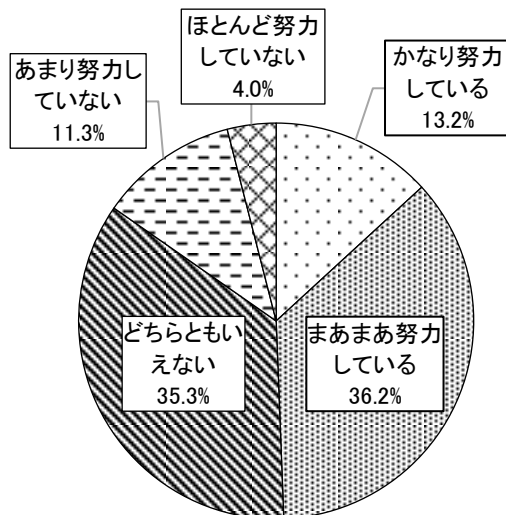
問 22 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をどの程度ご存じですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	名前も内容も知っている	365	50.6%
2	名前を聞いたことはあるが、内容までは知らない	178	24.7%
3	名前も内容も知らない	178	24.7%
	合計	721	100.0%
	無回答	17	
	調査対象者	738	

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っているかについては、「名前も内容も知っている」が50.6%で最も多くなった一方、「名前を聞いたことはあるが、内容までは知らない」と「名前も内容も知らない」はともに24.7%となり、これらを合わせた割合は49.4%と5割近くとなっている。

問 22-1 問 22 で「1 名前も内容も知っている」に○をつけた方にお伺いします。日頃、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、努力されていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

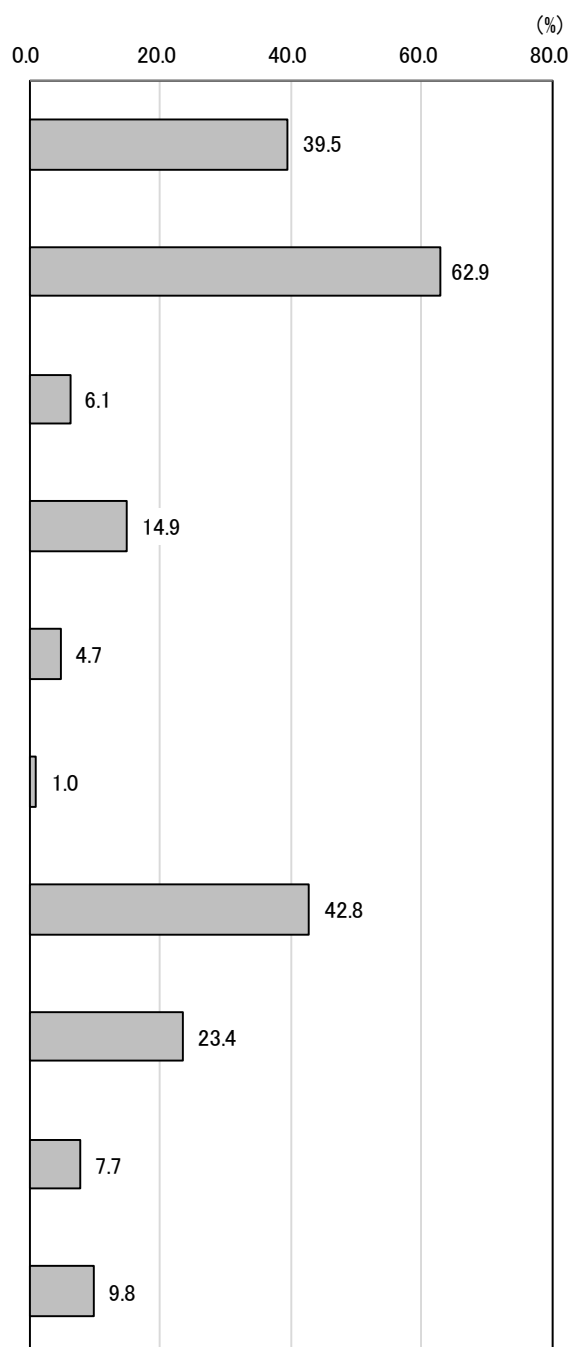


	項目名	回答数	割合
1	かなり努力している	43	13.2%
2	まあまあ努力している	118	36.2%
3	どちらともいえない	115	35.3%
4	あまり努力していない	37	11.3%
5	ほとんど努力していない	13	4.0%
	合計	326	100.0%
	無回答	39	
	調査対象者	365	
	調査対象外	373	

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の名前も内容も知っている人が、その実現に向け努力しているかについては、「まあまあ努力している」が36.2%で最も多く、これに「かなり努力している」を加えた『努力している』は49.4%と5割近くとなっている。一方、『努力していない』（「あまり努力していない」と「ほとんど努力していない」の合計）は15.3%となっている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

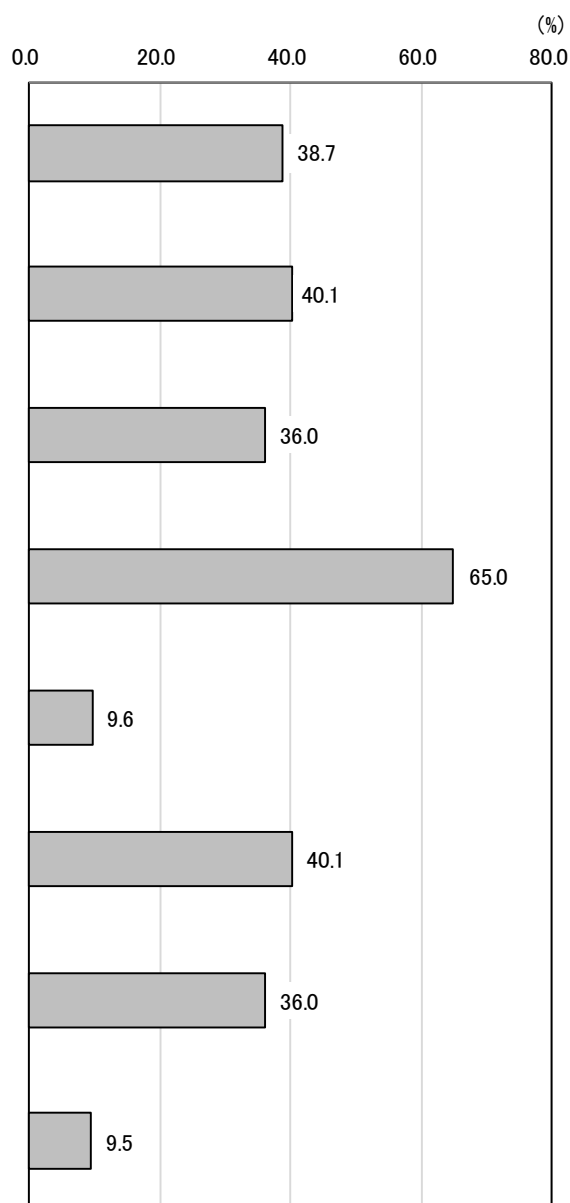
問 23 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	急な残業が入ってしまう	226	39.5%
2	自分が病気・けがをしたときや、子どもが急に病気になったとき代わりに面倒をみる人がいない	360	62.9%
3	家族の理解が得られない	35	6.1%
4	職場の理解が得られない	85	14.9%
5	子どものほかに面倒をみなければならない人がいる	27	4.7%
6	子どもの面倒をみってくれる保育所などが見つからない	6	1.0%
7	子どもと接する時間が少ない	245	42.8%
8	配偶者の家事・育児のサポートが少ない	134	23.4%
9	特にない	44	7.7%
10	その他	56	9.8%
合計(回答母数)		572	
無回答		166	
調査対象者		738	

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることについては、「自分が病気・けがをしたときや、子どもが急に病気になったとき代わりに面倒をみる人がいない」が62.9%で最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が42.8%、「急な残業が入ってしまう」が39.5%で続いている。

問 24 仕事と子育てを両立させ、ワーク・ライフ・バランスを推進するために必要な施策は何だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



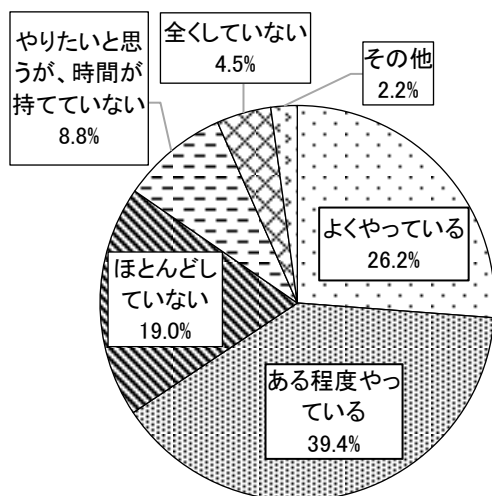
項目名	回答数	割合
1 両立支援に取り組む企業の評価を高めること	274	38.7%
2 イクボス宣言など経営者や上司の意識改革を図ること	284	40.1%
3 育児休業等を取りやすくするよう企業に働きかけること	255	36.0%
4 時間短縮勤務や在宅勤務など多様な働き方ができる企業を増やすこと	460	65.0%
5 両立支援に関する制度の周知、セミナー等の開催をすること	68	9.6%
6 代替要員の確保など、企業等に対する支援や助成をすること	284	40.1%
7 事業所内保育や延長保育・休日保育など、両立を支援する保育サービスや環境を整備すること	255	36.0%
8 その他	67	9.5%
合計(回答母数)	708	
無回答	30	
調査対象者	738	

ワーク・ライフ・バランスを推進するために必要な施策は何だと思うかについては、「時間短縮勤務や在宅勤務など多様な働き方ができる企業を増やすこと」が65.0%と6割台で最も多く、次いで「イクボス宣言など経営者や上司の意識改革を図ること」と「代替要員の確保など、企業等に対する支援や助成をすること」がともに40.1%、「両立支援に取り組む企業の評価を高めること」が38.7%、「育児休業等を取りやすくするよう企業に働きかけること」と「事業所内保育や延長保育・休日保育など、両立を支援する保育サービスや環境を整備すること」がともに36.0%で続いている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

問 25 から問 26 は、父親の家事や育児等に関して伺います。母子家庭等の場合は回答不要です。

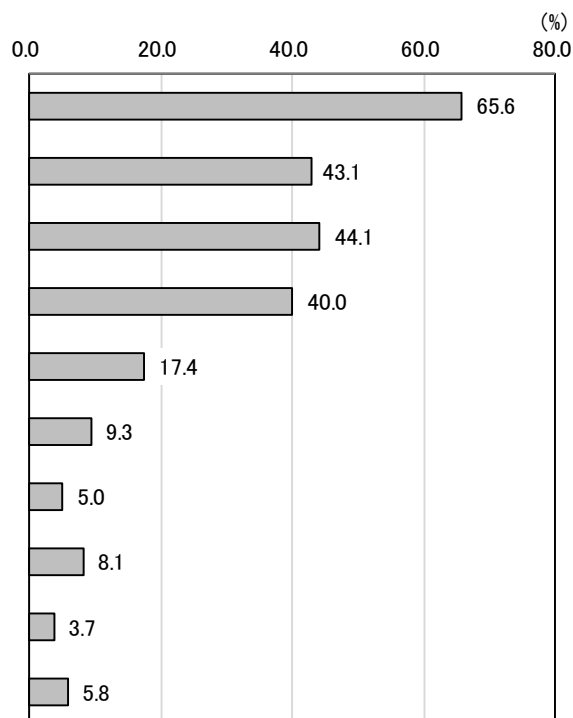
問 25 宛名のお子さんの父親の方について、普段、どのくらい家事や育児をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	よくやっている	170	26.2%
2	ある程度やっている	256	39.4%
3	ほとんどしていない	123	19.0%
4	やりたいと思うが、時間が持てていない	57	8.8%
5	全くしていない	29	4.5%
6	その他	14	2.2%
	合計	649	100.0%
	無回答	34	
	調査対象者	683	
	調査対象外	55	

父親が普段どのくらい家事や育児をしているかについては、「ある程度やっている」が39.4%で最も多く、これに「よくやっている」を合わせた『やっている』は65.6%と6割以上となっている。

問 26 父親の家事や育児等を促進するためには何が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

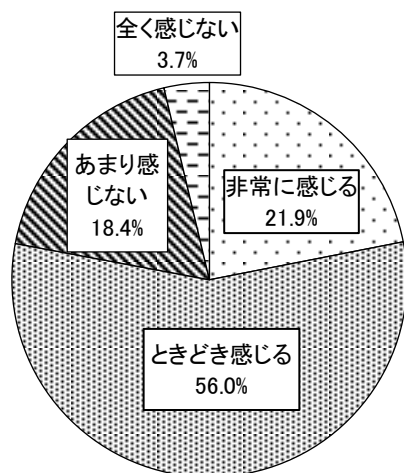


	項目名	回答数	割合
1	家事や育児等に対する男性自身の意識改革	430	65.6%
2	家族間の活発なコミュニケーションを図る	282	43.1%
3	企業における労働条件や働き方の改善	289	44.1%
4	職場における上司や周囲の理解を進める	262	40.0%
5	男性の家事・育児等の啓発や情報提供などを行う	114	17.4%
6	男性が興味を持つ子育てイベント等の普及	61	9.3%
7	仲間やネットワーク作りを進める	33	5.0%
8	男性の家事・育児時間を増やす取組や実践講座等を開催すること	53	8.1%
9	特に必要はない	24	3.7%
10	その他	38	5.8%
	合計(回答母数)	655	
	無回答	28	
	調査対象者	683	
	調査対象外	55	

父親の家事や育児等を促進するために何が必要だと思うかについては、「家事や育児等に対する男性自身の意識改革」が65.6%と6割台で最も多く、これに「企業における労働条件や働き方の改善」(44.1%)、「家族間の活発なコミュニケーションを図る」(43.1%)、「職場における上司や周囲の理解を進める」(40.0%)がいずれも4割台で続いている。

子育てに関する不安感や負担感についてお伺いします

問 27 子育てに関しての不安感や負担感などについてどのように感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

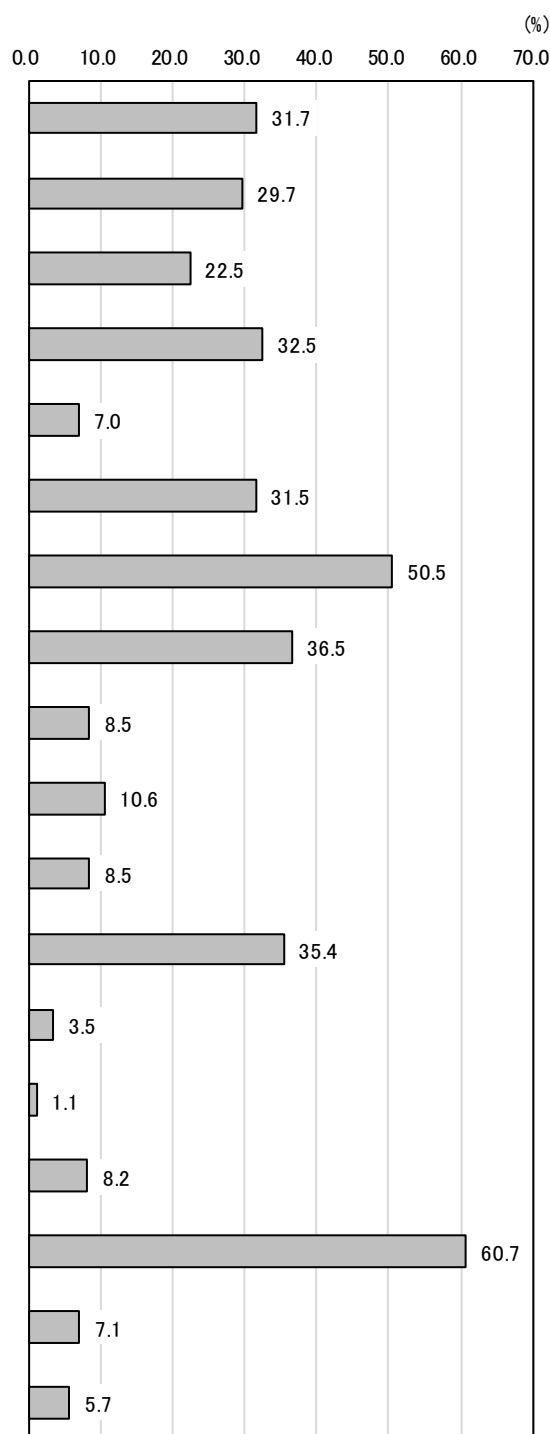


	項目名	回答数	割合
1	非常に感じる	160	21.9%
2	ときどき感じる	409	56.0%
3	あまり感じない	134	18.4%
4	全く感じない	27	3.7%
5	その他	-	
	合計	730	100.0%
	無回答	8	
	調査対象者	738	

子育てに関しての不安感や負担感をどのように感じているかについては、「ときどき感じる」が56.0%と5割以上を占め、これに「非常に感じる」を加えた『感じる』は77.9%と8割近くとなっている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

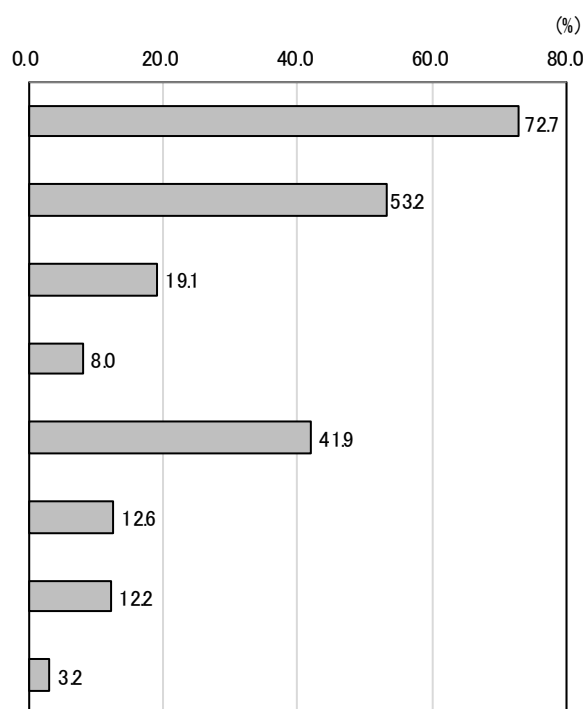
問 28 子育てに関して、日常悩んでいることや、特に不安に思っていることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



項目名	回答数	割合
1 病気や発育・発達に関する事	227	31.7%
2 食事や栄養に関する事	213	29.7%
3 子どもとの接し方に自信が持てない事	161	22.5%
4 子どもと接する時間を十分にとれない事	233	32.5%
5 話し相手や相談相手がいらない事	50	7.0%
6 自分の自由な時間が持てない事	226	31.5%
7 子どもの教育に関する事	362	50.5%
8 子どもの友達づきあいに関する事	262	36.5%
9 不登校等に関する事	61	8.5%
10 家族の協力が少ない事	76	10.6%
11 子育てに関して家族と意見が合わない事	61	8.5%
12 子どもを叱りすぎている気がする事	254	35.4%
13 自分が子どもを虐待しているのではないかということ	25	3.5%
14 家族が子どもを虐待しているのではないかということ	8	1.1%
15 住居が狭い事	59	8.2%
16 子育てで出費がかさむ事	435	60.7%
17 子育てにかかりきりになり、家事が滞ること	51	7.1%
18 その他	41	5.7%
合計(回答母数)	717	
無回答	21	
調査対象者	738	

子育てに関して日常悩んでいることや特に不安に思っていることについては、「子育てで出費がかさむこと」が60.7%と6割台で最も多く、次いで、「子どもの教育に関する事」が50.5%と5割台で続き、以下は「子どもの友達づきあいに関する事」(36.5%)、「子どもを叱りすぎている気がする事」(35.4%)、「子どもと接する時間を十分にとれていない事」(32.5%)、「病気や発育・発達に関する事」(31.7%)、「自分の自由な時間が持てない事」(31.5%)がいずれも3割台で続いている。

問 29 子育てに関する悩みや不安はどのように解決していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



	項目名	回答数	割合
1	家族・親族に相談する	526	72.7%
2	友人・知人に相談する	385	53.2%
3	保育所・幼稚園、学校等に相談する	138	19.1%
4	専門の相談機関を調べて相談する	58	8.0%
5	ネットで調べて解決方法を探す	303	41.9%
6	本や雑誌を参考にする	91	12.6%
7	相談したりせず一人で解決する	88	12.2%
8	その他	23	3.2%
合計(回答母数)		724	
無回答		14	
調査対象者		738	

子育てに関する悩みや不安の解決方法については、「家族・親族に相談する」が72.7%で最も多く、次いで「友人・知人に相談する」が53.2%で続き、この2項目が5割以上となっている。また、「ネットで調べて解決方法を探す」(41.9%)も4割台と比較的多くなっている。

子育てに関する環境や子育て支援に対する満足度についてお伺いします

問 30 秋田市で実施している下記の事業についてお答えください。(1)～(10)の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

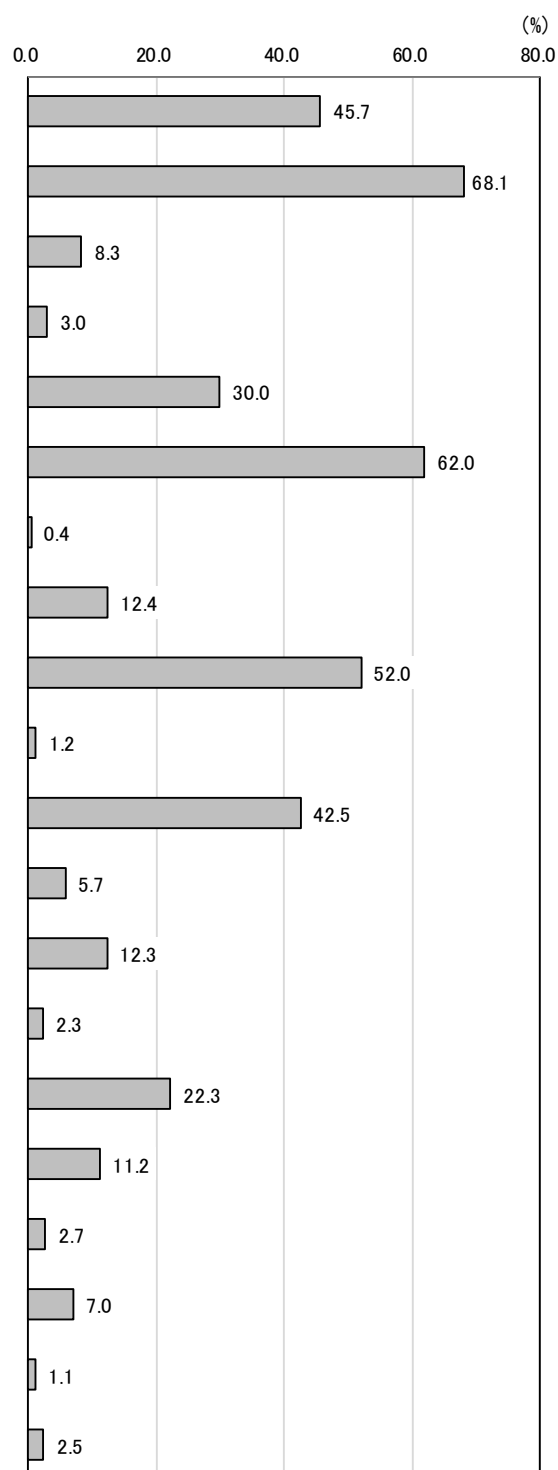
事業	A 知っていますか		B 利用したことがありますか		C 今後利用したいですか	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
(1) ファミリー・サポート・センター	65.9%	34.1%	11.4%	88.6%	16.6%	83.4%
(2) 子ども未来センター発行の子育て情報誌	49.9%	50.1%	22.4%	77.6%	30.5%	69.5%
(3) 市ホームページ「子育て情報」	55.4%	44.6%	26.7%	73.3%	36.0%	64.0%
(4) 市LINE公式アカウント「秋田市子育てLINE」	37.6%	62.4%	22.0%	78.0%	32.8%	67.2%
(5) 市公式Instagram「秋田市子育て情報」	14.4%	85.6%	5.3%	94.7%	25.0%	75.0%
(6) 市民サービスセンター等が主催する家族や親子で参加する講座や事業	56.6%	43.4%	29.0%	71.0%	27.8%	72.2%
(7) 市立秋田総合病院の小児救急	89.5%	10.5%	70.8%	29.2%	76.7%	23.3%
(8) かぞくぶっくぱっく事業	45.3%	54.7%	22.5%	77.5%	39.1%	60.9%
(9) 読書の記録帳事業	46.1%	53.9%	31.9%	68.1%	42.9%	57.1%
(10) 図書館でのおはなし会・読み聞かせ	69.2%	30.8%	29.0%	71.0%	26.5%	73.5%

認知度については、「(7)市立秋田総合病院の小児救急」が89.5%で最も高く、次いで「(10)図書館でのおはなし会・読み聞かせ」が69.2%、「(1)ファミリー・サポート・センター」が65.9%で続き、これら3事業が6割以上となっている。以下は、「(6)市民サービスセンター等が主催する家族や親子で参加する講座や事業」(56.6%)と「(3)市ホームページ「子育て情報」」(55.4%)が5割台で続いている。

これまでの利用経験については、「(7)市立秋田総合病院の小児救急」が70.8%と7割を上回り突出して高く、次いで「(9)読書の記録帳事業」が31.9%、「(6)市民サービスセンター等が主催する家族や親子で参加する講座や事業」と「(10)図書館でのおはなし会・読み聞かせ」がともに29.0%で続いている。

今後の利用意向については、「(7)市立秋田総合病院の小児救急」が76.7%と7割を上回り突出して高く、次いで「(9)読書の記録帳事業」が42.9%、「(8)かぞくぶっくぱっく事業」が39.1%、「(3)市ホームページ「子育て情報」」が36.0%で続いている。

問 31 子育てに関する情報をどこ（誰）から入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



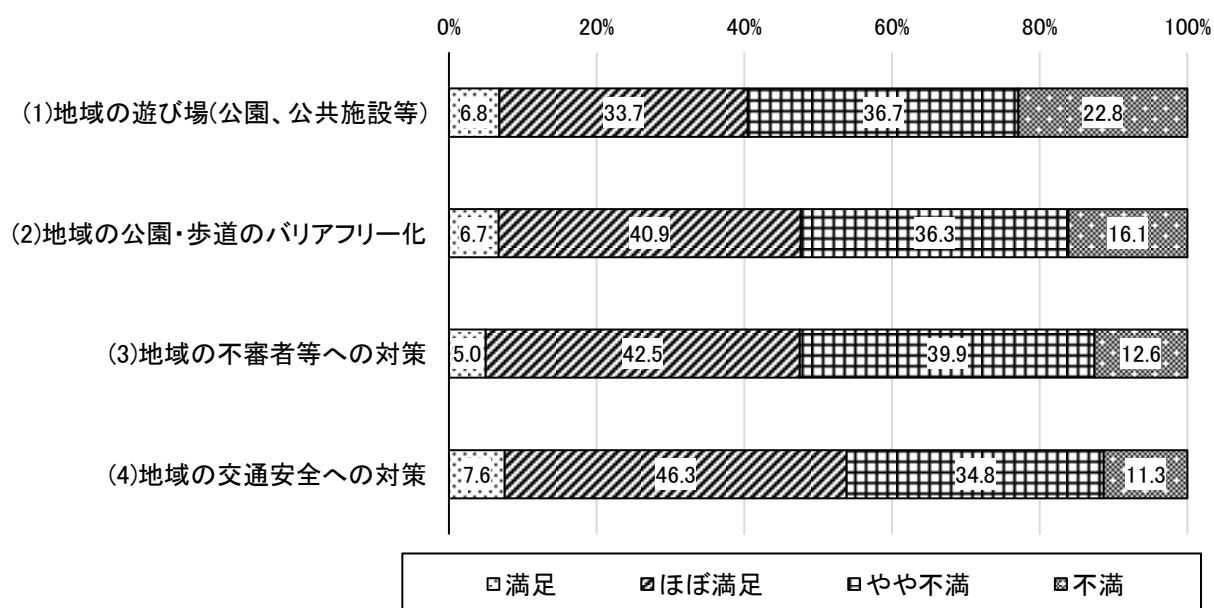
項目名	回答数	割合
1 親族(親、きょうだいなど)	334	45.7%
2 友人や知人	498	68.1%
3 近所の人	61	8.3%
4 子育て支援団体(育児サークル、NPO等)	22	3.0%
5 幼稚園、保育所、認定こども園	219	30.0%
6 学校	453	62.0%
7 民生委員・児童委員	3	0.4%
8 かかりつけの医師	91	12.4%
9 インターネット	380	52.0%
10 市の子育て関連担当窓口	9	1.2%
11 「広報あきた」など市の情報誌	311	42.5%
12 市ホームページ「子育て情報」	42	5.7%
13 市LINE公式アカウント「秋田市子育てLINE」	90	12.3%
14 市公式インスタグラム「秋田市子育て情報」	17	2.3%
15 テレビ、ラジオ、新聞	163	22.3%
16 子育て雑誌・育児書	82	11.2%
17 子育てアプリ	20	2.7%
18 コミュニティー誌	51	7.0%
19 情報の入手先がわからない	8	1.1%
20 その他	18	2.5%
合計(回答母数)	731	
無回答	7	
調査対象者	738	

子育てに関する情報をどこ（誰）から入手しているかについては、「友人や知人」の割合が68.1%で最も多く、次いで「学校」が62.0%、「インターネット」が52.0%で続き、これら3項目が5割以上となっている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

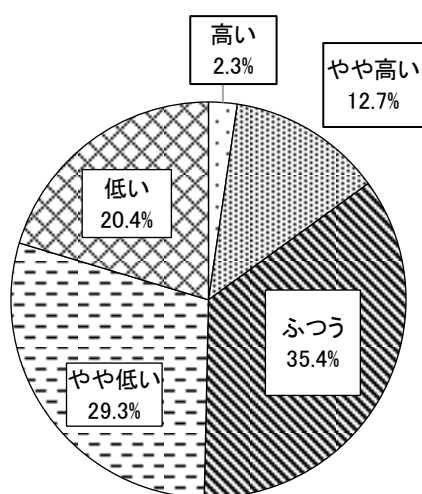
問 32 子どもが育つ環境への満足度について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	調査対象者	満足		ほぼ満足		やや不満		不満		無回答
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
(1) 地域の遊び場(公園、公共施設等)	738	50	6.8%	246	33.7%	268	36.7%	167	22.8%	7
(2) 地域の公園・歩道のバリアフリー化	738	49	6.7%	298	40.9%	264	36.3%	117	16.1%	10
(3) 地域の不審者等への対策	738	36	5.0%	308	42.5%	289	39.9%	91	12.6%	14
(4) 地域の交通安全への対策	738	55	7.6%	336	46.3%	253	34.8%	82	11.3%	12



子どもが育つ環境への満足度について、『満足』(「満足」と「ほぼ満足」の合計)の割合をみると、「(4)地域の交通安全への対策」が53.9%で最も高く、次いで「(2)地域の公園・歩道のバリアフリー化」が47.6%、「(3)地域の不審者等への対策」が47.5%となっており、「(1)地域の遊び場(公園、公共施設等)」の40.5%が最も低くなっている。

問 33 秋田市の子育ての環境や子育て支援への満足度についてあてはまる番号に1つに○をつけてください。



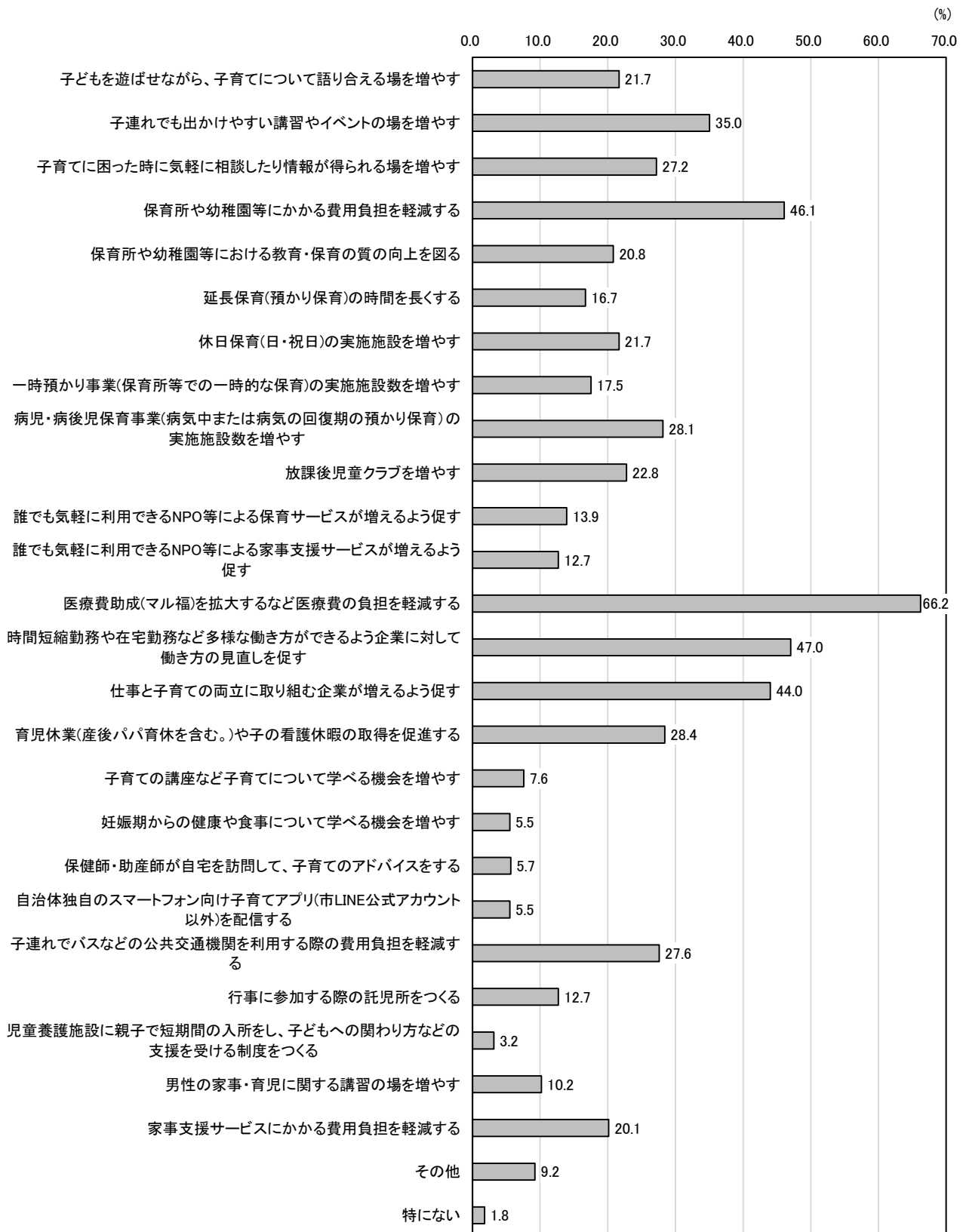
	項目名	回答数	割合
1	高い	17	2.3%
2	やや高い	92	12.7%
3	ふつう	257	35.4%
4	やや低い	213	29.3%
5	低い	148	20.4%
	合計	727	100.0%
	無回答	11	
	調査対象者	738	

秋田市の子育ての環境や子育て支援への満足度については、「ふつう」が35.4%で最も多く、『満足』（「高い」と「やや高い」の合計）は15.0%、『不満』（「やや低い」と「低い」の合計）49.7%となり、『不満』が『満足』を上回っている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

問 34 今後、どのような子育て支援策が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

	項目名	回答数	割合
1	子どもを遊ばせながら、子育てについて語り合える場を増やす	157	21.7%
2	子連れでも出かけやすい講習やイベントの場を増やす	254	35.0%
3	子育てに困った時に気軽に相談したり情報が得られる場を増やす	197	27.2%
4	保育所や幼稚園等にかかる費用負担を軽減する	334	46.1%
5	保育所や幼稚園等における教育・保育の質の向上を図る	151	20.8%
6	延長保育(預かり保育)の時間を長くする	121	16.7%
7	休日保育(日・祝日)の実施施設を増やす	157	21.7%
8	一時預かり事業(保育所等での一時的な保育)の実施施設数を増やす	127	17.5%
9	病児・病後児保育事業(病氣中または病氣の回復期の預かり保育)の実施施設数を増やす	204	28.1%
10	放課後児童クラブを増やす	165	22.8%
11	誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが増えるよう促す	101	13.9%
12	誰でも気軽に利用できるNPO等による家事支援サービスが増えるよう促す	92	12.7%
13	医療費助成(マル福)を拡大するなど医療費の負担を軽減する	480	66.2%
14	時間短縮勤務や在宅勤務など多様な働き方ができるよう企業に対して働き方の見直しを促す	341	47.0%
15	仕事と子育ての両立に取り組む企業が増えるよう促す	319	44.0%
16	育児休業(産後パパ育休を含む。)や子の看護休暇の取得を促進する	206	28.4%
17	子育ての講座など子育てについて学べる機会を増やす	55	7.6%
18	妊娠期からの健康や食事について学べる機会を増やす	40	5.5%
19	保健師・助産師が自宅を訪問して、子育てのアドバイスをする	41	5.7%
20	自治体独自のスマートフォン向け子育てアプリ(市LINE公式アカウント以外)を配信する	40	5.5%
21	子連れでバスなどの公共交通機関を利用する際の費用負担を軽減する	200	27.6%
22	行事に参加する際の託児所をつくる	92	12.7%
23	児童養護施設に親子で短期間の入所をし、子どもへの関わり方などの支援を受ける制度をつくる	23	3.2%
24	男性の家事・育児に関する講習の場を増やす	74	10.2%
25	家事支援サービスにかかる費用負担を軽減する	146	20.1%
26	その他	67	9.2%
27	特にない	13	1.8%
	合計(回答母数)	725	
	無回答	13	
	調査対象者	738	



今後、どのような子育て支援策が必要だと思うかについては、「医療費助成（マル福）を拡大するなど医療費の負担を軽減する」が66.2%と6割台で最も多く、次いで「時間短縮勤務など多様な働き方ができるよう企業に対して働き方の見直しを促す」が47.0%、「保育所や幼稚園等にかかる費用負担を軽減する」が46.1%、「仕事と子育ての両立に取り組む企業が増えるよう促す」が44.0%と、いずれも4割台で続いている。

Ⅱ. 調査結果〔小学校児童〕

問 35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してたずねたところ、304 人の回答者から、合計 413 件の回答があった。

意見内容区分		意見数(件)			
支援について	経済的支援	48	163		
	医療費助成、無償化	48			
	給食費助成、無償化	21			
	学費・教育費助成、無償化	11			
	インフルエンザ等の予防接種費用の助成	6			
	保育料の助成、無償化	6			
	ひとり親家庭への支援	6			
	手当の充実	6			
	制服・学用品等の助成、無償化	5			
	学童保育等の利用料助成、無償化	2			
	通学費・スクールバス料金の助成、無償化	2			
	その他支援について	2			
	公園・児童館等に関すること	公園・遊び場等の充実		55	74
		公園等の整備		6	
児童館等の設備の充実		5			
学童クラブ等の充実		3			
その他公園・児童館等に関すること		5			
仕事に関すること	仕事と子育ての両立支援	13	34		
	男性の家事・育児参加	7			
	職場の理解	6			
	女性の雇用	2			
	仕事ができるスペースの確保	2			
	若い世代が働く場所の充実、賃金改善	2			
	その他仕事に関すること	2			
学校・教育に関すること	教育の質の向上	8	33		
	不登校児への支援	8			
	障がい児への支援	5			
	スクールバスの充実	2			
	不登校等の相談窓口	2			
	学校設備の老朽化	2			
	その他学校・教育に関すること	6			
保育サービスについて	保育士等の待遇改善	10	24		
	預け先の確保、利便性	5			
	病児保育の充実、利便性	4			
	保育施設の質の向上	2			
	その他保育サービスについて	3			
地域に関すること	通学路等の整備、安全対策	10	12		
	その他地域に関すること	2			
情報提供について	相談窓口等の情報提供、充実	6	11		
	子育てサークル、イベント等の情報提供	3			
	その他情報提供について	2			
親の負担に関すること	PTA等の負担	4	7		
	スポ少や部活動の親の負担	2			
	保育園入園時の準備の負担	1			
その他	アンケートに関する意見	5	55		
	平日・休日ともにイベントの開催、充実	5			
	クマ対策	5			
	駐車場の不足	3			
	不審者への対策	2			
	その他(上記以外の意見)	35			
総数			413		

いただいた意見は「支援について」に関するものが最も多く、次いで「公園・児童館等に関すること」、「仕事に関すること」、「学校・教育に関すること」の順となっている。

「支援について」の内容をみると、「経済的支援」、「医療費助成、無償化」を求める意見が最も多く、次いで「給食費助成、無償化」を求める意見が多かった。また、「その他支援について」の内容では、「習い事への助成」や「家事代行の補助」等の意見が見られた。

「公園・児童館等に関すること」の内容をみると、「公園・遊び場等の充実」を求める意見が最も多く、次いで「公園等の整備」を求める意見が多かった。また、「その他公園・児童館等に関すること」の内容では、「児童センターの利用時間延長」や「児童センター利用時の引率、見守り等のサポート」、「体育館の充実」等の意見が見られた。

「仕事に関すること」の内容をみると、「仕事と子育ての両立支援」を求める意見が最も多く、次いで「男性の家事・育児参加」を求める意見が多かった。

「学校・教育に関すること」の内容をみると、「教育の質の向上」、「不登校児への支援」を求める意見が最も多く、次いで「障がい児への支援」を求める意見が多かった。また、「その他学校・教育に関すること」の内容では、「学校に関する情報提供」や「国際的な教育機関の充実」、「教育支援サポーターの充実」等の意見が見られた。

このほか、「保育サービスについて」、「地域に関すること」、「情報提供について」、「親の負担に関すること」等の意見があった。

ク ロ ス 集 計
〔 就 学 前 児 童 〕

Ⅲ. クロス集計

1. 就学前児童の保護者

図1 (問2) 子どもの年齢
(問15) 現在の幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」の利用

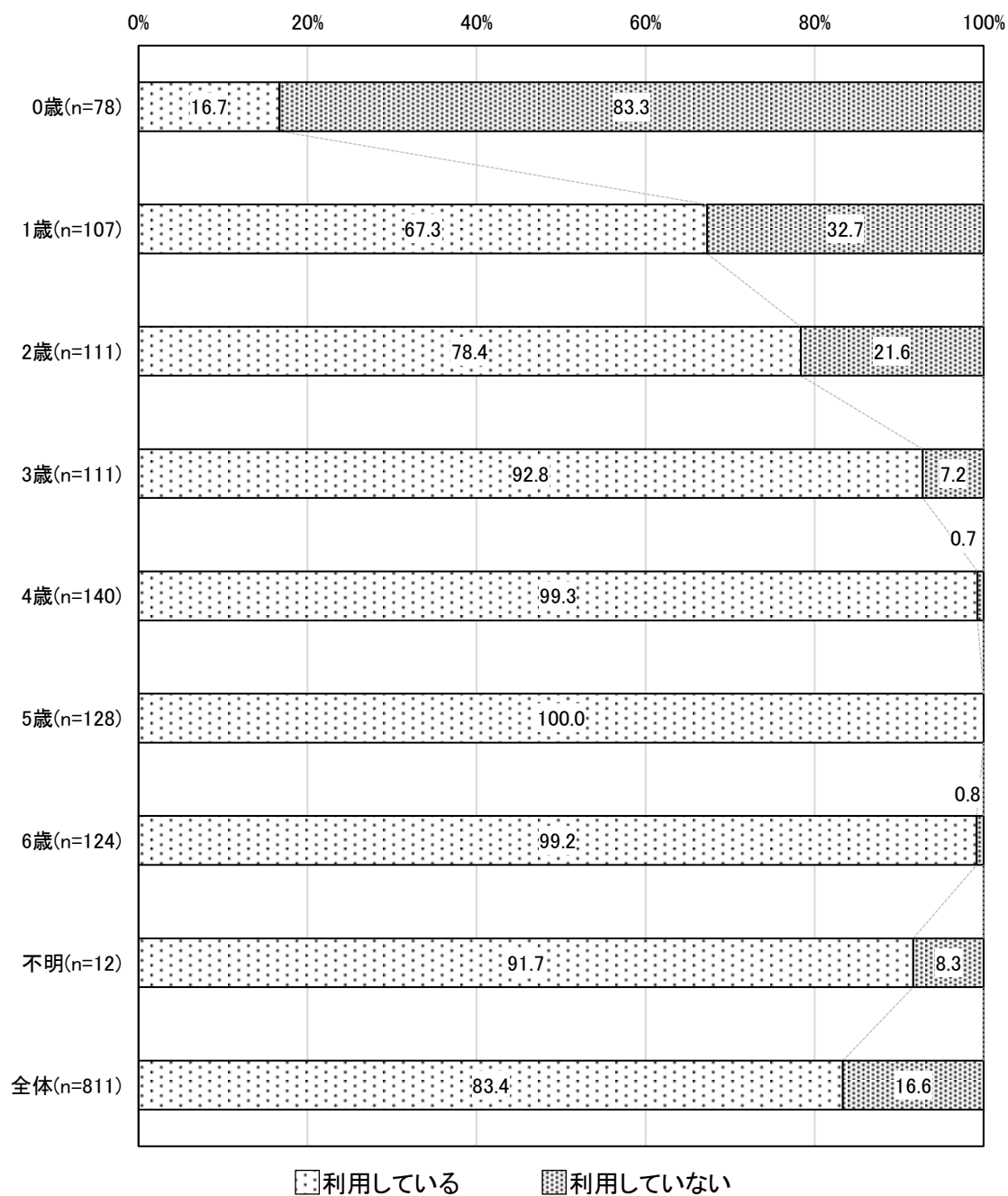


図2 (問2) 子どもの年齢
(問 15-1) 現在利用している幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」

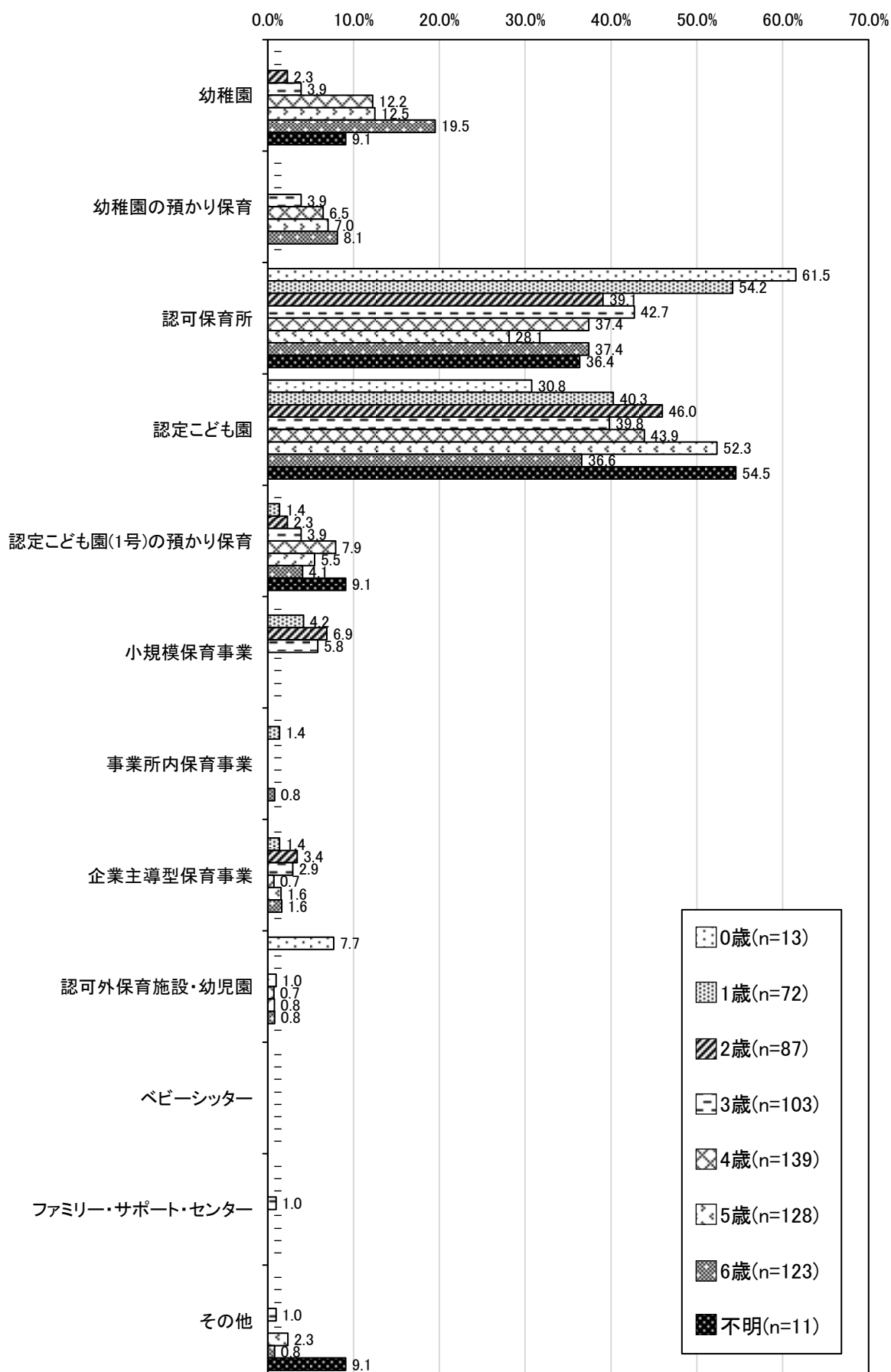


図3 (問2) 子どもの年齢
(問16) 平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したい事業

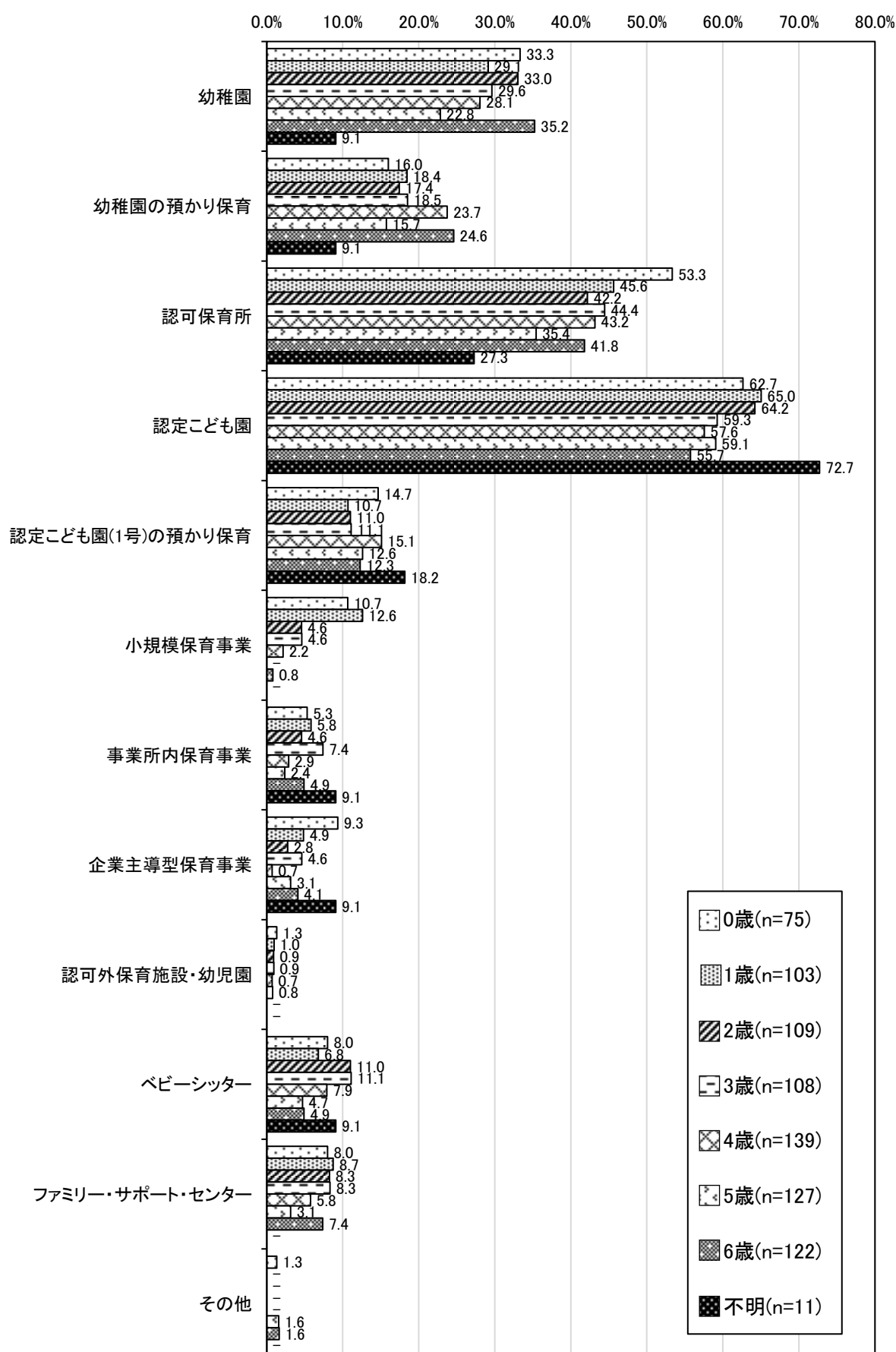


図4 (問2) 子どもの年齢
(問17) 現在の「子ども未来センター」や「子育て交流広場」等の利用状況

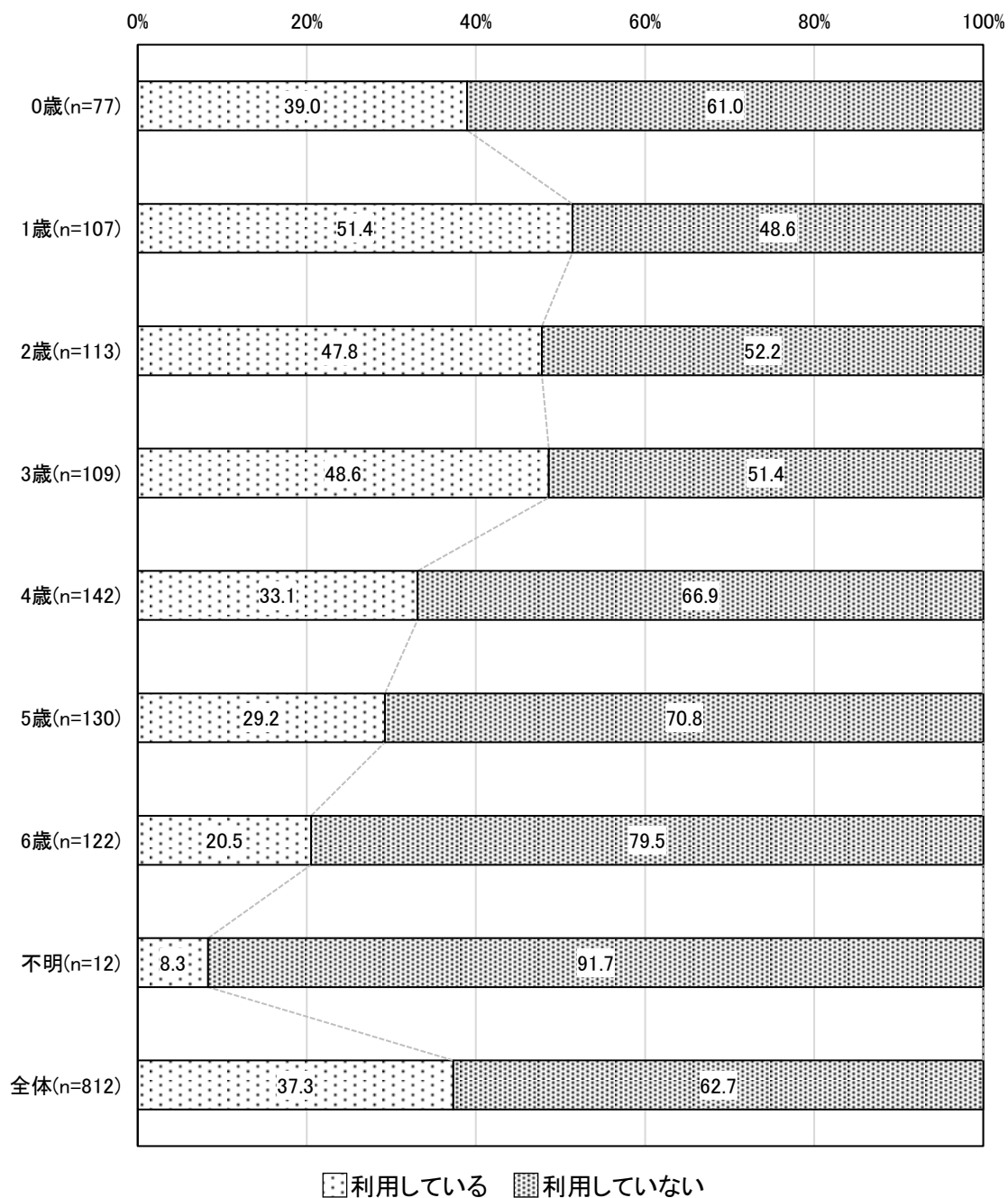


図4-1 (問2) 子どもの年齢
(問17) 現在の「子ども未来センター」や「子育て交流広場」等の利用頻度
※問17で「利用している」を選択した方

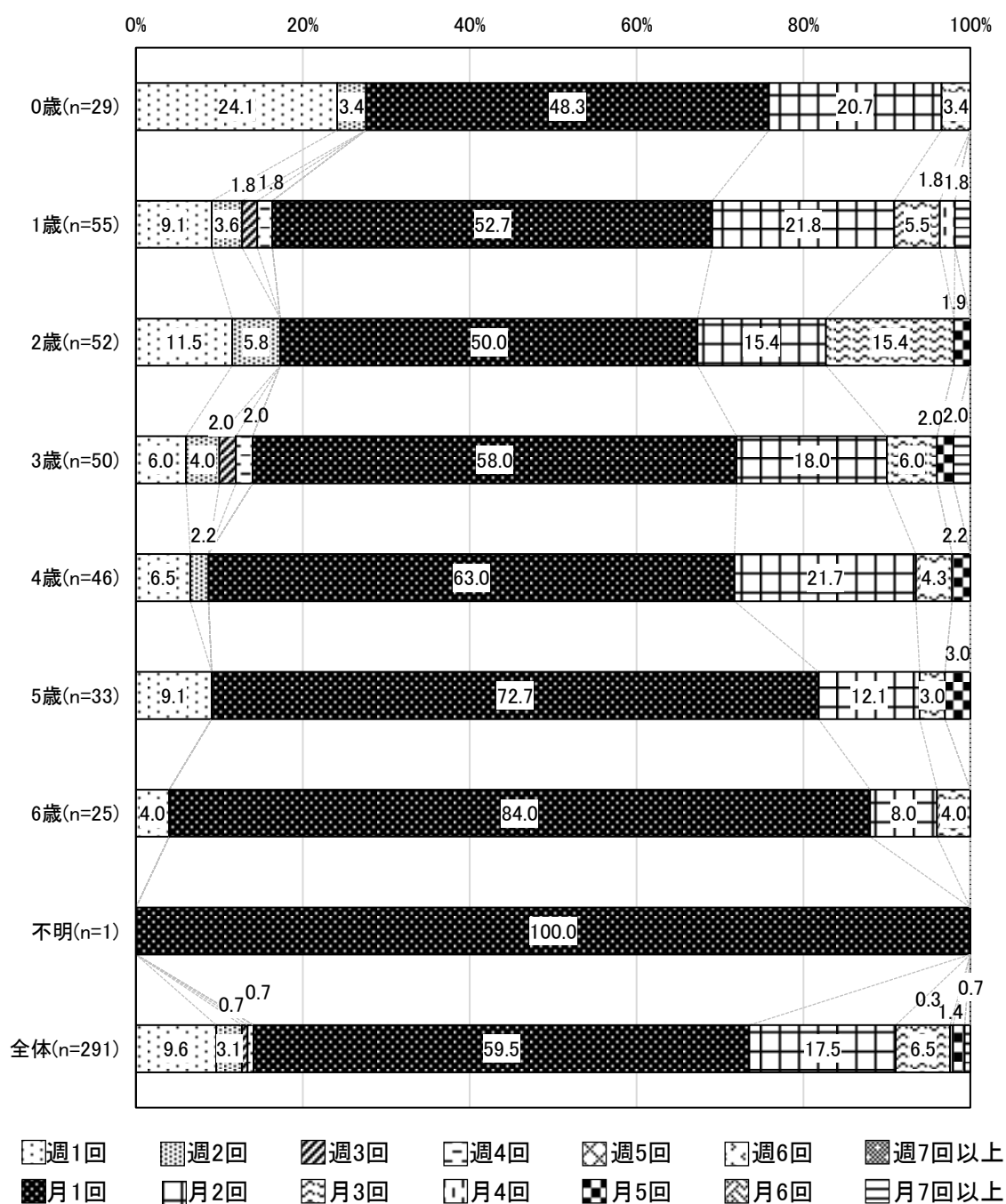


図5 (問2) 子どもの年齢
(問18) 今後の「子ども未来センター」や「子育て交流広場」等の利用意向

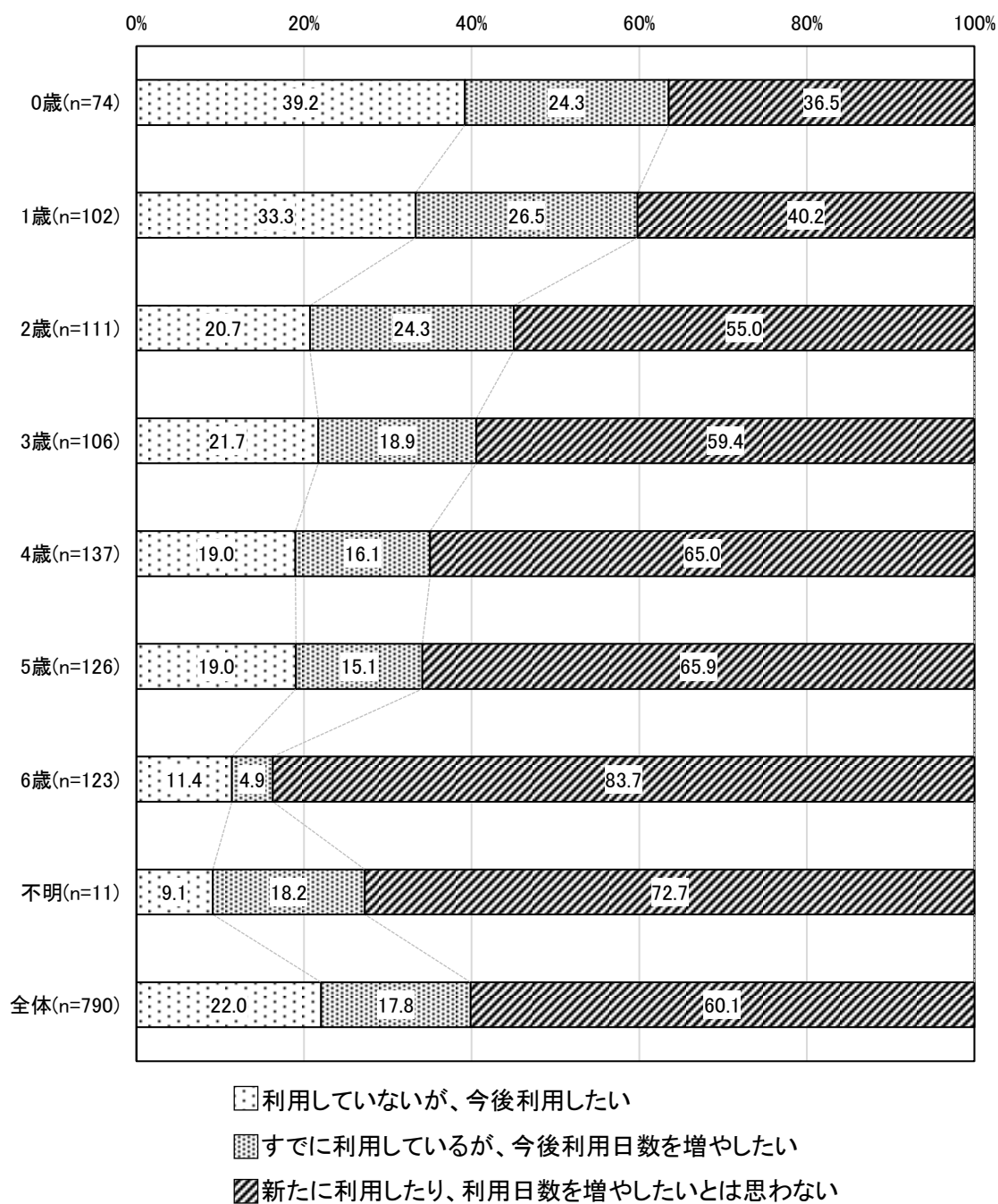


図5-1 (問2) 子どもの年齢
(問18) 今後の「子ども未来センター」や「子育て交流広場」等の利用頻度
※問18で「1 利用していないが、今後利用したい」を選択した方

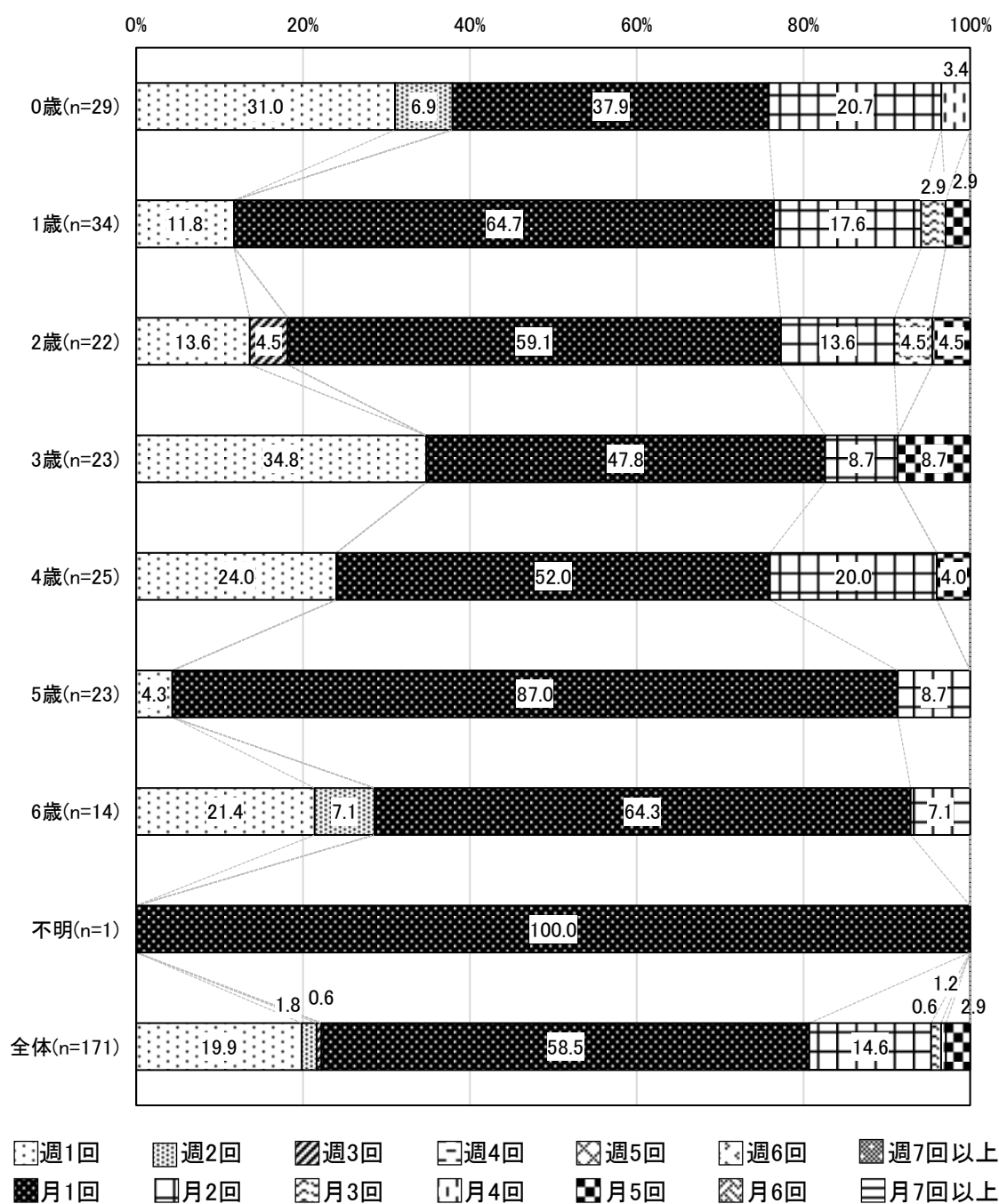


図5-2 (問2) 子どもの年齢

(問18) 今後の「子ども未来センター」や「子育て交流広場」等の利用頻度

※問18で「2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選択した方

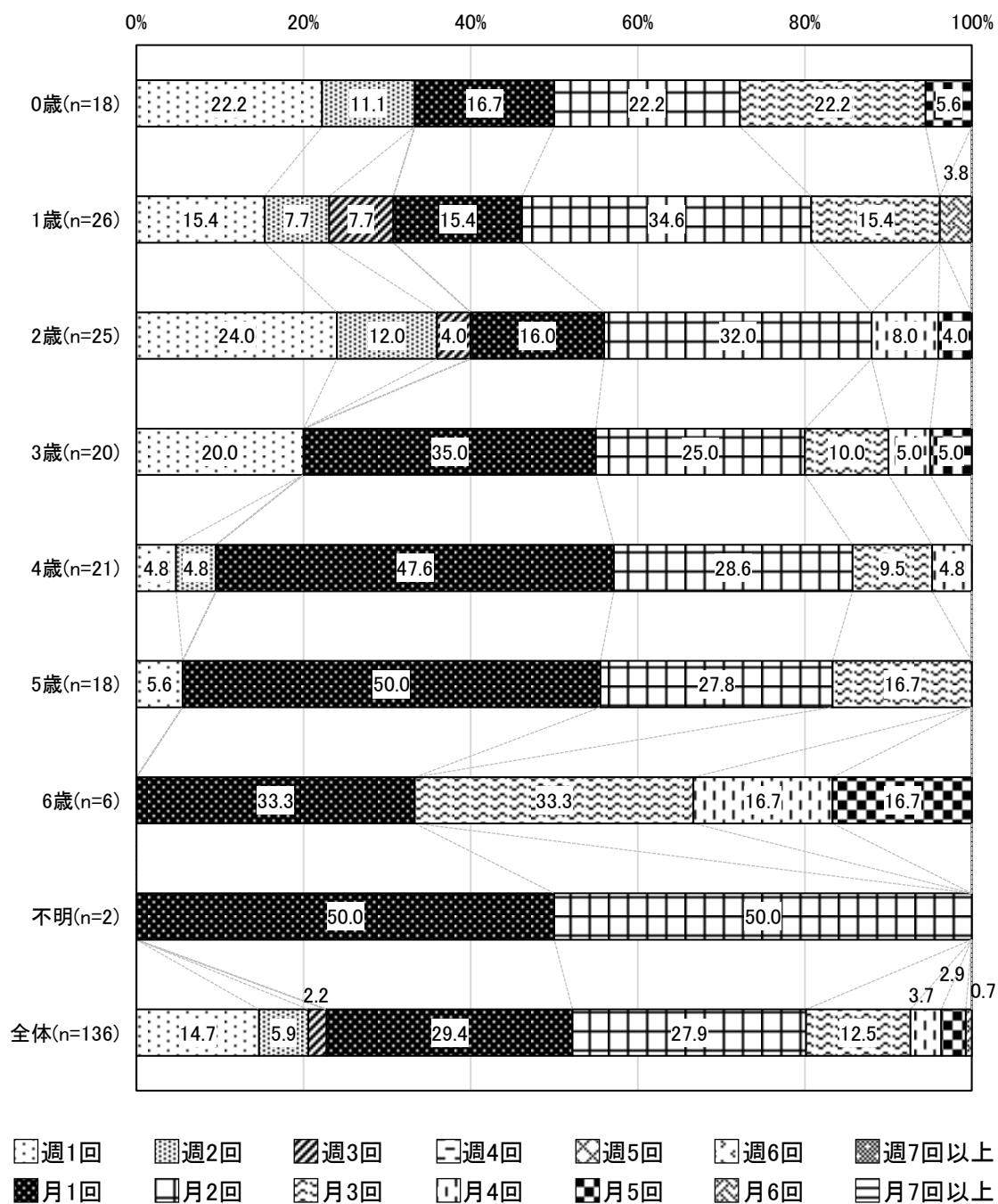


図6 (問2) 子どもの年齢
(問31(1)) 子どもが生まれた時の母親の育児休業取得状況

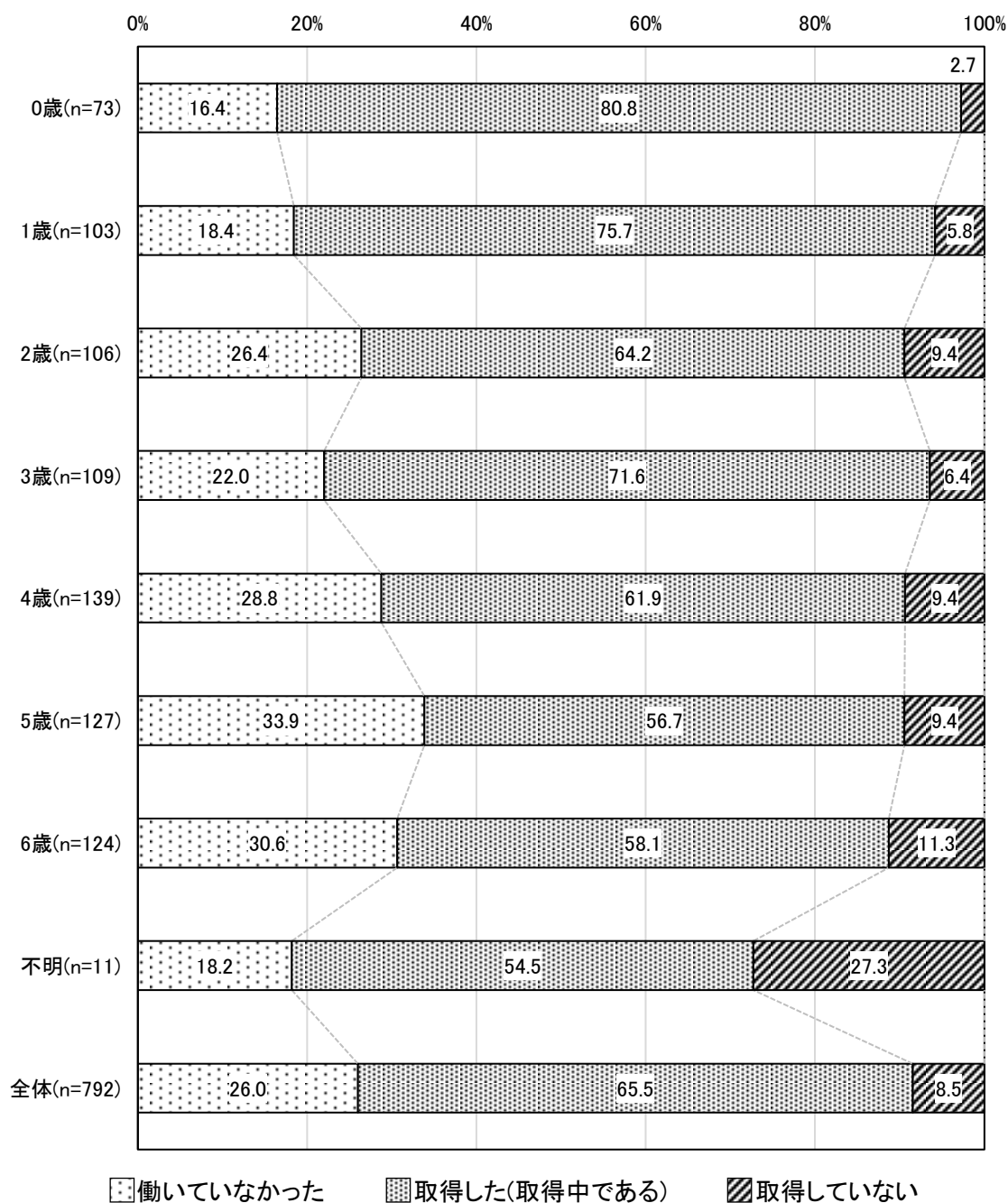


図7 (問2) 子どもの年齢
(問31(2)) 子どもが生まれた時の父親の育児休業取得状況

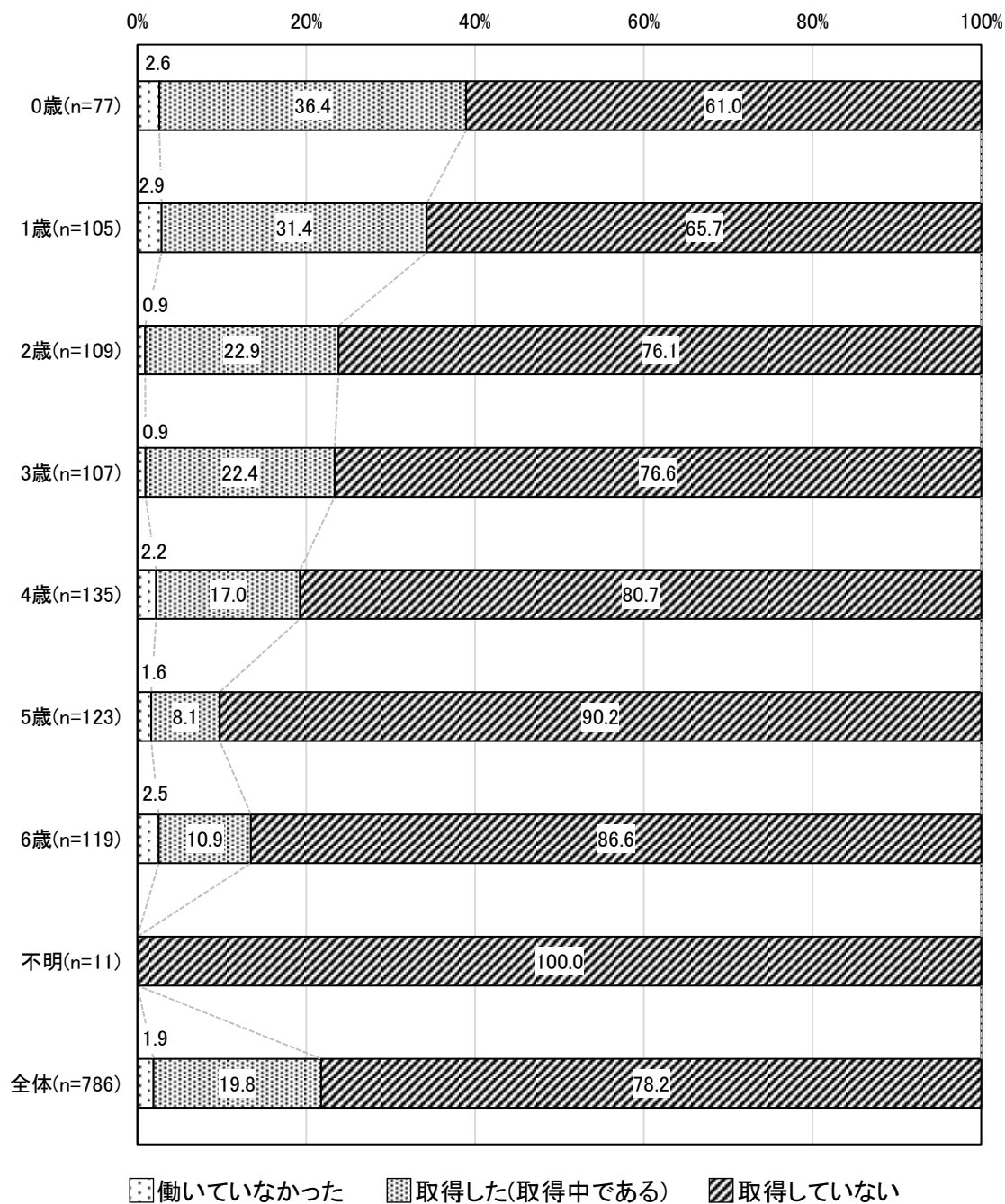


図8 (問2) 子どもの年齢
(問39) 子育てに関する不安感や負担感

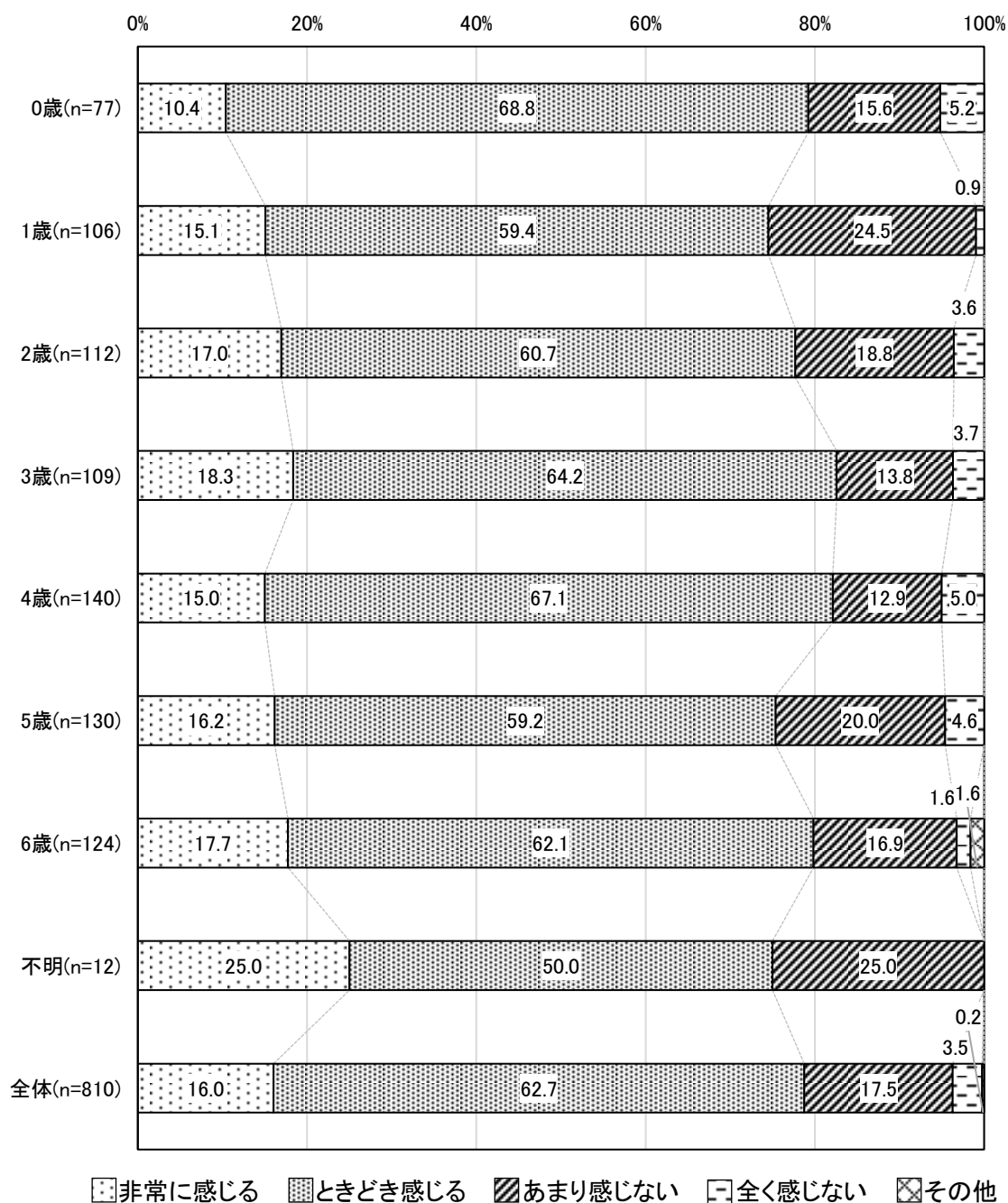


図9 (問2) 子どもの年齢
(問44(12)) 現在利用している教育・保育事業の利用料金に対する満足度

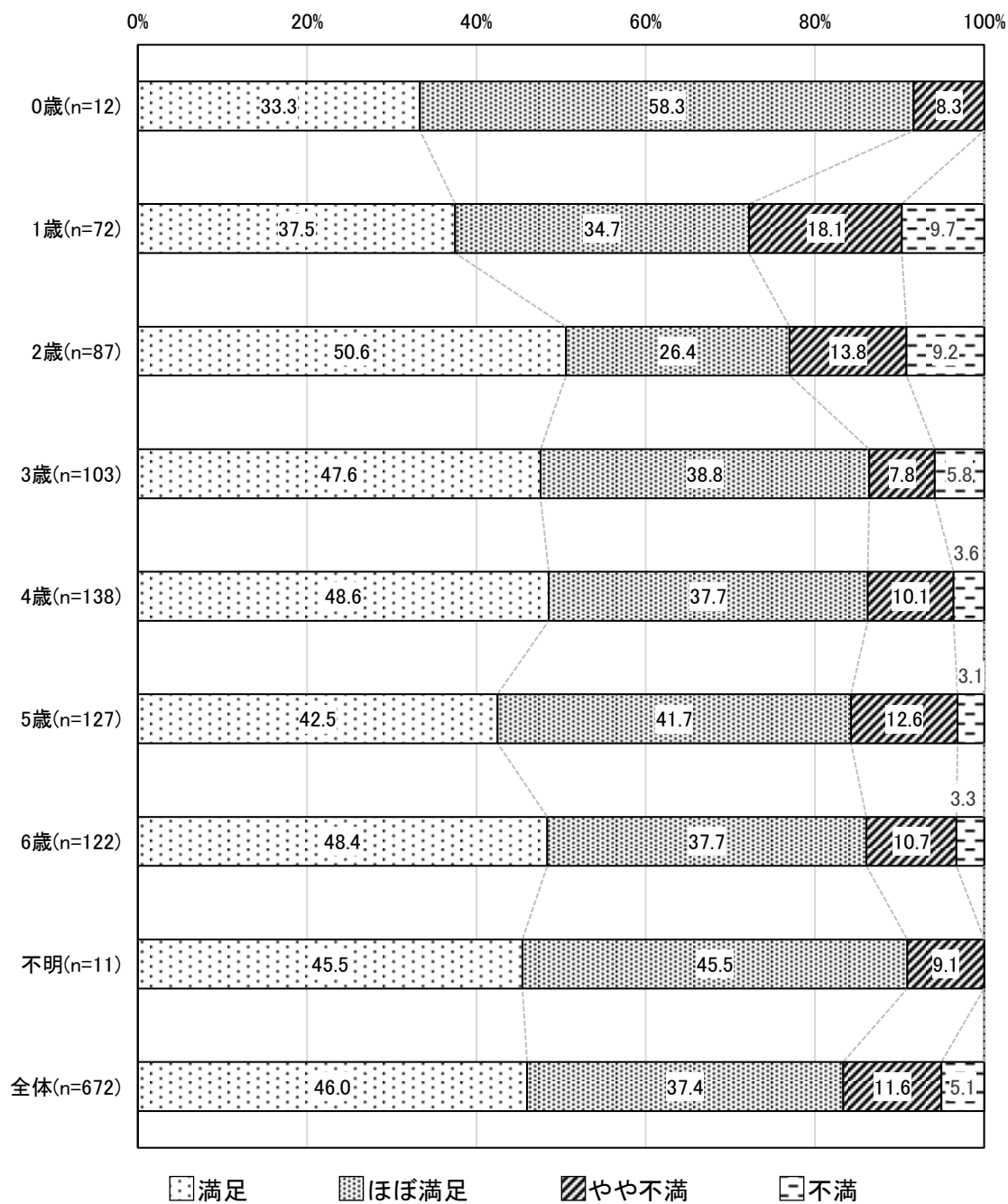
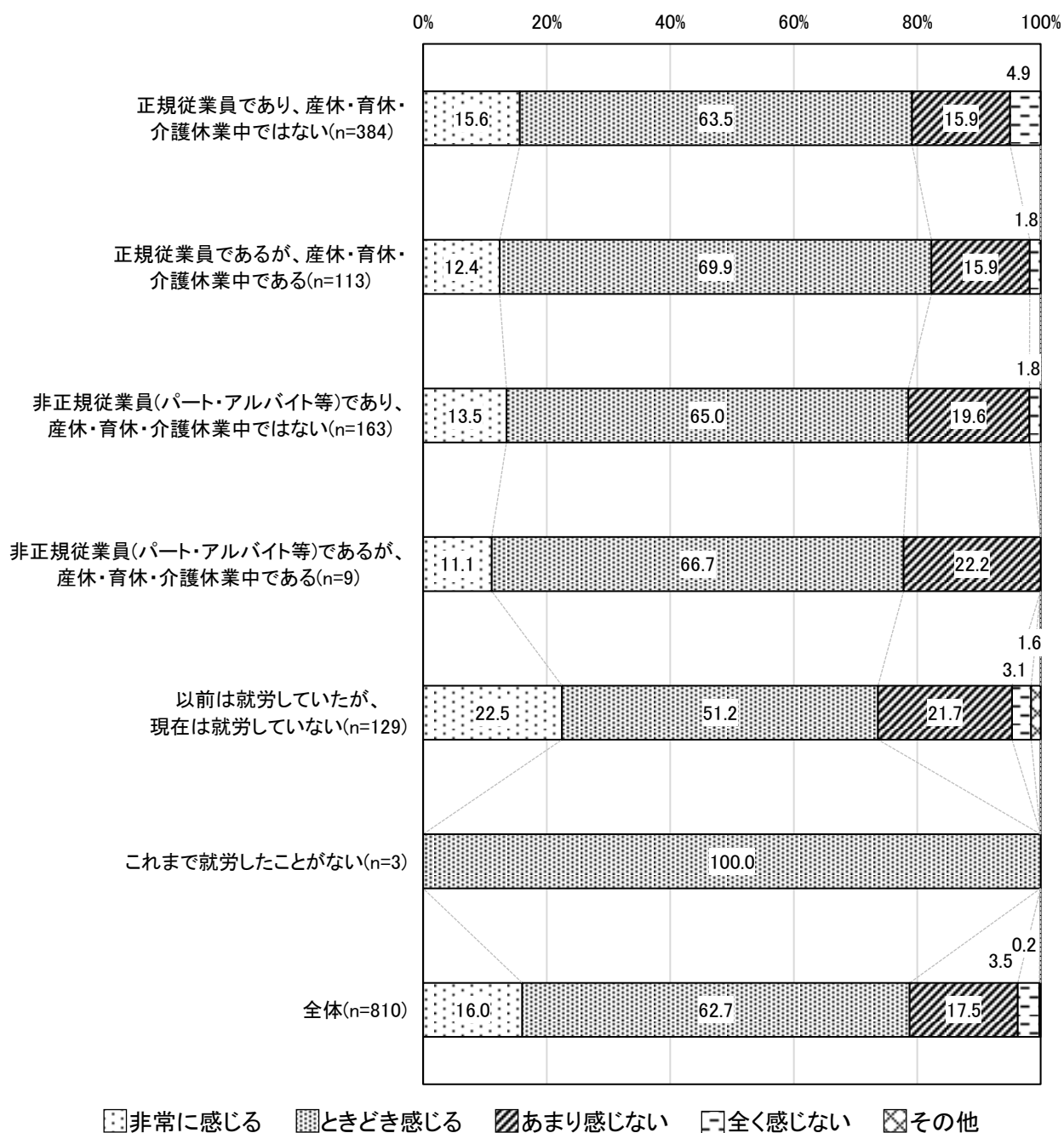


図 10 (問 13) 母親の現在の就労状況
(問 39) 子育てに関しての不安感や負担感



ク ロ ス 集 計
[小 学 校 児 童]

2. 小学校児童の保護者

図1 (問2) 子どもの年齢
(問11) 小学校低学年のうちに放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
※ 問11は、子どもが小学校低学年の方に何う質問

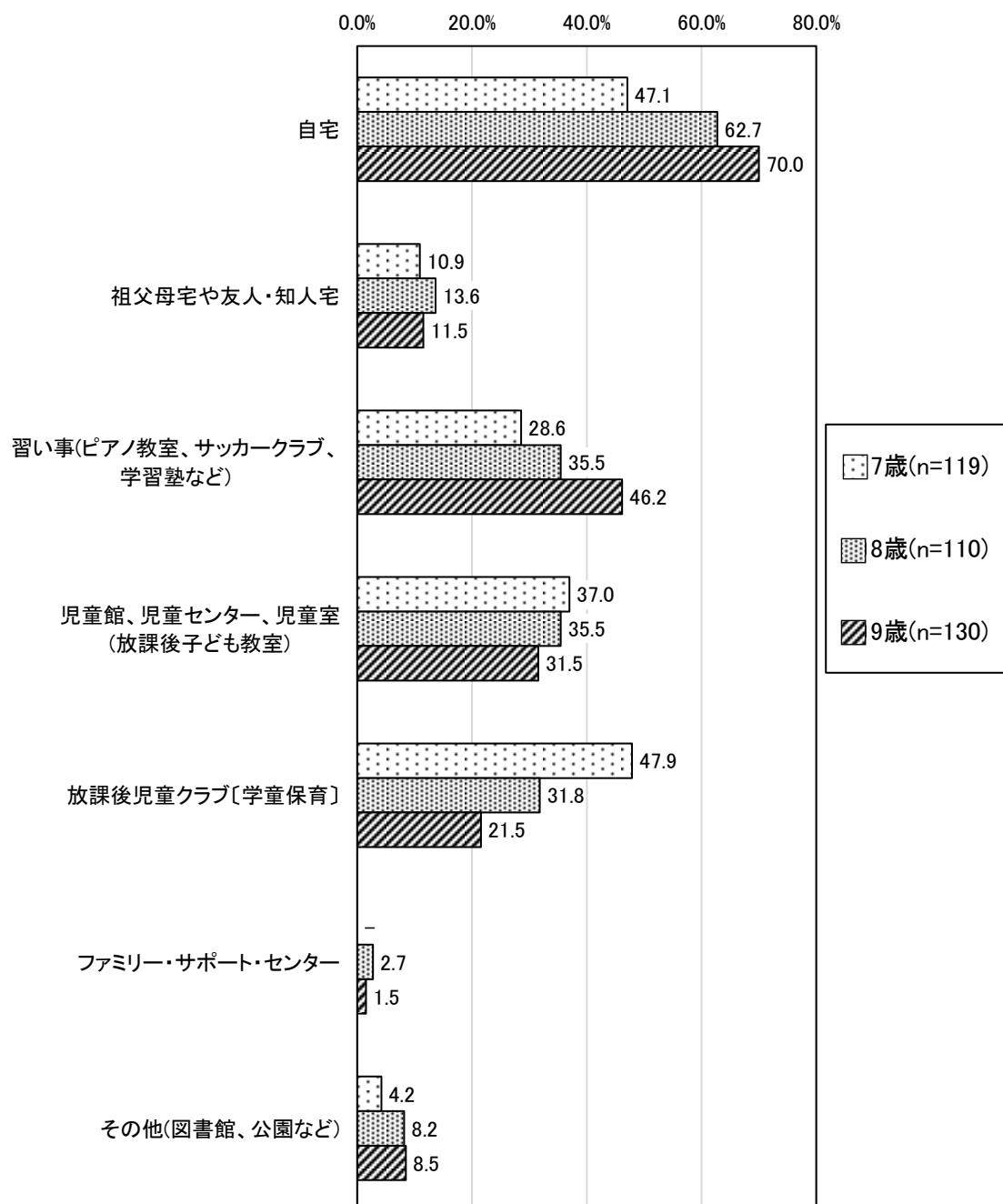


図 1-1 (問 2) 子どもの年齢
(問 11) 小学校低学年のうちに放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
「1 自宅」の利用日数

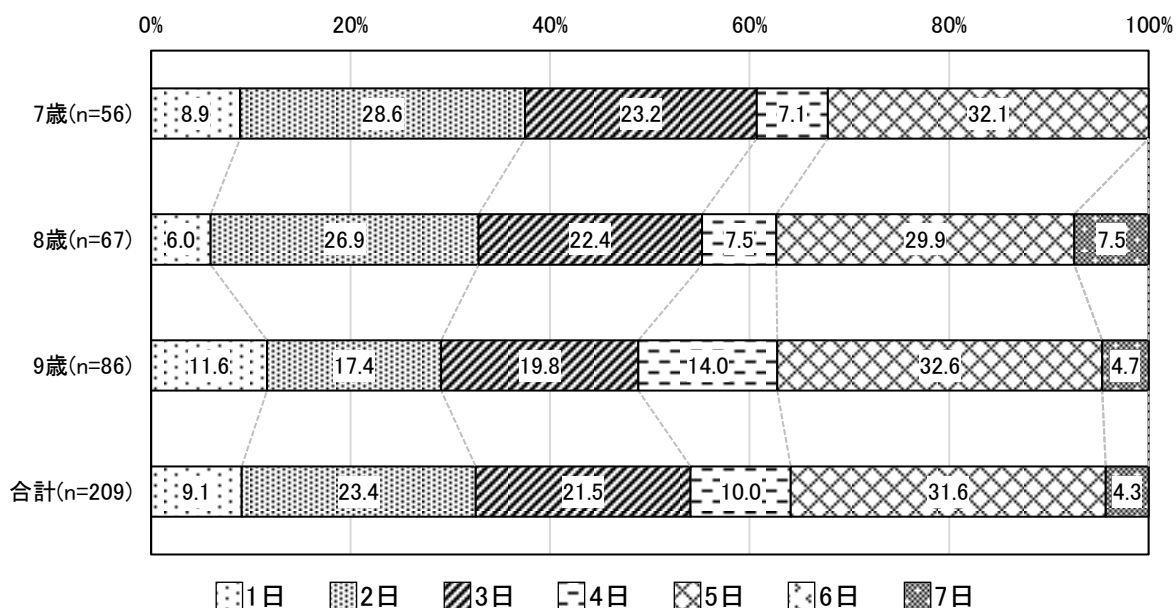


図 1-2 (問 2) 子どもの年齢
(問 11) 小学校低学年のうちに放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
「2 祖父母宅や友人・知人宅」の利用日数

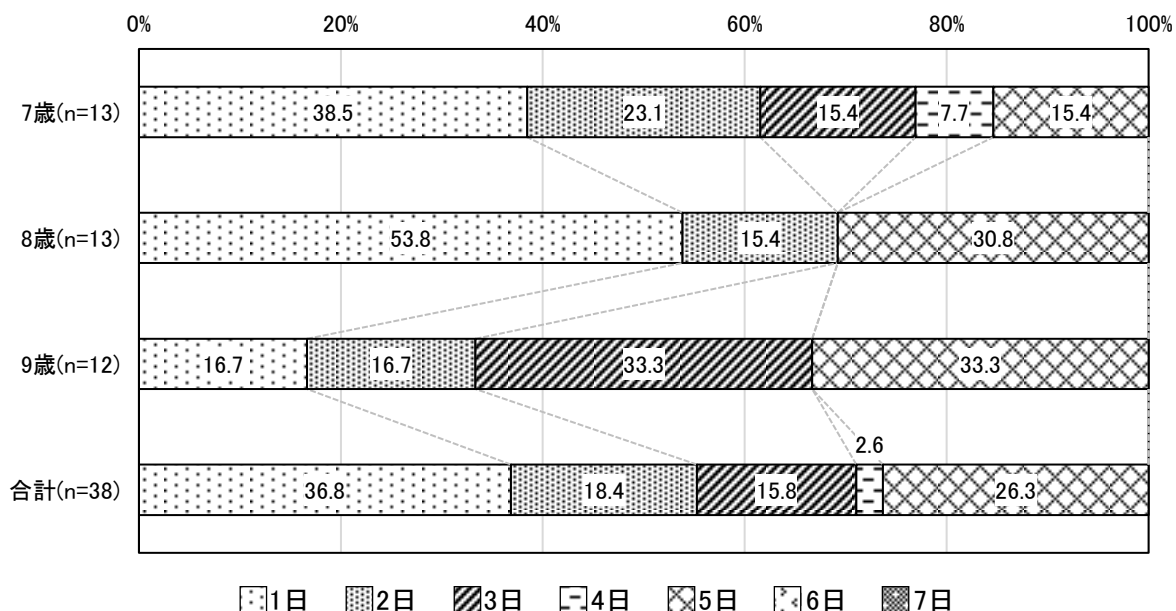


図1-3 (問2) 子どもの年齢
(問11) 小学校低学年のうちに放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
「3 習い事」の利用日数

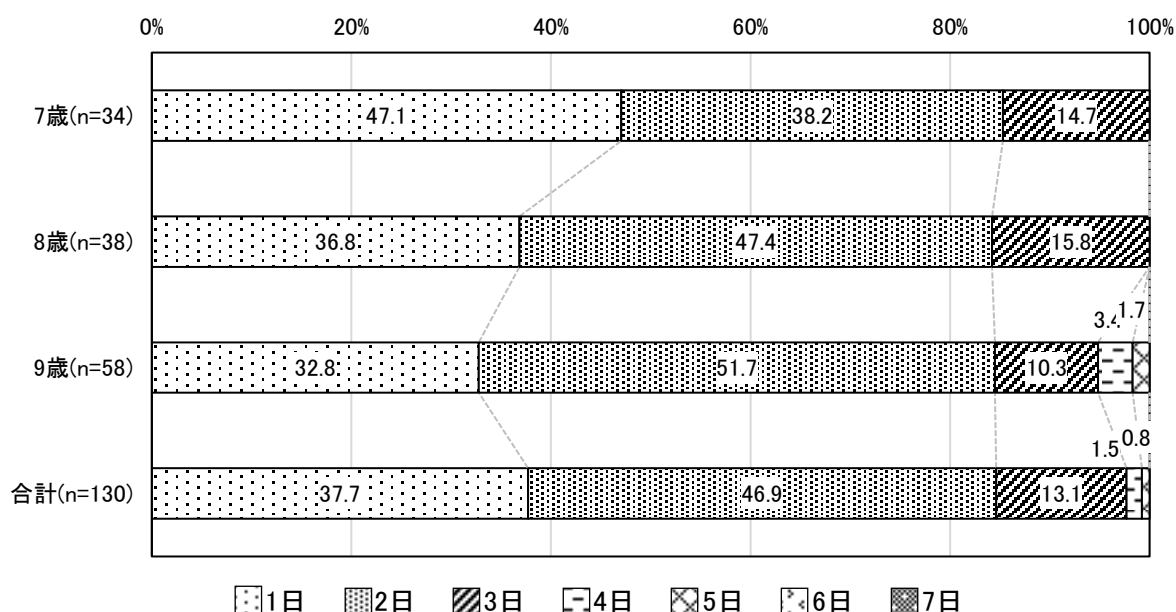


図1-4 (問2) 子どもの年齢
(問11) 小学校低学年のうちに放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
「4 児童館、児童センター、児童室」の利用日数

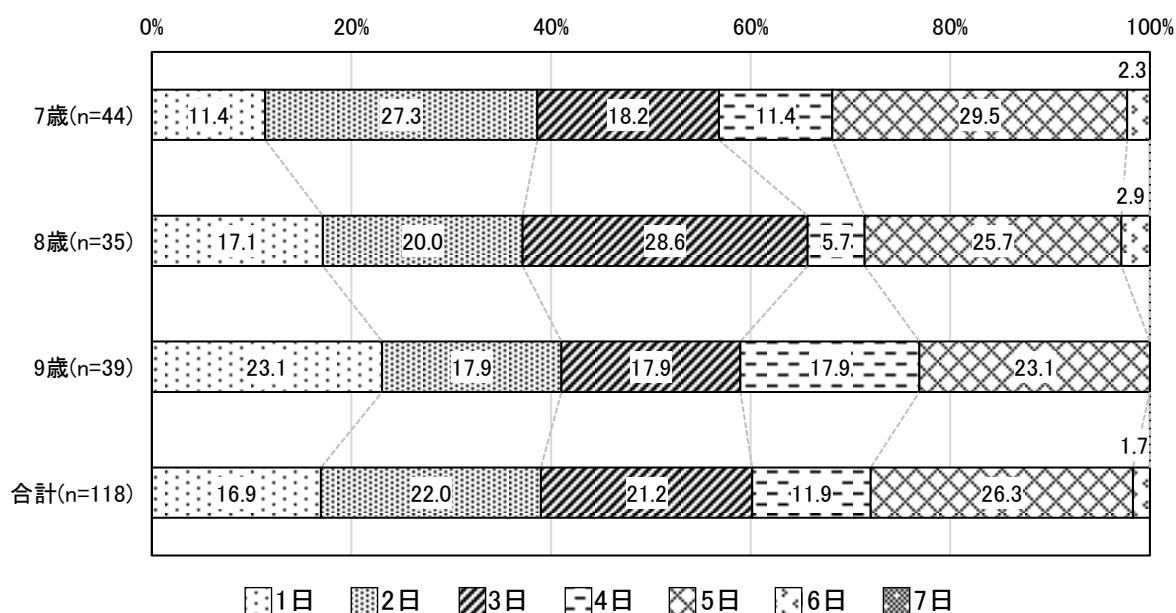


図 1-5 (問 2) 子どもの年齢
(問 11) 小学校低学年のうちに放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
「5 放課後児童クラブ [学童保育]」の利用日数

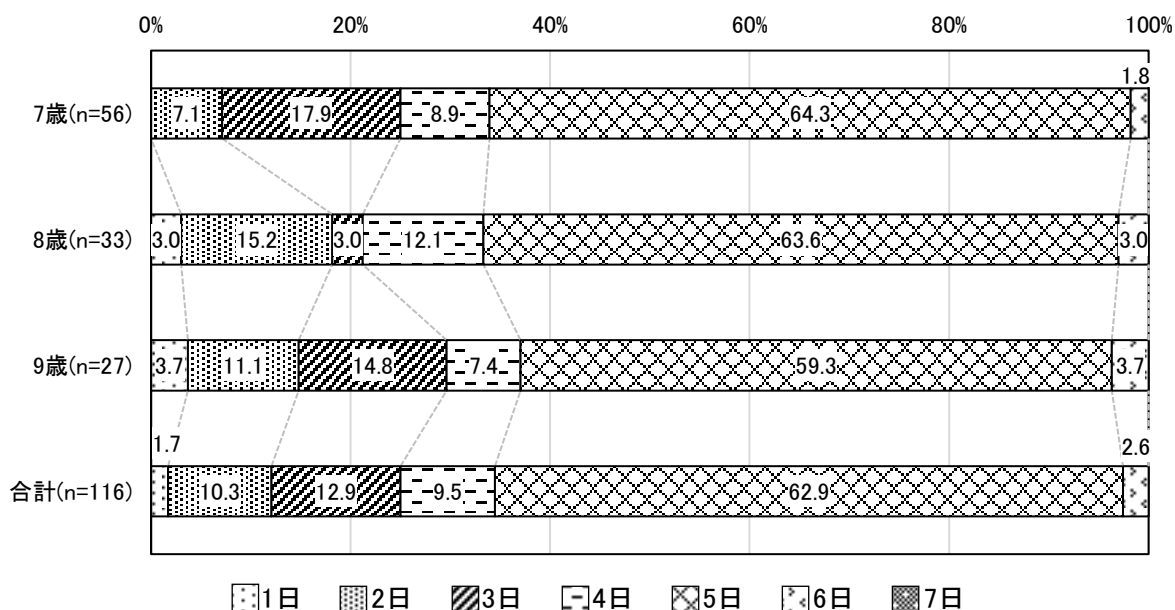


図 1-5-1 (問 2) 子どもの年齢
(問 11) 「5 放課後児童クラブ [学童保育]」の利用希望時間 (終了)

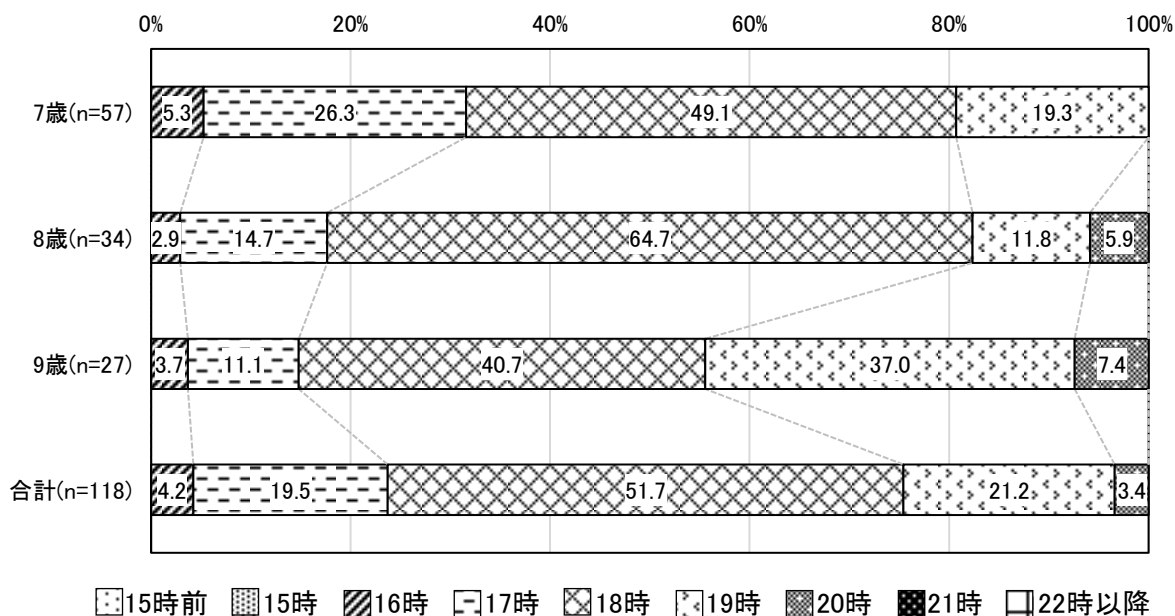


図 1-6

(問 2) 子どもの年齢

(問 11) 小学校低学年のうちに放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか

「7 その他」の利用日数

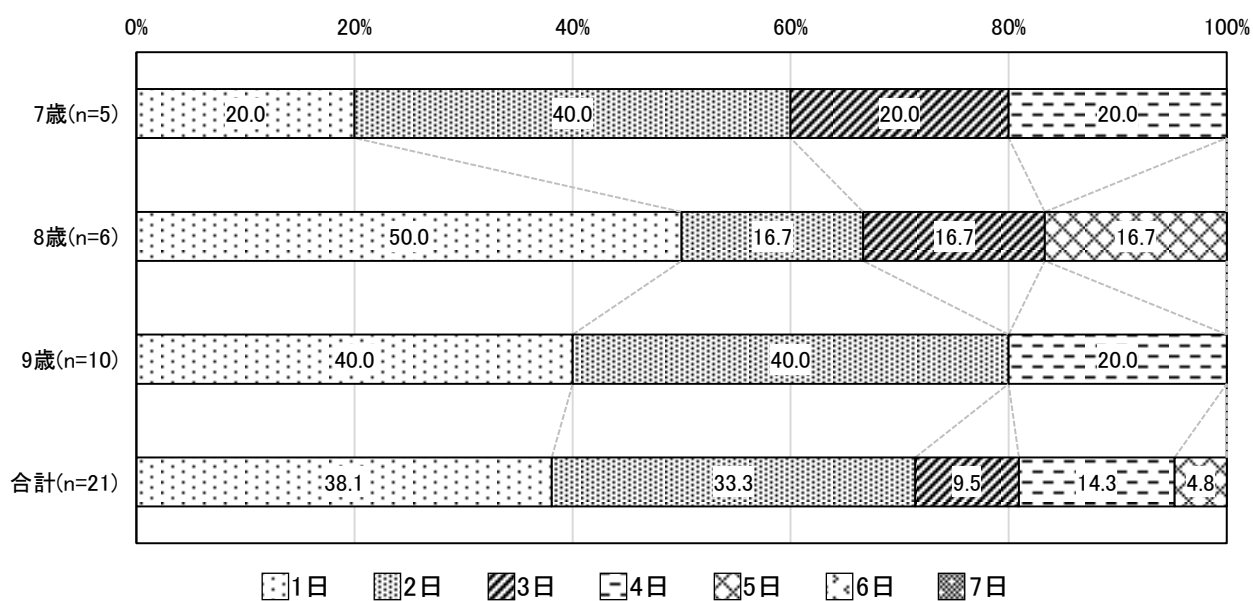


図2 (問2) 子どもの年齢
(問12) 小学校高学年では放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか

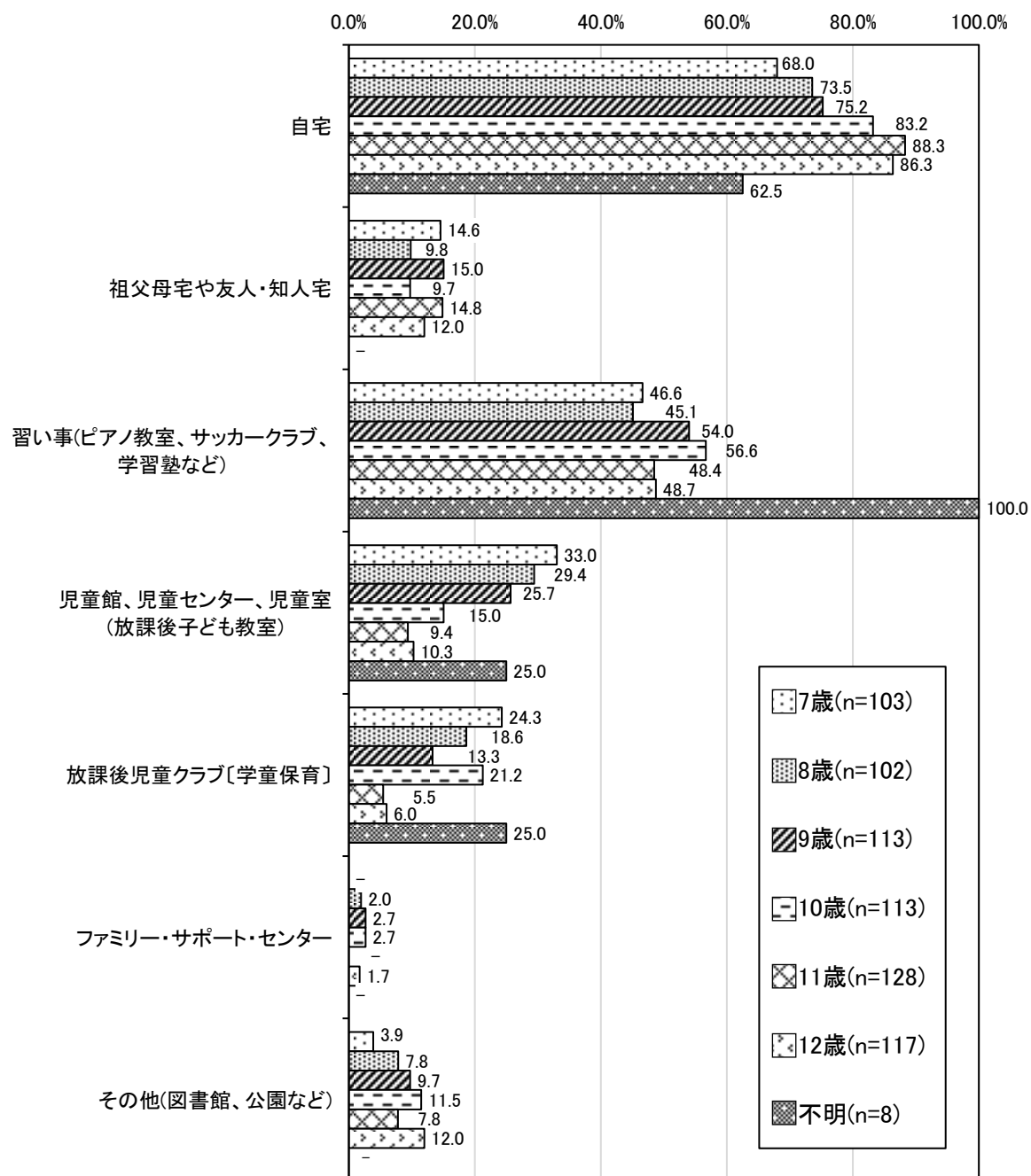


図2-1 (問2) 子どもの年齢
(問12) 小学校高学年では放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
「1 自宅」の利用日数

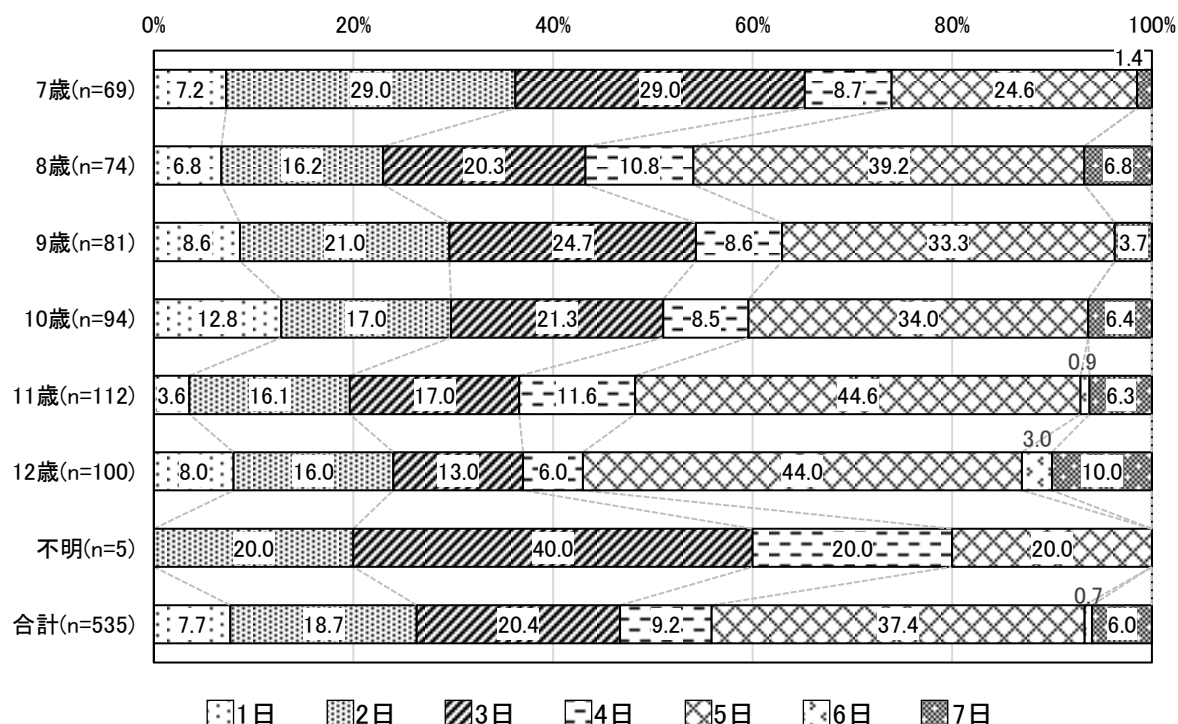


図2-2 (問2) 子どもの年齢
(問12) 小学校高学年では放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
「2 祖父母宅や友人・知人宅」の利用日数

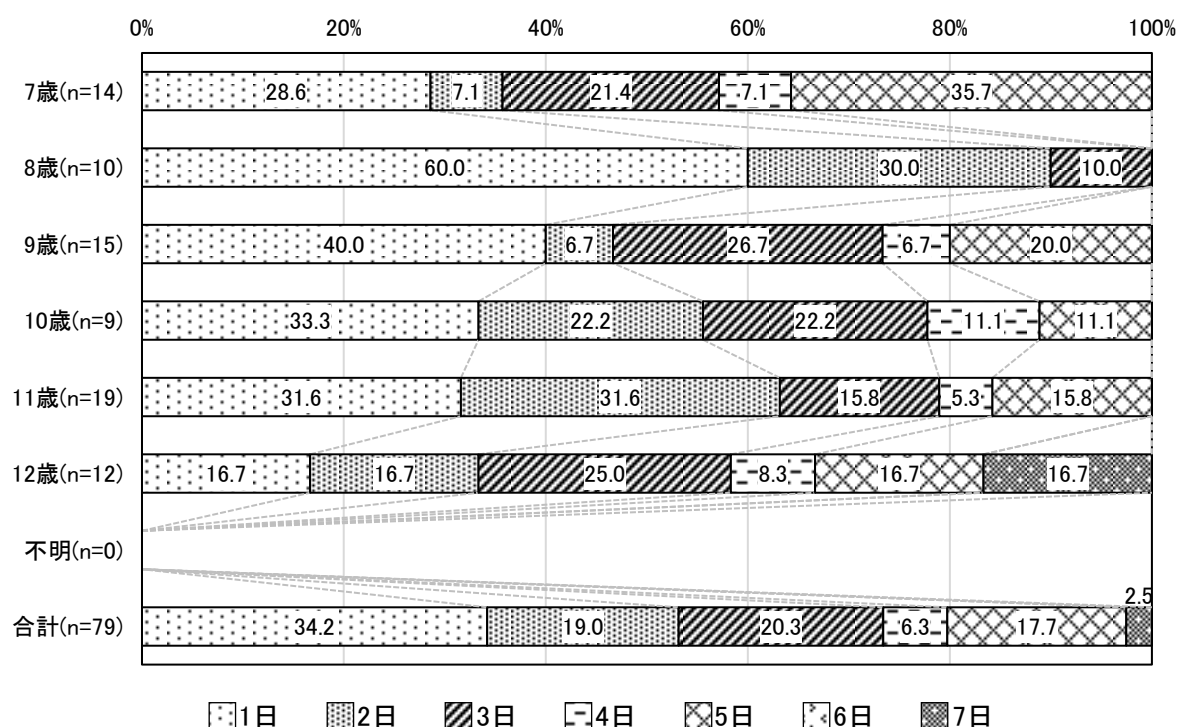


図2-3 (問2) 子どもの年齢
(問12) 小学校高学年では放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
「3 習い事」の利用日数

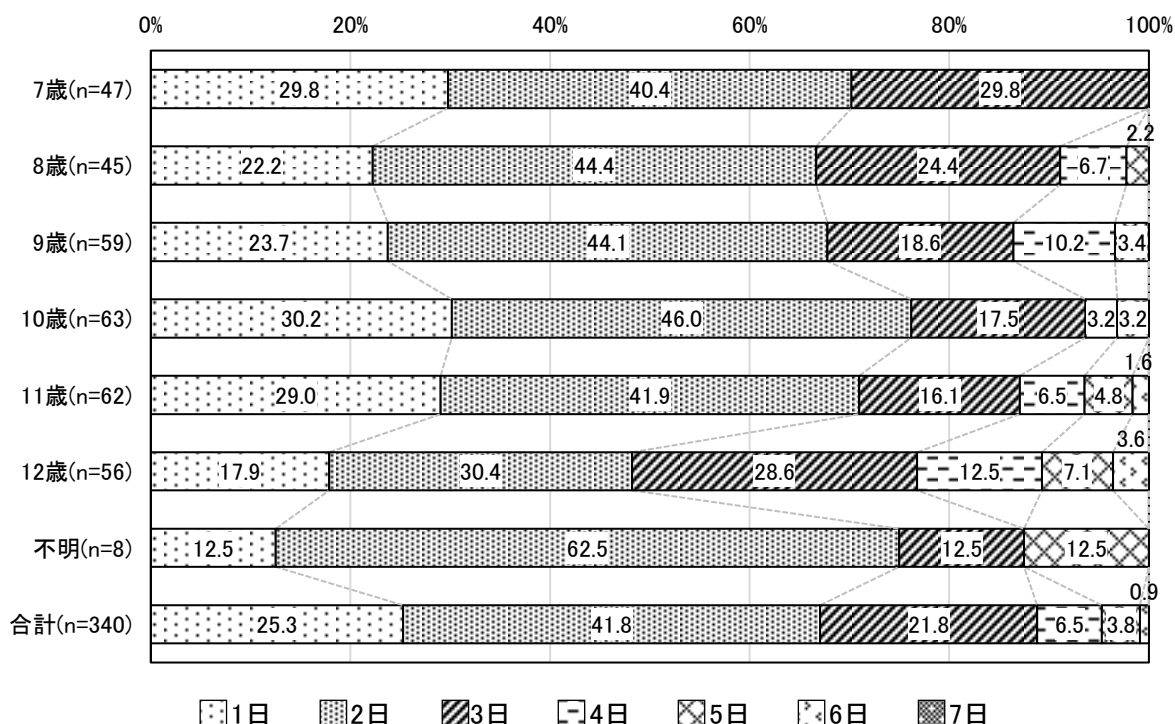


図2-4 (問2) 子どもの年齢
(問12) 小学校高学年では放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
「4 児童館、児童センター、児童室」の利用日数

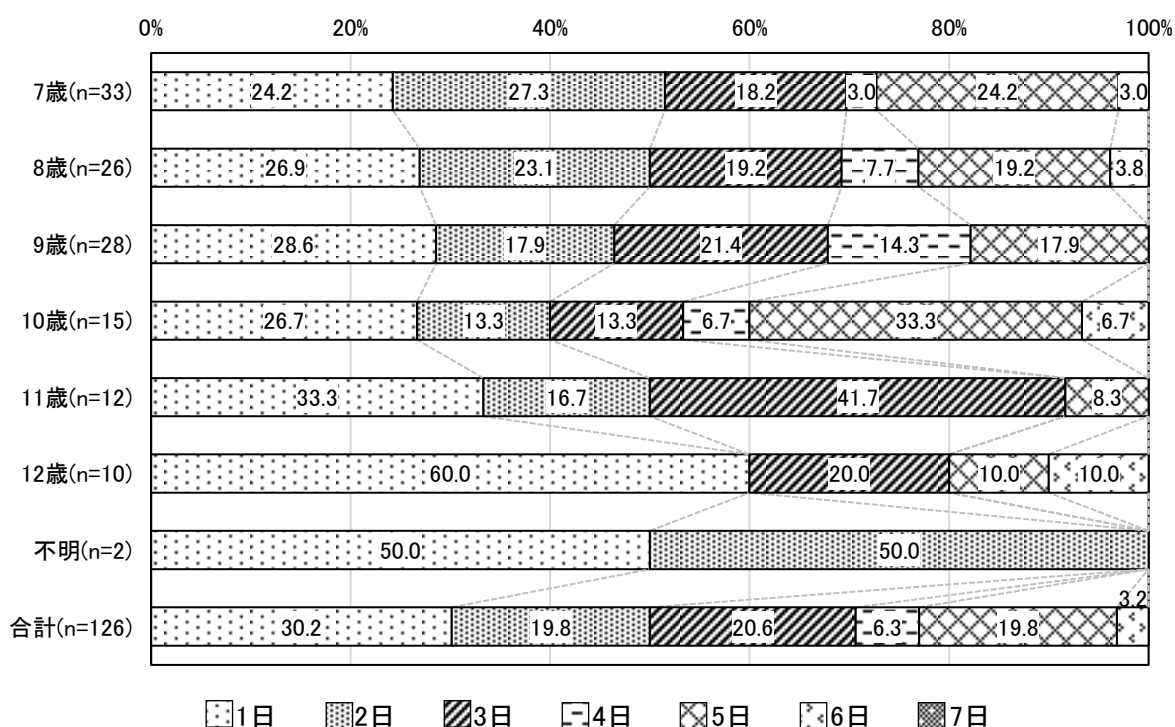


図 2-5 (問 2) 子どもの年齢
(問 12) 小学校高学年では放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
「5 放課後児童クラブ [学童保育]」の利用日数

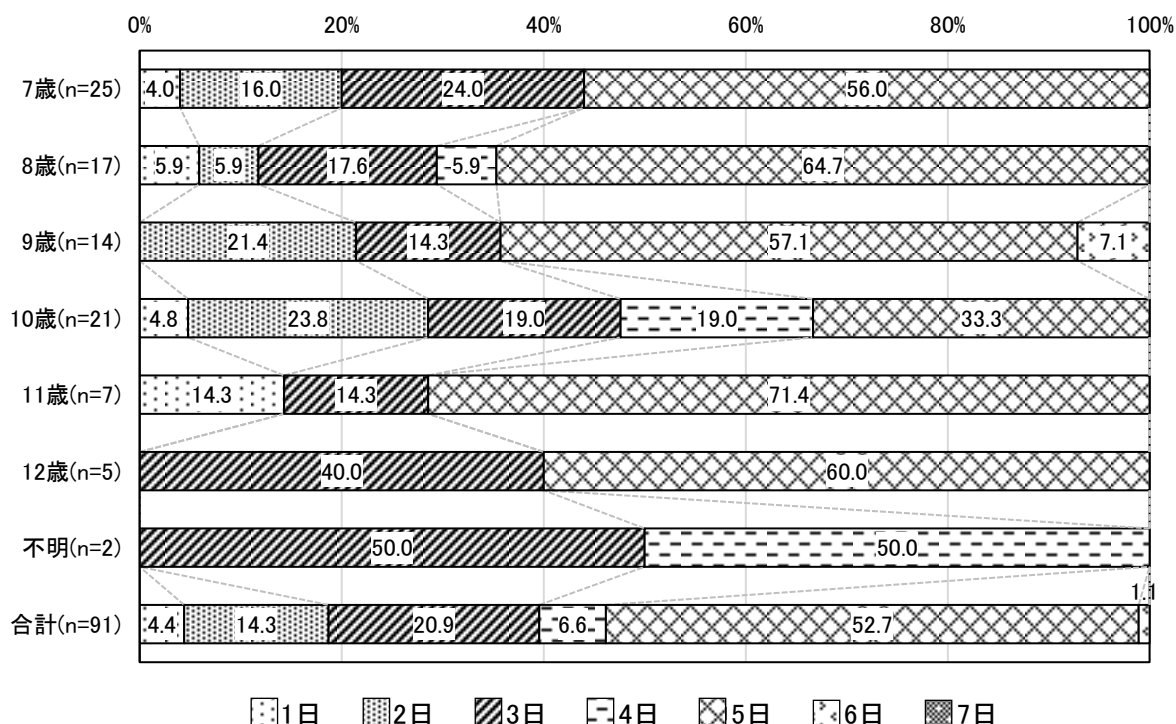


図 2-5-1 (問 2) 子どもの年齢
(問 12) 「5 放課後児童クラブ [学童保育]」の利用希望時間 (終了)

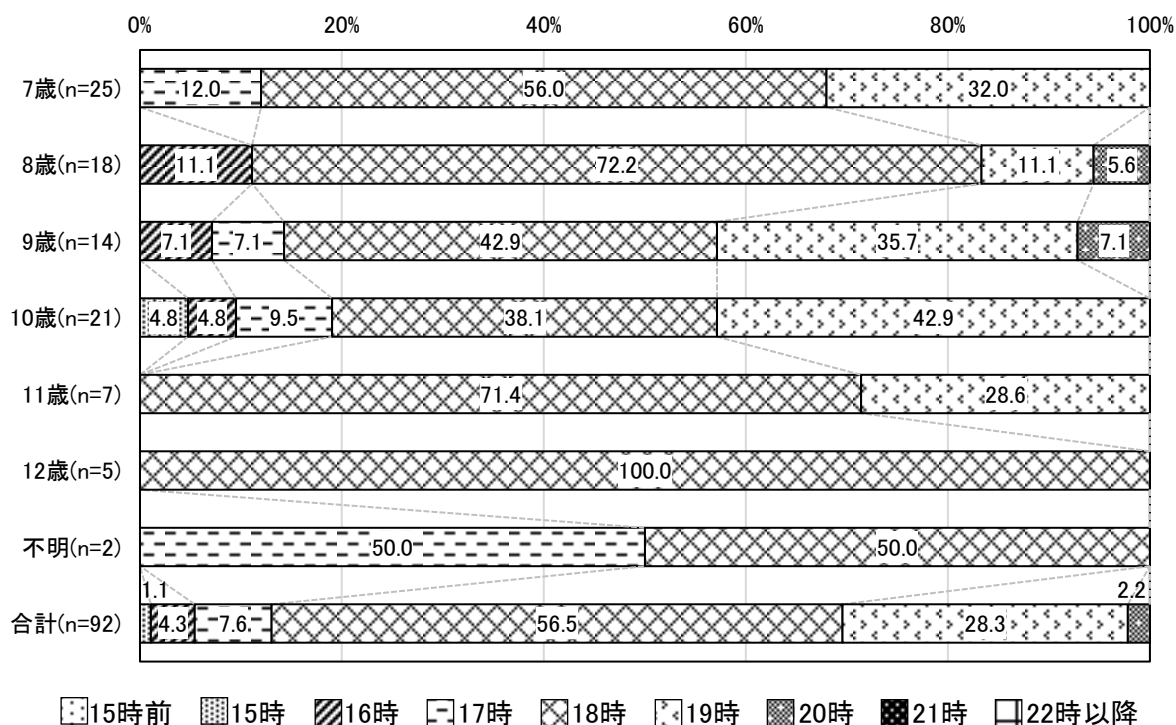


図 2-6 (問 2) 子どもの年齢
(問 12) 小学校高学年では放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
「6 ファミリー・サポート・センター」の利用日数

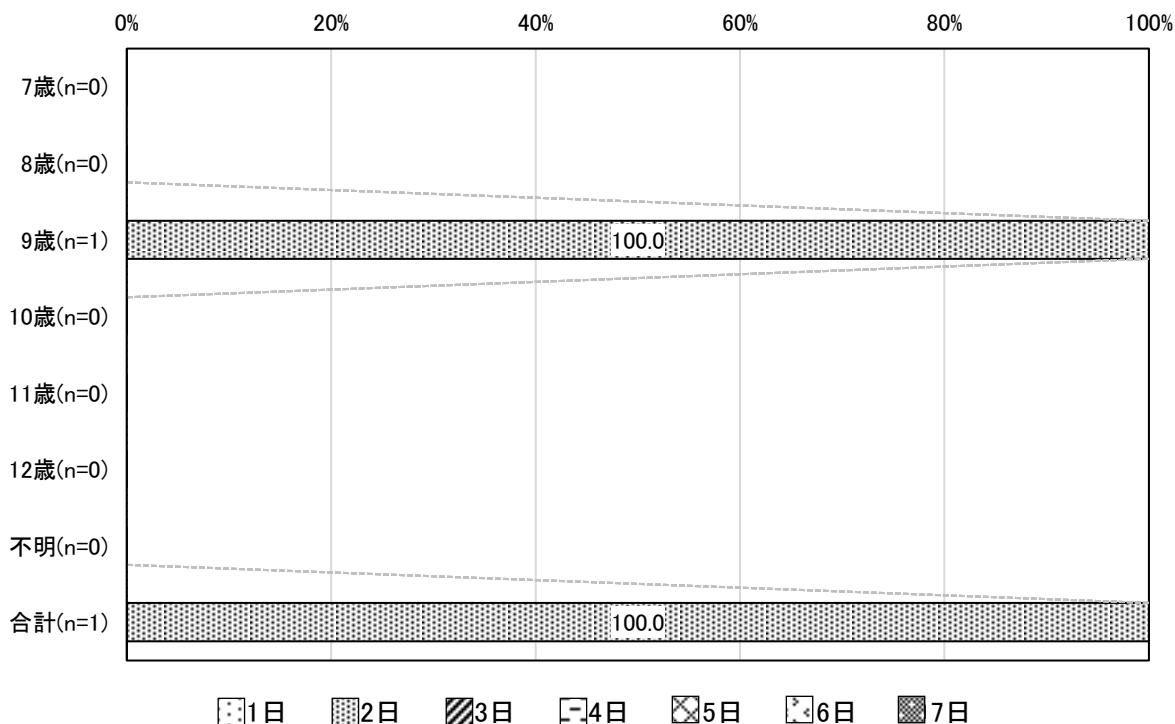


図 2-7 (問 2) 子どもの年齢
(問 12) 小学校高学年では放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか
「7 その他」の利用日数

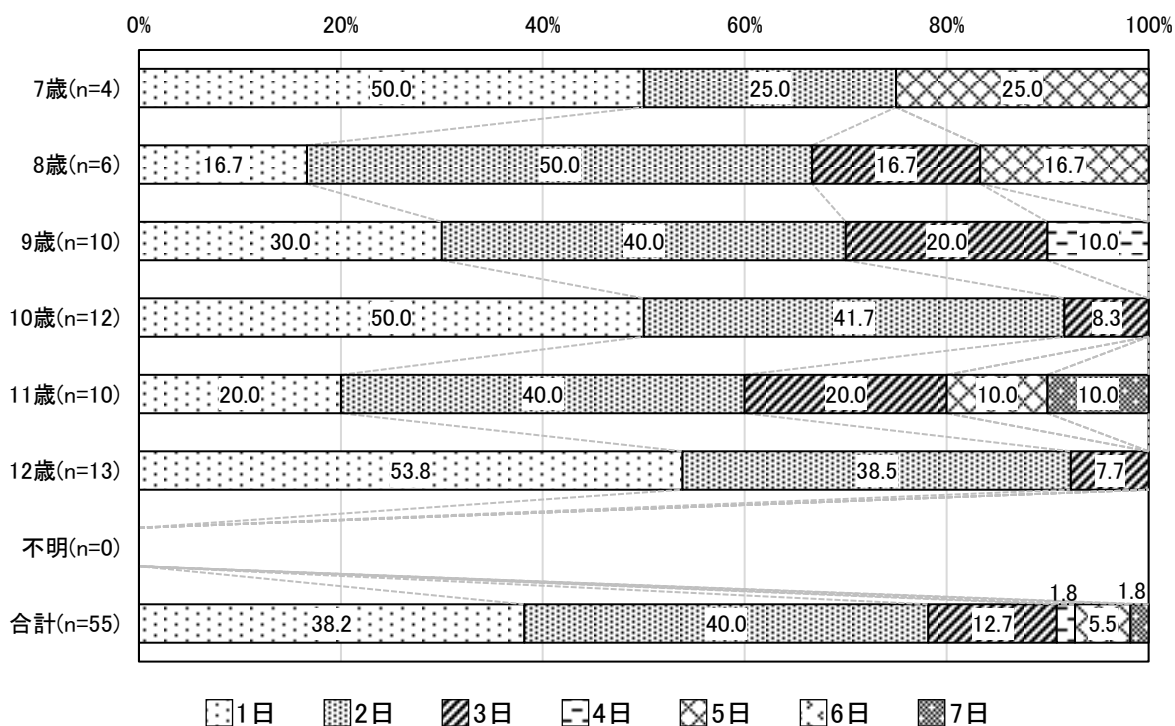


図3 (問2) 子どもの年齢
(問21(1)) 子どもが生まれた時の母親の育児休業取得状況

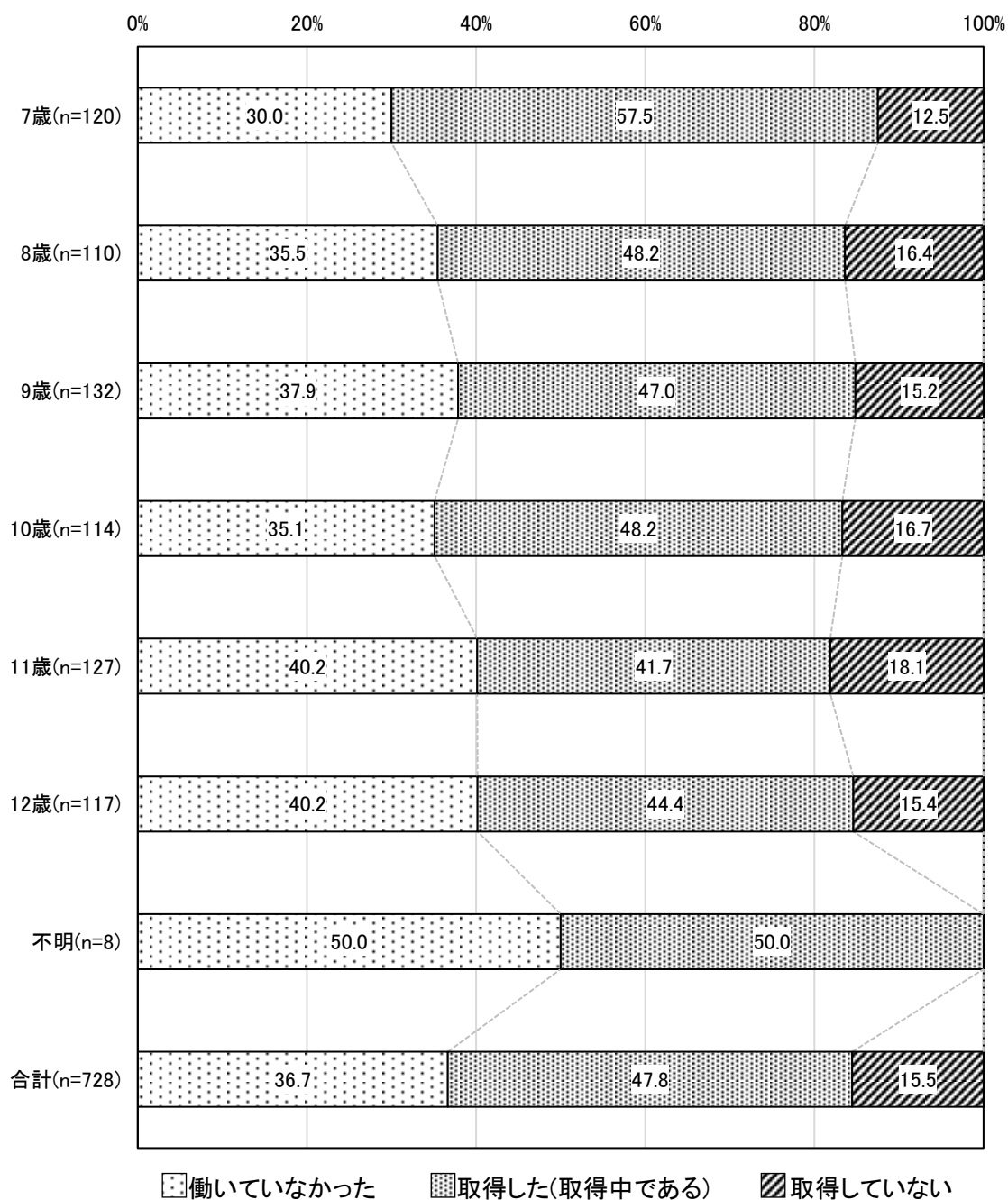


図4 (問2) 子どもの年齢
(問21(2)) 子どもが生まれた時の父親の育児休業取得状況

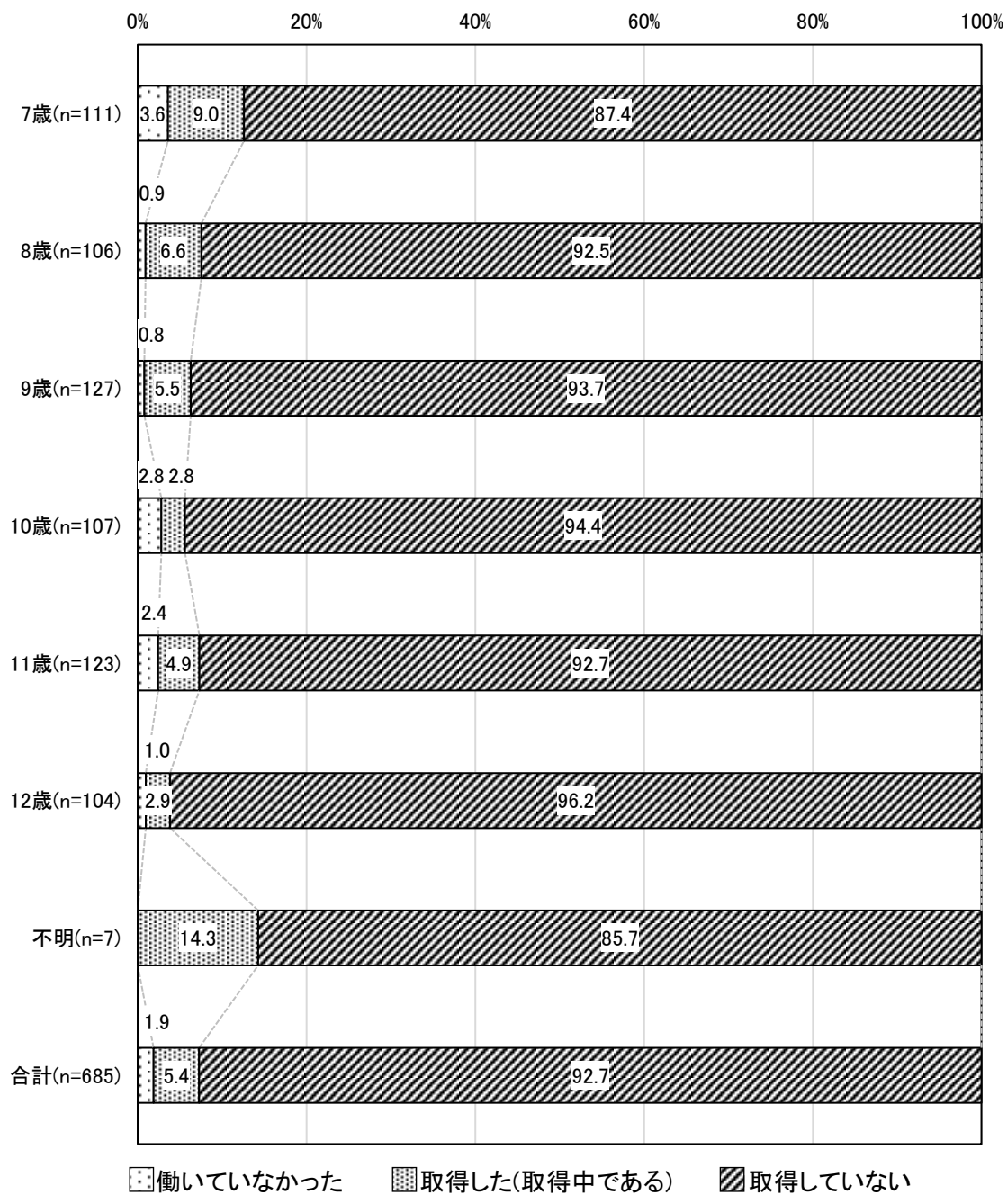


図5 (問2) 子どもの年齢
(問27) 子育てに関する不安感や負担感

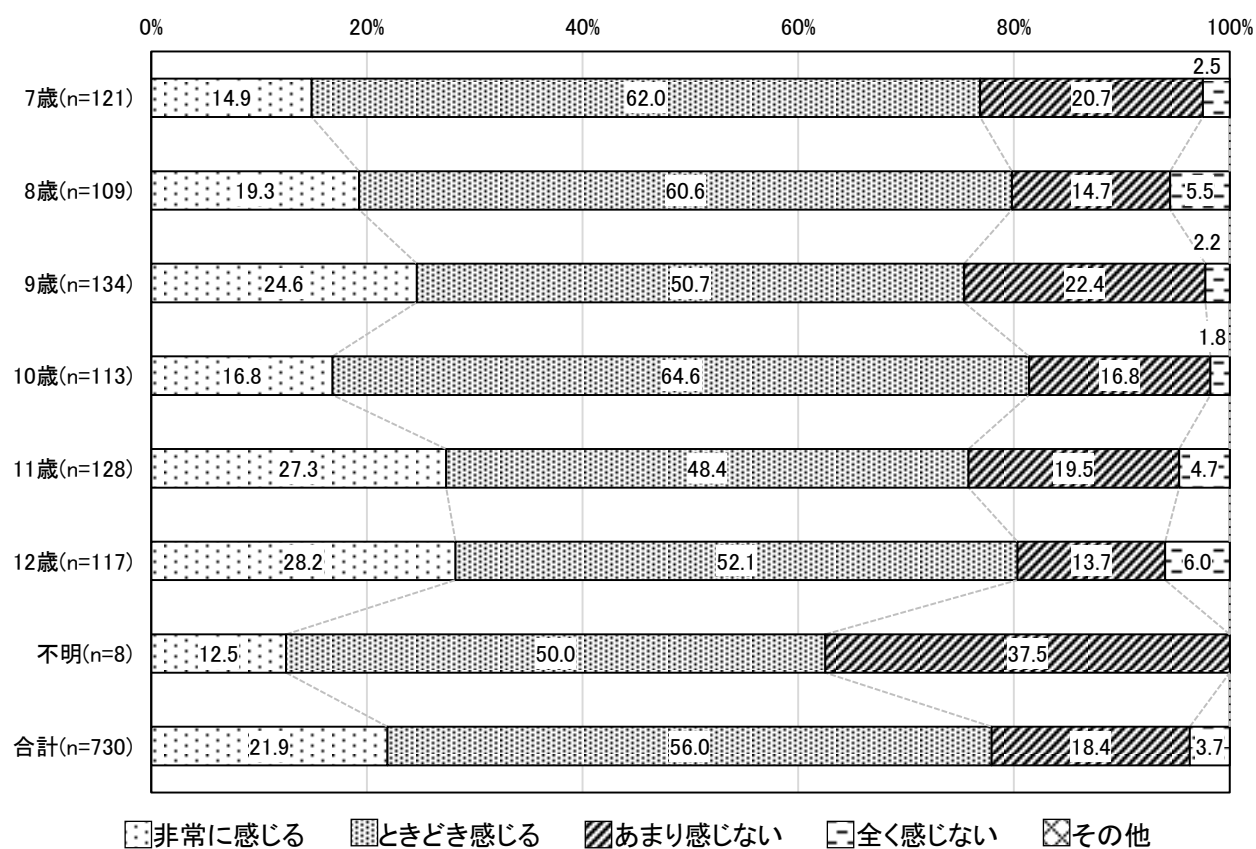
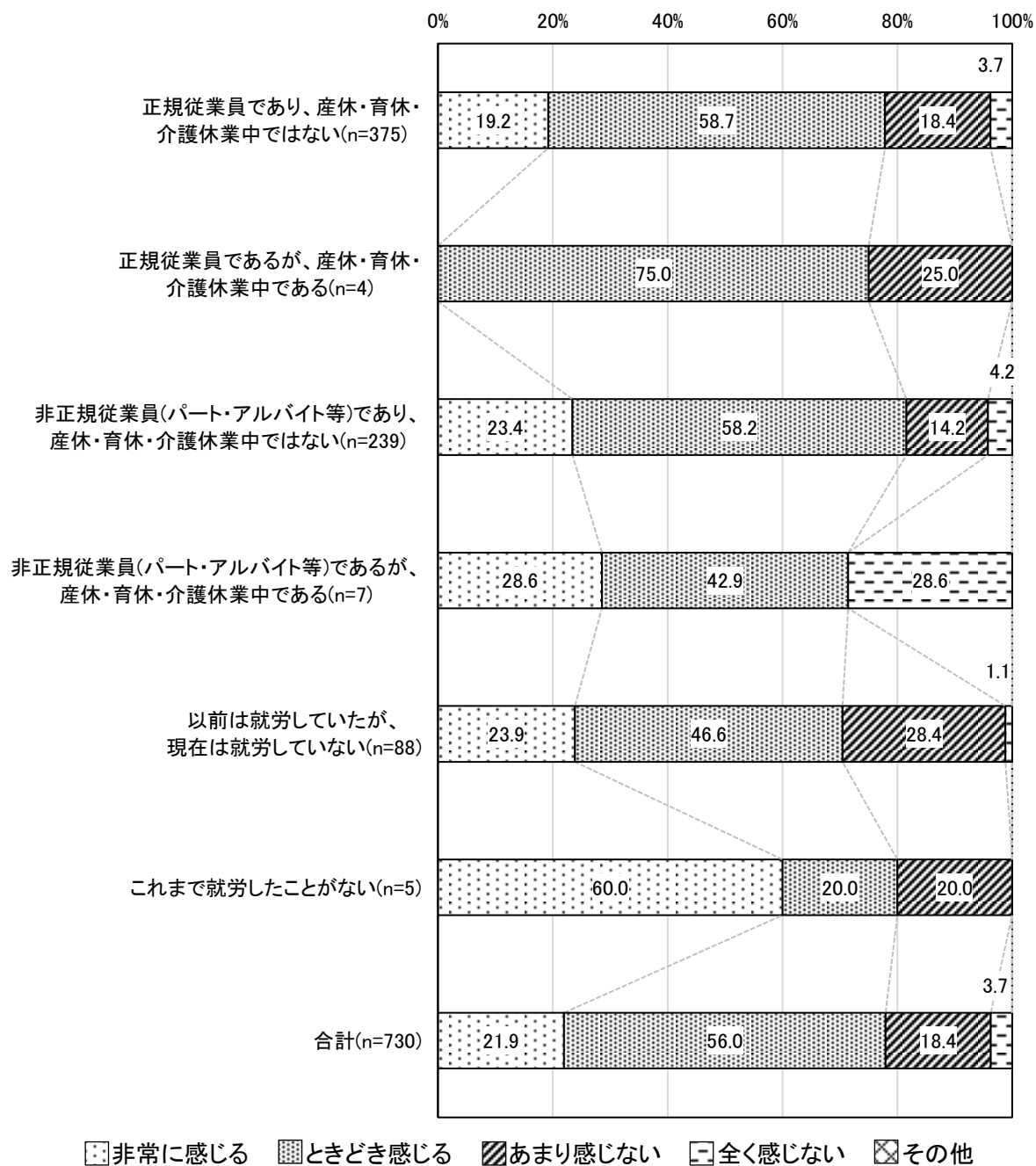


図6 (問9) 母親の現在の就労状況
(問27) 子育てに関する不安感や負担感



調 査 票
〔 就 学 前 児 童 〕

封筒の宛名のお子さんごと家族の状況についてお伺いします

図1 お住まいの地区（小学校区）がてはまる番号1つに○をつけてください。

1 金足西	2 港北	3 下新城	4 飯島	5 土崎	6 土崎南
7 高清水	8 寺内	9 飯島南	10 外旭川	11 泉	12 八橋
13 旭北	14 川尻	15 薬山	16 中通	17 保戸野	18 明徳
19 旭南	20 旭川	21 広面	22 下北手	23 太平	24 東
25 桜	26 日新	27 膳平	28 豊岩	29 浜田	30 下浜
31 御所野	32 仁井田	33 四ツ小屋	34 牛島	35 上北手	36 大住
37 岩見三内	38 河辺	39 戸島	40 雄和		

図2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。（元号に○をし、口内に数字で○を記入してください。数字は一律に一字。）

平成/令和 年 月 生まれ

図3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字で○記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月（宛名のお子さんを含む） 平成/令和 年 月 生まれ

図4 (1) この調査票にご回答いただく方は、宛名のお子さんからみてどなたですか。母親・父親の場合、(2)の配偶者の名前についてもお答えください。あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。

(1) 回答者 1 母親 2 父親 3 その他 ()
(2) 配偶者の有無 1 配偶者がいる (時間5へ) 2 配偶者がいない (時間8へ)

図5 あなた方（ご夫婦）の理想として全番で何人の子どもが欲しいと思いますか（願いましたか）。

☐ 人 または ☐ 人以上

図6 実親にもつものりの子どもは全番で何人ですか。

☐ 人 または ☐ 人以上

図7 図6で図5の数より少ない方にお伺いします。実親にもつものりの子どもの人数が、理想とする子どもの人数より少ないのはどうしてですか。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 仕事や趣味を優先したい	2 仕事と子育ての両立が難しい
3 職場の理解が得られない	4 結婚するのが遅かった
5 配偶者が子どもを欲しがらない	6 妊娠・出産が精神的・肉体的に大変
7 年齢的に妊娠・出産が難しい	8 健康上の理由で妊娠・出産が難しい
9 不妊治療にお金がかかる	10 出産費用等の経済的負担が大きい
11 子どもの医療費等の経済的負担が大きい	12 育児休業制度等の保障が不十分
13 子どもに対する手当等による経済的援助が不十分	14 子どもの預け先がない
15 保育所や幼稚園等にかかる経済的負担が大きい	16 義務教育にかかる経済的な負担が大きい
17 高等学校教育にかかる経済的な負担が大きい	18 大学教育にかかる経済的な負担が大きい
19 育児が精神的・肉体的に大変	20 子育てに対する配偶者の協力が少なく、負担が大きい
21 育児の社会的支援体制が不十分	22 居住する住宅が狭い
23 その他 ()	

図8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にやっているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

1 主に両親 2 主に母親 3 主に父親 4 主に祖父母 5 その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境についてお伺いします

図9 宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 (日常的に) 祖父母等の親族
2 (緊急時もしくは用事の時に) 祖父母等の親族
3 (日常的に) 友人・知人
4 (緊急時もしくは用事の時に) 友人・知人
5 いない

図10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいませんか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 いる/ある ⇒ 図10-1へ 2 いない/ない ⇒ 図11へ

図10-1 図10で「1 いる/ある」に○をつけた方にお伺いします。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる方は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 親族（親・きょうだいなど）	2 友人や知人
3 近所の人	4 子育て支援団体（育児サークル、NPO等）
5 幼稚園、保育所、認定こども園	6 学校
7 民生委員・児童委員	8 かかりつけの医師
9 インターネット	
10 市の子育て関連担当窓口（子ども未来センター、秋田市版ネウボラ※1、子育てナビゲーター※2等）	
11 その他 【例】ベビーシッター ()	

※1 秋田市版ネウボラ：「ネウボラ」とはフィンランド語で、「相談する場」という意味。子ども健康課内に開設している相談窓口で、母子健康コーディネーター（助産師等）が中心となり、妊娠前から相談に応じている。

※2 子育てナビゲーター：子育て家庭が必要な支援を選択して利用できるような情報提供し、手続きをサポートする相談員

図11 子育てに関する情報をどこ（誰）から入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 親族（親・きょうだいなど）	2 友人や知人
3 近所の人	4 子育て支援団体（育児サークル、NPO等）
5 幼稚園、保育所、認定こども園	6 学校
7 民生委員・児童委員	8 かかりつけの医師
9 インターネット	10 市の子育て関連担当窓口
11 「広報あきた」など市の情報誌	12 市ホームページ「子育て情報」
13 市LNE公式アカウント「秋田市子育てLNE」	14 市公式インスタグラム「秋田市子育て情報」
15 テレビ、ラジオ、新聞	16 子育て雑誌・育児書
17 子育てアプリ	18 コミュニティ誌
19 情報の入手先がわからない	20 その他 ()

問 12 今後、どのような子育て支援が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 子どもを遊ばせながら、子育てについて語り合える場を増やす
- 2 子ども連れでも出かけやすい講習やイベントの場を増やす
- 3 子育てに困った時に気軽に相談したり情報が得られる場を増やす
- 4 保育所や幼稚園等にかかる費用負担を軽減する
- 5 保育所や幼稚園等における教育・保育の質の向上を図る
- 6 延長保育（預かり保育）の時間を長くする
- 7 休日保育（日・祝日）の実施施設を増やす
- 8 一時預かり事業（保育所等での一時的な保育）の実施施設を増やす
- 9 病児・病後児保育事業（病児中または病気の回復期の預かり保育）の実施施設を増やす
- 10 放課後児童クラブ※を増やす
- 11 誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが増えるよう促す
- 12 誰でも気軽に利用できるNPO等による家事支援サービスが増えるよう促す
- 13 医療費助成（マル保）を拡大するなど医療費の負担を軽減する
- 14 時間短縮勤務や在宅勤務など多様な働き方ができるよう企業に対して働き方の見直しを促す
- 15 仕事と子育ての両立に取り組む企業が増えるよう促す
- 16 育児休業（産後バガ育休を含む。）や子の看護休暇の取得を促進する
- 17 子育ての講座など子育てについて学べる機会を増やす
- 18 妊産婦からの健康や食事について学べる機会を増やす
- 19 保健師・助産師が自宅を訪問して、子育てのアドバイスをする
- 20 自治体独自のスマートフォン向け子育てアプリ（市LINE公式アカウント以外）を配信する
- 21 子ども連れでバスなどの公共交通機関を利用する際の費用負担を軽減する
- 22 行事に参加する際の託児所をつくる
- 23 児童養護施設に親子で短期間の入所をし、子どもへの関わり方などの支援を受ける制度をつくる
- 24 男性の家事・育児に関する講習の場を増やす
- 25 家事支援サービスにかかる費用負担を軽減する
- 26 その他（ ）
- 27 特になし

※放課後児童クラブ：地域によって児童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により居間家庭にいない小学生を対象に、支援員の下、生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします

問 13～問 14 までの共通注意事項

「正規従業員」：1週5日程度・1日8時間程度の就労
「非正規従業員（パート・アルバイト等）」：「正規従業員」以外の就労としてお答えください。

問 13 ～ 問 13-3 は、宛名のお子さんの保護者の方の就労状況について、お伺いします。

父子家庭等の場合は記入不要です ⇒ 問 14へ

問 13 現在の就労状況（自営業、家事従事者含む）について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない
- 2 正規従業員であるが、産休・育休・介護休業中である
- 3 非正規従業員（パート・アルバイト等）であり、産休・育休・介護休業中ではない
- 4 非正規従業員（パート・アルバイト等）であるが、産休・育休・介護休業中である
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6 これまで就労したことがない

問 13-1 問 13で「1～4」（就労している）に○をつけた方にお伺いします。

1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」について、口内に数字でご記入ください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについて、ご回答ください。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください）

1 週当たりの就労日数	日	家を出る時刻	時
1 日当たりの就労時間	時間	帰宅時刻	時

問 13-2 問 13で「3または4」非正規従業員（パート・アルバイト等）で就労している）に○をつけた方にお伺いします。

⇒ 該当しない方は、問 14へ

正規従業員への転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください

- 1 正規従業員への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 正規従業員への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 非正規従業員（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望
- 4 非正規従業員（パート・アルバイト等）をやめて子育てや家事に専念したい

問 13-3 問 13で「6」以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。⇒ 該当しない方は、問 14へ

は数字をご記入ください。

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
- 3 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

- ア. 正規従業員
イ. 非正規従業員（パートタイム、アルバイト等）
- 1 週当たり 日 1 日当たり 時間

図 14 ～ 図 14-3 は、宛名のお子さんの父兄の方の就労状況について、お伺いします。

図 14 現在の就労状況 (自営業、専業主婦等を含む) について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 1 正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない
2 正規従業員であるが、産休・育休・介護休業中である
3 非正規従業員 (パート・アルバイト等) であり、産休・育休・介護休業中ではない
4 非正規従業員 (パート・アルバイト等) であるが、産休・育休・介護休業中である
5 以前は就労していたが、現在は就労していない
6 これまで就労したことがない

⇒ 図 14-1 へ

⇒ 図 14-3 へ

図 14-1 図 14 で「1～4」(就労している) に○をつけた方にお伺いします。

1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間 (就業時間を指す)」、「暮らす時間帯」、「帰宅時刻」について、口内に数字をご記入ください。一定でない場合は、もっとも多い日・時間帯について、ご回答ください。(産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください)

1 週当たりの就労日数	日	家を出る時刻	時
1 日当たりの就労時間	時間	帰宅時刻	時

図 14-2 図 14 で「3 または 4」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にお伺いします。

⇒ 該当しない方は、図 15 へ

正規従業員への転換希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください

- 1 正規従業員への転換希望があり、実現できる見込みがある
2 正規従業員への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3 非正規従業員 (パート・アルバイト等) の就労を続けることを希望
4 非正規従業員 (パート・アルバイト等) をやめて子育てや家事に専念したい

図 14-3 図 14 で「6」以前は就労していたが、現在は就労していない または「6」これまで就労したことがない に○をつけた方にお伺いします。⇒ 該当しない方は、図 15 へ
就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

1 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	
2 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったらここに就労したい	
3 すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい	
希望する就労形態	
ア. 正規従業員	
イ. 非正規従業員 (パート・アルバイト等)	
→ 1 週当たり 日 1 日当たり 時間	

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてお伺いします

※ ここでは「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、図 15-1 に示した事業が含まれます。

図 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 1 利用している ⇒ 図 15-1 へ 2 利用していない ⇒ 図 15-1 へ

図 15-1 ～ 図 15-6 は、「1」利用している に○をつけた方にお伺いします。

図 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(⇒ 24・25 ページ「(参考資料) 秋田市の教育・保育等施設一覧」も参照してください)

- 1 幼稚園 (通常の教育時間の利用)
2 幼稚園の預かり保育 (通常の教育時間の前後に預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3 認可保育所 (秋田市の認可を受けた定員 20 人以上の施設)
4 認定こども園 (幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持つ施設)
5 認定こども園 (1号) の預かり保育 (通常の教育時間の前後に預かる事業のうち定期的な利用のみ)
6 小規模保育事業 (秋田市の認可を受けた定員が概ね 6 ～ 19 人のもので (対象児童年齢 0 ～ 2 歳))
7 事業所内保育事業 (秋田市の認可を受けた施設で、実施する法人の従業員の子どもと一緒に、地域の 0 から 2 歳までの保育を必要とする児童を預かる施設)
8 企業主導型保育事業 (実施する法人の従業員の子どもを預かる施設で、地域枠が設定されている場合は地域の保育を必要とする児童の利用が可能)
9 認可外保育施設・幼児園
10 ベビーシッター
11 ファミリー・サポート・センター (会員制の地域住民が子どもを預かる事業)
12 その他 ()

図 15-2 宛名のお子さんは、平日どここの地区で教育・保育の事業を利用していますか。平日最も「定期的に」利用している地区としてあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1 金足西	2 港北	3 下新城	4 飯島	5 土崎	6 土崎南
7 高清水	8 寺内	9 飯島南	10 外旭川	11 泉	12 八橋
13 旭北	14 川尻	15 築山	16 中通	17 保戸野	18 明徳
19 旭南	20 旭川	21 広面	22 下北手	23 太平	24 東
25 桜	26 日新	27 勝平	28 豊岩	29 浜田	30 下浜
31 柳所野	32 仁井田	33 四ツ小屋	34 牛島	35 上北手	36 大住
37 岩見三内	38 河辺	39 戸島	40 雄和		

問 15-3 問 15-1 で「1 幼稚園」から「8 企業主導型保育事業」までに○を付けた方にお伺いします。「定期的に」利用している理由をお書きください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「1 幼稚園」、「2 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方

1	自宅や職場の近くにある等立地が便利だから
2	幼児教育が重要だと思うから
3	伝統、園舎、教育方針等に特色があるから
4	就労しているが、送り迎え等対応してくれる人がいるから
5	第一希望の保育所や認定こども園に入れなかったから
6	親が卒園生だから
7	特に理由はない
8	その他 ()

(2) 「3 認可保育所」に○をつけた方

1	自宅や職場の近くにある等立地が便利だから
2	幼児教育が重要だと思うから
3	就労しているが、送り迎え等対応してくれる人がいるから
4	伝統、園舎、教育方針等に特色があるから
5	第一希望の保育所や認定こども園に入れなかったから
6	親が卒園生だから
7	特に理由はない
8	その他 ()

(3) 「4 認定こども園」、「6 認定こども園（1号）の預かり保育」に○をつけた方

1	自宅や職場の近くにある等立地が便利だから
2	幼児教育が重要だと思うから
3	保育所と幼稚園を併せ持つ施設だから
4	伝統、園舎、保育方針等に特色があるから
5	第一希望の保育所や幼稚園に入れなかったから
6	親が卒園生だから
7	特に理由はない
8	その他 ()

(4) 「6 小規模保育事業」、「7 事業所内保育事業」、「8 企業主導型保育事業」に○を付けた方

1	自宅や職場の近くにある等立地が便利だから
2	少人数で保育してくれるから
3	未就学だけで保育してくれるから
4	家庭での保育に雰囲気に近いから
5	第一希望の保育所や認定こども園に入れなかったから
6	企業からの福利厚生面（保育料の助成など）で厚遇が受けられるから
7	特に理由はない
8	その他 ()

問 15-4 問 15-1 で「3 認可保育所」から「4 認定こども園」までに○を付けた方にお伺いします。「3 認可保育所」、「4 認定こども園」に入園時のお子さんの年齢は何歳何ヶ月ですか。また、お子さんの保護者が希望する入園時のお子さんの年齢は何歳何ヶ月ですか。

	入園時の年齢
(1) 実際	□ 歳 □ □ ヶ月
(2) 希望	□ 歳 □ □ ヶ月

問 15-5 平日に定期的に利用している保育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください。

	1 週当たり	1 日当たり（利用時間）
(1) 現在	□ 日	□ □ 時間（□ □ 時～□ □ 時）
(2) 希望	□ 日	□ □ 時間（□ □ 時～□ □ 時）

問 15-6 平日に定期的に保育・保育の事業を利用されている理由についてお伺いします。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	子どもの教育や発達のため
2	子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3	子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4	子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5	子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがある
6	子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7	その他 ()

→ 問 16へ

問 15-7 問 15 で「2 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。

利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	（子どもの教育や発達のため、母親が父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2	子どもの祖父母や親戚の人がみている
3	近所の人や父母の友人・知人がみている
4	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8	子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9	その他 ()

問 16 すべての方にお伺いします。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の保育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業をお書きください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(→ 24・25 ページ「(参考資料) 秋田市内の保育・保育等施設一覧」も参照してください)

1	幼稚園（通常の保育時間を利用）
2	幼稚園の預かり保育（通常の保育時間の前後に預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3	認可保育所（秋田市の認可を受けた定員20人以上の施設）
4	認定こども園（幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持つ施設）
5	認定こども園（1号）の預かり保育（通常の保育時間の前後に預かる事業のうち定期的な利用のみ）
6	小規模保育事業（秋田市の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの（対象児童年齢0～2歳））
7	事業所内保育事業（秋田市の認可を受けた施設で、実施する法人の従業員のお子さんと一緒に、地域のお子から2歳までの保育を必要とする児童を預かる施設）

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてお伺いします

問17 宛名のお子さんは、現在、「子ども未来センター」や「子育て交流ひろば（各市民サービスセンター）」や「子ども広場（フォンテ秋田 6 階）」を利用していますか。また、利用している場合、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

1 利用している ☐ 回 もしくは 1 カ月当たり ☐ 回程度
2 利用していない

問18 「子ども未来センター」や「子育て交流ひろば（各市民サービスセンター）」や「子ども広場（フォンテ秋田 6 階）」について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと願いますか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

1 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 カ月当たり ☐ 回程度
2すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1 週当たり 更に ☐ 回 もしくは 1 カ月当たり 更に ☐ 回程度
3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 問17で「2 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。
その理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 施設・機能に魅力がない 2 自宅から遠い
3 自家用車で行きづらい 4 アクセス（交通、館内）が悪い
（有料駐車場、駐車スペース不足等）
5 利用可能日・時間が希望と合わない 6 施設があることを知らなかった
7 その他（ ）

⇒ 問20へ

問20 すべての方にお伺いします。
秋田市で実施している下記の事業についてお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
①秋田市版ネウボラ※1 （市保健所2階子ども健康課内）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②子ども健康課の健康教育事業 （園児学級、食生活学級、離乳食教室、幼児食教室、むし歯予防教室等）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③ファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④子ども未来センター発行の子育て情報誌	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤市ホームページ「子育て情報」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥市LINE 公式アカウント「秋田市子育てLINE」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦市公式インスタグラム「秋田市子育て情報」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧市立秋田総合病院の小児救急	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

8 企業主導型保育事業（実施する法人の従業員のお子さんを預かる施設で、地域枠が設定されている場合は地域の保育を必要とする児童の利用が可能）

9 認可外保育施設・幼児園

10 ベビーシッター

11 ファミリー・サポート・センター（会員制の地域住民が子どもを預かる事業）

12 その他（ ）

問16-1 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の保育・保育の事業として、「定例的に」利用したい（利用できる）地区をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 金沢西	2 港北	3 下新城	4 飯島	5 土崎	6 土崎南
7 高清水	8 寺内	9 飯島南	10 外旭川	11 泉	12 八橋
13 旭北	14 川尻	15 築山	16 中通	17 保戸野	18 明徳
19 旭南	20 旭川	21 広面	22 下北手	23 太平	24 東
25 桜	26 日新	27 勝平	28 豊岩	29 浜田	30 下浜
31 御所野	32 仁井田	33 四ツ小屋	34 牛島	35 上北手	36 大住
37 岩見三内	38 河辺	39 戸島	40 雄和		

問16-2 問16で「1 幼稚園」または「2 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12のいずれかに○をつけた方にお伺いします。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

あてはまる番号に○をつけてください。

1 はい 2 いいえ

⑨かぞくぶくばく事業※2

はい

いいえ

⑩読書の記録帳事業※3

はい

いいえ

⑪在宅子育てサポート事業※4

はい

いいえ

⑫図書館でのおはなし会・読み聞かせ

はい

いいえ

※1 秋田市版ネウボラ「ネウボラ」とはフィンランド語で、「相談する場」という意味。子ども健康課内に開設している相談窓口で、母子保護コーディネーター（助産師等）が中心となり、妊娠前から相談に応じている。

※2 かぞくぶくばく事業：家族ぐるみで読書を楽しめるよう、乳幼児から大人までを対象に、本を複数冊詰め合わせたバックを貸し出す図書館の事業。

※3 読書の記録帳事業：0歳から小学生までの子どもが借りた本の記録を残すことができる「読書の記録帳」を発行する図書館の事業。

※4 在宅子育てサポート事業：在宅で子育てしている保護者が孤立感を強めないよう、保育所や幼稚園等に通っていない就学前の児童を養育している世帯に対し、親子の多様なニーズに対応する複数のプランに利用できるクーポン券を交付する事業。

⑨かぞくぶくばく事業※2

はい

いいえ

⑩読書の記録帳事業※3

はい

いいえ

⑪在宅子育てサポート事業※4

はい

いいえ

⑫図書館でのおはなし会・読み聞かせ

はい

いいえ

※1 秋田市版ネウボラ「ネウボラ」とはフィンランド語で、「相談する場」という意味。子ども健康課内に開設している相談窓口で、母子保護コーディネーター（助産師等）が中心となり、妊娠前から相談に応じている。

※2 かぞくぶくばく事業：家族ぐるみで読書を楽しめるよう、乳幼児から大人までを対象に、本を複数冊詰め合わせたバックを貸し出す図書館の事業。

※3 読書の記録帳事業：0歳から小学生までの子どもが借りた本の記録を残すことができる「読書の記録帳」を発行する図書館の事業。

※4 在宅子育てサポート事業：在宅で子育てしている保護者が孤立感を強めないよう、保育所や幼稚園等に通っていない就学前の児童を養育している世帯に対し、親子の多様なニーズに対応する複数のプランに利用できるクーポン券を交付する事業。

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてお伺いします

宛名のお子さんについて、土曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

（※24・25ページ「（参考資料）秋田市内の教育・保育等施設一覧」も参照してください）

（1）土曜日

1 利用する必要はない

2 ほぼ毎週利用したい

3 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯

□□時から□□時まで

（2）日曜日・祝日

1 利用する必要はない

2 ほぼ毎週利用したい

3 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯

□□時から□□時まで

問21-1 問21の（1）で、「3 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 月に数回仕事が入るため

2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3 親族の介護や手伝いが必要なため

4 息抜きのため

5 その他（ ）

問21-2 問21の（2）で、「2 ほぼ毎週利用したい」「3 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 仕事のため

2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3 親族の介護や手伝いが必要なため

4 息抜きのため

5 その他（ ）

問21-2-1 問21の（2）で、「2 ほぼ毎週利用したい」「3 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

利用希望日に利用できていますか。いずれかに○をつけてください。

1 はい

2 いいえ

3 その他（ ）

問21-2-2 問21-2-1で、「2 いいえ」に○をつけた方にお伺いします。

利用希望日に利用できない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 申し込んだ施設の定員が満員なため

2 近くに実施施設がないため

3 お子さんが通う保育所等で未実施なため

4 その他（ ）

問22 「幼稚園」を利用されている方にお伺いします。⇒ 詳細は資料別添付、問23へ

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1 利用する必要はない

2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯

□□時から□□時まで

問22-1 問22で、「3 週に数日利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

毎日ではなく、たまに利用したい理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 週に数回仕事が入るため

2 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3 親等親族の介護や手伝いが必要なため

4 息抜きのため

5 その他（ ）

宛名のお子さんの病気の対応についてお伺いします

（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問23-1 問23-4は、平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると考えた保護者の方（問15で1に○をつけた方）にお伺いします。⇒ 詳細は資料別添付、問24へ

問23 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の利用できなかったことはありますか。

1 あった ⇒ 問23-1へ

2 なかった ⇒ 問24へ

問23-1 宛名のお子さんが病気やケガで通常利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に何回利用できなかったのか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字で記入ください（半日程度の場合は1日とカウントしてください）。

1年間の対応方法		日数
ア 母親が休んだ	□□日	⇒ 問23-2へ
イ 父親が休んだ	□□日	
ウ （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	□□日	
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□日	
オ 病児・病後児の保育を利用した （保育所（園）で実施しているサービスを含む）	□□日	

⑨かぞくぶくばく事業※2

はい

いいえ

⑩読書の記録帳事業※3

はい

いいえ

⑪在宅子育てサポート事業※4

はい

いいえ

⑫図書館でのおはなし会・読み聞かせ

はい

いいえ

※1 秋田市版ネウボラ「ネウボラ」とはフィンランド語で、「相談する場」という意味。子ども健康課内に開設している相談窓口で、母子保護コーディネーター（助産師等）が中心となり、妊娠前から相談に応じている。

※2 かぞくぶくばく事業：家族ぐるみで読書を楽しめるよう、乳幼児から大人までを対象に、本を複数冊詰め合わせたバックを貸し出す図書館の事業。

※3 読書の記録帳事業：0歳から小学生までの子どもが借りた本の記録を残すことができる「読書の記録帳」を発行する図書館の事業。

※4 在宅子育てサポート事業：在宅で子育てしている保護者が孤立感を強めないよう、保育所や幼稚園等に通っていない就学前の児童を養育している世帯に対し、親子の多様なニーズに対応する複数のプランに利用できるクーポン券を交付する事業。

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてお伺いします

宛名のお子さんについて、土曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

（※24・25ページ「（参考資料）秋田市内の教育・保育等施設一覧」も参照してください）

（1）土曜日

1 利用する必要はない

2 ほぼ毎週利用したい

3 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯

□□時から□□時まで

（2）日曜日・祝日

1 利用する必要はない

2 ほぼ毎週利用したい

3 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯

□□時から□□時まで

問21-1 問21の（1）で、「3 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 月に数回仕事が入るため

2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3 親族の介護や手伝いが必要なため

4 息抜きのため

5 その他（ ）

問21-2 問21の（2）で、「2 ほぼ毎週利用したい」「3 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 仕事のため

2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3 親族の介護や手伝いが必要なため

4 息抜きのため

5 その他（ ）

問21-2-1 問21の（2）で、「2 ほぼ毎週利用したい」「3 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

利用希望日に利用できていますか。いずれかに○をつけてください。

1 はい

2 いいえ

3 その他（ ）

問21-2-2 問21-2-1で、「2 いいえ」に○をつけた方にお伺いします。

利用希望日に利用できない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 申し込んだ施設の定員が満員なため

2 近くに実施施設がないため

3 お子さんが通う保育所等で未実施なため

4 その他（ ）

問22 「幼稚園」を利用されている方にお伺いします。⇒ 詳細は資料別添付、問23へ

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1 利用する必要はない

2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯

□□時から□□時まで

問22-1 問22で、「3 週に数日利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

毎日ではなく、たまに利用したい理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 週に数回仕事が入るため

2 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3 親等親族の介護や手伝いが必要なため

4 息抜きのため

5 その他（ ）

宛名のお子さんの病気の対応についてお伺いします

（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問23-1 問23-4は、平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると考えた保護者の方（問15で1に○をつけた方）にお伺いします。⇒ 詳細は資料別添付、問24へ

問23 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の利用できなかったことはありますか。

1 あった ⇒ 問23-1へ

2 なかった ⇒ 問24へ

問23-1 宛名のお子さんが病気やケガで通常利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に何回利用できなかったのか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字で記入ください（半日程度の場合は1日とカウントしてください）。

1年間の対応方法		日数
ア 母親が休んだ	□□日	⇒ 問23-2へ
イ 父親が休んだ	□□日	
ウ （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	□□日	
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□日	
オ 病児・病後児の保育を利用した （保育所（園）で実施しているサービスを含む）	□□日	

192

12

11

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてお伺いします

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病児のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

1 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	☐ 日
2 幼稚園の預かり保育 （通常の教育時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	☐ 日
3 ファミリー・サポート・センター （会員制の地域住民が子どもを預かる事業）	☐ 日
4 ベビーシッター	☐ 日
5 その他（ ）	☐ 日
6 利用していない	☐ 日

問 24-1 問 24 で「6 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。
現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 特に利用する必要がない
2 利用したい事業が地域にない
3 質に不安がある
4 利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくない
5 利用料がかかる・高い
6 利用料がわからない
7 自分が利用できるのかどうかわからない
8 利用方法（手続き等）がわからない
9 その他（ ）

問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください）。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1 利用したい	計 ☐ 日
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	☐ 日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	☐ 日
ウ 不定期の就労	☐ 日
エ その他（ ）	☐ 日
2 利用する必要はない	☐ 日

カ ベビーシッターを利用した	☐ 日
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	☐ 日
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	☐ 日
ケ その他（ ）	☐ 日

問 23-2 問 23-1 で「ア」「イ」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1 利用したい	☐ 日	⇒ 問 23-3 へ
2 利用したいとは思わない	☐ 日	⇒ 問 23-4 へ

問 23-3 問 23-2 で「1 利用したい」に○をつけた方にお伺いします。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4 その他（ ）

⇒ 問 24 へ

問 23-4 問 23-2 で「2 利用したいとは思わない」に○をつけた方にお伺いします。
そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2 質に不安がある
3 利便性（立地や利用可能時間日数など）がよいくない
4 利用料がかかる・高い
5 利用料がわからない
6 利用方法（手続き等）がわからない
7 親が仕事を休んで対応する
8 その他（ ）

⇒ 問 24 へ

問 25-1 問 25 で「1 利用したい」に○をつけた方にお伺いします。
問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2 小規模施設で子どもを保育する事業（例：秋田市子ども広場（フォントテ秋田6階）等）
3 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4 その他（ ）

問 26 この1年間に、保護者の同意（照会後、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、宛名のお子さんを預けがけで家族以外に預けてもらわなければならないことはありませんか（預け先が重ならない場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対応方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

1年間の対応方法		日数
1 あった	ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	☐ 泊 ☐ 泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	☐ 泊 ☐ 泊
	ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	☐ 泊 ☐ 泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	☐ 泊 ☐ 泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	☐ 泊 ☐ 泊
	カ その他（ ）	☐ 泊 ☐ 泊
2 なかった		

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてお伺いします

問 27～問 30 は、宛名のお子さんが5歳以上の方にお伺いします ⇒ 5歳未満の方は、問 31へ

問 27 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する通当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

1 自宅	週 ☐ 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週 ☐ 日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 ☐ 日くらい
4 放課後子ども教室 ※1 （児童館、児童センター、児童室）	週 ☐ 日くらい
5 放課後児童クラブ ※2〔学童保育〕	週 ☐ 日くらい → 下校時から ☐ 時まで
6 ファミリー・サポート・センター	週 ☐ 日くらい

7 その他（図書館、公園など） 週 ☐ 日くらい
※1「放課後子ども教室」
地域の方々の協力を得て、放課後や土曜日に児童館・児童センター・児童室で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2「放課後児童クラブ」
地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により居間家庭にいない小学生を対象に、支援員の下、生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 28 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの通当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字）。

1 自宅	週 ☐ 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週 ☐ 日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 ☐ 日くらい
4 放課後子ども教室 （児童館、児童センター、児童室）	週 ☐ 日くらい
5 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 ☐ 日くらい → 下校時から ☐ 時まで
6 ファミリー・サポート・センター	週 ☐ 日くらい
7 その他（図書館、公園など）	週 ☐ 日くらい

問 29 問 27 または問 28 で「6 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にお伺いします。
⇒ 該当しない方は、問 30へ

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、口内にご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	☐ 時から ☐ 時まで
3 利用する必要はない	

（2）日曜日・祝日

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	☐ 時から ☐ 時まで
3 利用する必要はない	

問 30 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休学期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、ご記入ください（数字は一律に一字）。

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	☐ 時から ☐ 時まで
3 利用する必要はない	

仕事と子育ての両立支援についてお伺いします

問 31 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたが、母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親 (いずれかに○)	(2) 父親 (いずれかに○)
1 働いていなかった	1 働いていなかった
2 取得した (取得中である)	2 取得した (取得中である)
3 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んで記入ください) (いくつでも)	3 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んで記入ください) (いくつでも)

- 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2 仕事が終わらなかった
- 3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
- 4 仕事にやる気が減ってしまった
- 5 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7 保育園 (園) などに預けることができた
- 8 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10 子育てや家事に専念するため退職した
- 11 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めなかった)
- 12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13 育児休業を取得できることを知らなかった
- 14 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できなかった
- 15 その他 ()

問 31 で「2 取得した (取得中である)」と回答した方にお伺いします。 ⇒ 該当しおき方、問 33へ

問 31-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたが、それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問31-3へ	1 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問31-2へ
2 現在も育児休業中である ⇒ 問32へ	2 現在も育児休業中である ⇒ 問31-2へ
3 育児休業中に退職した ⇒ 問33へ	3 育児休業中に退職した ⇒ 問33へ

問 31 で、「2 取得した (取得中である)」と回答したお父さんにお伺いします。 ⇒ 該当しおき方、問 33へ

問 31-2 育児休業取得開始時期は、お子さんが何歳何ヶ月のときですか。また、どれくらい期間取得しました (します) か。口内に数字をご記入ください。

父親	
取得開始時期	取得期間
〇歳 〇ヶ月 〇日	〇年 〇ヶ月 〇日

問 31-3 から問 31-5 は、問 31-1 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

問 31-3 育児休業からは、「実親」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。口内に数字をご記入ください (数字は一律に一桁)。

(1) 母親	(2) 父親
実親の復帰時期	実親の復帰時期
〇歳 〇ヶ月	〇歳 〇ヶ月
希望の復帰時期	希望の復帰時期
〇歳 〇ヶ月	〇歳 〇ヶ月

問 31-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休職をできる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。口内に数字をご記入ください (数字は一律に一桁)。

(1) 母親	(2) 父親
〇歳 〇ヶ月	〇歳 〇ヶ月

問 31-5 問 31-3 で実親の取得期間と希望が異なる方にお伺いします。 ⇒ 該当しおき方、問 32へ

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親	②父親
1 希望する保育所等に入るため	1 希望する保育所等に入るため
2 配偶者や家族の希望があったため	2 配偶者や家族の希望があったため
3 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5 その他 ()	5 その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親	②父親
1 希望する保育所等に入らなかったため	1 希望する保育所等に入らなかったため
2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3 配偶者や家族の希望があったため	3 配偶者や家族の希望があったため
4 職場の受け入れ態勢が整っていないかったため	4 職場の受け入れ態勢が整っていないかったため
5 子どもをみてくれる人がいなかったため	5 子どもをみてくれる人がいなかったため
6 その他 ()	6 その他 ()

問 31-6 宛名のお子さんのために、育児短時間勤務を取得しましたが、母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親 (いずれかに○)	(2) 父親 (いずれかに○)
1 働いていなかった	1 働いていなかった
2 取得した (取得中である)	2 取得した (取得中である)
3 取得していない	3 取得していない

問 35 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	急な残業が入ってしまう
2	自分が病気・けがをしたときや、子どもが急に病気になったとき代わりに面倒をみる人がいない
3	家族の理解が得られない
4	職場の理解が得られない
5	子どものほかに面倒をみなければならぬ人がいる
6	子どもの面倒をみてくれる保育所などが見つからない
7	子どもと接する時間が少ない
8	配偶者の家事・育児のサポートが少ない
9	特になし
10	その他 ()

問 36 仕事と子育てを両立させ、ワーク・ライフ・バランスを推進するために必要な施策は何だと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	両立支援に取り組む企業の評価を高めること
2	イクボス※宣言など経営者や上司の意識改革を図ること
3	育児休業等を取りやすくするよう企業に働きかけること
4	時間短縮勤務や在宅勤務など多様な働き方ができる企業を増やすこと
5	両立支援に関する制度の周知、セミナー等の開催をすること
6	代替要員の確保など、企業等に対する支援や助成をすること
7	事業所内保育や延長保育・休日保育など、両立を支援する保育サービスや環境を整備すること
8	その他 ()

※イクボス：部下がいまいるときと子育ての両立をとりながら働くことができるよう、職場の風土づくりに努めるとともに、自らも仕事を充実させながら、生活を大切にし、楽しむことができる上司のことをいいます。

問 37 7 歳のお子さんの父親の方について、普段、どのくらい家事や育児をしていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1	よくやっている	2	ある程度やっている
3	ほとんどしていない	4	やりたいと思うが、時間が持てていない
5	全くしていない		
6	その他 ()		

問 38 父親の家事や育児等を促進するためには何が必要だと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	家事や育児等に対する男性自身の意識改革
2	家族間の活発なコミュニケーションを図る
3	企業における労働条件や働き方の改善
4	職場における上司や周囲の理解を進める
5	男性の家事・育児等の啓発や情報提供などを行う
6	男性が興味を持つ子育てイベント等の普及
7	仲間やネットワーク作りを進める
8	男性の家事・育児時間を増やす取組や実践講座等を開催すること

問 32 問 31-1「2 現在も育児休業中である」と回答し、お子さんが1歳未満の方にお願いします。
親名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業（保育所等への入所など）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復職しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親		(2) 父親	
1	1歳になるまで育児休業を取得したい	1	1歳になるまで育児休業を取得したい
2	1歳になる前に復職したい	2	1歳になる前に復職したい

すべての方にお伺いします。
問 33 一週間平均の1日の生活時間の配分について教えてください。それぞれの項目について、口内に数字でご記入ください（数字は一種に一字）。

(1) 母親				(2) 父親			
仕事	□□時間	□□分	仕事	□□時間	□□分	仕事	□□分
家事	□□時間	□□分	家事	□□時間	□□分	家事	□□分
育児	□□時間	□□分	育児	□□時間	□□分	育児	□□分
睡眠	□□時間	□□分	睡眠	□□時間	□□分	睡眠	□□分
その他（余暇等）	□□時間	□□分	その他（余暇等）	□□時間	□□分	その他（余暇等）	□□分

問 34 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をご存じですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1	名前も内容も知っている	⇒	問 34-1へ
2	名前を聞いたことはあるが、内容までは知らない	⇒	問 35へ
3	名前も内容も知らない		

問 34-1 問 34 で「1 名前も内容も知っている」に○をつけた方にお伺いします。
日頃、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、努力されていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1	かなり努力している
2	まあまあ努力している
3	どちらともいえない
4	あまり努力していない
5	ほとんど努力していない

- 9 特に必要はない
10 その他 ()

子育てに関する不安感や負担感についてお伺いします

問 39 子育てに関しての不安感や負担感などについてどのように感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 非常に感じる 2 ときどき感じる 3 あまり感じない
4 全く感じない 5 その他 ()

問 40 子育てに関して、日常悩んでいることや、特に不安に思っていることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 病気や発育・発達に関すること 2 食事や栄養に関すること
3 育児の方法がよくわからないこと 4 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5 子どもと接する時間を十分にとれないこと 6 子どもが言うことを聞かないこと
7 話し相手や相談相手がいないこと 8 自分の自由な時間が持てないこと
9 子どもの教育に関すること 10 子どもの友達づきあいに困ること
11 子どもが幼稚園や保育所等に行きたがらないこと 12 家族の協力が少ないこと
13 幼稚園や保育所等に、希望した時期に入れないこと 14 子どもを叱りすぎている気がする
15 子育てに関して家族と意見が合わないこと
16 自分が子どもを虐待しているのではないかと
17 家族が子どもを虐待しているのではないかと
18 住居が狭いこと 19 子育てで出費がかさむこと
20 子育てにかかりきりになり、家事が滞ること 21 その他 ()

問 41 子育てに関する悩みや不安はどのように解決していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 家族・親族に相談する
2 友人・知人に相談する
3 保育所・幼稚園、学校等に相談する
4 専門の相談機関を調べて相談する
5 ネットで調べて解決方法を探す
6 本や雑誌を参考に
7 相談したりせず一人で解決する
8 その他 ()

子育ての環境や子育て支援に対する満足度についてお伺いします

問 42 病名のお子さんを妊娠、出産したときの以下の項目についての満足度について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
(1) 病院や産院の設備	1	2	3	4
(2) 病院や産院のスタッフの対応	1	2	3	4
(3) 妊娠、出産、育児についての不安への対応	1	2	3	4
(4) 夫の援助などの家庭環境	1	2	3	4
(5) 職場の理解や対応	1	2	3	4
(6) 妊娠中の受動喫煙への配慮	1	2	3	4

問 43 病名のお子さんは、下巻の乳幼児健康診査を受診しましたか。また、受診した場合は、各健診についての満足度満足しましたか、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	受診の有無			満足度		
	受診した	受診しなかった	受診年齢に達していない	満足	ほぼ満足	不満
(1) 乳児健診（1歳までに受診する健診）	1	2	3	1	2	3
(2) 1歳6か月児健診	1	2	3	1	2	3
(3) 2歳児歯科健診	1	2	3	1	2	3
(4) 3歳児健診	1	2	3	1	2	3

問 44 現在利用している「定期的な教育・保育事業」を「1 利用している」に○をつけた方にお伺いします。

問 45 で、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を「1 利用している」に○をつけた方にお伺いします。

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
(1) 施設・環境（園舎・園庭、玩具など）	1	2	3	4
(2) 職員等の配置状況（人員体制）	1	2	3	4
(3) 職員（先生）の指導力	1	2	3	4
(4) 子どもへの接し方・日常の遊び	1	2	3	4
(5) 行事（保育参観や運動会など）	1	2	3	4
(6) 食事（離乳食・おやつ含む）	1	2	3	4
(7) 病気やけがのときの対応	1	2	3	4
(8) 保護者への情報伝達	1	2	3	4
(9) 臨みごとなどへの相談対応	1	2	3	4
(10) 保護者の要望・意見に対する対応	1	2	3	4
(11) 安全・衛生対策	1	2	3	4
(12) 利用料金の設定	1	2	3	4

問45 子どもが育つ環境への満足度について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
(1) 地域の遊び場（公園、公共施設等）	1	2	3	4
(2) 地域の公園・歩道のバリアフリー化	1	2	3	4
(3) 地域の不審者等への対策	1	2	3	4
(4) 地域の交通安全への対策	1	2	3	4
(5) 秋田市内の子育てにやさしい施設の普及（授乳の場、おむつ替えの場、キッズルームがある等）	1	2	3	4

問46 秋田市の子育ての環境や子育て支援への満足度について、あてはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が高い ← 1 2 3 4 5 → 満足度が低い

問47 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

調 査 票
〔 小 学 校 児 童 〕

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてお伺いします

問1 お住まいの地区 (小学校区) があてはまる番号1つに○をつけてください。

1 金足西	2 港北	3 下新城	4 飯島	5 土崎	6 土崎南
7 高清水	8 寺内	9 飯島南	10 外旭川	11 泉	12 八橋
13 旭北	14 川尻	15 葉山	16 中通	17 保戸野	18 明徳
19 旭南	20 旭川	21 広面	22 下北手	23 太平	24 東
25 桜	26 日新	27 勝平	28 豊岩	29 浜田	30 下浜
31 榎所野	32 仁井田	33 四ツ小屋	34 牛島	35 上北手	36 大住
37 岩見三内	38 河辺	39 戸島	40 雄和		

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字で○を記入してください。数字は一律に一字。)

平成 年 月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字で○を記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の方の生年月月 (宛名のお子さんを含む) 平成/令和 年 月 生まれ

問4 (1) この調査票にご回答いただく方は、宛名のお子さんからみただけでいいですか。回答者が母親・父親の場合、(2)の配偶者の有無についてもお答えください。あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。

(1) 回答者 1 母親 2 父親 3 その他 ()
(2) 配偶者の有無 1 配偶者がいる (問5へ) 2 配偶者がいない (問8へ)

問5 あなたの方 (ご夫婦) の理想として全部で何人の子どもが欲しいと思いますか (願いましたか)。

☐ 人 または ☐ 人以上

問6 実際にもつものの子どもの子どもは全部で何人ですか。

☐ 人 または ☐ 人以上

問7 問6で問5の数より少ない方にお伺いします。

実際にもつものの子どもの人数が、理想とする子どもの人数より少ないのはどうしてですか。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1 仕事や趣味を優先したい | 2 仕事と子育ての両立が難しい |
| 3 職場の理解が得られない | 4 結婚するのが遅かった |
| 5 配偶者が子どもを欲しがらない | 6 妊娠・出産が精神的・肉体的に大変 |
| 7 年齢的に妊娠・出産が難しい | 8 健康上の理由で妊娠・出産が難しい |
| 9 不妊治療にお金がかかる | 10 出産費用等の経済的負担が大きい |
| 11 子どもへの医療費等の経済的負担が大きい | 12 育児休業制度等の保障が不十分 |
| 13 子どもに対する手当等による経済的援助が不十分 | 14 子どもの預け先がない |
| 15 保育所や幼稚園等にかかる経済的負担が大きい | 16 義務教育にかかる経済的な負担が大きい |
| 17 高等学校教育にかかる経済的な負担が大きい | 18 大学教育にかかる経済的な負担が大きい |
| 19 育児が精神的・肉体的に大変 | |
| 20 子育てに対する配偶者の協力が少なく、負担が大きい | |
| 21 育児の社会的支援体制が不十分 | 22 居住する住宅が狭い |
| 23 その他 () | |

問8 宛名のお子さんの子育て (教育を含む) を主にしているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

1 主に両親 2 主に母親 3 主に父親 4 主に祖父母 5 その他 ()

宛名のお子さんの保護者の就業状況についてお伺いします

問9～問10までの共通注意事項

「正規従業員」：1週5日程度・1日8時間程度の就業
「非正規従業員 (パート・アルバイト等)」：「正規従業員」以外の就業としてお答えください。

問9～問9-3は、宛名のお子さんの母親の方の就業状況について、お伺いします。

父子家庭等の場合は記入不要です ⇒ 問10へ
問9 現在の就業状況 (自営業、家事従事者含む) について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ 問9-1へ
2 正規従業員であるが、産休・育休・介護休業中である	
3 非正規従業員 (パート・アルバイト等) であり、産休・育休・介護休業中ではない	
4 非正規従業員 (パート・アルバイト等) であるが、産休・育休・介護休業中である	
5 以前は就業していたが、現在は就業していない	⇒ 問9-3へ
6 これまで就業したことがない	

問9-1 問9で「1～4」(就業している)に○をつけた方にお伺いします。

1週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間 (就業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」について、口内に数字でご記入ください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについて、ご回答ください。(産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください)

1週当たりの就業日数 日	家を出る時刻 時
1日当たりの就業時間 時間	帰宅時刻 時

問9-2 問9で「3または4」非正規従業員 (パート・アルバイト等で就業している)に○をつけた方にお伺いします。

⇒ 該当しない方は、問10へ

正規従業員への転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください

1 正規従業員への転換希望があり、実現できる見込みがある
2 正規従業員への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3 非正規従業員 (パート・アルバイト等) の就業を続けることを希望
4 非正規従業員 (パート・アルバイト等) をやめて子育てや家事に専念したい

問9-3 問9で「5」以前は就業していたが、現在は就業していないまたは「6」これまでに就業したことない」に○をつけた方にお伺いします。⇒ 該当しない方は、問10へ
就業したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてお伺いします

問 11 は、宛名のお子さんが、小学校低学年（1～3年生）である方にお伺いします。
⇒ 小学校高学年の方（4～6年生）は、問 12へ
問 11 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のときは、放課後（平日の小学校終了後）の時間などのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字で記入ください。

1	自宅	週	☐	日	く	ら	い
2	祖父母宅や友人・知人宅	週	☐	日	く	ら	い
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	☐	日	く	ら	い
4	児童館、児童センター、児童室 （放課後子ども教室）※1	週	☐	日	く	ら	い
5	放課後児童クラブ ※2（学童保育）	週	☐	日	く	ら	い
					→	下校時から	☐ ☐ 時まで
6	ファミリー・サポーター・センター	週	☐	日	く	ら	い
7	その他（図書館、公園など）	週	☐	日	く	ら	い

※1「放課後子ども教室」
地域の方々の協力を得て、放課後や土曜日に児童館・児童センター・児童室で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2「放課後児童クラブ」
地域によって、学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により居間家庭にいない小学生を対象に、支援員の下、生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

すべての方にお伺いします。

問 12 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）では（現在低学年の方は高学年になった時）、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字で記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字で記入ください。

1	自宅	週	☐	日	く	ら	い
2	祖父母宅や友人・知人宅	週	☐	日	く	ら	い
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	☐	日	く	ら	い
4	児童館、児童センター、児童室 （放課後子ども教室）	週	☐	日	く	ら	い
5	放課後児童クラブ（学童保育）	週	☐	日	く	ら	い
					→	下校時から	☐ ☐ 時まで
6	ファミリー・サポーター・センター	週	☐	日	く	ら	い
7	その他（図書館、公園など）	週	☐	日	く	ら	い

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2 1年より先、一番下の子でもが ☐ 歳になったらどこに就労したい
- 3 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→ 1 週当たり ☐ 日 ☐ 1 日当たり ☐ 時間

ア. 正規従業員
イ. 非正規従業員（パート・アルバイト等）

問 10 ～ 問 10-3 は、宛名のお子さんの空欄の方の就労状況について、お伺いします。

問 10 現在の就労状況（自営業、専業主婦等を含む）について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1 正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ 問 10-1へ
2 正規従業員であるが、産休・育休・介護休業中である	
3 非正規従業員（パート・アルバイト等）であり、産休・育休・介護休業中ではない	
4 非正規従業員（パート・アルバイト等）であるが、産休・育休・介護休業中である	
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ 問 10-3へ
6 これまで就労したことがない	

問 10-1 問 10 で「1～4」（就労している）に○をつけた方にお伺いします。

1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」、「暮らす時間帯」、「帰宅時刻」について、口内に数字で記入ください。一定でない場合は、もっとも多い日数にのっとり、ご回答ください。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください）

1 週当たりの就労日数 ☐ 日	家を出る時刻 ☐ 時
1 日当たりの就労時間 ☐ 時間	帰宅時刻 ☐ 時

問 10-2 問 10 で「3 または 4」非正規従業員（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にお伺いします。

⇒ 該当しない方は、問 11へ

正規従業員への転換希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください

- 1 正規従業員への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 正規従業員への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 非正規従業員（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望
- 4 非正規従業員（パート・アルバイト等）をやめて子育てや家事に専念したい

問 10-3 問 10 で「5」以前は就労していたが、現在は就労していない または「6」これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。⇒ 該当しない方は、問 11へ
就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、就労する口内には数字をご記入ください。

1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	⇒ 1 週当たり ☐ 日 ☐ 1 日当たり ☐ 時間
2 1年より先、一番下の子でもが ☐ 歳になったらどこに就労したい	
3 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	
→ 1 週当たり ☐ 日 ☐ 1 日当たり ☐ 時間	

ア. 正規従業員
イ. 非正規従業員（パート・アルバイト等）

IV. 調査票 [小学校児童]

問13 問11もしくは問12で「5.放課後児童クラブ【学童保育】」に○をつけた方にお伺いします。

⇒ 策通しない方は、問14へ

実名のお子さんについて、小学校入学の前年（5歳～6歳のとき）まで保育所・認定こども園（2号）に入所（入園）していましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 入所 (入園) していた
- 2 入所 (入園) していなかった
- 3 入所 (入園) を申し込んだが、入れなかった

※幼稚園・認定こども園（1号）に入園していた場合は、「2」を選んでください。

同 14～同 15は、現在、放課後児童クラブを利用している方にお伺いします。

問14 現在利用している故園後児童クラブの利用料金についてどう思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 適当な金額である
- 2 高いと思う
- 3 安いと思う

問15 病名のお子さんについて、土曜日より日曜日・夜日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)
(2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、口内にご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

- 1 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- 2 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- 3 利用する必要はない
- ↑
- 利用したい時間帯
- 時から□□時まで

(2) 日曜日・祝日

- ☐ ☐ 時まで
☐ ☐ 時から
 利用したい時間帯
- 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- 利用する必要がある

問題 19

問 16～問 18 は、現在、放課後児童クラブを利用していない方にお伺いします。

問 16 放課後児童クラブを利用していない理由について、あてはまると思われる番号 1 つに○をつけてください。

- 1 保護者やその他の家族、知人など、放課後に子どもをみることができている人
 - 2 児童館を利用している
 - 3 習い事に通っており、利用する必要がない
 - 4 ファミリー・サポート・センターを利用している
 - 5 利用を希望しているが、定員等の関係から、希望する放課後児童クラブを利用できない
 - 6 利用を希望しているが、利用料金が高いため利用できない
- ※適当だと思う利用料金： 月額 _____ 円程度
- 7 その他 (_____)

問17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・夜日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)
(2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、口内にご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

- 1 低学年（1～3年生）の間は利用したい ☐ 利用したい期間帯 ☐ 高学年（4～6年生）になっても利用したい ☐ 高学年から ☐ 高学年まで ☐

(2) 日曜日・祝日

- 1 低学年（1～3年生）の間は利用したい ☐ 利用したい時間帯 ☐ 時まで
- 2 高学年（4～6年生）になっても利用したい ☐ 時から ☐ 時まで
- 3 利用する必要はない ☐

問18 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休校期間中の就学児童手当の利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい期間等を、口内に記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1 低学年

- 2 高学年（4～6年生）になっても利用したい ☐ 常から ☐ 常まで
- 3 利用する必要はない ☐ 常から ☐ 常まで

すべての方にお伺いします。

図19 放線状星雲クラブの利用料金や運営など事業全般に関して、意見や改善してほしい点などありましたら、自由にご記入ください。

[illegible]

仕事と子育ての両立支援についてお伺いします

問 20 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親 (いずれかに○)	(2) 父親 (いずれかに○)
1 働いていなかった	1 働いていなかった
2 取得した (取得中である)	2 取得した (取得中である)
3 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)	3 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)

- 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2 仕事に忙しかった
- 3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
- 4 仕事に回るのが遅いそうだった
- 5 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7 保育所 (園) などに預けることができた
- 8 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10 子育てや家事に専念するため退職した
- 11 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めなかった)
- 12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13 育児休業を取得できることを知らなかった
- 14 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できなかった
- 15 その他 ()

問 20 で「2 取得した (取得中である)」と回答した方にお伺いします。⇒ 詳細しめしめ方、問 21 へ

問 20-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問20-3へ	1 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問20-2へ
2 現在も育児休業中である ⇒ 問21へ	2 現在も育児休業中である ⇒ 問20-2へ
3 育児休業中に離職した ⇒ 問21へ	3 育児休業中に離職した ⇒ 問21へ

問 20 で「2 取得した (取得中である)」と回答したお父さんにお伺いします。⇒ 詳細しめしめ方、問 21 へ

問 20-2 育児休業取得開始時期は、お子さんが何歳何ヶ月のときですか。また、どれくらいの期間取得しました (します) か。口内に数字をご記入ください。

父親	
取得開始時期	取得期間
〇歳 〇〇月 〇〇日	〇年 〇〇月 〇〇日

問 20-3 から問 20-5 は、問 20-1 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

問 20-3 育児休業からは、「復帰」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取り戻したかったですか。口内に数字をご記入ください。

(1) 母親	(2) 父親
実際の復帰時期 〇歳 〇〇月 〇〇日	実際の復帰時期 〇歳 〇〇月 〇〇日
希望の復帰時期 〇歳 〇〇月 〇〇日	希望の復帰時期 〇歳 〇〇月 〇〇日

問 20-3 で実際の取得期間と希望が異なる方にお伺いします。⇒ 詳細しめしめ方、問 20-4 へ

問 20-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親	②父親
1 希望する保育所等に入るため	1 希望する保育所等に入るため
2 配偶者や家族の希望があったため	2 配偶者や家族の希望があったため
3 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5 その他 ()	5 その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親	②父親
1 希望する保育所等に入らなかったため	1 希望する保育所等に入らなかったため
2 自分や子どもなどの体調が悪くなったため	2 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3 配偶者や家族の希望があったため	3 配偶者や家族の希望があったため
4 職場の受け入れ態勢が悪くなったため	4 職場の受け入れ態勢が悪くなったため
5 子どもをみてくれる人がいなかったため	5 子どもをみてくれる人がいなかったため
6 その他 ()	6 その他 ()

問 20-5 宛名のお子さんのために、育児休業期間満了を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親 (いずれかに○)	(2) 父親 (いずれかに○)
1 働いていなかった	1 働いていなかった
2 取得した (取得中である)	2 取得した (取得中である)
3 取得していない	3 取得していない

すべての方にお願いします。
問21 一週間平均の1日の生活時間の配分について教えてください。それぞれの項目について、口内に数字でご記入ください（数字は一律に一桁）。

(1) 母親		(2) 父親	
仕事	□□時間 □□分	仕事	□□時間 □□分
家事	□□時間 □□分	家事	□□時間 □□分
育児	□□時間 □□分	育児	□□時間 □□分
睡眠	□□時間 □□分	睡眠	□□時間 □□分
その他（余暇等）	□□時間 □□分	その他（余暇等）	□□時間 □□分

問22 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をどの程度ご存じですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 名前も内容も知っている ⇒ 問23-1へ

2 名前を聞いたことはあるが、内容までは知らない ⇒ 問24へ

3 名前も内容も知らない

問22-1 問22で「1 名前も内容も知っている」に○をつけた方にお伺いします。
日頃、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、努力されていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 かなり努力している

2 まあまあ努力している

3 どちらともいえない

4 あまり努力していない

5 ほとんど努力していない

問23 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることとはなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 急な残業が入ってしまう

2 自分が病気・けがをしたときや、子どもが急に病気になることと交代わりに面倒をみる人がいない

3 家族の理解が得られない

4 職場の理解が得られない

5 子どものほかに面倒をみなければならぬ人がいる

6 子どもの面倒をみしてくれる保育園などが見つからない

7 子どもと接する時間が少ない

8 配偶者の家事・育児のサポートが少ない

9 特にない

10 その他 ()

問24 仕事と子育てを両立させ、ワーク・ライフ・バランスを推進するために必要な施策は何だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 両立支援に取り組む企業の評価を高めること

2 イクボス※運営など経営者や上司の意識改革を図ること

3 育児休業等を取りやすくするよう企業に働きかけること

4 時間短縮勤務や在宅勤務など多様な働き方ができる企業を増やすこと

5 両立支援に関する制度の周知、セミナー等の開催をすること

6 代替要員の確保など、企業等に対する支援や助成をすること

7 事業所内保育や延長保育・休日保育など、両立を支援する保育サービスや環境を整備すること

8 その他 ()

※イクボス：部下がいきいきと子育ての両立をとりながら働くことができるよう、職場の風土づくりに努めるとともに、自らも仕事を充実させながら、生活を大切にし、楽しむことができる上司のことをいいます。

問25 から問28 は、父親の家事や育児等に関してお伺いします。

母子家庭等の場合は回答不要です ⇒ 問27へ
問25 病名のお子さんの父親の方について、普段、どのくらい家事や育児をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 よくやっている

2 ある程度やっている

3 ほとんどしていない

4 やりたいと思うが、時間が持てていない

5 全くしていない

6 その他 ()

問26 父親の家事や育児等を促進するためには何が重要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 家事や育児等に対する男性自身の意識改革

2 家族間の活発なコミュニケーションを図る

3 企業における労働条件や働き方の改善

4 職場における上司や周囲の理解を進める

5 男性の家事・育児等の啓発や情報提供などを行う

6 男性が興味を持つ子育てイベント等の普及

7 仲間やネットワーク作りを進める

8 男性の家事・育児時間を増やす取組や実証講座等を開催すること

9 特に必要はない

10 その他 ()

子育てに関する不安感や負担感についてお伺いします

問27 子育てに関しての不安感や負担感などについてどのように感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 非常に感じる

2 ときどき感じる

3 あまり感じない

4 全く感じない

5 その他 ()

問 28 子育てに関して、日常悩んでいることや、特に不安に思っていることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	病気や発育・発達に関すること
2	食事や栄養に関すること
3	子どもとの接し方に自信が持てないこと
4	子どもと接する時間を十分にとれないこと
5	話し相手や相談相手がいないこと
6	自分の自由な時間が持てないこと
7	子どもの教育に関すること
8	子どもの友達づきあいに関すること
9	不登校等に関すること
10	家族の協力が少ないこと
11	子育てに関して家族と意見が合わないこと
12	子どもを叱りすぎていている気がする
13	自分が子どもを虐待しているのではないかということ
14	家族が子どもを虐待しているのではないかということ
15	住居が狭いこと
16	子育てで出費がかさむこと
17	子育てにばかりきりになり、家事が滞ること
18	その他 ()

問 29 子育てに関する悩みや不安はどのように解決していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	家族・親族に相談する
2	友人・知人に相談する
3	保育所・幼稚園、学校等に相談する
4	専門の相談機関を調べて相談する
5	ネットで調べて解決方法を探す
6	本や雑誌を参考にする
7	相談したりせず一人で解決する
8	その他 ()

子育てに関する環境や子育て支援に対する満足度についてお伺いします

問 30 秋田市で実施している下記の事業についてお答えください。(1)～(10)の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
(1)ファミリー・サポート・センター	はい	はい	はい
(2)子ども未来センター発行の子育て情報誌	はい	はい	はい
(3)市ホームページ「子育て情報」	はい	はい	はい

(4)LINE 公式アカウント「秋田市子育てLINE」	はい	いいえ	はい	いいえ
(5)市公式インスタグラム「秋田市子育て情報」	はい	いいえ	はい	いいえ
(6)市民サービスセンター等が主催する家族や親子で参加する講座や事業	はい	いいえ	はい	いいえ
(7)市立秋田総合病院の小児救急	はい	いいえ	はい	いいえ
(8)かぞくぶっくぱっく事業※1	はい	いいえ	はい	いいえ
(9)読書の記録帳事業※2	はい	いいえ	はい	いいえ
(10)図書館でのおはなし会・読み聞かせ	はい	いいえ	はい	いいえ

※1 かぞくぶっくぱっく事業：家族ぐるみで読書を楽しめるよう、乳幼児から大人までを対象に、本を複数冊詰め合わせたパケットを貸し出す図書館の事業。
※2 読書の記録帳事業：0歳から小学生までの子どもが借りた本の記録を残すことができる「読書の記録帳」を発行する図書館の事業。

問 31 子育てに関する情報どこ(誰)から入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	親族(親・きょうだいなど)
2	友人や知人
3	近所の人
4	子育て支援団体(育児サークル、NPO等)
5	幼稚園、保育所、認定こども園
6	学校
7	民生委員・児童委員
8	かかりつけの医師
9	インターネット
10	市の子育て関連担当窓口
11	「広報あきた」など市の情報誌
12	市ホームページ「子育て情報」
13	市LINE公式アカウント「秋田市子育てLINE」
14	市公式インスタグラム「秋田市子育て情報」
15	テレビ、ラジオ、新聞
16	子育て雑誌・育児書
17	子育てアプリ
18	コミュニティ誌
19	情報の入手先がわからない
20	その他 ()

問 32 子どもが育つ環境への満足度について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
(1)地域の遊び場(公園、公共施設等)	1	2	3	4
(2)地域の公園・歩道のバリアフリー化	1	2	3	4
(3)地域の不審者等への対策	1	2	3	4
(4)地域の交通安全への対策	1	2	3	4

問 33 秋田市の子育ての環境や子育て支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

	満足度が高い	←	→	満足度が低い
1	2	3	4	5

図 34 今後、どのような子育て支援策が必要だと感じますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	子どもを遊ばせながら、子育てについて語り合える場を増やす
2	子連れでも出かけやすい講習やイベントの場を増やす
3	子育てに困った時に気軽に相談したり情報が得られる場を増やす
4	保育所や幼稚園等にかかる費用負担を軽減する
5	保育所や幼稚園等における教育・保育の質の向上を図る
6	延長保育（預かり保育）の時間を長くする
7	休日保育（日・祝日）の実施施設を増やす
8	一時預かり事業（保育所等での一時的な保育）の実施施設を増やす
9	病児・病後児保育事業（病氣中または病氣の回復期の預かり保育）の実施施設を増やす
10	放課後児童クラブ※を増やす
11	誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが増えるように促す
12	誰でも気軽に利用できるNPO等による家事支援サービスが増えるよう促す
13	医療費助成（マル福）を拡大するなど医療費の負担を軽減する
14	時間短縮勤務や在宅勤務など多様な働き方ができるよう企業に対して働き方の見直しを促す
15	仕事と子育ての両立に取り組む企業が増えるよう促す
16	育児休業（産後パパ育休を含む。）や子の看護休暇の取得を促進する
17	子育ての講座など子育てについて学べる機会を増やす
18	妊産婦からの健康や食事について学べる機会を増やす
19	保健師・助産師が自宅を訪問して、子育てのアドバイスをする
20	自治体独自のスマートフォン向け子育てアプリ（市LINE公式アカウント以外）を配信する
21	子連れでバスなどの公共交通機関を利用する際の費用負担を軽減する
22	行事に参加する際の託児所をつくる
23	児童養護施設に親子で短期間の入所をし、子どもへの関わり方などの支援を受ける制度をつくる
24	男性の家事・育児に関する講習の場を増やす
25	家事支援サービスにかかる費用負担を軽減する
26	その他（
27	特になし

※放課後児童クラブ：地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、支援員の下、生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

図 35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

秋田市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書

令和6年5月

発行 秋田市 子ども未来部 子ども総務課

秋田市山王一丁目1番1号

電 話 018-888-5687

Email ro-chbs@city.akita.lg.jp